

口腔インプラント学 学術用語集

第4版

公益社団法人
日本口腔インプラント学会 編

Academic Terms of Oral Implantology 2020
Japanese Society of Oral Implantology



医歯薬出版株式会社

『口腔インプラント学学術用語集 第4版』発刊にあたって

公益社団法人 日本口腔インプラント学会

理事長 宮崎 隆

日本口腔インプラント学会は前身の学会設立から間もなく50周年を迎えます。この半世紀の間に、本学会は目覚ましい発展を遂げ、わが国歯科界の最大学会に成長し、わが国におけるインプラント診療を牽引してきました。

学会の主要な事業は、学術大会の開催、機関誌および書籍の刊行、そして専門医等の教育・研修ならびに認定になります。

本学会では、会員だけでなくわが国の歯科医師がインプラント診療を行う際のバイブルになっている「治療指針」、および全国の歯科大学、歯学部で学部学生に対する講義・実習で使用される「実習書」を刊行し、また学会の指定研修施設で実施する研修カリキュラムを制定しています。これらでは口腔インプラント学の専門性を明確にするために、共通言語としての専門用語が重要になります。

また、毎年開催される学術大会では多くの基礎ならびに臨床研究が発表され、機関誌である「日本口腔インプラント学会誌」で論文が公表されており、他の学術領域と整合しつつ口腔インプラント学の専門性を明確にするために、会員が使用する専門用語を規定しておく必要があります。

このような観点から専門学会においては、学術用語集の発行は非常に重要になります。本学会の学術用語集は、鈴木和夫会長時代に初版が発行され、川添堯彬理事長時代に第2版、渡邊文彦理事長時代に第3版とその補訂版が発行されてきました。

今回の第4版では、近年急速に発展し臨床導入が進められているデジタル歯科関係の用語の選定を中心に、全面的な見直しを行い、学会ならびに会員に必須の最新用語を選定しました。

歯科関係者におかれましてはこの用語集を座右に置いて、日々の診療、教育・研修、ならびに研究に活用していただきたいと思います。

最後になりましたが第4版の制作を担当していただいた村上 弘委員長ほか、用語委員会の先生方、学会事務局、医歯薬出版編集部に改めて御礼申し上げます。

2020年4月

第4版の編集にあたって

この数十年、口腔インプラント学は目覚ましい発展を遂げ、その包括範囲が広がりました。教育では、全国の歯科大学、歯学部で講義・実習が行われるようになり、研究では他分野と連携し、治療も広く行われるようになりました。その過程で新しい用語も次々生まれてきました。口腔インプラント学はその包括分野が広だけでなく、それぞれの分野の専門性も高いため、統一用語の使用はコミュニケーションを図り、相互に議論を深めるために極めて重要です。また、口腔インプラント学は海外からの研究、臨床例の報告も多く、外来専門用語を安易に翻訳したり、独自の用語を作って使用したりすることは、その内容を正しく把握することが難しくなるばかりでなく、事柄の理解を惑わすことにもなりかねません。

この『口腔インプラント学学術用語集 第4版』は宮崎 隆理事長の命を受け、公益社団法人日本口腔インプラント学会設立50周年記念の事業の一つとして企画されました。初版は鈴木和夫会長の下、斎藤 毅用語委員長を中心として口腔インプラント関連用語を整理・収載するため、9年間にわたりインプラント関連の重要用語が選定されました。第2版は初版から7年後に川添堯彬理事長の下、赤川安正先生を用語委員長として、新たな学術用語の導入、古くなった用語の整理、日本語と英語の併記など、時代のニーズに対応した編集がなされました。第3版は渡邊文彦理事長の下、諏訪文彦先生を用語委員長として、第2版の4,000語の中から1,075語を選別し、その解説が収載されました。また、この第3版は2018年3月に窪木拓男委員長の下で補訂版が刊行され、用語の修正と71用語の追加が行われました。そして、この第4版では、昨今のデジタル化を反映して、日本デジタル歯科学会に用語の推薦を依頼し、その用語を検討し、56用語を追加しました。

この第4版は、平成30年9月27日から令和元年12月24日のクリスマスイブまでの5回の用語委員会とその間の多くの編集、査読作業によって結実しました。平成から令和にかけて編集されたこの学術用語集が新しい時代の座右の書となることを切に願っております。

最後になりましたが、第4版の制作に専門分野の知識を存分に発揮していただいた執筆者の先生方、学会事務局、医歯薬出版編集部に改めて御礼申し上げます。

2020年4月

公益社団法人日本口腔インプラント学会

用語委員会

委員長 村上 弘

副委員長 加藤 仁夫

委員 児玉 利朗

高橋 哲

西村 正宏

本田 雅規

山口 秀紀

代居 敬

(五十音順)

『口腔インプラント学学術用語集 第3版 補訂版』公開にあたって

公益社団法人 日本口腔インプラント学会
用語委員長 窪木 拓男

『口腔インプラント学学術用語集 第3版』は、2012年9月から2014年6月にかけて、諏訪文彦前用語委員長のもと、大変な努力を払って発刊されました。その際の膨大な作業は、伝説のように語り継がれております。また、第3版の内容の確定プロセスにおいても、本学会理事や研修施設の先生方にいただいた多くの貴重なご意見に対応するかたちでブラッシュアップがなされ、本学術用語集がこれまで大変慎重に、吟味を重ねて編纂されてきたことがうかがわれます。本用語集の作業スケジュールはすでに前委員会で決定されており、今回は第3版のWeb版とともに第3版補訂版をWeb版として公開することとされておりました。そして、渡邊理事長の命により、諏訪委員長の後任を拝したのが私ですが、このような重大な委員会を担うなどとは思っても及ばず、当初は右も左もわからない状況でした。しかし、用語集編纂のすべてを熟知しておられる加藤仁夫副委員長をはじめ、ほぼ前期と同様の委員会メンバーのご尽力により、着々と作業を進めることができました。

本補訂版は、第3版に含まれていた用語を修正したものと、新たに追加した用語に分かれます。これをみれば一目瞭然ですが、この数年間に口腔インプラント学では新しい学術的概念がつぎつぎ創出され、周辺診療科も含め大きく発展しています。また、この間に歯学教育のコアカリキュラムも改訂され、デンタル（歯科）インプラントと口腔インプラントという概念そのものが再定義されたこともここに明記すべきと思われれます。すなわち、歯列を補うための人工歯根を指す狭義の「デンタルインプラント」という用語とは別に、我々の学会名でもある「口腔インプラント」は、顎骨再建時やサイナスリフトの際に用いる自家骨や骨補填材、メンブレンなどの移植材料を含み、サイゴインプラント、結合組織移植、顎顔面インプラントなどの新しい手技を含んだより広義な用語として用いられます。したがって、本学会としては、公式文書等ではその指し示す意味に照らして「口腔インプラント」という包括名称をなるべく用いていただくよう、お願いを差し上げたところです。

診療ガイドライン同様、学術用語集も定期的に改訂がなされるべきとされます。これは、学問の進歩により、新しい治療概念が創生され、有害事象や治療効果に関係した臨床エビデンスが蓄積されるためです。今回からWeb版での公開に対応したことにより、改訂作業が比較的効率的に行われると考えます。会員の利便性や委員会活動の効率化を考えると、学術用語の電子データベース化にさらに取り組む必要があるかもしれません。

最後になりましたが、本補訂版の作成において、専門分野の知識を存分に発揮していただきご執筆いただいた先生方に心より御礼申し上げます。また学会事務局、医歯薬出版編集部のご尽力に感謝申し上げます。

2018年3月

『口腔インプラント学学術用語集 第3版』発刊にあたって

公益社団法人 日本口腔インプラント学会

理事長 渡邊 文彦

日本口腔インプラント学会は1986年発足以来、多くの事業を次々と行ってきた。これらの学術的事业においては常に日進月歩の口腔インプラントでは海外からの新しい治療技術や材料が導入され、これに伴いインプラント用語も膨大な数と内容となり、その定義や解説の重要性が問われてきた。このような背景から用語集は斎藤 毅理事を中心に2003年に初版が上梓された。第2版は前赤川安正委員長のもとにこれらの用語の中からさらに見直しと整理を行い、日本語と英語を併記し、2011年に上梓された。これらはインプラント関連用語の抜粋であったが、昨今、急速に発展してきた口腔インプラント学に伴い専門用語としての解説が強く求められている。そこでこれらの用語の中から重要と思われる用語、また頻繁に使用される用語について諏訪文彦用語委員長のもと10名の用語委員会委員により、2014年6月をめぐり解説を加えるよう依頼した。第2版の4,000語の用語から1,075語を選択し、これについて種々な面から検討し、解説を加える作業であった。多忙の中、委員の先生方の熱意により2年間で18回の会議を経て、今度上梓の運びとなった。この事業に関してのご努力、ご尽力に際して、委員長をはじめ委員諸氏には学会員を代表し、厚く感謝を申し上げます。適切な口腔インプラント用語の定義、解説は研究発表、論文投稿、治療技術の伝達に非常に重要である。

本『口腔インプラント学学術用語集 第3版』は昨今、インプラント治療に関連して急速に増加した新技術、材料の用語を加え、解説しており、日常臨床での正しい治療技術の伝達、また国内外での学会発表、研究論文執筆に活用していただきたい。

2014年6月

第3版の編集にあたって

公益社団法人 日本口腔インプラント学会
用語委員長 諏訪 文彦

初版が2003年に、ついで第2版が2011年に日本語と英語を併記した用語集として出版されました。この間においても、口腔インプラント学は日々進歩を遂げるとともに、学会会員も1万3千余となりました。更なる発展を遂げるには、用語を解説した学術用語集が必要であるとの認識から、改訂第3版を発行するべく、2012年に理事会で決定され、用語委員会に2年間をめどとして制作するようとの命が出されました。これを受けて、同年9月の第1回用語委員会を皮切りに、計18回にも及ぶ会議を経て、このたび本用語集の発刊に至りました。

本用語集の編集方針は下記の点に留意をしました。

- ・用語は主として第2版から1,075語を選別し、解説する。
- ・本委員会で必要と考える用語を付け加える。
- ・口腔インプラント学学術用語の日本語標記をできる限り定める。
- ・第2版から汎用性の高い用語を解説する。
- ・用語の用い方をできる限り統一する。
- ・用語集は会員のみを対象とするものではなく、歯科の学生、一般人も利用できるようできる限り平易な解説文とするように努める。など

委員会で選定した用語は選別後に理事会に提出し、ご意見をいただきました。そして、選別された用語の解説は、理事、代議員、用語委員の中から委員会で選出した方々にご執筆を依頼させていただきました。ご執筆者によって解説された用語を本委員会で再度検討を加えさせていただき、加筆あるいは修正させていただきました。さらに、編集方針にできるだけ沿っているかも検討を行い、委員会での合意を得て用語の解説としました。

用語（言葉）は、時代とともに、生きもののように、次々と新しく誕生し、一方で古語として使われなくなり、廃語となります。口腔インプラント学の用語もこの運命にあることを感じながら、編集をさせていただきました。

用語は学問の発展に極めて重要で、臨床あるいは研究論文の執筆に愛用される用語集となるよう、全用語委員はこれを目標にして、編集に努めてきました。本用語集が口腔インプラント学の発展に少しでも貢献することができればと、用語委員の全員が祈念しております。

最後に、本用語集の出版にあたって、賛助会員の方々、学会事務局、医歯薬出版編集部に多大なる援助をいただいたこと、心より厚く御礼を申し上げます。

2014年6月

『口腔インプラント学学術用語集 第2版』の出版にあたって

公益社団法人 日本口腔インプラント学会
理事長 川添 堯彬

現在、わが国においては口腔インプラント治療が広く行われるようになってきました。それに伴い、多くの口腔インプラントに関連する学術用語が歯科医学の教育、研究および臨床の場で使われるようになってきました。しかしながら、口腔インプラントに関する教育・研究・臨床にあたっては、口腔インプラント学に関連する統一的学術用語を的確に理解し、使用することが大切であります。口腔インプラント学は、外国での歴史も長く、外国からの研究・臨床例が多く報告され、発表などに使用される専門学術用語は英語をはじめとする外国語が多いのが現状です。このような専門学術用語を外来専門語として直ちに使用することは、内容を正しく把握することが難しくなる懸念があります。さりとて安易に翻訳し、訳語として使用することは、その内容を誤って伝えることの不安もあります。また、独自に学術用語を作り、使用することは事柄の理解を惑わすことにもなります。

このような観点から、旧日本口腔インプラント学会では、斎藤 毅理事（当時）を中心に、多くの時間を費やしインプラント学に関連する学術用語を纏めて第1版として2003年3月30日に出版致しました。その後インプラント学が発展・変貌したため、見直し、整理が必要との声が起こり、この度口腔インプラント学学術用語集の第2版を出版することが待たれていました。

加えて一昨年の調査では、全国29大学の卒前教育において口腔インプラント学の授業が始まっており、国家試験への出題も増える傾向にあります。これらの状況に鑑み、早急に、本学会が率先して口腔インプラント学に関連する統一的学術用語集を編纂することは、本学会の念願であり、喫緊の課題となっていました。

この大仕事を、わずか1年の間に完成してくれるよう赤川安正用語委員長ならびに委員各位に懇願して、お引き受けいただきました。

会員におかれましてはこの学術用語集を論文執筆や診療時に活用され、内容が正しく伝えられるための基準となることを期待してやみません。

最後に、公益社団法人日本口腔インプラント学会独自の学術用語集の出版を強く待望された学会員の皆様、改訂を高く評価し、労力を惜しまずにご尽力下さった赤川安正用語委員長ならびに用語委員会委員の皆様にご厚意を感ずるとともに、心から感謝申し上げます。

2011年3月

第2版の編集にあたって

2003年に口腔インプラント学会（鈴木和夫会長，斎藤毅用語委員長）が自ら学術用語集を編集して上梓して以来，約7年が経過しました．この間にあって口腔インプラント学の発展はまことに目ざましく，新たな学術用語（以下，用語）の導入，古くなった用語の整理など，ニーズに対応する新しい展開が必要となりました．ここに，口腔インプラント学の新しい学術用語集を編集し発刊の運びとなったことは，まさに口腔インプラント学の進歩と発展を示すものであり，さらにこの分野の今後の展開に口腔インプラント学会が大きく寄与できる可能性を提示するものであります．

口腔インプラント学は基礎歯科医学から臨床の各専門領域を包括するきわめて学際的な領域であり，その用語は膨大な領域にまたがるものです．本用語委員会では，川添堯彬理事長からの指示を受け，これらのニーズに即時に対応すべく問題を整理し，今回の学術用語集では現代の口腔インプラント学で使用されている用語をできるだけ網羅して収録しました．また，各用語の解説は次の企画に委ねることとしました．すなわち，編纂方針としては，2003年度に出版された口腔インプラント学会学術用語集をベースとし，国内外の口腔インプラント関連の成書や学会誌，また日本歯科医学会学術用語集や日本補綴歯科学会用語集など専門分野での用語も丁寧に蒐集することとし，また，古くなったものでもはや使わない用語は棄却し，さらに進歩に伴って使用されてきている新しい用語は可能なかぎり入れることにしました．また，口腔インプラントの進歩を牽引してきた商品名も歴史的意義の大きなものは残しましたが，この時代に合わせて整理もしました．さらに，同じ事象を異なる表現や用語で使われているもの，あるいは英語をカタカナ表示するものなど口腔インプラント関連では特に多くあり，これらの用語の統一は本委員会の能力を越えるものであることから，ひとまず列記しました．すでにカタカナで用いられている用語はそのままとし，和文が同じで英語が異なるもの，英語は同じで和文が異なるものなどもそのまま用いることにしました．これらは経時的に用いられていくことで，一つに集約されるものと思われまふ．さらに，より見やすくするため，用語の日本語と英語を併記し，利用者の利便性を図るため英語索引も設けました．また，付録として，市販のインプラントシステムとそのパーツの用語も列記し，学会発表や論文作成の助けとなるよう記載しました．本学術用語集は川添堯彬理事長の強い要請を受けて印刷物として会員全員に配布することとし，さらに将来的にCD-ROM化も可能なように手はずしています．

この作業に当たった用語委員会は，短期間で迅速に作業を進めることができたことに誇りを持ちます．しかしながらここに至る推進力となった旧評議員の方々の多くの示唆やコメントがなければ，洗練された完成にはとうてい至りませんでした．それゆえ，旧評議員，旧理事の方々に深甚なる感謝の意を申し上げる次第であります．また，まとめや連絡で多大な労をいただいた賛助会員の方々，学会事務局，医歯薬出版編集部に対し，心からお礼を申し上げます．

このように編集した学術用語集を，学会会員は是非ともうまく活用され，優れた学会発表や論文作成を行って下さい．すなわち，学会会員は学会発表や論文作成に勝手な造語など活用せず，この学術用語集に従っていただくこと，このことを委員会は最も強く望みます．一方で，口腔インプラント学の進歩の速度はあまりにも速く，追加や変更されるべき用語が存在しており，継続的な検討と改訂作業が必要であることは言うまでもなく，次回はさらに改訂されるべきものと認識いたします．

2011年3月

公益社団法人 日本口腔インプラント学会
用語委員会

委員長 赤川 安正

副委員長 加藤 仁夫

委員 児玉 利朗

塩田 真

内藤 宗孝

原 宜興

松浦 正朗

宮崎 隆

(五十音順)

口腔インプラント用語集の発刊にあたって（初版）

日本口腔インプラント学会

会長 鈴木 和夫

用語集は学問領域の道標となるもので、内容と利用に一般学術書とは違った意味をもっています。歯科診療においてインプラント治療が多く行われるようになるに従い、インプラントに関連する用語が歯科医学の教育・研究および臨床に多く使われるようになってきました。このような専門用語には、用語をただ呼称させるだけでなく、その内容をある程度意味付けることが多いようです。新しく用語を設定・使用するには、共通した理解のもとに使用されるに至る研究・臨床面での長い間のインプラント学修学のなかで多くの検討がなされ、その結果として使われることが望ましいと考えます。

口腔インプラント学は、外国での歴史も長く、外国からの研究・臨床例が多く報告され、発表などに使用される用語は英語をはじめとする外国語が多く、翻訳文に専門用語を外来専門語として直ちに使用することは、内容を正しく把握することが難しくなる傾向にあります。さりとて安易に翻訳し、訳語として使用することはその内容を誤って伝えることの不安もあります。また、個々独自に用語を作り、使用することは事柄の理解を惑わすこととなります。また、インプラントに関する教育・研究・診療にあたっては、口腔インプラント学に関連する用語を的確に理解し、使用することが大切です。あらゆる領域での教育・研究にあたっては、用語について正しく理解し、より正確、かつ効果的に使用することが正しく内容を伝える第一歩と考えます。

そのため、本書がインプラントを志すもののみならず、歯科医学の教育・研究・臨床に携わるすべての歯科医学関係者の座右の書として広く活用されることを期待しています。

斎藤 毅教授（日本大学歯学部）を中心に、多くの委員によりインプラント学に関連する用語を纏めることを心がけてから、早くも9年余の歳月が過ぎました。これもこの間インプラント学が発展・変貌し、幾度となく見直し、整理の必要が起こり、そのため用語集の発刊が遅れ、今日に至ったと伺っております。

当然のことながら、今後も、口腔インプラント学の進歩・変貌に伴い多くの用語が変化していくことは必至で、適正な用語、表記の統一など修正への努力を続ける必要があると思います。今後ともインプラント学の進歩・発展に伴って委員会の詳細な検討により修正・改正されることを願っています。

また、用語集が論文執筆や診療の用語使用の規制となることなく、内容が正しく伝えられるための基準となることを期待しています。

最後に、口腔インプラント学会独自の用語集の出版を強く希望した学会員と、これを高く評価しご尽力下さった古本啓一元会長ならびに末次恒夫前会長に深甚なる敬意を表するとともに心から感謝申し上げます。

序文（初版）

日本口腔インプラント学会
用語委員会委員長 斎藤 毅

20世紀は科学技術の進歩の著しい100年であったと言われております。科学の進歩に伴って学問、技術は体系化が進み、それぞれ専門に分化して発展の道をたどってきました。学問と秘伝・奥義の類とが大きく異なるところは、その哲学、理論、技術を包括する学術的背景を「文字」で表現し、人に伝えることが出来るか否かにあると言われております。この意味で口腔インプラントの専門用語集が編集されて発刊の運びとなりましたことは、歯科医学におけるインプラント学の進歩と発展を示すものであり、またこの分野の今後の展開に寄与するところが大きいものと考えられます。

この度用語集は、日本口腔インプラント学会・平成6年度執行部（古本啓一会長）で企画されて学会用語委員会に付託されたもので、当初、インプラント用語集に対する期待は過度に大きいものでありました。しかし口腔インプラント学は基礎歯科医学から臨床の各専門領域を包括する学際的な領域であるため、その用語は解剖、病理、無機・有機材料、生体材料、外科技術、咬合の回復、生体の治癒力、予後管理あるいは社会科学など膨大な領域に互るものであり、さらに用語の統一や解説を望む声も聞かれました。

用語委員会では、これらの問題を整理し、今回の用語集では現在口腔インプラントを取り巻く歯科医学の領域で使用されている用語を整理して収録することとし、用語の解説は次の企画に委ねることとしました。すなわち、用語の蒐集は国内外の口腔インプラント関連の成書、学会誌を中心に進めました。また、同じ事象を異なる表現・用語で使われているもの、あるいはカタカナ表示で使用されているものもあり、これらの用語の統一は本委員会の能力を越えるものであり、また経時的に一つの用語に集約されて使われていくもので、これらの用語は同義語として複数併記して編集することとしました。

口腔インプラント用語集の編集は平成9年度からは末次恒夫会長に、平成12年度からは鈴木和夫会長に引き継がれ、それぞれ委員会も改組され上記企画を継承して編集作業が継続され、この度、初版として完成したものであります。学術用語集の編集作業は着手して9年に互るものでありますが、この間、日新月歩の著しい学問の進歩に合わせて up to date の新しい用語を逐次追加して編集を進めました。また、前会期末（平成12年3月）には口腔インプラント用語集・暫定版を発刊し、これを学会役員（理事、評議員）に提供して広く意見を求めて完成度を高めました。

本用語集は、インプラントに関する事象を英語、日本語および分類（カテゴリー）として3段に分けて編集し、利用者の便を図るために日本語索引を設けてあります。また巻末には、市販のインプラントシステムおよび世界のインプラント学会名を表示し、学術論文作成の助けとなるインプラント関連用語をまとめて記載してあります。さらに、本用語集は現鈴木会

長の強い要請を受けて印刷物（ハードコピー）として全会員に配布することが認められ、また情報化の時代に即して CD-ROM 化を行い会員の要請に応えられるよう準備がされております。

以上のように、本用語集は学会の経年的な事業として企画され、3期、9年間に亙る精力的な努力によって資料の蒐集、採択、見直しなどの編集作業を通じて完成されたものであることを報告し、この間の作業に当たられた用語委員会の委員各位、特に地道な作業を進められた小委員会委員および学会事務局の御労苦に対し、深甚なる感謝の意を申し上げる次第であります。

なお、口腔インプラントはその学術的背景が広く、学際領域に及び歯科における研究面および臨床面での活性が高い分野であるので、継続的な検討と改訂作業が必要であることを付記する。

公益社団法人 日本口腔インプラント学会 用語委員会 (委員は五十音順)

委員長 村上 弘
副委員長 加藤仁夫
委員 児玉利朗
委員 高橋 哲
委員 西村正宏
委員 本田雅規
委員 山口秀紀
委員 代居 敬

執筆者一覧 (五十音順)

青木 章	栗田 賢一	玉置 幸道	前田 芳信
赤川 安正	児玉 利朗	津野 宏彰	正木 千尋
安孫子宜光	後藤 昌昭	友竹 偉則	又賀 泉
阿部 伸一	小林真理子	内藤 宗孝	松井 義郎
新井 是宣	近藤 尚知	永原 國央	松浦 正朗
石垣 佳希	近藤 祐介	中村 典史	松坂 賢一
石川 誠	佐々木啓一	中本 哲自	松下 恭之
和泉 雄一	佐々木穂高	永合 徹也	美島 健二
市川 哲雄	佐藤 聡	西村 正宏	水谷 幸嗣
伊藤 太一	佐藤 淳一	野口 誠	宮崎 隆
今井 弘一	佐藤 裕二	萩原 芳幸	向坊 太郎
植野 高章	佐野 司	羽鳥 弘毅	村上 弘
魚島 勝美	澤瀬 隆	馬場 俊輔	村上 洋
内田圭一郎	椎葉 俊司	濱田 傑	矢島 安朝
江黒 徹	塩田 真	早川 徹	山内 六男
榎本 明史	式守 道夫	原 宜興	山下 佳雄
大久保力廣	嶋田 淳	肥後 智樹	山口 秀紀
大野 彩	白川 正順	日比 英晴	山本 学
岡田 裕之	末瀬 一彦	廣瀬由紀人	山森 徹雄
小倉 晋	諏訪 文彦	深澤 翔太	横山 敦郎
尾関 雅彦	関根 秀志	福田 幸太	吉成 伸夫
越智 守生	園山 亘	福田 雅幸	吉成 正雄
加藤 仁夫	高岡 一樹	古市 保志	吉村 篤利
金田 隆	高田 匡基	古谷 義隆	代居 敬
河奈 裕正	高橋 克	別所 和久	若松 陽子
岸本 裕充	高橋 常男	細川 隆司	渡邊 郁哉
城戸 寛史	高橋 哲	本田 雅規	渡邊 文彦
木本 克彦	高橋 敏幸	本間 慎也	
窪木 拓男	高森 等	舞田 健夫	

凡 例

1. 本学術用語集は、2018年9月から2020年4月にかけて公益社団法人日本口腔インプラント学会用語委員会を中心として編集されたものである。本学術用語集に収録の用語は、教育・論文執筆・学会誌投稿等の際に使用する学術用語として、公益社団法人日本口腔インプラント学会の承認を得たものである。
2. 本学術用語集では口腔インプラント学の教育・研究および臨床に必要とされる学術用語について収録した。
3. 収録の学術用語1,202語は五十音順に配列し、通し番号を付した。
4. 一単語についての解説は、①見出し用語、②用語の読み、③用語の英語表記、④同義語、⑤類義語、⑥関連語、⑦用語の定義・解説からなる。
5. ⇒は参照先（番号）を示す。
6. 括弧の用い方は次の通りとした。
 - ①〔 〕内は、省略してもよい語を示す。
例) 萎縮〔症〕, 吸収〔小〕窩
 - ②《 》内は、その前の語または文字と適宜置き換えてよいものを示す。
例) 移植体《片》対宿主反応, 垂直性骨吸収《欠損》
 - ③【 】内は、説明ないし注記を示す。
例) 生存率【植皮・移植片の】
7. 同義語、類義語、関連語については次の通りとした。
 - ①同義語：見出し語とまったく同じ意味で使われる語
 - ②類義語：見出し語とほぼ同じ意味か、場合によって若干異なるニュアンスで用いられることもある語
 - ③関連語：見出し語に関係し、理解の助けとなる用語
8. 使用漢字は、近年の漢字政策および新しいJIS漢字などに鑑みて、いわゆる正字体を採用することとした。
例) 頬→頰, 嚢→囊, 填→填, 弯→彎
9. 索引には用語番号を付した。索引として挙げた用語は、①見出し語、②同義語、③英語表記、④解説文中で使用された歯科用語である。
10. 人名、英語略語などに関しては基本的に英語表記とした。
11. 慣例的に用いるが、使用が好ましくないと判断した語には▲を付した。
例) シュナイダー膜
12. 付録として、2019年8月現在販売されているインプラントシステム等の商品名一覧を掲載した（本学会賛助会員の協力による）。同様に活用いただきたい。

あ

1 アーチファクト あーちふあくと

artifact

⇒ 278 金属アーチファクト

2 アーリーローディング あーりーろーでいんぐ

early loading

⇒ 760 早期荷重

3 RFA あーるえふえー

resonance frequency analysis

⇒ 86 インプラント安定指数

4 RCT あーるしーていー

randomized controlled trial

同義語 無作為化比較試験, ランダム化比較試験
治療に関するエビデンスの中で最も信頼性の高い臨床研究で、データの偏りを軽減し、客観的に治療効果を評価すること、地域差・年齢差・研究者の主観によるものなどをできるだけ小さくなるよう、被験者を徹底的にランダムに、目的対象群と比較対象群に割り付けて実施する。

5 RTV あーるていーびい

removal torque value

⇒ 638 除去トルク値

6 IRPD あいあーるびーでいー

implant removable partial denture

⇒ 130 インプラントパーシャルデンチャー

7 ISO あいえずおー

International Organization for Standardization

同義語 国際標準化機構

国際標準化機構が定めた世界共通の国際規格である。国際標準化機構は電気分野を除く工業分野の国際的な標準である国際規格を策定するための民間の非政府組織である。参加国の専門委員会 (Technical Committee : TC) で審議・投票によって規格が決められる。歯科用インプラントは、TC 106 SC8 歯科 (歯科用インプラント), TC 194 医用・歯科用材料の生物学的評価など、多くの TC が関与する。インプラントに使用する機材、器具、材料は、ISO 規格に準拠したものでなければならない。

表：インプラントに直接関係する主な TC と国内審議団体

TC 84	医療用注射器及び注射針 (日本医療器材工業会)
TC 76	医療用輸血装置 (日本医療器材工業会)
TC 106	歯科 (日本歯科材料器械研究協議会) (充てん・修復材料, 補綴材料, 歯科用語, 歯科器具, 歯科器械, オーラルケア用品, 歯科用インプラント, 歯科用 CAD/CAM システム)
TC 121	麻酔装置及び人工呼吸器関連装置 (一社) 日本医療機器工業会)
TC 150	外科用体内埋設材 (ファインセラミックス国際標準化推進協議会) (材料, 心臓外科, 人工関節及び人工骨, 骨固定器具及び脊椎固定器, 活動型埋没医療用具, 再生医療機器)
TC 170	外科用器具 ((一社) 日本医療機器学会) (除外: ISO/TC 106 が扱う歯科用材料及び機器, ISO/TC 150 が扱う外科用インプラント)
TC 194	医用・歯科用材料及び機器の生物学的評価 (日本医療器材工業会)
TC 210	医療用具の品質管理と関連する一般事項 (日本医療機器産業連合会)
TC 212	臨床検査及び体外診断検査システム (特非) 日本臨床検査標準協議会)
TC 215	保健医療情報 (一財) 医療情報システム開発センター)
TC 229	ナノテクノロジー ((独) 産業技術総合研究所)

8 ISQ 値 あいえずきゅーち

implant stability quotient

⇒ 86 インプラント安定指数

9 IOD あいおーでい

implant overdenture

⇒ 88 インプラントオーバーデンチャー

10 iPS 細胞 あいびーえすさいぼう

induced pluripotent stem cell

同義語 人工多能性幹細胞

皮膚の線維芽細胞などの体細胞を初期化するために、遺伝子 (Oct3/4, Sox2, Klf4) を導入して作製される ES 細胞のような自己複製能と多分化能をもつ全能性細胞のこと。患者細胞から作製するので他家移植による拒絶反応やヒト ES 細胞使用の倫理的問題も解決できる。他家移植でない骨の再生医療に有用である。

11 アキシャル像 あきしゃるぞう

axial image

同義語 横断像, 軸位断像, 水平断像**関連語** 三次元 CT 画像, CT, MRI

体軸に垂直な面におけるエックス線 CT 画像である。MR 画像も同様の表現を用いる。横断像, 軸位断像, 水平断像と同義である。

12 悪性腫瘍 あくせいしゅよう

malignant tumor

浸潤性を有し, 増殖性を示す腫瘍のこと。上皮性悪性腫瘍 (癌腫) と非上皮性悪性腫瘍 (肉腫, その他) に分けられる。治療法には外科, 放射線, および化学療法と, それらの複合治療がある。摘出後には歯列を含む顎骨とその周囲軟組織の欠損を生じるため, 硬・軟両組織の再建手術とインプラント治療を含む顎顔面補綴治療が行われる。顎顔面欠損患者, あるいは欠損の再建が行われた患者の機能回復にとってインプラント治療は有効な治療法である。顎顔面補綴治療にインプラントを応用する場合は, 腫瘍の早期再発がないことを確認するため, インプラント治療を行うまでに, 1年以上の待機期間をおくのが一般的である。インプラント埋入部に大量の放射線照射が行われていた場合には, インプラント治療は禁忌である。

13 アクセスホール あくせすほーる

access hole

関連語 スクリューホール

上部構造とインプラントをスクリューで連結するために設置された穴のことで, 上部構造の咬合面または側面 (主に舌側) に開口させる。

14 足場 あしば

scaffold

⇒ **675** スキャフォールド**15 アスピリン喘息** あすぴりんぜんそく

aspirin-induced asthma

アセチルサリチル酸 (アスピリン) やその他の非ステロイド性消炎鎮痛薬の服用を原因として発症する喘息のこと。

16 アタッチメントシステム

あたっちめんとしすてむ

attachment system

関連語 バーアタッチメント, ボールアタッチメント, ロケーターアタッチメント, 磁性アタッチメント

可撤性補綴装置の維持と安定を得るために用いられる装置である。インプラント治療ではインプラント支持のオーバーデンチャーに多く用いられる。一般にパトリックス (メール) とマトリックス (フィメール) の二つのパーツから構成される。主なものに, バーアタッチメント, ボールアタッチメント, ロケーターアタッチメント, 磁性アタッチメントなどがある。義歯に機能圧が加わった場合に, インプラントに伝達される力が過大となるのを防止する目的で, 緩圧機構が付与されているものは緩圧型アタッチメント, 金属マトリックス (フィメール) を含むリテーナーとこれに精密にフィットするパトリックス (メール) とで構成されるものはプレジジョンアタッチメントとよばれる。

17 アタッチメントレベル あたっちめんとれべる

attachment level

⇒ **1185** 臨床的アタッチメントレベル**18 アダプテーションテクニック**

あだぶてーしょんてくにつく

adaptation technique

インプラント窩を形成する際, 強固な初期固定を得るために骨質に応じてドリリングを行うこと。脆弱な骨質に対して, 小さな径のドリリングで終わるアンダープレパレーションテクニック, 段階的に形成深度を浅くしていき埋入窩の幅だけでなく深度まで調整するモディファイドアダプテーションテクニックなどがある。

19 圧縮強さ あっしゅくつよさ

compressive strength

類義語 機械的強さ

物質を圧縮したときの強さである。上・底面が平行かつ平滑面の円柱状試験片の上下方向から荷重を付与した際, 破壊に要した最大荷重値を試験片断面積で除した値であり, 単位は Pa で表す。

20 圧迫壊死 あっばくえし

pressure necrosis, compression necrosis

関連語 哆開

組織が圧迫されることで血流が阻害され, 圧迫された組織が壊死することをいう。手術中に粘膜をピ

ンセットなどで強く把持した場合や緊密すぎる縫合などで組織の壊死が起こる。縫合創の創縁が壊死すると、壊死組織が創縁の治癒を阻害し、創の裂開（哆開）を招く。また、小径の埋入窩に大きな径のインプラントを埋入する際にも起こりうる。

21 アテロコラーゲン あてろこらーげん

atelocollagen

コラーゲン分子の両端にある抗原性のあるテロペプチドを酵素処理で取り除いて作られた可溶性コラーゲンのこと。精製度が非常に高く安定性に優れた特性をもつ。ウシ由来のアテロコラーゲンはインプラント材料や組織工学でのスキャフォールド材料として応用されている。

22 アドヒアランス あどひあらんす

adherence

関連語 コンプライアンス

病気に対する治療方法について、患者が自ら積極的に治療方針決定に参加し、その決定に従って治療を受けること。患者が医療者の指示にどの程度従うかを重点に評価するコンプライアンスの考え方とは区別して用いられる。

23 アドレナリン過敏症 あどれなりんかびんしょう

adrenaline hypersensitivity

血管収縮薬（アドレナリン）に過剰な反応を示すこと。局所麻酔薬の過量投与、高血圧症や甲状腺機能亢進症などアドレナリン感受性が亢進している患者への投与などが成因となる。頻脈、血圧上昇、不安、興奮、呼吸促進などがみられる。症状は一過性であり、特に処置を必要としないことが多いが、症状が重篤な場合には鎮静薬や降圧薬の投与を行う。

24 アナフィラキシー あなふいらきしー

anaphylaxis

同義語 即時型アレルギー

関連語 アナフィラキシーショック、薬物アレルギー

アレルギーなどの侵入により、複数の臓器に全身性にアレルギー症状が惹起され、生命に危機を与える過敏反応である。アナフィラキシーの診断には、アレルギーへの曝露後に急速に発現する皮膚・粘膜症状、呼吸器症状、循環器症状、血圧低下などの確認が重要である。

25 アナフィラキシーショック

あなふいらきしーしょくく

anaphylactic shock

関連語 アナフィラキシー、薬物アレルギー

アナフィラキシーに血圧低下や意識障害などを伴うものをいう。生命の危険をもたらすことから、迅速かつ適切な対応が必要となる。治療の第一選択はアドレナリンの筋肉内注射である。アナフィラキシーの補助治療薬としてアドレナリン含有した自己注射製剤（エピペン[®]）がある。

26 アパタイト あぱたいと

apatite

同義語 燐灰石

関連語 ハイドロキシアパタイト

リン酸塩鉱物の一般的な名称である。化学組成は $\text{Ca}_{10}(\text{PO}_4)_6(\text{F}, \text{Cl}, \text{OH})_2$ である。このうち、ハイドロキシアパタイトは歯や骨の主成分であり、インプラント体の表面処理材や移植材として用いられている。

27 アパタイトインプラント

あぱたいといんぷらんと

apatite implant

アパタイト単体で製作されたインプラントである。

28 アパタイトコーテッドインプラント

あぱたいとこーてつどいんぷらんと

apatite coated implant

同義語 アパタイトコーティングインプラント

表面にハイドロキシアパタイトをコーティングしたインプラントである。コーティング法には、比較的厚い膜（20～100 μm）を形成するプラズマ溶射法やフレイム溶射法と、超薄膜（3 μm 以下）を形成するスパッタリングなどの低温プラズマ（物理的蒸着）法、レーザーアブレーション法、エレクトロスプレー法、分子プレカーサー法などがある。

29 アバットメント あぼつとめんと

abutment

関連語 カスタムアバットメント、既製アバットメント

上部構造の支持または維持の機能を果たす構造体のこと。2回法インプラントにおいては、粘膜貫通部を含めた構造体をさすが、1回法（ティッシュレベル）インプラントにおいては、粘膜上の構造体のみをさすことが多い。上部構造のスクリュー固定に対応したアバットメントとセメント固定に対応したアバットメントがある。スクリュー固定に対応した

アバットメントには、回転防止機構や角度の付いたものもある。また、セメント固定に対応したアバットメントには、直接上部構造をセメント固定する既製アバットメントやある程度自由な形状を付与できるカスタムアバットメントがある。

30 アバットメントアナログ

あばつとめんとあなるぐ

abutment analog (analogue)

同義語 アバットメントレプリカ

上部構造製作に使用されるアバットメントを複製した技工用の部品のこと。口腔内のインプラント体にアバットメントを装着した状態で印象用コーピングを用いて印象採得を行い、アバットメントレベルの作業用模型を製作する際に用いられる。また上部構造の製作過程においてマージン部の研磨の際に用いられることもある。

31 アバットメント-インプラント体界面

あばつとめんといんぷらんとたいかいめん

abutment-implant interface

⇒ **116** インプラント体-アバットメント界面

32 アバットメントコネクション

あばつとめんとこねくしょん

abutment connection

アバットメントをインプラント体に連結すること。骨内インプラント体とアバットメントの連結様式から、エクスターナルコネクション型とインターナルコネクション型、テーパーのあるテーパージョイント型とテーパーのないバットジョイント型がある。

33 アバットメント材料 あばつとめんとざいりょう

abutment material

アバットメントに使用される生体材料のこと。材質は歯肉上皮細胞の付着に影響すると報告されており、かつては合金なども用いていたが、近年では主にチタン合金、チタン、セラミックス（ジルコニアなど）などが使用されている。

34 アバットメントシャフト

あばつとめんとしゃふと

abutment shaft

アバットメントの嵌合軸部のこと。インプラント体内面に形成されたテーパー形の嵌合穴部に連結する。

35 アバットメント除去器具

あばつとめんとじょきょきぐ

abutment retrieval instrument

インプラント体に連結したアバットメントを除去する専用器具のこと。インプラント体とアバットメントの連結機構がインターナルコネクションでテーパードタイプの場合、一度アバットメントを締めつけると、テーパー嵌合の効果で除去が困難になる。そのため、アバットメントをインプラント体から外す必要が生じた場合、特殊な器具が必要になる。

36 アバットメントシリンダー

あばつとめんとしりんだー

abutment cylinder

関連語 UCLA アバットメント

アクセスホールを形成するシリンダー形状の構造体のこと。インプラント体に直接連結するものと、アバットメントを介して連結するものがある。プロビジョナルレストレーションの製作に使用する場合には、チタン製またはプラスチック製のものが使用される。インプラント体に直接連結するタイプで、焼却可能なレジンプラスチックで作られたアバットメントシリンダーを特にUCLAアバットメントとよんでいる。

37 アバットメントスクリュー

あばつとめんとすくりゅう

abutment screw

インプラント体にアバットメントや上部構造を連結するためのねじのこと。

38 アバットメント破折 あばつとめんとはせつ

abutment fracture

インプラントのメンテナンス中のトラブルの一つで、アバットメント自体の破折のこと。

39 アバットメントレベル あばつとめんとれべる

abutment level

関連語 インプラントレベル、骨レベル

インプラント体埋入後、印象採得から上部構造装着までの補綴治療をインプラント体ではなく、連結されたアバットメントを基準とすること。

40 アバットメントレベル印象

あばつとめんとれべるいんしょう

abutment level impression

⇒ **137** インプラントレベル印象

41 アブフラクション あぶひらくしよん

abfraction

生体力学的な荷重により生じる歯の病的な実質欠損をいう。エナメル質や象牙質のたわみや化学的な疲労劣化によるもので、荷重点から離れたところでも起きることがある。

42 α -TCP あるふあていーしーびー α -tricalcium phosphate⇒ **1095** β -TCP**43 アルミナ** あるみな

alumina

同義語 酸化アルミニウム、アルミナセラミックス
酸化アルミニウム (Al_2O_3) の工業名。天然には不純物を含み、コランダム、ルビー、サファイアなどとして存在している。無色もしくは白色で、酸やアルカリにほとんど溶けない。陶材、歯科用セメント、コンポジットレジン成分として用いられているほか、インプラント材料、研磨材としても用いられる。

44 アレルギー あれるぎー

allergy

⇒ **24** アナフィラキシー, **279** 金属アレルギー, **1160** 薬物アレルギー

45 ARONJ あるんじえ

antiresorptive agents-related osteonecrosis of the jaw

同義語 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死**関連語** BRONJ, MRONJ

骨吸収抑制薬関連顎骨壊死。種々の作用機序の異なる骨吸収抑制薬（ビスフォスフォネート系薬剤や抗RANKL抗体デノスマブなど）によって生じる顎骨壊死の総称である。

46 アンカーピン あんかーびん

anchor pin

関連語 サージカルガイドプレート

サージカルガイドプレート（埋入位置や方向を規定するテンプレート）を固定するためのピンのことで、神経、血管や周囲臓器を損傷しないように配慮した位置設定が必要である。なお、根管から骨内に達する歯内骨内インプラントをアンカーピンとよぶこともあったが、本療法は現在用いられていない。

47 アンキローシス あんきろーしす

ankylosis

同義語 骨性強直

歯と歯槽骨の間や関節に骨癒着が起きる病態である。

48 アングルドアバットメント

あんぐるとあぼつとめんと

angulated abutment

⇒ **215** 角度付アバットメント**49 安静空隙** あんせいくうげき

interocclusal clearance

同義語 フリーウェイスペース

有歯顎者で下顎安静位と咬頭嵌合位の間に生じる2～3mmのスペースのこと。一般的には総義歯を製作する場合や多数歯欠損のインプラント患者などで適正な咬頭嵌合位が維持されていない場合に、下顎安静位から新たに下顎位を決定するために用いる一つの基準値である。

50 アンテリアガイダンス あんてりあがいだんす

anterior guidance

下顎前方および側方運動時の前歯部による誘導のこと。適切なアンテリアガイダンスを付与することにより白歯離開が起り、白歯にかかるストレスを軽減するとともに、顎機能に対して良好な環境をもたらす。インプラントによる咬合においてもその重要性は同じで、白歯部のインプラントに対してはアンテリアガイダンスがインプラントに保護的に働く。

51 アンテリアループ あんてりあるーぶ

anterior loop

関連語 下歯槽神経、下歯槽神経麻痺、下歯槽動・静脈

下顎管はオトガイ孔に開孔するが、この孔より前方にループを形成することがある。このループをアンテリアループという。このループ内に下歯槽神経、下歯槽動・静脈が通るので、ループの神経を損傷すると支配領域に麻痺が起こる。

い

52 ES細胞 いーえすさいぼう

embryonic stem (ES) cell

同義語 胚性幹細胞

関連語 iPS細胞, 再生医療

ヒトなどの初期胚から将来胎児になる内部細胞塊を取り出し、あらゆる細胞に分化できる能力をもったまま培養し続けることができるようにした細胞である。

53 EDM いーでいーえむ

electric discharge machining

⇒1108 放電加工

54 EBM いーびーえむ

evidence-based medicine

同義語 EBD, 根拠に基づいた医療, エビデンスベイスドメディシン

関連語 ナラティブベイスドメディシン

医学的, 科学的な理論とデータ (科学的根拠: エビデンス) に基づいて進める医療のこと. ランダム化臨床試験やコホート研究の結果を根拠として診察, 治療を行うもので, 医療の質を高めるための手法である. EBD (evidence-based dentistry) は歯科学のEBMを意味する. 一方, 「科学的根拠」を強調しすぎることの反省から, 最近ではナラティブベイスドメディシン (NBM) の重要性も提起されている.

55 e-PTFE膜 いーぴーていーえふいーまく

expanded polytetrafluoroethylene membrane

⇒990 バリアメンブレン

56 易感染性状態 いかんせんせいじょうたい

immunocompromised condition

免疫機能の低下により, さまざまな感染症にかかりやすくなっている状態をいう. 糖尿病, 肝硬変, 腎不全, AIDS, 低栄養, 悪性腫瘍などの基礎疾患をもつ患者や, ステロイド, 抗がん剤, 免疫抑制薬の投与, 放射線治療を受けた患者は, 通常では感染を起こさない病原性の低い弱毒菌でも感染を起こしやすい.

57 維持スクリュー いじすくりゅー

retaining screw

インプラント上部構造の維持に用いられるスク

リューで, インプラント体とアバットメントを連結するアバットメントスクリューやアバットメントと上部構造体を固定する際に用いるスクリューなどがある.

58 維持装置 いじそうち

retainer, retaining appliance

補綴装置を口腔内に維持, 安定させるための装置のこと. インプラントにおいてはアバットメントのような支台装置のほか, 上部構造との連結に用いられるスクリュー, またインプラントオーバーデンチャーにおいては, パー, ボール, マグネット, ロケターのような各種アタッチメントも維持装置に含まれる.

59 異種移植 いしゅいしょく

xenograft

関連語 ABM

異種動物間での組織移植のこと. 組織が欠如, あるいは不足している場合, それを補うために自己の組織の代替材料として用いられる. 異種骨移植としては動物の処理骨であるウシ由来Bio-Oss[®] (ABM), 軟組織用材料としてアテロコラーゲンなどがある.

60 異種移植体反応 いしゅいしょくたいはんのう

heterogenous graft response

種属の異なる個体からある個体に臓器・組織を移植したときにみられる拒絶反応である.

61 萎縮〔症〕 いしゅく〔しょう〕

atrophy

⇒364 骨萎縮

62 異種骨 いしゅこつ

heterogeneous bone

⇒59 異種移植

63 異常絞扼反射 いじょうこうやくはんしゃ

gagging reflex

同義語 催吐反射, 咽頭反射

類義語 嘔吐反射

舌根部, 咽頭部後壁, 口蓋扁桃部などへの刺激により, 吐き気が誘発される反射が亢進した状態である. 歯科治療中の反射出現は, 物理的刺激的のほか精神的因子や視覚, 嗅覚などにも影響を受ける. 嘔吐反射と同様にむかつきを生じるが, 嘔吐反射が生理的な防御反応であるのに対し, 異常絞扼反射では歯科治療に対する不安や恐怖心などの関与が大きく, 歯科治療恐怖症と並存することも多い.

64 移植〔術、法〕 いしよく〔じゆつ、ほう〕

grafting, transplantation, graft

提供者（ドナー）から受給者（レシピエント）に組織や臓器を移植することをいう。移植される組織としては、自己の骨や歯のような硬組織、軟骨、粘膜、皮膚、結合組織、血管、腱などの自家移植組織・臓器・材料のほかに、同種移植材、異種移植材、人工骨なども用いられる。歯科インプラントに関連した移植には、骨欠損部への骨移植、上顎洞底挙上術、およびバリアメンブレンを併用した骨再生誘導法（GBR）などがある。軟組織移植として、遊離粘膜移植、結合組織移植が行われる。骨移植にはインレーグラフト、オンレーグラフト、サンドイッチグラフト、ベニアグラフトなどがある。自家骨移植が golden standard といわれ、自家骨の供給源としては、顎骨、腸骨、腓骨、肩甲骨、脛骨、肋骨などさまざまな部位があり、細片骨、ブロック骨などの形態で使用される。

65 移植体《片》拒絶〔反応〕

いしよくたい《へん》きよぜつ〔はんのう〕

grafts rejection

移植の際に、移植された臓器や組織片が生着することを阻害され、排除される現象である。臨床的に、移植直後に起こる超急性拒絶反応、2週までに起こる亢進性拒絶反応、2週より3カ月のころに起こる急性拒絶反応、およびそれ以降に起こる慢性拒絶反応に分けられている。

66 移植体《片》対宿主反応

いしよくたい《へん》たいしよくしゅほんのう

graft versus host reaction

免疫能の低い宿主（被移植者）が、免疫が異なる型の移植提供者（ドナー）から免疫反応をもつリンパ組織を移植された際に起こる不適合反応のこと。Simonsen 現象ともいわれる。骨髄移植の際に最もよくみられる。

67 異所性骨化 いしよせいこっか

heterotopic ossification

骨形成の起こらない軟組織に認められる骨形成の総称である。古くから筋肉、腱、靭帯、臓器に骨形成が起こることが知られている。

68 一次固定 いちじこてい

primary splinting

⇒ **637** 初期固定**69 一次手術** いちじしゆじゆつ

first stage surgery

関連語 二次手術、2回法インプラント

2回法インプラントでは、インプラント体埋入手術を一次手術、アバットメントあるいはヒーリングキャップを装着する手術を二次手術という。

70 一次治癒 いちじちゆ

primary healing

同義語 一次創傷治癒**関連語** 一次閉鎖、創傷治癒、二次治癒

手術創や外傷による創傷を、創両端の粘膜あるいは皮膚が非上皮性組織の露出がなく創縁が縫合され、創の上皮が直接癒合して治癒した場合を一次治癒という。軟組織の治癒は一次治癒を目指す。

71 一次閉鎖 いちじへいさ

primary closure

関連語 一次治癒

手術創や外傷による創傷を、創両端の粘膜あるいは皮膚が非上皮性組織の露出がなく創縁が縫合されることを一次閉鎖という。手術の成功のためには創の一次閉鎖を達成する必要がある。

72 1回法インプラント いっかいほういんぷらんと

one-stage implant, non-submerged implant, single-stage implant, one phase implant

同義語 ノンサブマージドインプラント、シングルステージインプラント**関連語** 2回法インプラント

粘膜を貫通する形状のインプラント体を埋入して、その一部を口腔内に露出しておくインプラントシステムのこと。オッセオインテグレーション成立までの間の荷重を防ぎ、粘膜貫通部からの感染のリスクを少なくする目的を有する2回法インプラントと比べて、2回目の手術が不要になる利点がある。1回の埋入手術で上部構造製作に移行することで、1回法インプラントはもちろん、2回法インプラントにおいても、インプラント体埋入手術時にヒーリングアバットメント（キャップ）を装着し、1回法インプラントに準拠する場合がある。現在では、症例に応じて埋入術式を使い分けている。

73 異物巨細胞 いぶつきよさいぼう

foreign body giant cell

生体組織内に異物が介在すると、生体はこれを排除しようとする。このとき、異物を処理するために、マクロファージが異物の周囲に出現してこれを貪食する。マクロファージが融合して多核巨細胞を形成

し、異物巨細胞として異物を処理する。

74 異物反応 いづつはんのう

foreign body reaction

体外から侵入した異種物質あるいは生体内で形成された病的産物が生体組織内に介在すると、これらに対して貪食と吸収、肉芽組織による器質化や被包が起こる現象のこと。

75 イミディエイトプロビジョナルインプラント

いみでいえいとがろびじよなるいんぷらんと

immediate provisional implant

⇒ 492 暫間インプラント

76 イミディエイトローディング

いみでいえいとろーでいんぐ

immediate loading

⇒ 774 即時荷重

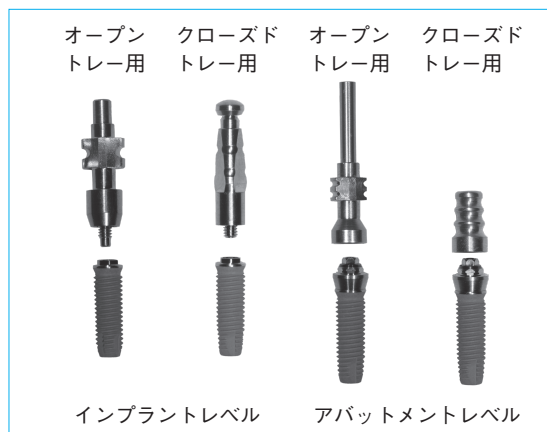
77 印象用コーピング いんしょうようこーびんぐ

impression coping, impression transfer coping

同義語 印象用トランスファーコーピング、ピックアップ印象用コーピング、トランスファーコーピング、トランスファーキャップ

関連語 印象用トレー、インプラントレベル印象

インプラント上部構造を製作する際に、インプラントの顎堤内における位置を模型上に再現するための印象採得に用いる器具である。印象法の違いに対応してクローズドトレー印象用とオープントレー印象用がある。また、印象採得するレベルの違いによりインプラントレベルの印象用コーピングとアバットメントレベルの印象用コーピングがある。



図：印象用コーピング

78 印象用トレー いんしょうようとれー

impression tray

印象採得時に印象材を保持するための器具のこと。インプラントの印象採得時に印象用コーピングを印象面に取込むか否かにより2種類に大別される。印象材硬化後に印象用コーピングを印象体の中に取込む場合、口腔内で印象用コーピングのねじを緩めるための穴をトレーに開けておく必要があることからオープントレーとよばれている。一方、印象材硬化後に印象用コーピングを口腔内に残して印象体を外すときに使用するトレーはクローズドトレーとよばれている。

79 インターナルコネクション

いんたーなるこねくしょん

internal connection

同義語 インターナルアバットメント連結、インターナルジョイント、内側性の接続、内部連結

関連語 エクスターナルコネクション

アバットメントとインプラント体の連結様式の名称で、アバットメントがインプラント体の内側に嵌合するタイプのことをいう。インプラント体内部には、回転防止機構が付与されているものがある。アバットメントとインプラント体の嵌合接触面積が比較的大きく、側方圧による応力の集中も少なくなるため、アバットメントスクリューが緩みにくいのが特徴である。インターナル・バットジョイント、インターナル・テーパージョイントなどの連結様式がある。

80 インターナルヘキサゴン

いんたーなるへきさごん

internal hexagon

同義語 内部六角

インプラント体とアバットメントが嵌合するために、インプラント体の内側に刻まれた六角形の回転防止機構のこと。六角形の断面形態をもつアバットメントが、インプラントの内側に強固に連結されるように設計された回転防止機構で、内側性の連結様式をとるシステムは、アバットメントにかかる応力がアバットメントスクリューに集中しにくいいため、スクリューの緩みなどが少ない。

81 インターロイキン いんたーろいきん

interleukin

⇒ 470 サイトカイン

82 インテグレーション いんてぐれーしょん
integration
⇒ **176** オッセオインテグレーション

83 インフォームド・コンセント
いんぷおーむどこんせんと
informed consent

同義語 説明と同意, IC

同意能力のある患者が、自分に対してなされる診療行為について、医師から適切な情報を与えられ、それについて理解し、納得したうえで、自発的に医師に与える同意をいう。インプラント治療時のインフォームド・コンセントを得るためには、インプラントの治療法、その他の歯の欠損補綴の選択肢とそれぞれの利点・欠点、全体の治療計画、手術の詳細とリスク、治療にかかる費用、治療後のメンテナンス、回復後の状態などについてわかりやすく説明する必要がある。

84 インプラント いんぷらんと
implant

体内に埋め込まれる人工物の総称であり、またこれを用いた治療行為のことをインプラントということもある。狭義にはインプラント体のことをいう。

85 インプラントアナログ いんぷらんとあなるぐ
implant analog (analogue)

同義語 インプラントレプリカ

インプラント体を模倣したパーツである。金属製のものも多く、印象用コーピングに接続し、作業用模型を製作する際に用いる。主に技工操作の過程で用いられるため、インプラント体のプラットフォーム周囲のみを忠実に再現した技工用インプラントアナログが使用される。

86 インプラント安定指数
いんぷらんとあんでいしすう

implant stability quotient

同義語 ISQ 値, インプラント安定度指数

インプラントの安定度の客観的評価法として、オステル (Osstell®) という装置を用い、インプラントの共鳴振動周波数分析 (resonance frequency analysis: RFA) を行う方法がある。本法は、インプラント体やアバットメントに取り付けた振動変換器 (transducer) の発する共鳴振動周波数を分析し、インプラント安定指数 (ISQ 値) を非接触的に測定するものである。ISQ 値は、1 ~ 100 の数値で表示され、数値が高いほどインプラントの固定が確実で、安定した状態にあると考えられている。しかし、必

ずしもオッセオインテグレーション (骨結合) の状態を反映するものではない。

87 インプラント維持療法

いんぷらんといじりょうほう

implant maintenance therapy

関連語 インプラント支持療法, インプラントのメンテナンス

インプラント治療後、長期に安定させるための管理をインプラントのメンテナンスという。インプラント周囲組織が安定している場合を維持療法という。

88 インプラントオーバーデンチャー

いんぷらんとおーばーでんちゃー

implant overdenture

同義語 IOD, ISOD, IROD

インプラントに各種のアタッチメントを装着して維持や支持を求め、そのインプラントを被覆する形態の可撤性義歯のこと。通常は無歯顎に対して2~4本のインプラントを支台としインプラントコンプリートオーバーデンチャーとして用いられるが、部分欠損に対して少数本のインプラントを支台としたインプラントパーシャルオーバーデンチャーとすることもある。インプラントに支持を強く求めるときは implant supported OD (ISOD)、維持を強く求めるときには implant retained OD (IROD) として表現されることもある。

89 インプラント窩 いんぷらんとか

implant socket

同義語 埋入窩

ツーピースタイプのインプラントにおいてはインプラント体を、ワンピースタイプにおいてはインプラントの骨内に埋設する部分を埋入するために形成する骨窩洞のこと。

90 インプラントカード いんぷらんとかーど

implant card

同義語 インプラント手帳

インプラント治療の概要 (埋入部位, 埋入手術日, 二次手術日, 関連手術日, 上部構造装着日, インプラント体のメーカーや種類とサイズ, 上部構造の種類や材質と固定様式など) を時系列で記載したカードである。インプラント治療の途中または上部構造装着後に患者に渡し、定期的な検診日と診察所見を追加記入することもある。

91 インプラント界面 いんぷらんとかいめん
implant interface

関連語 インプラント表面

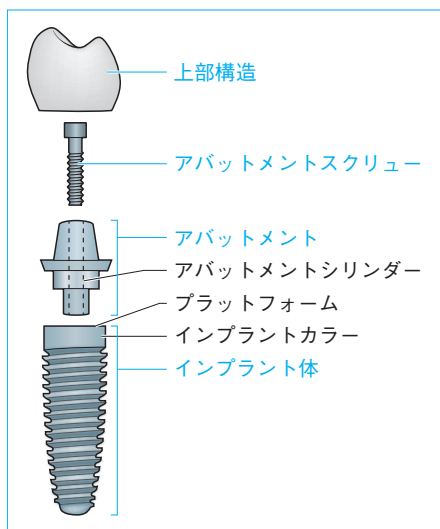
インプラントと生体組織の境界面のこと。口腔インプラントは、骨組織、上皮下結合組織、上皮組織など、さまざまな組織と界面を形成している。

92 インプラント学 いんぷらんとがく
implantology

⇒ **331** 口腔インプラント学

93 インプラントカラー いんぷらんとからー
implant collar

インプラント体軸面の上部 2 mm 程度にあたる部分である。インプラント体のプラットフォームに接する軸面に相当する部位でもあるが、近年はインプラント体の形態もさまざまに明確なカラーの位置を定義するのは難しくなっている。



図：インプラントの構造

94 インプラント義歯 いんぷらんとぎし
implant denture

⇒ **133** インプラント補綴

95 インプラント-骨界面 いんぷらんとこつかいめん
implant-bone interface

⇒ **114** インプラント-組織界面

96 インプラント残存率 いんぷらんとざんぞんりつ
implant survival rate

関連語 Kaplan-Meier 分析, インプラント成功率
生体内に適用されたインプラント体が残存している

る割合のこと。インプラント体の残存を調査する開始時期から、一定の期間内に撤去されずに残存しているインプラント体の割合を示す。一般に、インプラント体の残存分析に用いられる統計的手法として Kaplan-Meier 分析が用いられる。

97 インプラント〔支持〕ブリッジ
いんぷらんと〔しじ〕ぶりっじ

implant-supported bridge

⇒ **110** ボーンアンカードブリッジ

98 インプラント支持補綴装置

いんぷらんとしじほてつそうち

implant-supported prosthesis

⇒ **110** インプラント上部構造

99 インプラント支持療法

いんぷらんとしじりょうほう

implant supportive therapy

関連語 累積的防御療法, インプラント維持療法, インプラントのメンテナンス

インプラントのメンテナンスにおいて、インプラント周囲炎が存在する場合を支持療法 (SPT) と分類する。科学的根拠に基づく支持療法は確立されていないが、臨床的観点から累積的防御療法 (CIST) が評価・対応基準として用いられることが多い。

100 インプラントシステム いんぷらんとしすてむ
implant system

インプラント治療において、共通の目的で使用する装置や人工物のグループのこと。適用する際に使用するすべてのハードウェアと関連器具、装置を含む。

101 インプラント支台 いんぷらんとしだい
implant abutment

関連語 アバットメント

インプラントを構成する要素のうち、インプラント体に固定して、上部構造を直接支持する部分であり、アバットメントのことをさす。

102 インプラント周囲炎 いんぷらんとしゅういえん
peri-implantitis

関連語 インプラント周囲粘膜炎

広義には感染により引き起こされるインプラント周囲組織の炎症状態の総称である。狭義では、その炎症性病変のうち、周囲支持骨の吸収が生じ歯冠側よりオッセオインテグレーションが徐々に失われ進行した状態をいう。周囲軟組織の可逆性の炎症のみ

で骨吸収を伴わない初期の状態はインプラント周囲粘膜炎とよばれる。

103 インプラント周囲溝 いんぷらんとしゅういこう

peri-implant sulcus

同義語 ペリインプラントサルカス

類義語 インプラント周囲ポケット

インプラントと周囲の歯肉粘膜との間の隙間をいう。天然歯における歯肉溝に類似しているが、天然歯とは異なり、インプラントの埋入部位や埋入方法により、周囲粘膜組織が健常時でもその深さは一定していない。また、天然歯とは異なり、溝の底部で結合組織付着のバリアがないため、細菌感染やそれによる組織の炎症が直接下部の骨組織に波及しやすい。病的に深化した状態では、インプラント周囲ポケットという表現も用いられる。

104 インプラント周囲溝滲出液

いんぷらんとしゅういこうしんしゅつえき

peri-implant sulcus fluid

関連語 歯肉溝滲出液

インプラント周囲溝内に周囲の粘膜組織から滲出してくる組織液である。血清成分や好中球などの炎症性細胞、炎症性サイトカインや酵素などの代謝産物、上皮や結合組織の成分とその分解産物、溝内の細菌や細菌成分およびその代謝産物が含まれる。インプラント周囲粘膜の炎症の増大により滲出液量は増加し、炎症に伴う各種のサイトカインや酵素などの成分がより多く検出されるようになる。インプラント周囲溝内の自浄・抗菌作用の役割を有する。

105 インプラント周囲組織

いんぷらんとしゅういそしき

peri-implant tissue

天然歯とは異なり、インプラントは骨組織に直接植立されオッセオインテグレーションしているもので、歯根膜組織はなく、骨組織、歯肉上皮組織、歯肉結合組織のみから構成される。

106 インプラント周囲組織検査

いんぷらんとしゅういそしきけんさ

peri-implant tissue examination

関連語 改良歯肉炎指数、改良プラーク指数

インプラント周囲組織に関連するさまざまなトラブルを早期の段階で発見するために行う検査で、①プラークコントロールの状態 (mPI: modified plaque index, 改良プラーク指数)、②インプラント周囲粘膜の炎症状態 (mGI: modified gingival index, 改良歯肉炎指数)、③インプラント周囲溝か

らの滲出液の状態、④ probing pocket depth の状態 (bleeding on probing 含む)、⑤インプラントの動揺度、⑥エックス線検査、⑦咬合状態、⑧歯周病関連細菌検査、などがある。

107 インプラント周囲粘膜

いんぷらんとしゅういねんまく

peri-implant mucosa

インプラント周囲の歯肉粘膜組織をいう。天然歯の場合には接合上皮による上皮性の弱い付着とその下部に歯肉線維による結合織性の強い付着器官が存在するが、インプラント体においては、接合上皮とその下部に結合線維が平行して走行しており、天然歯のような強い付着は存在しない。

108 インプラント周囲粘膜炎

いんぷらんとしゅういねんまくえん

peri-implant mucositis

関連語 インプラント周囲炎

インプラント周囲の炎症および組織破壊の進行が初期状態のもので、周囲粘膜組織の可逆性の炎症のみで骨吸収を伴わない状態をいう。

109 インプラント床 いんぷらんとしょう

implant bed

同義語 インプラントサイト

インプラントを埋入する部位 (組織) の総称である。従来は埋入部位の骨量、骨質が重要であるとの考え方に基づいて、主に骨をさすことが多かったが、現在ではこれに該当部位の軟組織を含めて考える。

110 インプラント上部構造

いんぷらんとじょうぶこうぞう

implant superstructure

同義語 インプラント支持補綴装置

関連語 顎顔面補綴

顎骨内に埋入されたインプラント体により支持される補綴装置をいう。スクリュー固定式上部構造あるいはセメント固定式上部構造としては、インプラント支持クラウン、ボーンアンカードブリッジなどがあり、可撤性上部構造としては、インプラントオーバーデンチャーや顎顔面補綴装置がある。

111 インプラントショルダー

いんぷらんとしよるだー

implant shoulder

関連語 インプラントネック

インプラント体の最上部であるプラットフォームの外側縁のこと。埋入深度や隣在歯との距離測定の

指標として使用される。

112 インプラントスレッド いんぷらんとすれっど
implant thread

インプラント体表面の突出形状で、スクリュー形態にデザインされたインプラント体の外側表面にらせん状にねじ切りされた形状のこと。ねじ山の高さ、厚さ、ピッチ、面角、ねじれ角により、インプラント体ごとに形状はさまざまに異なる。基本的な形状としては、Vねじ、のこ歯ねじ、角ねじなどがある。らせんの切り方により、一条ねじ、二条ねじ、三条ねじがある。

113 インプラント成功率 いんぷらんとせいこうりつ
implant success rate

関連語 インプラントの成功基準、インプラント残存率、Kaplan-Meier 分析

研究や臨床試験において、計画に規定された成功基準に従ってインプラントが成功した割合のこと。一般に、設定されたベースラインから特定の期間まで、事前に定義された基準に基づく成功インプラントの割合を推定値として表す累積成功率が用いられる。残存率とは異なり、インプラント本数ベースの成功率と症例ベースの成功率があり、近年では症例ベースの成功率が重要視されている。

114 インプラント-組織界面

いんぷらんとそしきかいいめん
implant-tissue interface

生体組織とインプラント体、アバットメント、上部構造の接触面のこと。生活骨と荷重を担うチタンインプラント表面の間（インプラント-骨界面）にはオッセオインテグレーション、すなわち秩序だった構造的機能的な直接接触が獲得される。インプラント-軟組織界面の周囲軟組織内では、結合組織線維はインプラント面に対して平行に走行しており、天然歯における結合織性付着と比較して弱いと考えられる。また、インプラント周囲歯肉溝の基底部には、単層または数層の非角化細胞で構成される接合上皮が存在する。

115 インプラント体 いんぷらんとたい
implant body

インプラント治療において骨の中に植立する人工歯根のこと。インプラントシステム内の他のコンポーネントがスクリュー固定などで支持される。

116 インプラント体-アバットメント界面

いんぷらんとたいあぼつとめんとかいいめん
abutment-implant interface

同義語 アバットメント-インプラント体界面

アバットメントとインプラント体上部部辺縁が連結する部分のこと。界面には、微視的な間隙（マイクロギャップ）が存在するとされる。

117 インプラント体のスタック

いんぷらんとたいのすたっく
stucked implant

インプラント埋入手術においてインプラント体が埋入窩の骨組織と緊密に嵌合して、インプラント体をさらに深く埋入することができなくなった状態のこと。埋入窩の骨組織が緻密な場合や、形成した埋入窩が浅かったり埋入窩の直径が細い場合、あるいは埋入トルク値が低い場合に生じやすい。

118 インプラント体の破折

いんぷらんとたいのはせつ
implant fracture

インプラント体の物理的破壊のこと。インプラント体に過度の咬合力が加わることや、埋入手術時に過度の力が加わることにより、インプラント体に亀裂や破断が生じることがある。そのため、咬合力負担の大きい臼歯部の症例やインプラント体の直径が細い場合に破折のリスクが高まる。物理的に破折したインプラント体の修理は不可能であり、除去することが第一選択となる。

119 インプラント直径 いんぷらんとちよっけい

implant diameter

インプラント体の中心を通しての水平軸の長さのこと。インプラント体にはさまざまな直径と長さがあり、サイズは各インプラントメーカーで異なる。直径を表す記号はφである。一般にねじ山部で計測される。

120 インプラント-軟組織界面

いんぷらんとなんそしきかいいめん
soft tissue-implant interface

⇒ **114** インプラント-組織界面

121 インプラントネック いんぷらんとねっく

implant neck

同義語 インプラント頸部

一般にインプラント体のうち骨内埋入部上方の粘膜貫通部分を指し、多くは機械研磨されているカラー部分である。プラットフォームシフティングを

採用したシステムでは、インプラント体はすべて骨内に埋入され、プラットフォームより短径のアバットメントが装着されるようになっており、その歯肉貫通部がネックに相当する。

122 インプラントのオーバーロード

いんぷらんとのおーばーろーど

overloading

関連語 咬合性外傷

インプラントに対し、許容範囲を超えた過大な咬合力が加わること。アバットメントスクリューの緩みや破折、前装材料の破折やフレームワークの破折などを含めた上部構造の破損を起こす可能性や、インプラント体の破折やインプラント周囲骨の吸収、オッセオインテグレーションの喪失を起こす可能性がある。現在、オーバーロード単独でインプラント周囲骨の減少が生じるかどうかは明らかにはなっていない。

123 インプラントの後期喪失

いんぷらんとのこうきそうしつ

late implant loss, late implant failure

関連語 インプラントのオーバーロード

オッセオインテグレーションを獲得し、最終上部構造が装着され機能を開始したインプラントが、何らかの原因で機能を失い、除去に至ることをいう。このタイプの喪失は、インプラント周囲炎あるいはオーバーロード（負担過重）などが主な原因とされている。

124 インプラントの成功基準

いんぷらんとのせいこうきじゅん

implant success criteria, criteria for success of implant

インプラント治療計画で治療が成功したと評価する際に用いる条件である。例えばトロント会議(1998年)の基準があり、以下の要件をすべて満たしていることが必要である。①インプラントは患者と歯科医師の両者が満足する機能的、審美的な上部構造をよく支持している。②インプラントに起因する疼痛、不快感、知覚の変化、感染の徴候などが無い。③臨床的に検査するとき、個々の連結されていないインプラントは動揺しない。④機能開始1年以降の経年的な1年ごとの垂直的骨吸収は平均0.2 mm以下である。

125 インプラントの早期喪失

いんぷらんとのそうきそうしつ

early implant loss, early implant failure

最終上部構造装着の前に、何らかの原因（感染、オーバーヒート、初期固定不足など）でインプラントが除去に至ることをいう。このタイプの喪失は、オッセオインテグレーション獲得不全が主な原因とされている。

126 インプラントの喪失

いんぷらんとのそうしつ

implant loss, implant failure

インプラント体が体外に取り出されたことをいう。主に、インプラント体の破損、オッセオインテグレーションを獲得できなかった場合、オッセオインテグレーションを喪失した場合などに生じる。

127 インプラントの動揺〔度〕

いんぷらんとのどうよう〔ど〕

implant mobility

関連語 インプラント安定指数

インプラントに力が加わったときの近遠心的、頬舌的、垂直的あるいはこれらの複合的な動きのこと。これを測定する方法として、肉眼的な観察、ペリオテストを用いた測定、ISQ値（インプラント安定指数）の測定などが用いられる。

128 インプラントの配置

いんぷらんとのはいち

implant configuration

最終上部構造に対する埋入インプラントの三次元的位置関係のこと。インプラント埋入本数と埋入位置も包含する。患者の咬合状態や咬合力、埋入部位の骨の状態を総合的に診断し、埋入本数と埋入位置を考慮する。

複数歯欠損症例において欠損歯数と埋入本数が異なる場合はインプラント埋入本数と埋入位置を含む。配置の決定に際しては個々の患者の咬合状態や咬合力、埋入部位の歯槽骨の骨量や骨質などを総合的に判断し、構造力学的に安定しうる必要十分な埋入本数と埋入位置を考慮する必要がある。

129 インプラントのメンテナンス

いんぷらんとのめいんてなえんす

implant maintenance

関連語 インプラント維持療法、インプラント支持療法

インプラント治療終了後にインプラントを含めた口腔内を長期にわたり安定させるための検査や治療法（療法）のこと。定期検診、維持療法（maintenance therapy）、支持療法（supportive therapy）を含め

た全般的な意味合いで用いる。維持療法 (maintenance therapy) はインプラント周囲組織が安定しているときに行う治療法で、支持療法 (supportive therapy) はインプラント周囲粘膜炎やインプラント周囲炎が存在するときの治療法である。

130 インプラントパーシャルデンチャー

いんぷらんとぱーしゃるでんちゃー

implant removable partial denture

同義語 IRPD, ISRPD, IRRPD, IARPD

インプラント、残存歯、顎堤粘膜の三者により支持される可撤性義歯のこと。インプラントにサベイドクラウンを装着してパーシャルデンチャーの支台とする場合もあるが、少数本のインプラントにアタッチメントを装着し、パーシャルオーバーデンチャーとする場合が多い。インプラントに支持を強く求めるときは implant supported RPD (ISRPD)、維持を強く求めるときには implant retained RPD (IRRPD)、維持、支持、把持を求めるときには implant assisted RPD (IARPD) として表現されることもある。

131 インプラント表面 いんぷらんとひょうめん

implant surface

関連語 インプラント界面

生体組織などの液体や固体ではなく、気体 (主に大気) とインプラントとの境界面のこと。すなわち、何も介在させずに外側から観察できるインプラント界面をインプラント表面とよぶ。

132 インプラント表面構造

いんぷらんとひょうめんこうぞう

implant surface structure

類義語 インプラント表面形状、インプラント表面性状

インプラント表面の性質をいい、表面形状と表面性状 (物理化学的性質) に大別される。インプラント表面の生体反応を理解するためには、この二つの性質を知る必要がある。表面形状 (表面の凹凸) は、細胞の伸展・配列や細胞付着に関係する細胞動態、および細胞の発現形態に重要な役割を果たす。表面性状は表面の物理化学的性質を、具体的には表面のぬれ性 (表面エネルギー、接触角)、荷電状態、比誘電率、あるいは摩擦係数であり、生体材料へのタンパク吸着、細菌あるいは細胞付着に影響を与える。

133 インプラント補綴 いんぷらんとほてつ

implant prosthesis

同義語 インプラント義歯

欠損補綴において、何らかの形でインプラントを用いる補綴方法のこと。また、インプラントを用いる補綴装置そのものをさす場合もある。

134 インプラントリムーバー

いんぷらんととりむーばー

implant remover

同義語 インプラント除去器

関連語 トレフィンバー

インプラント体を骨内から除去する際に用いる専用の器具のこと。インプラント体の除去が必要となった際、インプラント体の内ねじに噛み込むようなインプラント除去専用の器具を用いて逆トルクをかけてスクリュータイプのインプラント体を除去するものが多い。

135 インプラントレプリカ いんぷらんとれぷりか

implant replica

⇒ **85** インプラントアナログ

136 インプラントレベル いんぷらんとれべる

implant level

関連語 アバットメントレベル、インプラントレベル印象、骨レベル、プラットフォーム

インプラント埋入後、印象採得から上部構造装着までの補綴治療をプラットフォームを基準とすること。

137 インプラントレベル印象

いんぷらんとれべるいんしゅう

implant level impression

関連語 インプラントレベル

インプラント補綴に際して、個々のインプラント体の位置関係を記録する方法。アバットメント装着下に行うアバットメントレベル印象と対比して用いられる。上部構造の製作にあたり補綴方法選択の自由度に優れており、ラボサイドにおいて咬合器上でのアバットメント選択が可能である。しかし、印象用のパーツをインプラント体に装着して行う必要があるため印象操作は煩雑になる。また、2回法インプラントにおいては印象用パーツとの連結部が歯肉縁下 (骨レベル近く) になるため口腔内での連結状態の検査が困難であり、印象前にデンタルエックス線撮影などでの連結状態確認を行うこともある。

う

138 Wolff の法則 うおるふのほうそく

Wolff's law

19世紀にドイツの解剖学者 Wolff が提唱したもので、骨は荷重ストレスが加わると、これに抵抗するのに最も適した構造に改築、改変されるという法則である。

139 後向きコホート研究

うしろむきこほーとけんきゅう

retrospective study

同義語 後向き研究**関連語** 前向きコホート研究

疫学研究における研究デザインの一方法で、最初に症例を選び、症例と性別や年齢などのそろった対照を選んで、両者の違いなどを過去にさかのぼって(後向きに)調査する方法のこと。

え

140 エアアブレーション えああぶれーじょん

air abrasion

同義語 エア・アブレーション, エアポリッシング**関連語** グリシンパウダー

歯の沈着物の除去に用いる粉霧清掃機器のこと。高圧のエアと水で研磨剤の粉末を粉霧することにより、その摩擦力で色素を含む沈着物を物理的に除去する。粉末には、炭酸カルシウム、グリシンパウダーなどが使用される。インプラント周囲炎にも応用され、汚染されたインプラント表面の除染にβ-TCPパウダーが用いられることがある。

141 AED えーいーでいー

automated external defibrillator

同義語 自動体外式除細動器

心室が痙攣し血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器である。機械自体に心電図解析装置が装備され、自動的に除細動が必要か否かを判断する。

142 ANS えーえぬえす

anterior nasal spine

⇒ 759 前鼻棘

143 AFG えーえふじー

autologous fibrin glue

⇒ 304 血液由来成長因子を利用した再生療法

144 ABM えーびーえむ

anorganic bovine mineral

ウシ骨を長時間の高温処理と強アルカリ液で処理した無機成分である。歯周病などによる骨欠損部に移植される。原料のウシは過去に BSE (牛海綿状脳症) の発症歴のない国で、病原体の異常なタンパク粒子であるプリオンの感染リスクがない採取部位を使用しており、さらに高温加熱などの処理によって安全性が高い。

145 エクスターナルコネクション

えくすたーなるこねくしょん

external connection

同義語 エクスターナルジョイント, 外部連結**関連語** インターナルコネクション

アバットメントとインプラントの接合様式の名称で、アバットメントがインプラント体の外側に嵌合するタイプのをいう。上部構造の製作が容易で着脱の自由度が高い反面、アバットメントスクリューが緩みやすく、回転や側方力に対しての抵抗力が弱い。また、微小漏洩からの感染も懸念される。

146 エクスターナルヘキサゴン

えくすたーなるへきさごん

external hex

同義語 外部六角

インプラント体とアバットメントが嵌合するために、インプラント体の外側に刻まれた六角形の回転防止機構である。

147 STL データ えすていーえるでーた

standard triangulated language data

関連語 光学印象

3D 形状のデータをコンピュータに保存するためのファイルフォーマットの一つである。曲面を微細な三角形の集合体として表現するシステムであり、データ構造の単純さと互換性の高さから、歯科における CAD/CAM でも一般的なファイルフォーマットとなっている。自由曲面を扱うことができないという欠点があるが、歯の有機的な形態を表現するには最適とされる。歯科用 CAD/CAM のオープン STL とは、異なるメーカーの装置間でこの STL データをやり取りすることである。

148 エックス線検査 えっくすせんけんさ

X-ray examination (check)

医療においては、電磁波であり、光子であるエックス線を利用した画像検査一般をさす。

149 エックス線CT えっくすせんしーていー

X-ray computed tomography

関連語 歯科用コーンビームCT

被験者に対して薄いエックス線束により多方向から走査を行い、透過したエックス線の強さを検出器で測定しデータをコンピュータで演算処理し、連続した横断像を作成する。寝台を一定速度で移動させながらデータをらせん状に収集（ヘリカルスキャンまたはスパイラルスキャン）し、従来一列であった検出器が体軸方向に複数に配列されたマルチスライスCTが一般的である。歯科用コーンビームCT（CBCT）をこの範疇に包含して表現することがある。

150 エナメルマトリックスタンパク〔質〕

えなめるとりくすたんぱく〔しつ〕

enamel matrix protein

同義語 エナメル基質タンパク〔質〕

類義語 エナメルマトリックスデリバティブ、EMD
歯の発生過程においてヘルトウィッヒ上皮鞘の内エナメル上皮細胞から分泌されるタンパク質のこと。エナメル質の石灰化だけでなくセメント質の形成にも関与している。無細胞セメント質の形成を誘導し、歯根膜および歯槽骨を含む歯周組織の再生を向上させる目的でも使用される。

151 NSAIDs えぬせいす

non-steroidal anti-inflammatory drugs

⇒ **1024** 非ステロイド性消炎鎮痛薬**152 NBM** えぬびーえむ

narrative based medicine

⇒ **926** ナラティブベースドメディシン**153 エピテーゼ** えびてーぜ

epithesis, facial prosthesis

⇒ **208** 顎顔面補綴**154 エビデンスベースドメディシン**

えびでんすべいすどめでいしん

evidence-based medicine

⇒ **54** EBM**155 FEA** えふいーえー

finite element analysis

⇒ **1164** 有限要素法《解析》**156 FGF** えふじーえふ

fibroblast growth factor

⇒ **749** 線維芽細胞増殖《成長》因子**157 FGG** えふじーじー

free gingival graft

⇒ **1166** 遊離角化粘膜移植術**158 FDA** えふでいーえー

Food and Drug Administration

同義語 米国食品医薬品局

アメリカの食品医薬品局の略称である。食品や医薬品、医療機器（生体材料含む）、動物薬、玩具など、消費者が通常の生活を行うにあたって接する機会のある製品について、その許可や違反品の取締りなどの行政を専門的に行うアメリカ合衆国の政府機関である。

159 FDBA えふでいーびーえー

freeze-dried bone allograft(s)

⇒ **815** 脱灰骨**160 エマージェンスプロフィール**

えまーじえんすぷろふあいる

emergence profile

歯冠補綴装置もしくは天然歯の歯肉溝内から遊離歯肉頂または歯頸部1/3までのエリアの立ち上がり角度・カントゥアなどの形態のこと。インプラントに対しても天然歯と同じ概念で用いられる。

161 MRI えむあーあい

magnetic resonance imaging

同義語 磁気共鳴撮像法、磁気共鳴画像

核磁気共鳴 nuclear magnetic resonance (NMR) 現象を利用し、人体を構成する元素の原子核から磁気的な信号を得て断層画像を生成する撮像法である。放射線被曝がなく、軟部組織のコントラスト描出に優れ、組織分解能が高い。

162 MPR えむびーあーる

multiplanar reconstruction

⇒ **813** 多断面再構成画像

163 Er : YAG レーザー えるびうむやくれーざー

Er : YAG Laser

同義語 Erubium : YAG レーザー**関連語** レーザー

2.94 μm の波長を有する固体レーザーで、イットリウム (Y)・アルミニウム (A)・ガーネット (G) からなるザクロ石に属する結晶を母材に、エルビウム (Er) をイオン状態にして一様に混在したものを発振媒体としている。水への吸収性が非常に高く水分を含む組織によく吸収され、組織変性が少ない。軟組織のみならず歯質や骨といった硬組織を蒸散 (ablation) することができる。歯石を蒸散できることもありインプラント周囲炎への応用が期待されているが、照射条件によってはチタンを母材とするインプラント体表面を変化させるので注意が必要である。

164 エレクトロサージェリー

えれくとろさーじゅりー

electrosurgery

関連語 電気メス, ピエゾエレクトリック《エレクトロカル》サージェリー, レーザー

電気的エネルギーを応用した機器を用いて手術する方法をいう。電気メス, レーザーおよびピエゾエレクトリックデバイスなどが用いられる。電気メスは電気を熱エネルギーに変換し、切開, 組織凝固を図る。レーザーは分子, 気体, 物体などを電流や光で刺激して電子を励起状態にして, 光線を誘導放出し, この光エネルギーで組織を切開, 焼灼, あるいは蒸散させる。ピエゾエレクトリックデバイスは, ピエゾ素子に電気を通して起こした三次元超音波振動により硬組織を切削するもので, 軟組織を損傷せず, 骨のみを切削するので, 少ない出血で移植骨採取, 骨切削ができる。

165 炎症 えんしょう

inflammation

生体に加わる有害刺激に対する防御反応である。その原因には生物学的, 物理学および化学的刺激がある。炎症の臨床的 5 大徴候には, 発赤, 熱感 (発熱), 腫脹, 疼痛および機能障害がある。炎症では退行性変化 (変性・壊死), 循環障害と滲出および進行性変化 (増殖性変化) が生じる。炎症は部位, 時期および組織変化による分類がある。時期からは, 急性と慢性に分けられる。組織変化からは, 非特異性炎 (変質性炎, 滲出性炎および増殖性炎) と特異性・肉芽腫性炎に大別できる。歯科で重要なものとして, 好中球主体の滲出性炎である化膿性炎があり, 膿瘍, 蜂窩織炎および蓄膿症の 3 型に分けられる。

166 炎症性吸収 えんしょうせいきゅうしゅう

inflammatory resorption

⇒ **537** 歯根吸収

お

167 横断〔的〕研究 おうだん〔てき〕けんきゅう

cross-sectional study

関連語 縦断〔的〕研究

統計学的調査・解析を伴う科学的な量的研究方法の一つであり, 複数の調査対象者を同時期に調査する観察研究である。これに対し単一の調査対象者を縦の時間軸に沿って継続的に調査する方法を縦断的研究という。

168 嘔吐反射 おうとはんしゃ

gagging reflex

⇒ **63** 異常絞扼反射**169 オーバージェット** おーばーじゅっと

overjet

同義語 水平被蓋

咬頭嵌合位における上顎前歯切縁ならびに上顎臼歯頰側咬頭の下顎歯に対する水平的な被蓋関係のこと。一般的には, 上顎中切歯切縁と下顎中切歯唇面までの水平的距離をいい, 上顎が前方に位置する場合をプラス (+), 下顎が前方に位置する場合をマイナス (-) とする。

170 オーバーバイト おーばーばいと

overbite

同義語 垂直被蓋

咬頭嵌合位における上顎前歯切縁ならびに上顎臼歯頰側咬頭の下顎歯に対する垂直的な被蓋関係のこと。一般的には, 上顎中切歯切縁と下顎中切歯切縁までの垂直的距離をいい, 上顎が下方に位置する場合をプラス (+), 下顎が下方に位置する場合をマイナス (-) とする。

171 オープントレー おーぶんとれー

open tray

⇒ **78** 印象用トレー**172 オーラルリハビリテーション**

おーらるりはびりてーしょん

oral rehabilitation

同義語 咬合再構成

固定性の補綴装置を用いて咬合を再構築し, 顎口

腔系の形態、機能および審美性を回復すること。

173 オクルーザルアプライアンス

おくるーざるあぶらいあんす

occlusal appliance

同義語 バイトアプライアンス, オクルーザルスプリント, 床副子

関連語 ナイトガード

顎機能障害や咬合の改善と診断に暫間的に使用される口腔内装置であり、歯列の咬合面を被覆する可撤性レジン製プレートの総称である。スタビライゼーションアプライアンス、リラクセーションアプライアンス、リポジショニングアプライアンス、ピボットアプライアンスなどがある。インプラント治療においては、ナイトガードとして使用されることがある。

174 オステオトーム おすておとーむ

osteotome

関連語 オステオトームテクニック, リッジエクспанション法, スプリットクレスト法

槌打して骨を押し広げたり、骨切り部の拡大や切斷に用いるノミのこと。インプラントではオステオトームテクニック、リッジエクспанション法、スプリットクレストなどに使用される。

175 オステオトームテクニック

おすておとーむてくにく

osteotome technique

Summers 法ともいわれ、オステオトームを用いた歯槽頂アプローチによる上顎洞底挙上術（ソケットリフト）のこと。最初はオステオトームを用いたため付与された名称であるが、現在では器械器具のいかにかわらずソケットリフト全般を示すこともある。また骨質の弱い上顎骨へのインプラント埋入の際に行われるオステオトームを用いたインプラント埋入窩形成を示す場合もある。

176 オッセオインテグレーション

おっせおいんてくれーしょん

osseointegration

同義語 インテグレーション, 骨結合, 骨性結合

Brånemark による造語である。現在では、光学顕微鏡レベルで骨とインプラント体表面が軟組織を介在せずに接触維持する様相をさすことが多い。インプラント体を顎骨に植立後、インプラント体周囲にオッセオインテグレーションにより治癒が進行して、インプラント体が安定性を獲得することが二次固定（安定）である。

177 オッセオインテグレートッドインプラント

おっせおいんてくれーてっどいんぷらんと

osseointegrated implant

骨と直接的に接触（オッセオインテグレーション）するタイプのインプラントである。骨との直接的接触の達成と持続がインプラントの成功に必要と考えられている。

178 オトガイ下動脈 おとがいかどうみやく

submental artery

顔面動脈の分枝である。顔面動脈が、顎下腺外面で顔面に向かう部位で起こり、下顎底に沿って顎舌骨筋外面上を前走する。その後、顎舌骨筋と顎二腹筋前腹の間を通り、オトガイ下部に分布する。主に顎舌骨筋、顎二腹筋前腹、顎下腺、舌下腺、下顎舌側歯肉などに分布する。

179 オトガイ棘孔 おとがいきよくこう

mental spines foramen

左右オトガイ棘の間にある孔である。この孔には、舌下動脈の分枝が通ることがある。

180 オトガイ孔 おとがいこう

mental foramen

下顎管の開口部で、下顎体外側面に存在する。一般的に、第二小臼歯直下で下顎体のほぼ中央に位置する。下顎管を走行してきた下歯槽神経、下歯槽動・静脈の枝、すなわちオトガイ神経、オトガイ動・静脈が出る。複数の孔がみられることがある。

181 オトガイ神経 おとがいしんけい

mental nerve

下歯槽神経の分枝である。オトガイ孔から出たオトガイ神経は3～4本に分かれ、主に下唇の皮膚、粘膜に分布する下唇枝、オトガイの皮膚に分布するオトガイ枝、口角部の皮膚に分布する口角枝に分枝する。

182 オトガイ神経麻痺 おとがいしんけいまい

mental nerve paralysis

関連語 下歯槽神経麻痺

下歯槽神経の末梢枝であるオトガイ神経が障害された場合、オトガイ部皮膚、下唇、前歯部・小臼歯部歯肉、粘膜に知覚異常が生じる。

183 オフセット配置 おふせつとはいち

offset implant placement

3本以上のインプラント埋入時に、同一直線上に配置しないよう意図的に位置をずらして埋入するこ

とをさす。位置をずらすことで、側方力に対し力学的に有利になるといわれている。

184 オンレーグラフト おんれーぐらふと

onlay graft(s)

同義語 アンレーグラフト

関連語 サドルグラフト

歯槽高径が低い部位に骨高径を増大するためにブロック骨を移植する方法である。移植片(体)はオトガイ部、臼後部、下顎枝部、下顎大白歯部頰側などから採取する。骨ねじなどで移植母床の骨にしっかりと固定する。唇頰側方向にブロック骨を移植する方法を特にベニアグラフトという。

か

185 カーボン繊維 かーぼんせんい

carbon fiber

⇒ **828** 炭素繊維

186 開口障害 かいこうしょうがい

disturbance of mouth opening

関連語 最大開口量

開口運動に制限が生じた病態である。一般的に最大開口量の測定によって診断され、成人においては上下顎中切歯間の距離が40 mm 以下の場合、開口障害といわれる。

187 ガイデッドサージェリー

がいでっどさーじゅりー

guided surgery

インプラント埋入窩形成のためにドリルガイドを用いてドリリングする方法である。ガイドは予定された上部構造を写したCTをもとに、CAD/CAMで製作するものが一般的である。CTデータと歯列模型の情報を合わせて製作する場合もある。ドリルの位置、方向、深さを規定でき、インプラント埋入の正確性が確保できる。ガイドッドサージェリーで埋入したインプラントではあらかじめプロビジョナルを製作しておくことも可能であるが、ドリルガイドの口腔内での正確な再現性が必須である。

188 回転防止機構 かいてんぼうしきこう

antirotation

インプラントに取り付けるアバットメントの回転を防ぎ、方向が一定に保たれるように両者の接合部に備えられた構造である。主として多角形の突起とそれに対応するくぼみをインプラントとアバットメ

ントのそれぞれに配置して、両者を嵌合させることによって効果を得る。

189 回転モーメント かいてんもーめんと

torque

⇒ **911** トルク [値]

190 外部六角 がいぶろっかく

external hex

⇒ **146** エクスターナルヘキサゴン

191 海綿骨 かいめんこつ

cancellous bone

骨の外表面は緻密骨が取り囲み、その内部に存在するのが海綿骨である。海綿骨は多数の骨小柱からなり、骨小柱間の空隙に骨髄が存在する。

192 改良歯肉炎指数 かいりょうしにくえんしすう

modified gingival index

同義語 mGI

関連語 インプラント周囲組織検査

第3回ITIコンセンサス会議(2005)が、Löe & Silnessの歯肉炎指数(GI)を基本として策定したmGIがインプラント周囲粘膜の健康やマージン部の炎症の評価に用いられることが多い。軽圧(0.2~0.3 N)のプロービング圧下でのBOPの診断精度は、天然歯よりも高いと報告されており、インプラント周囲組織の状態変化をモニタリングするうえで中心的な指標である。BOPが認められないことは、インプラント周囲組織が健康で安定していることを意味している。

表：改良歯肉炎指数 (mGI)

mGI0	インプラントに隣接した粘膜縁に沿ってプロービングした際に、出血がない
mGI1	孤立した出血点がみられる
mGI2	インプラント辺縁粘膜に沿った線状の出血
mGI3	著明な出血

193 改良プラーク指数 かいろいろぶらーくしすう
modified plaque index

同義語 mPI

関連語 インプラント周囲組織検査

歯の表面と同様にインプラント表面にはバイオフィームが形成されることから、インプラントのアバットメントや上部構造におけるバイオフィームの付着状況を評価し、恒常的に適正なレベルまで達成、維持させる必要がある。客観的評価法としては、第3回ITIコンセンサス会議(2005)が、Silness & Loeのプラーク指数(PI)を基本として策定したmPIが使用されることが多い。

表：改良プラーク指数(mPI)

mPI0	プラークが認められない
mPI1	インプラント辺縁へのプロービング擦過により検知されるわずかなプラーク
mPI2	肉眼的に確認されるプラーク
mPI3	多量の軟性物質

194 カウンターシンク かうんたーしんく
countersinking

同義語 カウンターボア

インプラント窩形成時にインプラント頸部の形態に適合するように顎骨頂部皮質骨に施される形成のこと。インプラント体が適正な埋入深度に到達するように専用のドリル(カウンターシンクドリル)を使用して形成される。

195 下顎安静位 かがかんせいい
mandibular rest position

⇒ **196** 下顎位

196 下顎位 かがかんい
mandibular position

上顎を含む頭蓋に対する下顎の位置のこと。歯の接触により規定される咬合位(中心咬合位、咬頭嵌合位、偏心咬合位など)、顎関節により規定される顎頭位(中心位、顎頭安定位など)がある。

中心咬合位は、上下顎の咬合面が最大面積で接触、または咬頭嵌合したときの顎位(咬頭嵌合位と同義)、もしくは下顎が中心位で咬合したときの顎位をいう。

中心位は、歯の接触位置とは無関係の顎頭位である。その定義は何度か変遷しており、当初は下顎最後退位とされていたが、最近では下顎窩内で前上方の位置をとるというCelenzaの考え方が一般的であ

る。しかし、現在においても多様な意味を有している。

下顎安静位は、上体を起こして安静にしているときの顎位であり、下顎安静位では、上下の口唇は軽く接しているが、上下の歯は接触しておらず、2~3mmの空隙(安静空隙)がある。咬合高径を決定する際に利用されることもある。

ロングセントリック(intercuspal contact area)とは、中心咬合位(咬頭嵌合位)と下顎最後退位(古い定義における中心位)との間に、咬合高径の変化を伴わず、しかも咬頭傾斜の影響を受けない前後的な自由域をもつ咬合状態をいう。中心咬合位と最後退位を一致させるポイントインセントリックに対する考え方である。

197 下顎運動 かがかうんどう
mandibular movement

上顎を基準としたときの歯列や下顎頭を含む下顎全体の相対的な運動のこと。下顎運動は、基本的下顎運動と機能的下顎運動に分類される。基本的下顎運動には、上下顎歯列の咬合面形態、顎関節、咀嚼筋、靭帯などによって規定される前方、後方、側方への滑走運動、習慣性開閉口運動、タッピング運動および蝶番運動があり、これらの運動は意識的に行うことができる。機能的下顎運動には、咀嚼、嚥下、発音などの生理的運動があり、意識的な運動であるとともに咀嚼運動中枢による反射的な運動としての性質も有している。非生理的な運動としてブラキシズムなどもある。

198 下顎管 かがかん
mandibular canal

下顎孔から始まり、下顎骨中を前走する下歯槽神経。下歯槽動・静脈を通す管である。一般的に下顎孔から前下方へは、舌側よりを走行するが、小白歯部で方向を頬側に変えオトガイ孔に開口する。有歯顎時、神経、脈管が歯へ向かうため、上壁は多孔性で薄い骨壁で構成されるが、無歯顎になると上壁の構造は変化し、骨壁が厚くなる。

199 下顎孔 かがかこう
mandibular foramen

下顎枝内面のほぼ中央に存在する下顎管の入口である。下歯槽神経、下歯槽動・静脈が通る。下顎孔のすぐ前方には下顎小舌が存在し、蝶下顎靭帯の付着部となる。また、下顎孔のすぐ下方には顎舌骨筋神経溝が存在し、前下方に向かって溝を作る。ここには下歯槽神経から分枝した顎舌骨筋神経が通り、この神経は顎舌骨筋、顎二腹筋前腹へ向かう。

200 下顎骨貫通式インプラント

かがくこつかんつうしきいんぷらんと

transmandibular implant

同義語 ステープルボーンインプラント, 骨貫通型インプラント

下顎骨のオトガイ部を下縁から頂部まで貫通するインプラントのこと。下顎骨下縁に適合させるアーチ型のプレートと基底骨から顎骨頂部に向けて挿入する固定スクリューからなる。固定スクリューの先端は口腔内に露出し、補綴装置のアバットメントとして使用される。手術は口腔外からのアプローチにより行われる。

201 下顎枝 かがくし

mandibular ramus

下顎骨の下顎角から上方かつ臼後部から後方の部分をさす。上方は筋突起と関節突起に移行する。内面中央には下顎孔がある。そこから前方に向けて下顎管が骨内を走向する。内面下方部は翼突筋粗面、外面下方部は咬筋粗面がある。下顎枝頰側皮質骨はベニアグラフトやオンレーグラフトのためのブロック骨採取に利用される。

202 下顎神経ブロック かがくしんけいぷろっく

mandibular nerve block

関連語 神経ブロック

特発性三叉神経痛に対する治療法の一つである。下顎神経が頭蓋底の卵円孔から出た部分で100%エタノールまたは高濃度麻酔薬の注入、高周波熱凝固によって下顎神経を破壊する。効果の持続時間は1年半～2年である。

203 過換気症候群 かがんきしょうこうぐん

hyperventilation syndrome

同義語 HVS

精神的緊張や身体的ストレスが原因で発作的に呼吸困難を訴えて過換気となる症候群である。呼吸数および1回換気量の増大から分時換気量が増大する。過呼吸により動脈血二酸化炭素分圧の低下、pHの上昇が起こる。動脈血二酸化炭素分圧の低下は脳血管収縮、脳血流量減少を起こす。さらに、呼吸性アルカローシスは血清中のイオン化カルシウムの低下を招き、手指の硬直などのテタニー症状を呈する。処置として、まずゆっくりとした呼吸を指示する。最近では、紙袋再呼吸法は積極的には推奨されない。

204 角化上皮 かくかじょうひ

keratinized epithelium

重層扁平上皮のうち最表層に角質層が存在する上皮である。口腔粘膜上皮においては、歯肉の接合上皮、歯肉溝上皮および歯槽粘膜上皮は角化していないが、付着歯肉上皮は角化している。

205 顎下腺窩 がかせんか

submandibular fovea, submandibular fossa

下顎骨大白歯部にあり、顎下腺の存在する位置に相当する骨陥凹をいう。パノラマエックス線写真では判読しづらい。インプラント手術に際しては、舌側に穿孔しないように注意が必要である。

206 角化粘膜 かくかねんまく

keratinized mucosa

⇒ **207** 角化付着粘膜**207 角化付着粘膜** かくかふちやくかねんまく

keratinized attached gingiva

同義語 角化粘膜**関連語** 付着粘膜

無歯顎部において表層の上皮が角質化している粘膜組織のこと。臨床的にはインプラント周囲に非可動性の角化粘膜が存在することにより、外力や細菌の刺激に対する周囲組織の抵抗性が増し、インプラント体がより安定することが期待されている。

208 顎顔面補綴 がかがめんほてつ

maxillofacial prosthesis

類義語 エピテーゼ, プロテーゼ

腫瘍や外傷、炎症、あるいは先天性形成不全などが原因で、顔面または顎骨とその周囲組織に大きな欠損が生じた場合に、これらの欠損を非観血的に、人工修復物を装着して失われた機能や形態の回復を図ることをいう。顔面部の欠損を補うものを顔面補綴といい、身体の表面に取り付けるものをエピテーゼとよぶ。顔面エピテーゼには、眼窩部エピテーゼ、耳介エピテーゼなどがある。また、口腔内の顎骨を含めた欠損を義歯で補うものを顎補綴といい、身体の中に埋入する人工物をプロテーゼとよぶ。エピテーゼ、プロテーゼの維持には、身体欠損部のアンダーカットや眼鏡などを補助として用いている方法、さらにアンダーカットのない欠損に対しては、その周囲にインプラントを埋入して、エピテーゼ、プロテーゼを強固に維持する方法がある。

209 顎舌骨筋 がくぜっこつきん

mylohyoid muscle

下顎体内面を後上方より前下方に斜走する顎舌骨筋線より起始する。停止部において後方約1/3は舌骨大角に停止し、前方約2/3は顎舌骨筋縫線に停止する。顎舌骨筋縫線とは、オトガイ棘と舌骨体中央を結ぶ結合組織である。口腔底を構成し、顎舌骨筋の上方に舌下隙、下方に顎下隙を分ける。舌骨を固定したとき、下顎を後下方に引き、開口に役立つ。また、下顎骨を固定したとき舌骨を前方に引き、嚥下運動などに役立つ。下顎神経の分枝である顎舌骨筋神経が支配する。

210 顎堤 がくてい

residual ridge

同義語 歯槽堤

歯を喪失した後にみられる歯槽骨の堤状の高まりのこと。顎堤の高さ（高径）や幅（幅径）はインプラント体の長さや径の選択の基準となる。

211 顎堤形成術 がくていけいせいじゅつ

alveolar ridge plastics

同義語 歯槽堤形成術

抜歯後、残された歯槽骨と粘膜によって形成される堤状の高まりを顎堤といい、凹凸不正であったり、変形してインプラント埋入に相応しない場合に行われる方法を顎堤形成術という。突出部位の骨を削合したり、陥凹部や不足部位では歯槽堤造成術を併用する。

212 顎堤整形 がくていせいけい

orthopedic surgery of alveolar ridge

同義語 歯槽堤整形

歯槽骨に凹凸不正がある場合、突出部を骨パーや骨ノミ、あるいは骨ヤスリを用いてなめらかな形態に修正する処置法である。

213 顎堤造成術 がくていぞうせいじゅつ

alveolar ridge augmentation

関連語 骨増生、骨造成

抜歯後の長期経過や歯周病その他の疾患で吸収し、低くあるいは狭小になった歯槽骨を増大させるための手術法である。GBR法やチタンメッシュに細片自家骨あるいは骨代替材料を用いて移植する方法、オンレーグラフトなどのブロック骨を移植する方法、仮骨延長術などがある。

214 角度許容アバットメント

かくどきょようあばっとめんと

angulation tolerated abutment

関連語 角度付アバットメント

複数のインプラント体をスクリュー固定で連結する際に使用される既製アバットメントをさす。一般的に20°程度の上部構造装着角度の許容能力がある。特に内部連結機構を有するインプラントでは、インプラントレベルでの連結により上部構造の適合精度の確保が困難になりやすく、角度許容アバットメントの使用が推奨される。

215 角度付アバットメント

かくどつきあばっとめんと

angulated abutment

同義語 アングルドアバットメント

既製アバットメントの一種で、インプラントの長軸に対して傾斜した軸をもつアバットメントのこと。インプラント支持補綴装置に審美的に良好な歯冠形態や対合歯との適切な顎間関係を付与するため使用される。通常は補綴装置の頬舌的な傾斜の補正に用いられるが、アバットメント同士の平行関係の補正に使用されることもある。

216 仮骨 かこつ

callus

骨欠損、骨折あるいはインプラント埋入後のインプラント周囲に、骨が新生あるいは治癒するために形成される幼若な骨組織をいう。また、これを線維性仮骨ともよぶ。すなわち、再生部では出血により血腫が形成され、この血腫の中のフィブリンが網目構造を作り、この網目に沿って線維芽細胞や新生した毛細血管が侵入して肉芽組織を作る。この肉芽組織を母地として仮骨が生じ、そこから骨の形成が始まる。

217 仮骨延長術 かこつえんちようじゅつ

distraction osteogenesis

同義語 デистраクション、歯槽骨延長術

骨切りを行い、骨片間に形成された幼若な仮骨を外力により牽引・延長することで骨形成を促す術式である。歯槽骨では垂直歯槽骨延長術と水平歯槽骨延長術がある。小下顎症や上顎劣成長などの顎変形症にも適用される。骨のみでなく被覆する軟組織の延長も同時に行えるのが利点である。骨切りして移動させる骨をトランスポートーションセグメント、延長されるためのねじ付きロッドを含む金属ミニプレート延長器（デストラクター）という。

218 過酸化水素ガスプラズマ滅菌

かさなかすいそがすぶらずまめつきん

hydrogen peroxide gas plasma sterilization

関連語 滅菌, 滅菌法

高減圧下で過酸化水素水を蒸気化し、さらに高周波エネルギーによりプラズマ化し、発生したフリーラジカルで微生物を死滅させる処理である。低温、低湿処理のため、金属のほか、非金属、非耐熱、非耐湿物品にも適用できる。

219 下歯槽神経 かしろうしんけい

inferior alveolar nerve

関連語 オトガイ神経

下顎神経の分枝である。下歯槽神経は、下顎枝内面を下行し、下顎孔から下顎骨中に入る。下顎孔へ進入する直前、顎舌骨筋神経を分枝する。下顎骨内部では下顎管を前走中、臼後枝、臼歯枝などを出す。またオトガイ孔からはオトガイ神経を出す。下顎骨中でオトガイ孔より前方では、切歯枝となり前走する。

220 下歯槽神経側方移動術

かしろうしんけいそくほういどうじゅつ

inferior alveolar nerve lateralization

⇒ **643** 神経移動術**221 下歯槽神経麻痺** かしろうしんけいまひ

inferior alveolar nerve paralysis

関連語 オトガイ神経麻痺

下顎歯槽神経が障害されることによって神経支配領域に知覚異常が出現すること。埋伏智歯抜歯、下顎大白歯部のインプラント埋入、下顎枝からのブロック骨採取などの手術操作で起こり、特に末梢のオトガイ神経が知覚を担当するオトガイ部皮膚、下唇、前歯部・小白歯部歯肉、粘膜に知覚低下が生じる。

222 下歯槽動・静脈 かしろうどうじょうみゃく

inferior alveolar artery/vein

顎動脈の分枝である。顎動脈が下顎枝内面を走行中に分枝され、下歯槽神経に随伴して下顎孔より下顎骨へ入る。下顎孔へ進入する直前に顎舌骨筋枝を分枝し、顎舌骨筋枝は顎舌骨筋、顎二腹筋に分布する。下顎孔から下顎骨中へ進入した下歯槽神経は、下顎管を前走中、歯に向かう歯枝を分枝し、オトガイ孔付近でオトガイ孔から出るオトガイ動脈と切歯枝に分かれる。切歯枝は前歯部へ向かい前走し、前歯に多くの歯枝を出す。下歯槽動脈は各部位で分布後、下歯槽静脈となり下顎孔から出る。

223 下唇麻痺 かしんまひ

lower lip paralysis

⇒ **221** 下歯槽神経麻痺**224 カスタムアバットメント**

かすたむあばとめんと

custom abutment

類義語 鋳接アバットメント**関連語** アバットメント, UCLA アバットメント, CAD/CAM アバットメント

個々のインプラント体ごとにしつらえたアバットメントのこと。鋳造や機械加工によって必要な形態に造形する。適切なインプラント上部構造を製作する際に、既製アバットメントでは対応が難しい場合に用いられる。カスタムアバットメントにより適正なアバットメント外形の獲得、アバットメントの軸の修正、上部構造の頸部辺縁位置の調整が可能である。

225 仮着用セメント かちやくようせめんと

temporary cement

歯冠補綴装置やインプラント上部構造をセメント合着する前に、後から容易に取り外せるように仮に合着させるために用いるセメントである。ユージノール系、非ユージノール系、カルボン酸系、レジン系セメントに大別される。

226 合併症 がっぺいしょう

complication

関連語 併発症, 偶発症

ある病気が原因となって起こる別の病気のこと。例えば、糖尿病の場合、動脈硬化や脳梗塞などが合併症となる。

227 可撤性上部構造 かつせいじょうぶこうぞう

removable implant-supported prosthesis

同義語 可撤性インプラント支持補綴装置**類義語** 可撤性インプラント補綴装置**関連語** 固定性上部構造, インプラントオーバーデンチャー

インプラントにより支持される補綴装置のうち、患者あるいは術者による取り外しができるものをいう。インプラント体に連結したアタッチメントを維持もしくは支持として用いるインプラントオーバーデンチャーや可撤性ブリッジがある。

228 可動粘膜 かどうねんまく

movable mucous membrane, movable mucosa

⇒ **340** 口腔粘膜

229 カバースクリュー かばーすくりゅー

cover screw

同義語 封鎖スクリュー**類義語** ヒーリングアバットメント, ヒーリングキャップ, ヒーリングスクリュー

インプラント埋入手術時にインプラント体に装着するスクリューのこと。アバットメント取り付け用のスクリューホール内に血液や組織液が浸入、停滞することを防ぎ、術後の良好な治癒を促進することとインプラントプラットフォーム上の骨被覆を防ぐことを目的として使用される。二次手術時にアバットメントと交換される。

230 カバースクリューミル かばーすくりゅーみる

cover screw mill

関連語 カバースクリュー

二次手術時にカバースクリューを除去する際、カバースクリュー上に形成された骨組織を除去するためのインストゥルメントである。カバースクリューの上から圧接しながら回転させ、内面にある刃部で骨を削除する。

231 Kaplan-Meier 分析 かぷらんまいやーぶんせき

Kaplan-Meier analysis

関連語 インプラント残存率, インプラント成功率
 一般に2群の生存率の差を推定する統計的手法であり、横軸に時間軸を、縦軸にイベント（死亡）の発生率を取ってグラフ化する。縦軸上に表される値は累積生存率とよばれる。インプラントでは残存率を表す。

232 ガミースマイル がみーすまいる

gummy smile

⇒ **1181** リップライン**233 ガム模型** がむもけい

gum silicone mold, silicone gum, silicone gum rubber, soft-tissue replica

同義語 シリコンガム模型**関連語** インプラントアナログ, アバットメントアナログ

インプラントアナログ(アバットメントアナログ)の周囲に、歯肉形態を再現した可撤性のシリコンゴムのある上部構造製作用の作業用模型のこと。ガム模型の歯肉部分(シリコンゴム)は石膏模型から容易に着脱できる。適切なエマージェンスプロファイルが調整可能で最適な形態を上部構造に付与することができる。また、インプラントアナログ(アバットメントアナログ)と適合性の高い上部構造を

製作するために有用である。

234 ガラスセラミックス がらすせらみっくす

glass ceramics

同義語 結晶化ガラス**類義語** 生体活性セラミックス**関連語** 生体活性ガラス

バイオセラミックスの一種で、熱処理などによって結晶化したガラスである。 casting や射出成形ができるキャストブルセラミックスであることから、強度にも優れ歯冠補綴材料として用いられている。

235 顆粒骨移植 かりゅうこついしょく

morselized bone graft

⇒ **475** 細片骨移植**236 ガルバニー電流** がるばにーでんりゅう

galvanic current

口腔内や生体内で異種金属が接触したときに、唾液、組織液などが電解質となって外部回路が形成されて電池ができ、その結果流れる電流である。例えば、イオン化傾向の異なる金属をインプラント体とアバットメントや上部構造に使用した場合などに出現することがある。

237 緩圧型アタッチメント

かんあつがたあたっちめんと

stress-breaking attachment

⇒ **1197** ロケーターアタッチメント**238 緩圧機構** かんあつきこう

relief system

アバットメントとインプラント体の間に、主に樹脂製の部品をスペーサーとして組み込むことにより、上部構造に咬合力が加わった際に適度な変形を認める機構のこと。インプラントと天然歯を上部構造によって連結する場合、両者は被圧変位量が異なるため、咬合時の力学的挙動を補正することを目的としている。生体力学的には妥当であるが、短期間での構造体の劣化など問題点も多く、現在ではほとんど用いられていない。

239 眼窩下孔 がんかかこう

infraorbital foramen

上顎骨体前面で、眼窩下縁の下方に存在する。眼窩下神経、眼窩下動・静脈を通す眼窩下管の出口であり、下内方に開く。眼窩下孔のすぐ下方には犬歯窩が存在することから、皮膚上で部位を触知することは容易である。前歯部の小手術時、伝達麻酔をこ

の部位に施すことがある。

240 眼窩部エピテーゼ がんかぶえびてーぜ
orbital prosthesis
⇒ **208 顎顔面補綴**

241 幹細胞 かんさいぼう
stem cell

関連語 ES細胞, iPS細胞

組織, 器官の再生および維持に必要な細胞を供給できる母細胞のこと。種々の細胞に分化できる多分化能と自己複製能をもつ。ES細胞やEG細胞の胚性幹細胞と多くの臓器に存在する体性幹細胞があり、後者である間葉系幹細胞は骨再生医療に応用されている。

242 患者主導型治療 かんじゃしゅどうがたちりょう
patient-led implant treatment

関連語 外科主導型治療, トップダウントリートメント

口腔内全体における機能的・審美的な補綴装置の設計やオッセオインテグレーションの獲得だけでなく、外科的侵襲度・治療期間・治療費などの要素に可能な限り患者の要望を反映させること。

243 患者立脚型アウトカム

かんじゃりっきやくがたあうとかむ

patient-based outcomes

患者の主観的な評価指標である。QOL, 主観的な健康状況, 治療に対する満足度などが評価の対象となる。

244 カンチレバー かんちればー
cantilever

同義語 延長ブリッジ

類義語 遊離端ブリッジ

片持ち梁の意味で、ポンティックの1側にのみ、支台が存在するブリッジの構造（カンチレバーブリッジ）をさす。

245 カントゥア かんとうあ
contour

歯冠・上部構造の概形を意味する。特に頬舌側の豊隆形態を示すことが多い。適正なカントゥアに対して、豊隆が大きいものをオーバーカントゥア、豊隆が小さいものをアンダーカントゥアという。

246 カンペル平面 かんぺるへいめん
Camper's plane
⇒ **259 基準平面**

247 顔面インプラント がんめんいんぷらんと
facial implant

関連語 顎顔面補綴

エピテーゼを支持, 維持させるための歯科用インプラント装置もしくは処置のこと。エピテーゼの支持および維持に対して, 従来の接着法, アンダーカットの利用などよりも高い効果が得られる。

248 顔面神経麻痺 がんめんしんけいまひ
facial palsy

関連語 Bell麻痺

顔面神経（第7脳神経）障害によって起こる機能不全である。症状として表情筋の運動（閉眼, 口唇突出, 口角牽引, 頬ふくらませ, 鼻翼運動）不全, 味覚障害（舌前方2/3の味覚を担当する鼓索神経障害）, 涙量・唾液量減少, 聴覚異常がある。

249 間葉系幹細胞 かんようけいかんさいぼう
mesenchymal stem cell

関連語 歯髄幹細胞, 脂肪幹細胞

間葉系組織に存在する体性幹細胞のこと。間葉系に属する細胞（骨細胞, 軟骨細胞, 脂肪細胞など）への分化能をもつ。骨や血管, 心筋の再構築などの再生医療への応用が期待されている。骨髄間質細胞が分化誘導されることにより, 間葉系に属する細胞（骨細胞, 心筋細胞, 軟骨細胞, 腱細胞, 脂肪細胞など）になる。

250 間葉系細胞 かんようけいさいぼう
mesenchymal cell

間葉は, 個体発生の初期に内胚葉・外胚葉間の細胞から生じる非上皮性組織である。間葉系結合組織は, 胚葉から派生する未分化結合組織の一種である。間葉系細胞は, 骨, 軟骨, リンパ系, 循環器系などの結合組織に分化することができる。

き

251 キーアンドキーウェイ きーあんどきーうえい
key and keyway

主として半固定性ブリッジに用いるスライド型連結装置の一つで, インプラント体と天然歯を連結する際に用いられることがある。一般に支台の隣接面歯冠内にレール状に設けられたキーウェイ〔マト

リックス (フィメール)] と、これと嵌合するようにポンティック部に設けられたキー [パトリックス (メール)] から構成される。キーアンドウェイの緩衝によって、インプラント体の咬合圧負担を減じることができるといわれている。

252 機械研磨 きかいけんま

mechanical polishing

切削工具を用いた形態修正に引き続き、ダイヤモンド、炭化ケイ素などの砥粒を用いた研削操作により、被研磨物の表面を荒研磨、中研磨、仕上げ研磨と表面粗さを順次小さくしながら平滑にしていく操作である。

253 機械研磨インプラント表面

きかいけんまいんぷらんとひょうめん

machined implant surface

同義語 機械加工インプラント表面

⇒1032 表面処理

254 機械的強さ きかいてきつよさ

mechanical strength

関連語 圧縮強さ、引張強さ、曲げ強さ、せん断強さ

物質に荷重を付与した際、破壊に要した最大応力のこと。最大荷重値を試験片断面積で除した値であり、単位は Pa で表す。

255 気管切開 きかんせつかい

tracheotomy

経気管的にカニューレを挿入するため、気管とその上部の皮膚を切開する術式である。通常は気管挿管による気道確保が行われたうえで実施される。インプラント手術に関連し、咽頭部の出血や浮腫などによる上気道狭窄を生じた場合には、早急に実施される必要がある。また急激に上気道閉塞が進展し、気管挿管が困難な場合には、緊急気管穿刺（輪状甲状膜穿刺）が実施される。

256 技工用アナログ きこうようあなるぐ

laboratory analog (analogue)

⇒ 30 アバットメントアナログ, 85 インプラントアナログ

257 技工用デスクトップスキャナー

きこうようですくとつぷすきゃな—

desktop scanner

関連語 光学印象

石膏によって製作された作業用模型をスキャン

(光学印象) する装置である。インプラント治療においては、サージカルガイドプレートや上部構造の製作などに利用されている。

258 気孔率 きこうりつ

porosity rate

骨補填材、スキャフォールド、石膏硬化体、陶材焼成体、鑄造体などに存在する気孔の全体積に占める割合である。外部に通じている気孔のみの割合はみかけ気孔率、外部に通じていない気孔も含める場合は真気孔率とよばれる。

259 基準平面 きじゅんへいめん

basal plane, reference plane

人工歯排列など欠損補綴において歯列を再構築する際に基準となる平面のこと。咬合平面〔下顎左右中切歯の切縁の midpoint (切歯点) と下顎第二大臼歯遠心頰側咬頭頂を基準とした平面〕、フランクフルト平面 (顔耳平面: 眼窩下縁最下点と両外耳道上縁を結ぶ平面)、カンベル平面 (鼻聴道線: 鼻翼下縁点と左右耳珠上縁点を含む平面) などが用いられる。咬合平面とカンベル平面はほぼ平行とされる。

260 既製アバットメント きせいあばつとめんと

prefabricated abutment

関連語 アバットメント、カスタムアバットメント
直径・高径およびインプラント埋入軸に対する角度が規格化されたアバットメントであり、スクリュー固定用やセメント固定用、単独歯用やブリッジ用がある。埋入されたインプラントの直径と粘膜炎の厚みとを基準に、サイズを選択して装着される。

261 規定トルク きていとるく

specified torque

類義語 設定トルク、標準トルク、適正トルク

インプラント体埋入時に加わる力、上部構造およびアバットメントスクリューを締めつけたり緩めたりする力の一定の適正值である。単位は N・cm で表す。各インプラントメーカーによって規定トルク値は異なる。

262 逆トルク ぎゃくとるく

reverse torque

同義語 逆回転力

逆回転させる力のモーメントのこと。インプラントでは、インプラント体を骨外から取り出す、アバットメントを取り外す際に要する。

263 キャスタブルセラミックス

きゃすたぶるせらみっくす

castable ceramics

関連語 ガラスセラミックス

補綴装置に用いるセラミックスのうち、金属と同様に高温で流動化し、鑄造によって任意の形態を付与することができるガラスセラミック材料のこと。

264 CAD/CAM きゃどきやむ

computer-aided design/computer-aided manufacturing

同義語 コンピュータ支援設計/製造**関連語** 光学印象

形状読取装置（三次元スキャナー）によって、作業用模型や口腔内の形状を直接読み取り、コンピュータと各種ソフトによってデジタルデータに基づいて製作物の設計を行い、デジタル制御された切削加工装置によってこれを製作する方法である。製作が鑄造によらないため、優れた物理的特性が確保でき、アバットメントや上部構造を製作する際に用いられることが多い。

265 CAD/CAM アバットメント

きゃどきやむあばつとめんと

CAD/CAM abutment

関連語 カスタムアバットメント, CAD/CAM

CAD/CAM システムによって製作されるインプラントのカスタムアバットメントのことをいう。チタン合金やジルコニアなどを使用することが多い。

266 吸収【小】窩 きゅうしゅう【しょう】か

resorption lacuna

⇒ **969** ハウシップ窩**267 吸収性生体材料**

きゅうしゅうせいせいたいざいりょう

resorbable biomaterial

⇒ **710** 生体材料**268 吸収性セラミックス**

きゅうしゅうせいせらみっくす

resorbable ceramics

関連語 β -TCP

インプラントや骨補填材として利用されるセラミックスの中で、長期の埋入後に生体内で分解・吸収されるセラミックスのこと。代表的なものに β -リン酸三カルシウム（ β -TCP）がある。

269 吸収性縫合糸 きゅうしゅうせいほうこうし

resorbable thread

⇒ **1103** 縫合**270 吸収置換型材料** きゅうしゅうちかんがたざいりょう

resorbable and replacement material

生体組織内に埋入された後、吸収されると同時に移植部に生体組織の再生が起こり、移植された材料が吸収されて、最終的に生体組織に置き換わる生体材料のこと。 β -TCPや炭酸アパタイトなどがあげられる。

271 供給側 きょうきゅうそく

donor site

⇒ **905** ドナーサイト**272 頬骨インプラント** きょうこついんぷらんと

zygomatic implant

⇒ **462** ザイゴマインプラント**273 矯正用インプラント** きょうせいよういんぷらんと

orthodontic implant

顎骨内に埋入された矯正治療のための固定源をインプラントアンカーとよび、固定源となる人工物をアンカーインプラントとよぶ。本インプラントを用いた矯正治療をアンカーインプラント矯正またはインプラントアンカー矯正とよぶ。アンカーインプラントとして、スクリュー、ミニプレート、デンタルインプラントが用いられている。従来の歯を固定源としたものと異なり、顎骨に固定源を求めめるため、より強固な固定が期待できる。

274 共鳴振動周波数分析

きょうめいしんどうしゅうはすうぶんせき

resonance frequency analysis (RFA)

⇒ **86** インプラント安定指数**275 局所的禁忌症** きよくしよてききんぎしょう

regional contraindication

関連語 全身の禁忌症, リスクファクター

インプラント治療に対して多くの局所的リスクファクターがあり、その種類および程度により「絶対的禁忌症」と「相対的禁忌症」に分けられる。局所的リスクファクターは以下の検査により評価される。

欠損部の検査：欠損部の顎堤の幅、顎堤の形態、欠損部と対合歯のクリアランス、欠損部の近遠心間隙、隣接歯の状態、下顎管までの距離、オトガイ孔の位置、上顎洞底・鼻腔底までの距離、顎骨・上顎

洞内の異常の有無

口腔内検査：残存歯数と欠損歯数，齶蝕の有無，歯冠補綴装置・充填物の状態，義歯の使用状況，口腔衛生状況，口腔衛生状態，歯周疾患の有無，小帯の付着部位，顎骨の状態，アブフラクション，骨隆起

顎関節・咬合検査：咬合状態，咬合のガイド，残存歯の咬耗，最大開口量，顎関節雑音，顎関節・咀嚼筋の痛み，顎位の安定性，顎運動

審美的検査：リップラインの高さ，歯肉粘膜の形態と厚み，コンタクトポイントと歯肉頂までの高さ，口唇や頬部のリップサポート，スマイルライン，残存歯の歯冠の形態と色，欠損部粘膜の厚みと色

276 局所麻酔中毒 きよくしよますいちゆうどく

toxic reaction for local anesthetics

局所麻酔薬の過度の血中濃度上昇により発症する。局所麻酔薬の濃度や投与量，投与部位の血流，血管収縮薬の有無などが関与する。リドカインの血中濃度が5～10 µg/mL以上で低血圧や痙攣などの症状が出現する。初期治療として酸素投与を行い，必要に応じてミダゾラムやジアゼパム，チオペンタールを投与する。

277 禁忌症 きんぎしやう

contraindication

関連語 局所的禁忌症，全身的禁忌症

医療行為が病態の増悪をもたらすために適応してはならない疾患または状態のこと。

⇒ 275 局所的禁忌症， 755 全身的禁忌症

278 金属アーチファクト きんぞくあーちふあくと

metal artifact

CT検査において金属の周囲から放射状に出る障害陰影をさす場合が多い。MRIにおいても強磁性体の金属による金属アーチファクトという用語が散見されるが，正確には磁化率アーチファクトと定義される。

279 金属アレルギー きんぞくあれるぎー

metal allergy

関連語 パッチテスト，メタルフリー修復

金属から溶出した金属イオンがタンパクと結合してアレルゲンとなり発症するアレルギーで，主にIV型である。インプラントでは使用する異なる金属との電位差に起因することがある。診断は症状とパッチテストなどによる。

280 金属疲労 きんぞくひろう

metal fatigue

金属は韌性に富むので破壊に対する抵抗性が高いが，応力を継続的あるいは繰り返し受けた場合に強度が低下する現象である。インプラントの各構造体でも金属疲労を起こすことがある。



281 区域切除 くいきせつじよ

segmental resection

関連語 広範囲顎骨支持型装置

類義語 下顎区域切除術，下顎骨区域切除術，下顎骨連続離断術

下顎に生じた腫瘍などの病変に対して適用される手術法で，下顎骨を離断させ，病変の周囲に安全域を確保して切除する方法である。切除後にインプラント治療を適用するには，骨移植などの下顎骨再建が必要である。症例によっては広範囲顎骨支持型装置が適用される。

282 偶発症 ぐうはつしやう

accidental symptom, procedural accident

関連語 合併症，併発症

手術や検査などの際，偶然に起こった症候あるいは事象で，因果関係がないか，不明なものをさす。

283 グラインディング ぐらいんでいんぐ

grinding

⇒ 1063 ブラキシズム

284 クラウン-インプラント比

くらうんいんぷらんとひ

crown-implant ratio

⇒ 525 歯冠歯根比

285 クリアランス くりあらんす

clearance

補綴装置が装着可能な間隙のこと。天然歯同士の場合，支台歯形成後の対合歯との距離をさす。無歯顎部位においては，顎堤と対合歯，あるいは顎堤同士における有床義歯やインプラント上部構造が設置可能な距離のことをさす。

286 グリシンパウダー ぐりしんぼうだー

glycine powder

タンパク質を構成物質するアミノ酸であるグリシンから精製されたパウダー。エアと水圧を応用する

エアアブレーション（エアポリッシング）に研磨材として、汚染された歯面やインプラント表層の清掃に使用される。粒子径は使用目的からいくつかみられるが、約 25～65 μm である。

287 クリップアタッチメント

くりっぷあたちめんと

clip attachment

⇒ 955 バーアタッチメント

288 クリティカルパス くりていかるぱす

critical path

同義語 クリニカルパス

一定の病気の治療や検査を行うごとに、その治療の段階および患者が目指す最終的な治療到達目標に向けて、最適と考えられる医療の介入内容をスケジュール表にしたものである。クリティカルパスの評価・改善を行うことで医療の質を向上させることができる。

289 クリニカルパス くりにかるぱす

clinical path

⇒ 288 クリティカルパス

290 グループファンクション

ぐるーぷいあんくしょん

group function

⇒ 351 咬合様式

291 クレストモジュール くれすともじゅーる

crest module

同義語 骨頂部形態

インプラントカラーとプラットフォームを含んだネック部の包括的な呼称である。

292 クレンチング くれんちんぐ

clenching

⇒ 1063 ブラキシズム

293 クロイツフェルト・ヤコブ病

くろいつふえるとやこびょう

Creutzfeldt-Jakob disease

同義語 CJD

全身の不随意運動（ミオクローヌス）と急速に進行する認知症を特徴とする、感染性のある致死的な中枢神経変性疾患である。ヒト神経細胞に存在するプリオンタンパクがなんらかの原因で異常化し沈着することで、脳組織が急速に海綿状変性を起こす。感染経路の一つの可能性として、ウシ海綿状脳症

（BSE）に感染したウシの特定部位の摂取がある。通常の消毒・滅菌法では感染力を完全には除去できない。

294 クローズドトレイ くらーずどとれー

closed tray

⇒ 78 印象用トレイ

け

295 Cawood の分類 けいいうっどのぶんるい

Cawood classification

類義語 Cawood と Howell の分類

上下顎無歯顎の形態分類で、上下顎の前歯部と臼歯部に分けて下記のように Class I～VI に分類している。

表：Cawood の分類

Class I	歯がある
Class II	抜歯直後
Class III	丸みを帯びた顎堤で十分な高径と幅径
Class IV	ナイフエッジ状の顎堤で十分な高径と不十分な幅径
Class V	平坦な顎堤で不十分な高径と幅径
Class VI	陥凹した顎堤で基底骨まで吸収している

296 脛骨移植 けいこつしよく

tibia bone transplant (graft, implantation, transplantation)

⇒ 64 移植〔術、法〕

297 傾斜埋入 けいしゃまいにゅう

inclined (titled) implant placement

上顎洞やオトガイ部などへの穿孔を回避するために、インプラント体を意図的に三次元的に傾斜させて埋入する方法である。

298 形状記憶合金インプラント

けいじょうきおくごうきんいんぷらんと

shape memory alloy implant

形状記憶効果を有するニッケルチタン合金などからなるインプラントである。

299 外科主導型治療 げかしゅどうがたちりょう

bottom up treatment

同義語 ボトムアップトリートメント

関連語 トップダウントリートメント, 患者主導型治療

歯槽骨の状態などを考慮したうえで, オッセオインテグレーションの獲得を優先させて埋入位置などを決定し, その後補綴設計を行うこと。

300 外科用ガイドプレート げかようがいどぶれーと

surgical guide plate

⇒ **455** サージカルガイドプレート

301 血液凝固因子 けつえきぎょうこいんし

blood coagulation factor

関連語 出血性素因

血液を凝固させるための二次止血に必要な一連の因子のこと。ローマ数字で表記される12の因子(第I因子～第XII因子, 第VI因子は欠番), プレカリクレイン, 高分子キニノゲンで構成されている。血友病Aは第VIII因子の, 血友病Bは第IX因子の欠損あるいは活性低下による。

302 血液検査 けつえきけんさ

blood test

血液を採取し, 病状などを調べる臨床検査の一つである。血液学的検査, 凝固線溶系検査, 生化学的検査, 免疫血清学的検査, 血液塗抹検査, 血液培養検査, 血液ガス分析などが行われる。

303 血液疾患 けつえきしっかん

blood disease

赤血球の疾患, 顆粒球の疾患, リンパ球と単球・マクロファージ系の疾患, 出血・血栓性疾患の総称である。インプラント治療のリスクファクターである。

304 血液由来成長因子を利用した再生療法

けつえきゆらいせいちょういんしをりようしたさいせいりょうほう

regeneration therapy using blood-derived growth factor

類義語 血小板由来成長因子を利用した再生療法

患者の自己血を採取し, 遠心分離器にかけて製作し骨造成時などに応用する。創傷の治癒, 骨や歯肉の再生促進が期待される。

表: 血液由来成長因子

略称	英語表記	日本語名	特徴
CGF	concentrated growth factors	濃縮成長因子	抗凝固剤を添加せず, シリカ(ガラス)を触媒として遠心分離を行った後に得られる完全自己血由来のゲル素材。成長因子や血小板を多く含む。
PRF	platelet rich fibrin	多血小板フィブリン	
AFG	autologous fibrin glue	自己フィブリン糊	抗凝固剤を添加せず, シリカ(ガラス)への接触を避けてプラスチック管を用いて遠心分離を行った後に得られる完全自己血由来の血漿。凝固能を有しており骨補填材などに混ぜて用いられる。
PRP	platelet rich plasma	多血小板血漿	抗凝固剤を添加し, 2回の遠心分離により得られる濃縮された血小板と白血球を含む血漿。活性化のために塩化カルシウム等との混合が必要。
PRGF	plasma rich in growth factors	—	抗凝固剤を添加して遠心分離した後, 赤血球層の上の白血球層を避けて得られる血漿層。活性化のためには塩化カルシウム等との混合が必要。

305 血管収縮薬 けっかんしゅうしゅくやく

vasoconstrictor

関連語 アドレナリン過敏症

局所麻酔カートリッジに含まれる薬効成分の一つである。アドレナリンとフェリプレシンがある。局所麻酔効果の増強, 麻酔持続時間の延長, 術野からの出血抑制などを目的とし添加されている。

306 血管新生 けっかんしんせい

angiogenesis

関連語 創傷治癒

既存の血管から新たな血管枝が分岐して, 血管網を構築する生理的現象のこと。創傷治癒の過程で必ずみられる。オッセオインテグレーションの獲得の経過として血管新生がみられる。

307 血管柄付き骨移植 けっかんへいつきこついしょく
vascularized bone graft

関連語 移植〔術, 法〕, 自家骨移植, 広範囲顎骨支持型装置

自家骨移植法の一つで, 移植骨に栄養血管柄を付けたままドナーサイトから採取し, 顕微鏡下で血管吻合を行うことで, 血行を維持したままレシピエントサイトに骨組織を移植する方法である。遊離骨移植とは異なり, 移植骨内の細胞成分が生着することで感染に強く, 骨形成能が高く維持され, 吸収されることなく生着が期待できる。顎骨再建には, 腸骨, 腓骨, 肩甲骨が主に用いられ, 広範囲顎骨支持型装置としてインプラント治療による咬合再建も可能である。

308 血管迷走神経反射

けっかんめいそうしんけいはんしゃ
vasovagal reflex

同義語 脳貧血様発作, 疼痛性ショック, 神経原性ショック

ストレス, 疼痛, 恐怖などが引き金になり, 血圧低下, 心拍数減少, 発汗, 四肢の冷感, めまい, 意識消失(失神)などの症状が起こること。症状の軽い順から, 血管迷走神経反射性失神前症候群, 血管迷走神経反射性失神, 神経原性ショック, 血管迷走神経反射性心停止の四つに分類される。多くの場合, 一過性である。治療法はショック体位とし酸素投与を行う。必要に応じてアトロピン硫酸塩を投与する。

309 結合組織移植術 けつごうそしきいしょくじゅつ
connective tissue graft

同義語 歯肉結合組織移植術, 上皮下結合組織移植術

歯肉結合組織を移植する外科手術の総称である。歯槽堤の増大(歯槽堤増大術), または歯, インプラントにおいて歯肉弁下に移植することで歯肉に厚みをもたせる目的で用いる方法である。口腔に露出した歯根面, またはインプラント面を被覆する目的, またGTR膜やGBR膜除去時に新生組織を保護するために用いることもある。

310 結合組織性付着 けつごうそしきせいふちゃく
connective tissue attachment

⇒ **632** 上皮性付着

311 血腫 けっしゅ
hematoma

同義語 ヘマトーマ, ヘマトーム

血管が損傷を受け, 出血することによって組織内

あるいは組織間隙に血液が限局して貯留し, 塊状を呈した状態をいう。原因は一般に外傷, 術後の後出血などがあげられる。口腔領域では機械的, 物理的損傷により舌, 口唇, 頬粘膜, その他の粘膜下に発生しやすい。後出血では術野の周囲組織間隙に発生する。

312 血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう
thrombocytopenia

末梢血中の血小板数が10万/μL以下に減少した状態である。5~10万/μL以下に軽度減少している場合には自覚症状に乏しいが, 3万/μL以下になると皮膚, 粘膜に出血斑が出現し, 鼻出血, 歯肉出血, 血尿, 月経過多などが認められる。血小板の産生減少や崩壊の亢進などが原因である。5万/μL未満になると, 少量の出血が容易に起こり大量出血のリスクが高まる。血小板輸血が必要となる場合もあるが, その状況は限られる。

313 血小板濃厚血漿 けっしょうばんのうこうけっしょう
platelet-rich plasma

同義語 PRP

⇒ **808** 多血小板血漿

314 血小板由来成長因子

けっしょうばんゆらいせいちやういんし
platelet-derived growth factor

同義語 PDGF

間葉系細胞由来で, 血小板, 血管内皮, マクロファージ, 神経細胞, 平滑筋細胞などから産生され, 線維芽細胞や平滑筋細胞の増殖促進活性を担う血清中の糖タンパク質である。歯周組織再生治療やインプラント治療にも応用されている。

315 研削 けんさく
grinding

関連語 研磨

炭化ケイ素やダイヤモンドなど, 被研削体より硬い砥粒を用いた回転切削器具(ポイント, ホイール, ディスク)で歯, 補綴装置や修復物を, 切り屑を出しながら削る操作のこと。

316 犬歯誘導咬合 けんしゅうどうこうごう
canine protected articulation

⇒ **351** 咬合様式

317 減張切開 げんちょうせつかい
release incision

緊張が強い粘膜骨膜弁において, 骨膜の緊張を避

け、可動性を得るために用いる切開をいう。一般に弁に十分な厚みのある場所を選んで緊張のある方向に一条の切開を行う。

318 研磨 けんま

polishing

関連語 研削

歯、補綴装置や修復物の表面を滑沢に磨き上げる操作のこと。回転器具やサンドペーパーを用いた機械研磨、電気分解を利用した電解研磨、酸やアルカリ溶液により溶解させる化学研磨などがある。機械研磨時の表面は、研磨条件によって異なるが、微細結晶から非晶質不定型の非常に薄い層である Beilby 層で覆われた場合に、合金などでは耐食性の増加、耐摩耗性の向上、摩擦係数の低下、潤滑性能の向上や接触電気抵抗の増大が認められる。合金の種類によっては酸化層が形成される場合がある。



319 誤飲 ごいん

mis-deglutition

関連語 誤嚥

小器具や修復・補綴装置などの食物以外のものが誤って食道に入ってしまう偶発症のこと。不注意な操作によって器具などを口峽、咽頭部に落下させることによって起こる。専門医による内視鏡を用いた除去や経過を観察し自然排泄を待つこともあるが、外科的処置によって除去することもある。

320 高圧酸素療法 こうあつさんそりょうほう

hyperbaric oxygen therapy, hyperbaric oxygen treatment

同義語 HBOT

大気圧よりも高い気圧環境で高濃度の酸素を吸入することで病態の改善を図る治療法である。酸素は、大気圧環境下ではヘモグロビンと結合することにより血中に運ばれるが、高気圧環境下ではその圧力により、ヘモグロビンの存在と関係なく血中に溶け込むことを応用し、血液循環を促進することを目的として行われる。骨髄炎の治療などに用いられる。

321 高圧蒸気滅菌 こうあつじょうきめつじん

autoclave sterilization

関連語 滅菌、滅菌法

チャンバー内を高圧にし、高温の飽和水蒸気で被滅菌物を加熱することにより微生物のタンパク質を不可逆的に変性させ、微生物を死滅させる処理であ

る。滅菌装置は、滅菌処理能力によりクラス B, S, N に分類される。

表：高圧蒸気滅菌装置の分類

クラス分類	対象・特徴
クラス B (bigsterilizer)	<ul style="list-style-type: none"> ・固形物、中空物、多孔性物などのあらゆる種類が対象 ・包装物、非包装物の双方に対応 ・包装されたハンドピース、インプラント用インスツルメントなど ・滅菌パックに包装して滅菌可能なため、滅菌後の長期保存が可能
クラス S (specific products as specified by the manufacturer)	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカー指定の特定対象物が対象 ・非包装の中空物や包装された固形物 ・非包装のパキュウムチップやハンドピース、包装された持針器など
クラス N (naked solid products)	<ul style="list-style-type: none"> ・非包装の固形物が対象 ・滅菌後ただちに使用する場合 ・バー、ミラー、ピンセットなど ・器材は滅菌パウチに包装して滅菌ができない

322 構音障害 こうおんしょうがい

articulation disorder, dysarthria

同義語 発語障害

類義語 発音障害

構音器官（舌、口蓋、歯、歯列など）の障害や補綴装置の不備などに起因し、特定の発音が正しく発音されず、習慣的に発音が正しくできない症状をいう。口腔インプラント治療においては、構音障害に対し、構音器官の形態や機能、インプラント体埋入位置および上部構造の形態もしくは固定方法などを十分に考慮する。

323 口蓋裂 こうがいれつ

cleft palate

先天的な口蓋部の破裂で、口蓋裂単独で発生する場合と口唇裂と合併する場合がある。歯槽部の先天的な骨欠損を顎裂とよぶ。顎裂部の歯胚は先天的に欠損する場合や、過剰歯などの歯の異常が認められることもある。歯列矯正のために顎裂への骨移植が行われる。思春期の成長が終了した後、顎裂への骨移植部にインプラントが応用されることがある。

324 光学印象 こうがくいんしょう

optical impression

類義語 デジタル印象**関連語** スキャンボディ

物体の形状を光学的に読み取り三次元データ化する機器（スキャナー）を用いて行う印象法のこと。従来どおりに作業用模型を製作し、その形状を光学的に読み取って三次元データ化（デジタル化）する光学印象に加え、印象材や石膏を一切使用せず口腔内の形状を直接読み取ることができる口腔内スキャナーを用いた光学印象が実用化され臨床応用されている。インプラントの光学印象においては、従来の印象用コーピングに代わり、光学印象に適した形状をもつスキャンボディとよばれるパーツをインプラント体に連結し、形状を読み取って相対的な位置情報を取得し、CAD/CAM用ソフトウェアによって作業用模型をデジタル化することが行われている。

325 硬化性骨髄炎 こうかせいこつすいえん

sclerosing osteomyelitis

慢性で緩慢な経過をたどる骨髄を主とする炎症で、一般に自覚症状は少ないが、ときに急性化する場合がある。骨硬化の範囲により限局性とびまん性に分けられる。エックス線の骨硬化像を示し、不透過像に透過像が混在する。程度によりすりガラス様、綿花様、大理石紋様、虫食い状と表現され、骨皮質と骨髄との境界は不明瞭である。骨シンチグラフィ（^{99m}Tc-MDP）で病変部に強度の集積像がみられる。治療法は皮質骨除去術や皿状形成法などである。インプラント治療のリスクファクターである。

326 抗凝固薬 こうぎょうこやく

anticoagulant

関連語 抗血栓薬、抗血小板薬、ワルファリンカリウム

血流の乱れや血流うっ滞によって生じる赤色血栓の予防に用いられる薬剤のこと。人工弁置換術後、心房細動、深部静脈血栓症、肺塞栓などに対する抗血栓療法に用いられる。ビタミンK依存性凝固因子を抑制するワルファリンカリウムや、直接トロンビン阻害剤のダビガトラン、第Xa因子阻害剤のアピキサバン、エドキサバン、リバロキサバンなどがある。直接トロンビン阻害剤と第Xa因子阻害剤は直接経口抗凝固薬（DOAC）とよばれる。

327 抗菌薬 こうきんやく

antibacterial agent, antibiotics

細菌に抗菌活性をもつ化学療法薬のこと。

328 抗菌薬予防〔的〕投与

こうきんやくよぼう〔てき〕とうよ

antibiotic prophylaxis

関連語 前投薬**類義語** 予防投与

観血処置などによって感染を発症する可能性がある場合に、術前に薬剤の投与を行うことをいう。抜歯などでは菌血症を誘発する可能性があるため、感染性心内膜炎の予防のために行う。糖尿病など易感染性のもや免疫力低下で術後感染が懸念されるような全身状態においても予防投与を行うことがある。インプラント治療では、感染予防のためには術前からの投与が推奨されている。

329 抗菌療法 こうきんりょうほう

antibiotic therapy

類義語 経口抗菌療法、局所抗菌療法

歯周炎、インプラント周囲粘膜炎、インプラント周囲炎において、機械的プラークコントロールに加えて抗菌薬を併用することで、治療効果の増強や宿主免疫機能を補助する方法である。細菌検査に基づいた投与が原則となる。

330 口腔インプラント こうくういんぷらんと

oral implant

関連語 歯科インプラント、人工骨

口腔領域で使用するインプラントのこと。

331 口腔インプラント学 こうくういんぷらんとがく

oral implantology

同義語 インプラント学

口腔（歯科）インプラント支持の修復に関する基礎、臨床の歯科の学術分野のこと。

332 口腔インプラント材料

こうくういんぷらんとざいりょう

dental implant material

口腔インプラントに使用される材料のこと。生体適合性に優れた材料が使用される。

333 口腔衛生指導 こうくうえいせいしどう

oral hygiene instruction

同義語 口腔清掃指導**類義語** TBI

齲蝕や歯周病の原因であるプラークを除去することの意義やその方法を患者に説明し、指導を行うこと。プラークコントロールレコードなどを利用して、患者のモチベーションの向上を図るとともに、個々の患者に適したブラッシングやフロッシングなどの

口腔清掃方法の指導を行う。口腔清掃はインプラントの維持療法として欠くことのできないものである。

334 口腔乾燥症 こうくうかんそうしょう

xerostomia, dry mouth

種々の原因で唾液分泌量が減少し、口腔内が乾燥した状態をいう。症状は口腔乾燥感、口腔粘膜萎縮、灼熱感、味覚障害、口臭、多発性齲蝕などがみられる。Sjögren 症候群、放射線障害、加齢、ストレス、薬物による唾液分泌神経系の障害、糖尿病や貧血などの全身疾患によるもの、口呼吸や摂食嚥下障害など局所的なものに大別できる。症状改善には原因除去に努め、対症的に食事の改善、唾液分泌刺激、人工唾液の使用、口腔衛生指導などを並行する。

335 口腔機能低下症 こうくうきのうていかしょう

oral hypofunction

類義語 オーラルフレイル

関連語 フレイル

加齢や全身疾患・障害などにより、口腔の機能が複合的に低下している疾患である。放置しておく、咀嚼障害や摂食嚥下障害になり、漸進的に健康を損なう。口腔衛生状態不良、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下の7項目のうち、3項目以上が該当すると診断される。2018年4月から、その検査と管理が保険導入された。

336 口腔常在菌 こうくうじょうざいきん

oral microbial flora

⇒ **626** 常在細菌

337 口腔清掃 こうくうせいそう

oral cleaning

⇒ **333** 口腔衛生指導

338 口腔前庭拡張術 こうくうぜんていかくちょうじゆつ

vestibuloplasty, oral vestibule extension surgery

同義語 口腔前庭形成手術

歯周形成手術の1つに分類され、義歯床延長や口腔清掃を容易にする目的で、口腔前庭が浅く狭小化した場合に実施される手術である。術後の疼痛や手術部の後戻りの問題があるため、現在ではほとんど行われない。

339 口腔内スキャナー こうくうないすきゃなー

intraoral scanner

印象材を利用した印象採得に代わって、レーザー

やLEDから発せられる光の反射を利用した三角測量により表面形状を認識し、口腔内でデジタル印象採得する光学印象装置である。異常絞扼反射のある患者や開口量が不足している患者に有用である。

340 口腔粘膜 こうくうねんまく

oral mucosa

口腔周囲の壁と舌の表層にある粘膜をいい、粘膜は粘膜上皮と粘膜固有層からなる。機能面から3分類されており、裏装(被覆)粘膜、咀嚼粘膜、特殊粘膜がある。裏装粘膜は頬、口唇、軟口蓋、口底にある。咀嚼粘膜は硬口蓋、歯肉にある。特殊粘膜は舌背にある。硬口蓋や歯肉の粘膜は特に可動性がないので不動粘膜ともいわれる。その他の粘膜は可動性があるので可動粘膜といわれる。

341 高血圧症 こうけつあつしょう

hypertension

収縮期血圧140 mmHg以上または拡張期血圧90 mmHg以上を示す。原因が不明な本態性高血圧と、原因が明確な二次性高血圧に分類される。高血圧症は脳血管障害、心疾患、腎疾患などを合併する割合が高く、コントロールされていない高血圧症はインプラント治療のリスクファクターとなる。インプラント治療時は血圧のモニタリングを行う必要がある。

表：成人における血圧値の分類：診察室血圧 (mmHg)

分類	収縮期血圧		拡張期血圧
正常血圧	< 120	かつ	< 80
正常高値血圧	120 ~ 129	かつ	< 80
高値血圧	130 ~ 139	かつ / または	80 ~ 89
I度高血圧	140 ~ 159	かつ / または	90 ~ 99
II度高血圧	160 ~ 179	かつ / または	100 ~ 109
III度高血圧	≥ 180	かつ / または	≥ 110
(独立性)収縮期高血圧	≥ 140	かつ	< 90

(日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会編：高血圧治療ガイドライン2019より改変)

342 抗血小板薬 こうけつしょうばんやく

antiplatelet agent

関連語 抗凝固薬、抗血栓薬

血液凝固に関与する血小板に作用し血栓形成を抑制する薬剤のこと。主に血流の速い動脈に生じる白色血栓を予防することから、心筋梗塞、脳梗塞などの疾患に用いられる。代表的な薬剤に、アスピリン、クロピドグレル、シロスタゾールなどがある。

343 抗血栓薬 こうけっせんやく

antithrombotic

関連語 ワルファリンカリウム, PT-INR, 抗凝固薬, 抗血小板薬

血栓形成を抑制, あるいは血栓を溶解する治療を総称して抗血栓療法とよび, それに用いられる薬剤を抗血栓薬とよぶ. 抗血栓薬には, 血小板の機能を低下させ, 主に動脈に形成される血小板血栓(白色血栓)を抑制する抗血小板薬と, 凝固因子を抑制することにより静脈におけるフィブリン血栓(赤色血栓)を予防する抗凝固薬とがある. 観血的処置時は出血に対する注意が必要である.

344 咬合干渉 こうごうかんしょう

occlusal interference

類義語 早期接触, 咬頭干渉

正常な下顎運動を妨げる咬合接触のこと. 咬頭嵌合位での早期接触と偏心咬合位での咬頭干渉を包括する.

345 咬合挙上 こうごうきょじょう

bite raising

咬合高径を増加させること, ならびにそのために行う処置のこと. 一般には, 歯の咬耗や喪失などにより咬合時の咬合高径が低下し, 顔貌の異常や顎関節・咀嚼筋などの機能異常を呈した場合などに適応される.

346 咬合高径 こうごうこうけい

occlusal vertical dimension

咬合時, 一般には咬頭嵌合位における, 上下顎間の垂直的距離のこと. 上下顎の対向関係が失われたときには, 顔面に設定される種々の計測点間距離や舌背, 口角, 口唇の位置などの形態学的基準, あるいは安静空隙量や発音, 嚥下運動などによる機能的基準を参考する.

347 咬合性外傷 こうごうせいがいししょう

occlusal trauma

類義語 一次性咬合性外傷, 二次性咬合性外傷

関連語 インプラントのオーバーロード

外傷性咬合によって生じる歯周組織の傷害である. 歯に過大な咬合力が加わることで外傷が起こる一次性咬合性外傷と, 歯周炎により歯槽骨が吸収したことによって咬合負担能力が低下し, 生理的な咬合力によっても外傷が生じる二次性咬合性外傷の二つに分類される.

348 咬合調整 こうごうちょうせい

occlusal adjustment

上下顎歯の咬合接触を, 咬頭嵌合位で下顎位が安定し, かつ下顎運動と調和するように調整すること. 天然歯または人工歯の早期接触, 咬頭干渉, 咬合接触の不均衡の有無, 偏心滑走運動時の歯のガイドを検査し, 必要部位を選択的に削合し, 行われる.

349 咬合負荷 こうごうふか

occlusal loading

類義語 負担荷重

咀嚼・嚥下などの機能運動, ブラキシズムなどのパラファンクションなどによる咬合力を, 歯, 歯根膜, 粘膜, インプラントおよびその周囲組織が負担すること.

350 咬合平面 こうごうへいめん

occlusal plane

⇒ **259** 基準平面**351 咬合様式** こうごうようしき

occlusal contact pattern

咬頭嵌合位から偏心咬合位にいたる咬合接触の状態のこと. 代表的なものを以下に示す.

グループファンクション: 側方運動滑走時に作業側の複数の歯, 主に前歯, 小臼歯が接触滑走し, 平衡側は離開する咬合様式.

ミューチュアリープロテクティッドアーティキュレーション: 咬頭嵌合位では臼歯部が咬合し, 前歯部はわずかに離開する. 前方滑走運動では前歯部が, 側方滑走運動では作業側犬歯が接触滑走し, 臼歯部は離開する咬合様式.

犬歯誘導咬合: 側方運動時, 作業側の上下顎犬歯のみが犬歯切端咬合位にいたるまで接触滑走し, その他の前歯, 臼歯はすべて離開する咬合様式.

352 咬合力 こうごうりょく

occlusal force, biting force

咬合時に天然歯あるいはインプラント上部構造の咬合面部に発現する力のこと. 単位面積あたりの咬合力を咬合圧という. 天然歯では歯根膜などの口腔組織内にある圧受容器によって咬合力が調節されているが, インプラントは歯根膜がないため天然歯に比べて過大な咬合力が発現することがある. その場合, インプラント対合歯の咬合性外傷や破折, 補綴装置の破損などが生じることがある.

353 咬傷 こうしょう

bite wound

口腔内を咬むことによって生じる傷のこと。頬を咬むことを咬頬、舌を咬むことを咬舌といい、歯列不正や人工歯排列の不備、義歯床の形態不良などにより生じやすい。

354 後上歯槽枝 こうじょうしろうし

posterior superior alveolar branches

上顎神経の分枝である。上顎神経が翼口蓋窩上部を横走中に本枝が2～4本起り、前下方、下方に走行して、上顎結節上の歯槽孔より骨中に入る。一部は後上歯槽管中を通過して前走して前上歯槽枝と交通する。本枝は上顎洞粘膜、上顎骨、大白歯、一部の小白歯、これら臼歯部の歯肉に分布する。

355 後上歯槽動脈 こうじょうしそどうみゃく

posterior superior alveolar artery

顎動脈の分枝である。翼口蓋窩の入口付近で顎動脈から本枝が起り、上顎骨後壁を前下方に走行し、歯槽孔より骨中に入り、後上歯槽管中を通過して前走する。本動脈は上顎洞粘膜、上顎骨、大白歯、一部の小白歯、これら臼歯部の歯肉に分布する。

356 高水準消毒 こうすいじゆんしょうどく

high-level disinfection

関連語 中水準消毒、低水準消毒

大量の芽胞がある場合を除き、すべての微生物を死滅させる処理である。粘膜または創のある皮膚に接触する治療用器具に必要である。

表：消毒レベルによる消毒薬の分類

	対象	消毒薬
高水準消毒	器機・器具	グルタルアルデヒド オルトフタルアルデヒド 過酢酸製剤
中水準消毒	生体	ポビドンヨード
	生体、環境	消毒用エタノール
	器機、環境	次亜塩素酸ナトリウム
低水準消毒	生体 器機・器具 環境	クロルヘキシジングルコン 酸塩 ベンザルコニウム塩化物 ベンゼトニウム塩化物 アルキルジアミノエチル

(日本歯科医学会監修：エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策実践マニュアル改訂版。永末書店、2015より改変)

357 口底出血 こうていしゅっけつ

hemorrhage in the mouth floor

同義語 口腔底出血

インプラント埋入窩形成時に下顎舌側皮質骨を穿孔し、舌下動脈やオトガイ下動脈（あるいはそれら分枝）を損傷すると口底出血を引き起こす。顎下隙、舌下隙、オトガイ下隙に血液が貯留し、出血による血腫が増大し致命的な呼吸困難に陥ることもある。圧迫止血や血管結紮で止血できる場合もあるが、口腔内からの止血は困難な場合が多い。口底部の腫脹が発現して呼吸困難に陥るまでの時間が数分と速い場合もあるため、止血より気道確保を優先すべきである。経口もしくは経鼻的挿管、緊急時には気管切開が必要になる。対処が困難な場合は高次医療機関に搬送が求められる。搬送時には同乗し、搬送中に出血部位を圧迫止血することも必要である。

358 咬頭嵌合位 こうとうかんごうい

maximal intercuspal position

⇒ **196** 下顎位

359 咬頭傾斜 こうとうけいしゃ

cuspal inclination

臼歯の各咬頭を形成する斜面同士のなす角のこと。近遠心的および頬舌的な傾斜角がある。

360 広範囲顎骨支持型装置

こうはんいがかこつじがたそうち

(適当な英語訳なし)

腫瘍、骨髄炎、外傷などにより生じた広範囲な顎骨・歯槽骨欠損あるいは顎裂などの先天性の骨欠損において、骨移植などにより再建された症例に対して応用されるインプラント体とアバットメントのこと。インプラント体埋入術（一次手術）とアバットメント連結の際の軟組織の切除（二次手術）を総称して、広範囲顎骨支持型装置埋入手術という。広範囲顎骨支持型装置埋入手術後に行うインプラント上部構造の印象採得から装着までの一連の行為の総称を広範囲顎骨支持補綴という。2012年4月1日から保険収載され、厚生労働省が定める施設基準に適合し地方厚生局などに届け出た保険医療機関においてのみ治療が可能である。

361 咬耗 こうもう

occlusal wear

関連語 摩耗

歯の咬合接触により生じるエナメル質や象牙質、また補綴装置の摩耗のこと。

362 誤嚥 ごえん

aspiration

関連語 誤飲

液体または固体が誤って気管に入ってしまう状態をいう。気道防御反射が低下している場合には誤嚥してもむせないことがあり、肺炎を惹起することもある。速やかな専門医の診察が必要である。

363 ゴシックアーチ描記法

ごしっくあーちびょうきほう

gothic arch tracing method

ゴシックアーチとは下顎の左右への前方および側方限界運動の軌跡を描記した図のことである。ゴシックアーチ描記法は下顎運動の記録法の一つであり、ゴシックアーチを参考として水平的下顎位の決定や診断を行う。口内描記法と口外描記法とがある。

364 骨萎縮 こついしゅく

bone atrophy

関連語 骨吸収

成育した骨の容量または骨基質が減少した状態をいう。全身的には加齢の際の老人性萎縮がある。一方、口腔局所では、歯の喪失によって起こる廃用萎縮と嚢胞の増大などによる圧迫萎縮が観察される。

365 骨移植 こついしょく

bone grafting

⇒ **64** 移植〔術、法〕**366 骨移植材《体、片》** こついしょくざい《たい、へん》

bone graft(s)

⇒ **64** 移植〔術、法〕**367 骨-インプラント接触率**

こついんぷらんとせつしょくりつ

bone to implant contact ratio (rate)

同義語 BIC ratio

インプラント体の長軸方向中央部断面において、光学顕微鏡による観察で骨内のインプラント体表面と骨が接している割合(%)のこと。インプラント周囲の骨形成量の評価に用いられる。

368 骨壊死 こつえし

osteonecrosis

骨疾患、細菌感染、放射線治療、ビスフォスフォネート治療などの影響で、骨組織中の骨細胞が死ぬこと。基本的には、血液供給が阻害されることにより骨の一部が壊死する場合と、骨自体の変化によるものがある。診断では、エックス線検査、CT、

MRI、骨シンチグラフィさらには病理組織学的検査、細菌学的検査など必要に応じて併用する。初期には骨の変化としては把握しにくいことがある。治療は原因の除去であるが、骨のリモデリング力も関与し、困難なことが多い。

369 骨塩 こつえん

bone mineral

骨基質の無機成分が骨塩である。骨塩はカルシウム、リン酸、炭酸などからなっている。主としてハイドロキシアパタイトの結晶の形で存在している。これらの骨塩は上皮小体ホルモン(パラソルモン)、副腎皮質ホルモン、エストロゲン、カルシトニン、ビタミンDなどによって影響を受ける。

370 骨縁上付着組織 こつえんじょうふちやくそしき

tissue attachment of supracrestal around dental implant

同義語 骨縁上付着装置

歯槽骨上の角化組織の線維の構造体のことをいう。天然歯ではセメント質に線維が封入され、緊密に付着している。インプラントの場合には、インプラント体あるいはアバットメントに接する軟組織をいう。接する軟組織には上皮組織と結合組織があり、両組織とも非炎症下で緊密に密着している。

371 骨塩量 こつえんりょう

bone mineral density

同義語 骨密度

骨のミネラル量をいい、一般的にカルシウムあるいは他の基準物質に換算した量として非侵襲的に測定される。骨粗鬆症に代表される骨の代謝性疾患、カルシウム代謝異常の診断、経過観察、薬剤の効果判定などに有効である。

372 骨外逸脱 こつがいいつだつ

extra-osseous deviation

関連語 上顎洞穿孔

インプラント体が骨組織の外に逸脱すること。骨幅が狭小な上下顎前歯部や下顎骨内面の顎下腺窩で生じることがある。主にインプラント体埋入時に生じるが、埋入後でも骨結合が失われて生じる場合がある。

373 骨改造 こつかいぞう

bone remodeling

⇒ **430** 骨リモデリング

374 骨界面 こつかいめん

bone interface, osseous interface

⇒ **91** インプラント界面, **1033** 表面性状**375 骨芽細胞** こつがさいぼう

osteoblast

分化した細胞で、骨形成に関わり、アルカリフォスファターゼ活性を有している。骨形成後は骨細胞として骨内にて機能する。

376 骨火傷 こつかしょう

bone burning

⇒ **412** 骨熱傷**377 骨基質** こつきしつ

bone matrix

骨組織は骨基質からなり、骨基質は骨細胞と骨芽細胞から合成、分泌される。骨基質のタンパク質はコラーゲンと非コラーゲン性タンパク質で構成され、骨基質成分にリン酸カルシウムが沈着してハイドロキシアパタイトを作り、骨組織が形成される。

378 骨吸収 こつきゅうしゅう

bone resorption

関連語 骨リモデリング

古くなった骨が生理的に、または炎症などにより病的に骨組織が溶解されて失われること。生理的には骨モデリングや骨リモデリング時に観察される。主に破骨細胞が骨を吸収し、骨吸収作用あるいは骨吸収抑制作用を有する種々のサイトカインがこれを制御している。

379 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死

こつきゅうしゅうよくせいやくかんれんがごこつえし

antiresorptive agents-related osteonecrosis of the jaw

⇒ **45** ARONJ**380 骨切り術** こつきりじゅつ

osteotomy

関連語 スプリットクレスト法

骨を切って、骨の向きや形、関節のかみ合わせを調節することをいい、顎変形症の治療で行われる顎矯正手術などがあげられる。インプラント治療では、上下顎の前後的な位置異常の治療として用いられることがある。狭義には、スプリットクレスト法などで骨を分割する場合なども骨切り術が用いられる。

381 骨形成 こつけいせい

bone formation

関連語 骨伝導, 骨誘導

未分化間葉系細胞が骨芽細胞に分化して直接骨組織を形成する膜性骨化と、未分化間葉系細胞が軟骨細胞に分化して骨に置換する2様式がある。頭蓋骨、下顎骨は前者に属し、I型コラーゲン、非コラーゲンタンパクにリン酸カルシウムアパタイト結晶が沈着して石灰化する。なお、骨形成は骨誘導、骨伝導を含め、骨を作ることすべての総称である。

382 骨形成因子 こつけいせいいんし

bone morphogenetic factor

関連語 BMP

間葉系細胞を活性化して骨形成を促進するタンパク質の総称である。代表的なものにBMPがある。

383 骨形成タンパク〔質〕 こつけいせいたんぱく〔しつ〕

bone morphogenetic protein

⇒ **1001** BMP**384 骨形成不全症** こつけいせいふぜんしょう

osteogenesis imperfecta

I型コラーゲンの異常により生じ、さまざまな程度の結合組織の病状を示し、骨の脆弱性から頻回の骨折、骨変形を生じる先天性の疾患である。原因としてI型コラーゲンの量的、質的異常があげられる。インプラント治療のリスクファクターである。

385 骨結合 こつけつごう

osseointegration

同義語 オッセオインテグレーション

口腔インプラント学における骨結合とはオッセオインテグレーションのことをさす。一方、解剖学における骨結合は骨が骨質によって結合されていることを意味しており、学問領域間で意味が異なるので、注意が必要である。

386 骨原性細胞 こつげんせいさいぼう

osteogenic cell

骨芽細胞と骨細胞の由来となる原始間葉細胞であり、骨形成細胞に分化できる細胞の総称である。

387 骨硬化症 こつこうかしょう

osteosclerosis

骨の外形に変化はないが、硬組織成分の増加をきたした状態である。画像検査では不透過性の亢進として把握される。骨細胞、血管などに変化を伴うので、感染や外傷時の治療に影響を生じうる。インプ

ラント治療に関連して、オーバーヒートやオッセオインテグレーションへの影響、感染などが懸念される。

388 骨構造 こつこうぞう

bone structure

骨は、軟骨面を除いて結合組織よりなる骨膜に覆われ、表層の皮質骨（緻密骨）と内側の海綿骨よりなる。骨の中心部にある髄腔および海綿骨を構成する骨梁の間には造血に関与する骨髄が存在する。

389 骨採取 こつさいしゅ

bone harvest

骨造成などに必要な骨を取ることを意味する。骨採取は回転切削器具（各種パー、トレフィンパー）や超音波メス、骨ノミ、ボーンスクレイパーなどを使用して行われる。また、埋入窩形成時や骨削合の際に生じた骨片を採取するために吸引管内にフィルターを設置した骨片収集器も使用される。

390 骨再生 こつさいせい

bone regeneration

欠損した骨組織が新たに形成されることが骨再生であり、間葉系幹細胞が骨芽細胞に分化して骨を再生する。間葉系幹細胞の増殖・分化を誘導する因子として塩基性線維芽細胞増殖因子（bFGF）や骨形成因子（BMP）などの増殖因子の存在が知られている。

391 骨再生誘導法 こつさいせいいゅうどうほう

guided bone regeneration

同義語 GBR〔法〕

骨の再生を目的として非吸収性、または吸収性のバリアメンブレンを骨欠損部に応用する方法である。骨欠損部に対して歯肉・歯槽粘膜由来の細胞の侵入を防ぐため細胞非通過性のバリアの設置を行い、骨の再生を引き起こすためにスペースメーカーを施す。新生骨が形成されるには数～6カ月は必要とされる。

392 骨細片《碎片、削片》

こつさいへん《さいへん、さくへん》

bone debris, bone particulate, bone chip

細かく分けられた骨を骨細片という。顎骨を直接削合して採取したものを骨削片、破片状にしたものを骨碎片という。海綿骨が豊富な腸骨や脛骨内部から採取したものは海綿骨細片（PCBM）とよばれ、骨移植に用いられる。

393 骨細胞 こつさいぼう

bone cell, osteocyte

骨芽細胞が骨基質を分泌した後、骨小腔に埋没したものが骨細胞である。個々の骨細胞は骨細管内に細い突起を伸ばし、相互に結合しているとともに骨表面の骨芽細胞とも連続している。骨細胞の機能は、外部より加わる機械的刺激を感知して骨芽細胞や破骨細胞の機能を調整している。

394 骨質 こつしつ

bone quality

骨密度とともに骨の強度に関与している因子で、骨梁の微細構造、石灰化度、コラーゲン線維などの構成成分の割合や質により規定される骨の性質のこと。

395 骨髄 こつすい

bone marrow

骨髄は、骨内部の骨髄腔を満たす組織であり、血液細胞を産生する造血組織である。骨髄組織は、造血機能を有する赤色の赤色骨髄と、加齢などにより脂肪に置換された黄色の黄色骨髄よりなる。成人においては、骨髄の大半は黄色骨髄であるが、胸骨、寛骨などでは赤色骨髄が残存している。

396 骨髄炎 こつすいえん

osteomyelitis

主に細菌感染により骨髄に生じる炎症で、急性骨髄炎と慢性骨髄炎よりなる。顎骨においては、上顎よりも下顎に多くみられ、骨の破壊や骨の硬化がみられる。

397 骨髄幹細胞 こつすいかんさいぼう

myeloid stem cell

骨髄に存在する造血幹細胞のことであり、好中球、好酸球、好塩基球および単球のもとになる骨髄系幹細胞とリンパ球のもとになるリンパ系幹細胞よりなる。

398 骨髄腔 こつすいくう

medullary cavity

⇒ 395 骨髄

399 骨性強直 こつせいきょうちよく

bone ankylosis

⇒ 47 アンキローシス

400 骨性結合 こつせいけつごう

osseointegration

現在では骨結合という用語が主に用いられている。

⇒ **176** オッセオインテグレーション**401 骨性の隔壁** こつせいのかくへき

bony septum

上顎洞内にしばしば認められる骨壁である。存在部位や高さは上顎洞により固有であり、上顎臼歯部のインプラント治療の手技や治療成績に関連する。

402 骨切除術 こつせつじょじゆつ

ostectomy

関連語 エレクトロサージェリー、ピエゾエレクトリック《エレクトリカル》サージェリー

ピエゾエレクトリックデバイス、回転切削器具やボーンソー、骨ノミなどを用いて、骨を外科的に切除、除去する手技のことをいう。

403 骨セメント こつせめんと

bone cement

常温重合レジンやリン酸カルシウム系セメントのこと。整形外科の領域で人工関節の固定や骨粗鬆症の圧迫骨折の補修に用いられる。歯科領域でも骨補填材として賦形性のよい骨セメントが使用されることがある。

404 骨増生 こつぞうせい

bone augmentation

関連語 骨造成

さまざまな手技を用いて水平的（幅）、垂直的（高さ）に骨量を増やすこと。生物学的に骨細胞の増加を伴う骨組織の増加を特に骨増生といい、骨造成と区別する。骨増生によって得られた骨は増生骨という。

405 骨造成 こつぞうせい

bone augmentation

同義語 歯槽堤拡大術、歯槽堤増大術、歯槽堤増生《造成》

関連語 骨増生

残存歯槽堤に対してさまざまな手技を用いて水平的（幅）、垂直的（高さ）に骨量を増やす外科手技のこと。その目的により、骨移植術や骨再生誘導法、仮骨延長術や上顎洞底挙上術などの方法がある。歯槽堤増大術ともよばれる。造成した骨は生物学的な意味から増生骨とよばれる。

406 骨粗鬆症 こつそしょうしょう

osteoporosis

低骨量と骨組織の微細構造の異常を特徴とし、骨の脆弱性が増大し、骨折の危険性が増加する疾患である。

407 骨代謝回転 こつたいしやかいてん

bone turnover

破骨細胞による骨吸収と、それに続く骨芽細胞による骨形成によって、骨リモデリングとよばれる骨の新陳代謝が局所的に繰り返されている。この新陳代謝のサイクルが骨代謝回転である。

408 骨単位 こつたんい

osteon

同義語 オステオン**関連語** ハバース管、ハバース層板

緻密質（皮質骨）の構成単位のことをいう。骨の内部を走るハバース管を中心に、同心円状に骨が形成した部位である。緻密骨は無数の骨単位で構成される。

409 骨伝導 こつでんどう

bone conduction, osteoconduction

関連語 骨形成、骨誘導

骨形成の中で、近接する骨組織からの細胞遊走により新たな骨組織が形成されること。つまり、周囲骨に連続して新たな骨が形成されることをいう。移植骨や骨伝導性のある生体材料は、新生血管や骨形成細胞の生着するスキヤフォールドとなる。

410 骨内インプラント こつないいんぷらんと

endosseous implant

骨内に埋入するインプラントの総称である。インプラント体を上下顎の歯槽骨および基底骨などに埋入し、その上に補綴装置を製作する。

411 骨内固定〔源〕 こつないこてい〔げん〕

intraosseous anchorage

歯科領域においてはインプラントや固定用のピン、スクリューなどを歯槽骨あるいは基底骨内に維持を求めることを意味する。

412 骨熱傷 こつねっしょう

bone overheating

同義語 骨火傷

骨切削時に切削器具と骨との摩擦熱によって生じる骨の熱傷（火傷）のこと。骨の状態やバーの性状や回転数、注水などが関係する。47℃ 1分間で骨芽

細胞は致命的な損傷を受けるといわれている。

413 骨ノミ こつのみ

bone chisel

関連語 オステオトーム

骨を削除することを目的として使用するノミ状の器具の総称である。その形状から丸ノミ、角ノミ、両刃、片刃などに区別される。また骨切りにより歯槽部を矢状方向に分割する場合にも薄刃の骨ノミを用いる。

414 骨幅 こつはば

bone width

インプラント埋入部位における頬舌側的な幅のこと。インプラントの成功において重要な因子であり、一般にインプラント界面より頬舌的に1 mm 以上骨幅が存在することが必要であるといわれている。

415 骨粉碎器 こつぶんさいき

bone mill

同義語 ボーンミル

採取した骨を粉碎する目的に使用する器具のこと。採取した自家骨を目的とする大きさの細片にするため、例えば、インプラントの埋入と同時に自家骨移植を行うとき、採取した自家骨を骨粉碎器にて砕いて使用する。

416 骨片収集器 こつへんしゅうしゅうき

bone collector

同義語 ボーンコレクター

類義語 ボーンスクレイパー

ドリリングなどの骨削除を伴う処置において生じた骨片を吸引・収集するために使用する器具のこと。特にカンナのように骨の表面を削って収集するものをボーンスクレイパーという。

417 骨補填材 こつほてんざい

bone substitute

関連語 人工骨

骨内の欠損部に空間保持もしくは骨再生のスキヤフォールドとして利用される材料である。自家骨、他家骨、異種骨、人工骨材料などに分類される。

418 骨膜 こつまく

periosteum

関節面以外の骨の表面を覆う密性結合組織性の膜で、豊富な血管や神経に富む組織である。外層の膠原線維と少量の弾性線維を含む線維層および骨芽細胞への分化能を有する骨原性細胞を含む骨形成層か

ら構成される。

419 骨膜下インプラント こつまくかいんぷらんと

subperiosteal implant

骨面の印象採得を行い、石膏模型上で製作した金属製フレームワークを骨と骨膜・粘膜層の間に介在させるタイプのインプラントである。

420 骨膜性骨化 こつまくせいこつか

periosteal ossification

⇒ 1128 膜性骨化

421 骨膜剥離子 こつまくはくりし

periosteum elevator

⇒ 972 剥離子

422 骨膜反応 こつまくはんのう

periosteal reaction

病変の刺激により骨膜内層に骨が新生する現象であり、エックス線写真で観察できる。骨髄炎、悪性腫瘍、外傷、代謝性疾患などでみられる。

423 骨窓 こつまど、こつそう

bony window

上顎洞底挙上術における側方アプローチにおいて、上顎洞骨壁を削合し、除去もしくは内方に折り込んだ骨除去部を骨窓という。上顎洞底挙上術では窓状に開けた穴から上顎洞粘膜の剥離操作や移植材の填入操作などを行う。

424 骨密度 こつみつど

bone density

単位体積あたりのミネラル量のこと。bone mineral density (BMD) として表現され、骨質とともに骨強度に関与し、骨強度の70%を表すといわれる。スクリーニングとしてCT値 (Hounsfield Unit) の評価や超音波診断が行われる。

425 骨モデリング こつもでりんぐ

bone modeling

関連語 骨リモデリング

骨の発育過程において、基本的な骨の外形が変わらずにその大きさが変化することを骨モデリングという。骨代謝では、しばしば骨リモデリングと対比して用いられる。

426 骨誘導 こつゆうどう

bone induction, osteoinduction

関連語 骨形成, 骨伝導

骨形成細胞が生理的には存在しない組織において周囲細胞を骨芽細胞に分化させることによって新たな骨組織が形成されることをいう。

427 骨誘導因子 こつゆうどういんし

bone inducing factor

関連語 BMP

骨基質中に存在し、骨形成能を有するタンパクのことを骨誘導因子 (BMP など) という。歯周組織再生治療やインプラント治療における骨造成への応用が図られている。

428 骨癒合 こつゆうごう

bone union

連続性をもたない二つの骨の断端が、治療過程で癒合し、骨の連続性をもつこと。骨折、骨移植、仮骨延長などでみられる。

429 骨由来成長因子 こつゆらいせいちやういんし

bone-derived growth factor

同義語 BDGF

細胞の増殖や分化を促進する成長因子のうち、骨組織由来の因子をいう。主に骨髄由来であり、BMP や TGF- β 、bFGF、PDGF などが含まれる。

430 骨リモデリング こつりもでりんぐ

bone remodeling

同義語 骨改造

正常に発育した骨の外形には大きな変化を示さず、その内部で骨基質の吸収と添加が行われること。正常な骨代謝の一環である。骨のリモデリングでは骨添加に先立ち骨吸収が先行する。緻密骨では骨単位 (ハバース層板とハバース管からなる) がリモデリングの結果である。

431 骨隆起 こつりゅうき

bony ridge

骨の局所的過剰発育によって骨体の外側に生じる隆起のこと。外骨症の一つ。表面は正常粘膜で被覆され、骨隆起は緻密な層板骨の増殖からなる。硬口蓋の正中中部で起こったものを口蓋隆起、下顎の舌側に局在する場合は下顎隆起とよぶ。

432 骨量 こつりょう

bone quantity

顎骨の外形などを総合的に評価するとき用いら

れ、骨質に対応する用語である。

433 骨梁 こつりょう

bone trabecula, trabecular bone

同義語 骨小柱

海綿骨に存在する骨基質で梁のような構造をしている。外力のかかる方向に応じて走行している。

434 骨梁構造 こつりょうこうぞう

bone trabecular structure

⇒ **433** 骨梁**435 骨レベル** こつれべる

bone level

同義語 ボーンレベル

歯またはインプラントを基準とした際の周囲骨の垂直的な高さの総称である。また、歯周外科治療やインプラント治療に際しても骨の垂直的な高さの表現に用いられる。

436 骨ろう こつろう

bone wax

⇒ **533** 止血剤**437 固定性上部構造** こていせいじやうぶこうぞう

fixed implant-supported prosthesis

同義語 固定性インプラント支持補綴装置**類義語** 固定性インプラント補綴装置**関連語** 可撤性上部構造

インプラントにより支持される補綴装置のうち、インプラント体もしくはアバットメントにスクリューやセメントで固定するものである。

438 コニカルコネクション こにかるこねくしょん

conical connection

同義語 コニカルシールデザイン**関連語** テーパージョイント

インプラント体とアバットメントがテーパー形状で嵌合する連結形態のこと。インターナルコネクションの一つであり、連結部の適合精度を高めることでマイクロギャップを減らし、周囲からの細菌侵入などを防ぐことを主な目的とする。

439 コバルトクロム合金 こばるとくろむごうきん

cobalt-chromium alloy

生体材料としてのコバルトクロム合金は、主成分をコバルトとして、クロム、モリブデンなどを含み、不動態化により耐食性を有する。弾性係数が高く硬質なので、金属床やインプラント上部構造のフレー

ムに使用される。

440 コホート研究 こほーとけんきゅう

cohort study

同義語 要因対照研究

分析疫学における手法の一つで、特定の要因に曝露した集団と曝露していない集団を一定期間追跡し、研究対象となる疾病の発生率を比較することで、要因と疾病発生の関連を調査するものである。

441 固有歯槽骨 こゆうしろうこつ

proper alveolar bone

⇒ **557** 歯槽骨

442 コラーゲン線維 こらーげんせんい

collagen fiber

細胞外マトリックスの主成分であるコラーゲンが束を形成して線維状になったものをいう。数 μm ~ 20 μm 程度の太さで、結合組織、関節靭帯、歯周靭帯、骨などの構成成分である。

443 コラーゲン膜 こらーげんまく

collagen membrane

同義語 アテロコラーゲン膜

関連語 アテロコラーゲン、バリアメンブレン

ブタやウシから抽出したコラーゲンの主な抗原部位であるテロペプチドを除去し、抗原性を低下させたアテロコラーゲンを利用して精製された吸収性の膜である。一般的に4~6週間で生体に吸収される。生体適合性に優れ、膜自体が組織内で一体化し、創部が安定する。テンドンコラーゲン (Tendon collagen) も同様にウシまたはブタの腱や皮から抽出される不溶性コラーゲンである。物理的強度があり、生体親和性に優れている。

444 コルチコトミー こるちことみー

corticotomy

皮質骨を切断することにより骨に可動性をもたせ、骨形態を修正する方法のこと。骨の移動に伴う歯の移動も可能となることで、矯正治療に主に用いられる。

445 根拠に基づいた医療

こんきよにもとづいたいりょう

evidence-based medicine (EBM)

⇒ **54** EBM

446 コンタクトオステオジェネシス

こんたくとおすておじえねしす

contact osteogenesis

関連語 オッセオインテグレーション、ディスタン
トオステオジェネシス

分化した骨芽細胞がインプラント体表面で、骨を徐々に形成・添加する治療形態である。

447 コンタクトポイント こんたくとほいんと

contact point

同義語 接触点

天然歯あるいは歯冠補綴装置において、近遠心に隣在する歯または補綴装置と接触する点あるいは不定形な面のこと。加齢により摩耗が起こり接触面積が増大するが、天然歯では生理的な近心移動が生じ適切な接触関係が保たれる。一方、インプラント支持の歯冠補綴装置では生理的な移動が生じないため、時間の経過とともに天然歯との適切な接触関係が失われることがあり、臨床上注意を要する。

448 コンピュータ骨造形 こんびゅーたこつぞうけい

computer-generated bone modeling

類義語 光造形模型、3D プリンタ、塩造形模型、樹脂造形模型

ダイコムデータを用いてサージカルガイド、三次元骨模型などの造形を行うものである。三次元プリンタによる積層造形法が行われている。

449 コンピュータ支援手術

こんびゅーたしえんしゅじゅつ

computer-aided surgery (CAS)

⇒ **451** コンピュータ支援ナビゲーション

450 コンピュータ支援設計／製造

こんびゅーたしえんせつけい/せいぞう

computer-aided design/computer-aided manufacturing (CAD/CAM)

⇒ **264** CAD/CAM

451 コンピュータ支援ナビゲーション

こんびゅーたしえんなびげーしょん

computer-aided navigation

同義語 ナビゲーションシステム

事前の診断画像により、インプラント埋入窩形成の位置・方向などをコンピュータで計画し、解剖学的構造とともに術中もディスプレイに描出し、リアルタイムで術中の動きをモニタすることができるシステムをいう。このシステムを使用する手術をコンピュータ支援手術 (computer-aided surgery : CAS)

(ナビゲーション手術) という。

452 コンピュータ・シミュレーション

こんびゅーたしみゅれーしょん

computer simulation

関連語 コンピュータ支援ナビゲーション

口腔インプラントでは、専用ソフトウェアを用いて、画像上で埋入するインプラントの種類や埋入方向を検討することをいう。

453 コンピュータ断層撮影

こんびゅーただんそうさつえい

computerized tomography

⇒ **510** CT

454 コンプライアンス こんぶらいあんす

compliance

関連語 アドヒアランス

本来は法令遵守を意味するが、医療においては、医療者が患者に与えた指示や処方などに対して、患者が医療者の指示に従うことを意味する。

さ

455 サージカルガイドプレート

さーじかるがいどぶれーと

surgical guide plate

同義語 外科用ガイドプレート, サージカルステント, サージカルテンプレート, ドリルガイドインプラント体埋入手術に使用するインプラント体の埋入位置・方向などを設定したプレートのこと。エックス線 CT データをもとに模型上あるいはコンピュータソフト上で製作され、口腔内への適合性及再現性が求められる。

456 サージカルステント さーじかるすてんと

surgical stent

⇒ **455** サージカルガイドプレート

457 サージカルテンプレート

さーじかるてんぶれーと

surgical template

⇒ **455** サージカルガイドプレート

458 サージカルパック さーじかるぱっく

surgical pack (dressing)

⇒ **544** 歯周パック

459 サージカルリスク さーじかるりすく

surgical risk

⇒ **600** 手術危険度

460 細菌検査 さいきんけんさ

bacteria test

歯周炎やインプラント周囲炎の病態の把握や診断をする目的で行われる検査である。検査法としては、塗抹標本の作製、暗視野顕微鏡あるいは位相差顕微鏡による形態・機能的な分類による検査、細菌培養法、酵素反応を測定する方法、DNA プローブを用いる方法、ポリメラーゼチェーンリアクション (PCR) 法による検査などがあげられる。

461 細菌性バイオフィルム

さいきんせいばいおひるむ

bacterial biofilm

⇒ **959** バイオフィルム

462 ザイゴマインプラント ざいごまいんぷらんと

zygomatic implant

同義語 頬骨インプラント

上顎の骨量が不足している場合に、頬骨を利用して行うインプラントである。通常よりも長いインプラント体を使用する。骨移植を併用せずに行えるが、手術には熟練が必要である。

463 最終印象 さいしゅういんしょう

final impression

同義語 精密印象

関連語 印象用トレー

補綴装置を製作するために採得する印象のこと。インプラント上部構造製作のための最終印象には印象用コーピングが用いられる。精密印象材を用いて作業用模型を製作する従来からの方法に加え、口腔内スキャナーによる光学印象も臨床応用されている。

464 再植〔術, 法〕 さいしよく〔じゅつ, ほう〕

replantation

抜去された歯を再度、元の歯槽窩に戻すこと。

465 再生医学 さいせいいがく

regenerative medicine

⇒ **466** 再生医療

466 再生医療 さいせいりりょう

regenerative medicine

同義語 再生医学

臓器や組織の欠損あるいは機能障害、不全に陥った際に、その臓器や組織の機能回復を目指す医療をいう。

467 再石灰化 さいせっかいか

remineralization

正常に形成された歯が何らかの原因によりエナメル質の表層が脱灰された後、唾液中に含まれるリン酸カルシウムにより修復される現象をいう。

468 最大開口量 さいだいかいこうりょう

maximum mouth opening

関連語 開口障害

閉口位から最大開口位まで開口したときの上下顎中切歯切端間の距離のこと。

469 最大咬合力 さいだいこうごうりょく

maximum bite force

可能な限り強く噛みしめた場合に、上下顎の咬合面に発現する力のこと。咀嚼能力との関連が深いことが知られており、顎口腔機能のパラメータの一つである。

470 サイトカイン さいとかいん

cytokine

細胞から放出され、細胞間情報伝達を担う物質である。細胞膜上にある受容体に結合して、生化学的あるいは形態学的な変化を引き起こす。インターロイキンやケモカイン、細胞増殖因子などさまざまな種類があり、中でも上皮成長因子 (EGF)、線維芽細胞増殖 (成長) 因子 (FGF)、血小板由来成長因子 (PDGF) などが知られている。

471 サイドスクリュー さいどすくりゅー

side screw

インプラント上部構造を固定する目的で、アバットメントを内冠、上部構造を外冠として、外冠軸面に開けられたアクセスホールからスクリューを連結する構造のこと。咬合面にスクリューが露出しないため咬合面形態に影響しない、装着材料が不要、術後のメンテナンスが容易などのメリットがあるが、適合には技工操作において非常に高い精度が求められる。

472 サイナスフロアエレベーション

さいなすふるあえれべーしょん

sinus floor elevation

⇒ **619** 上顎洞底挙上術**473 サイナスリフト** さいなすりふと

sinus lift

⇒ **619** 上顎洞底挙上術**474 再付着** さいふちやく

reattachment

切開または外傷により健全な歯根面から離断された歯肉結合組織が、再び歯根面に付着すること。

475 細片骨移植 さいへんこつししょく

particulate bone graft(s), bone chips graft(s)

同義語 顆粒骨移植**関連語** 移植〔術、法〕、骨細片

採取した骨片を細かく砕いた状態で行う移植のこと。細片骨移植のみではなく GBR を同時に応用し、移植部を覆うことで形態を整え、細片骨が流出しないようにすることもある。

476 細胞接着 さいぼうせつちやく

cell adhesion

細胞同士の結合あるいは細胞と基質の結合をいう。臓器および組織は細胞同士が結合して機能を営んでおり、その形態学的あるいは機能的な接着様式により、アドヘレンスジャンクション、タイトジャンクション、デスマゾーム結合、ヘミデスマゾーム結合、ギャップジャンクション、フォーカルコンタクト、フォーカルアドヒージョンなどが存在する。これらの細胞接着にはカドヘリンやインテグリン、ヴィンキュリン、デスマグレインなどのさまざまなタンパク質が関与している。

477 細胞増殖《成長》因子

さいぼうぞうじょく《せいちょう》いんし

cell growth factor

⇒ **470** サイトカイン**478 細胞分化** さいぼうぶんか

cell differentiation

細胞ごとに遺伝情報が発現し、特定の形態や機能が生じること。例えば重層扁平被覆上皮では基底細胞から有棘細胞、顆粒細胞、角質へと進むことをいう。また、前骨芽細胞がコラーゲンを分泌、石灰化を起こし、骨形成細胞に変化することなどをいう。

479 擦式手指消毒 さっしきしゅししょうどく

antiseptic hand rub

同義語 刷り込み式手指消毒

目に見える汚れ（汚物や油、体液など）がない状態で、60～95%アルコール（クロルヘキシジングルコン酸塩やベンザルコニウム塩化物などを含有するものもある）を用いて行う手指消毒法である。手指のすべての表面に手指消毒薬を塗布し十分に刷り込ませる。短時間（20～30秒）で効果的に、微生物の数を減少させることができる。

480 サドルグラフト さどるぐらふと

saddle graft

同義語 Jグラフト**関連語** オンレーグラフト

歯槽骨の骨造成を垂直的、水平的に行いたいとき、歯槽骨を馬の背中に見立てて鞍を載せるような形で骨を移植することをいう。

481 サファイアインプラント

さふあいあいはんぷらんと

sapphire implant

生体不活性セラミックスであるアルミナ単結晶（いわゆる人工サファイア）のインプラント体のこと。形態的にはブレードやスクリューなどが存在し、日本では1980年代のインプラント治療において頻繁に用いられた。

482 サブジンジバルカントゥア

さぶじんじばるかんとあ

subgingival contour

関連語 エマージェンスプロファイル

インプラント上部構造やアバットメントにおけるインプラント周囲粘膜下における豊隆や角度などの形態のこと。

483 サブトラクションエックス線撮影法

さぶとらくしょんえっくすせんさつえいほう

subtraction radiography

同一の幾何学的条件で異なる時期に撮影された2枚のエックス線画像を引き算（サブトラクション）することにより、その間に生じた微細な骨の変化などを検出する方法である。

484 サブマージドインプラント

さぶまーじどいはんぷらんと

submerged implant

⇒ **929** 2回法インプラント**485 サベイング** さべいんぐ

surveying

部分床義歯を設計するためにサベイヤーを用いて行う一連の操作のこと。作業用模型もしくは研究用模型を模型台に装着し、アナライジングロッドにより義歯の着脱方向を決定した後、カーボンマーカーと補強鞘を用いてサベイラインを描記する。その後、アンダーカットゲージによりクラスプ先端の位置を決定する。

486 サポートィブペリオドンタルセラピー

さぽーていぶぺりおどんたるせらぴー

supportive periodontal therapy

同義語 SPT, サポートィブペリオドンタルトリートメント, サポートィブ治療, サポートィブセラピー, 歯周サポート治療, 歯周支持療法

類義語 メインテナンス

歯周基本治療, 歯周外科治療, 修復・補綴治療により、病状安定となった歯周組織を維持するために、歯周治療の一環として行われる継続した治療である。プラークコントロール, スケーリング, ルートプレーニング, 咬合調整などの治療が主体となる。

487 皿状吸収 さらじょうきゅうしゅう

saucer absorption

同義語 ソーサライゼーション

骨の欠損形態の俗称である。周囲の骨の高さに対し、中央部が陥凹し皿状を呈した骨の吸収状態の総称である。

488 酸エッチング さんえっちんぐ

acid etching

チタンインプラントの表面を熱濃硫酸でエッチングすることで、微小な凹凸を付与する方法である。粗面化することによりオッセオインテグレーションの獲得が良好になる。

489 酸化ジルコニウム さんかじるこにうむ

zirconium dioxide

⇒ **642** ジルコニア**490 酸化チタン** さんかちたん

titanium dioxide

同義語 チタニア

チタンの酸化物のこと。チタンインプラントの表面に不動態膜として生成し、耐食性ならびにオッセオインテグレーションの獲得に貢献する。

491 酸化被膜 さんかひまく

oxide layer

類義語 不動態膜

金属の表面に薄く生成した酸化物の被膜のこと。

492 暫間インプラント ざんかんいんぷらんと

temporary implant

同義語 イミディエイトプロビジョナルインプラント、プロビジョナルインプラント

暫間補綴装置を支持するために期間を限定して使用されるインプラントのこと。一般に永続的に使用するインプラントよりも細い直径・構造をもつ骨内インプラントである。

493 暫間上部構造 ざんかんじょうぶこうぞう

temporary superstructure

同義語 プロビジョナルレストレーション、暫間補綴装置

類義語 暫間被覆冠、暫間ブリッジ、暫間義歯、プロビジョナルクラウン、プロビジョナルデンチャー

歯もしくは歯質の欠損を一時的に補い、最終的な補綴歯科治療が実施されるまでの間、審美性や咀嚼、発音、嚥下などの口腔諸機能を維持、回復を図る装置のこと。比較的短期間の使用を前提とし、最終的な上部構造のための診断、設計にも用いられる。

494 暫間被覆冠 ざんかんひふくかん

provisional crown

⇒ **493** 暫間上部構造

495 暫間補綴装置 ざんかんほてつそうち

temporary prosthesis

⇒ **493** 暫間上部構造

496 三叉神経 さんさしんけい

trigeminal nerve

同義語 第V脳神経

脳神経12対のうちの5番目の神経である。体性運動神経と知覚神経の混合神経である。脳幹の橋から出てすぐに眼神経、上顎神経、下顎神経に分かれる。

497 三叉神経痛 さんさしんけいつう

trigeminal neuralgia

三叉神経領域に激しい疼痛発作をきたす神経痛で、特発性のものと症候性のものとに分類される。トリガーポイント（発痛点）やトリガーゾーン（発痛帯）を触刺激することで数秒から数十秒間持続す

る電撃痛が起こる。疼痛発作と疼痛発作の間はまったく無症状である。カルバマゼピンが奏効することが多い。眼窩上孔（第I枝）、眼窩下孔（第II枝）、オトガイ孔（第III枝）部分はValleixの3圧痛点とよばれ、皮膚の上から押したときに生じる痛みにより、どの神経枝の領域に異常があるのかを知ることができる。

498 三次元CT画像 さんじげんしーていがぞう

three-dimensional CT image (3D CT image)

同義語 3DCT

CTにより得られる三次元画像である。最近の医科用CTや歯科用コーンビームCTでは、体軸方向に連続的な二次元データを収集できるようになったため、任意間隔の再構成画像を作成することにより、多断面再構成法や最大値投影法、表面表示法、ボリュームレンダリング法などの高精度な三次元画像処理が可能である。

499 三次元〔的〕測定 さんじげん〔てき〕そくてい

three-dimensional measurement, coordinate measuring

物体などの三次元的座標値を検出し、物体の線長や角度などの計測を行うことをいう。具体的な物体の位置の検出には光学的プローブなどが、また、数値の計算にはコンピュータが用いられる。

500 三点曲げ試験 さんてんまげしけん

three-point bending test

関連語 曲げ強さ

試験片の底部を2点で支え、中央の上部から荷重を加えて変形や破壊時の強さ（曲げ強さ）を測定する試験のこと。

501 サンドブラスト さんどぶらすと

sandblast

関連語 表面処理

圧搾空気によりノズルから砂粒、アルミナ、ガラスなどの研磨粒子を吹き付け、材料表面を加工する方法である。歯科領域では研磨や鑄造後の埋没材除去に用いられることが多い。

502 サンドブラストエッチング

さんどぶらすとえっちなぐ

sandblast etching

チタンインプラント表面の粗面処理で、サンドブラストと酸エッチングを併用することにより、比較的大きな凹凸内に微小な凹凸を付与する方法である。

し

- 503 **GI** じーあい
gingival index
⇒ 576 歯肉炎指数
- 504 **CEJ** しーいーじえー
cemento-enamel junction
⇒ 738 セメントエナメル境
- 505 **CAS** しーえーえす
computer-aided surgery
⇒ 451 コンピュータ支援ナビゲーション
- 506 **COPD** しーおーびーでい
chronic obstructive pulmonary disease
⇒ 1134 慢性閉塞性肺疾患
- 507 **CGF** しーじーえふ
concentrated growth factors
⇒ 304 血液由来成長因子を利用した再生療法
- 508 **GCF** じーしーえふ
gingival crevicular fluid
⇒ 578 歯肉溝滲出液
- 509 **CJD** しーじえーでい
Creutzfeldt-Jakob disease
⇒ 293 クロイツフェルト・ヤコブ病
- 510 **CT** しーていー
computer tomography
同義語 コンピュータ断層撮影〔装置〕, CT スキャン, MDCT
関連語 エックス線 CT, CT 値, 歯科用コーンビーム CT
エックス線などを用い, 三次元的物体を走査してその位置情報とボクセルに特定の値 (CT 値) を演算処理し, 非破壊的に内部構造を再構成して表示する技術, あるいはその目的をもった装置をいう. 汎用的に CT 値は内部構造の構成要素を想定する目的に用いられ, 有用性が高い. 歯科用コーンビーム CT (CBCT) をこの範疇に包含することがある.
- 511 **GTR〔法〕** じーていーあーる〔ほう〕
guided tissue regeneration
⇒ 784 組織再生誘導〔法〕

- 512 **CT 値** しーていーち
computed tomography value
同義語 ハンスフィールド値
関連語 CT
水のエックス線吸収係数を基準として CT 値は〔組織の減弱係数－水の減弱係数〕／水の減弱係数〕×定数で定義される. CT 値の単位には HU (Hounsfield Unit) を使用する. エックス線の吸収率は物質によって異なることから, 任意のボクセルの物質の推定や物質の変化を推定することが可能となる.
- 513 **GBR〔法〕** じーびーあーる〔ほう〕
guided bone regeneration
⇒ 391 骨再生誘導法
- 514 **CPTi** しーぴーちたん
commercially pure titanium
⇒ 839 チタン
- 515 **J グラフト** じえーぐらふと
J graft
⇒ 480 サドルグラフト
- 516 **シェードガイド** しえーどがいで
shade guide
色調選択のための色見本のこと. 人工歯, 前装材料, 成形修復材料, 義歯床用レジン, 顔面補綴装置の皮膚色材料などを選択する際に用いられる.
- 517 **シェフィールドテスト** しえふいーるどてすと
sheffield test
⇒ 979 パッシブフィット
- 518 **哆開** しかい
wound dehiscence
同義語 創哆開
手術併発症の一つで, 閉創した部位が, 術後, 何らかの理由で開き, 広がっている状態をいう.
- 519 **自家《自己》移植〔術, 法〕**
じか《じこ》いしよく〔じゅつ, ほう〕
autologous grafting
⇒ 64 移植〔術, 法〕, 522 自家骨移植
- 520 **自家移植材** じかいしよくざい
autograft(s)
⇒ 64 移植〔術, 法〕, 522 自家骨移植

521 歯科インプラント しかいんぷらんと
dental implant

関連語 口腔インプラント

広義の意味（医科と歯科の二元論）では、歯科が取り扱うインプラントのこと。狭義の意味では、インプラント支持の補綴治療のことで、デンタルインプラントともいう。

522 自家骨移植 じかこついしょく
autogenous bone graft(s), autogenous bone transplantation

関連語 移植〔術，法〕，他家骨移植

患者自身から採取された骨を使用して、骨欠損を補うこと。海綿骨細片を使用する場合と、ブロック骨として使用する場合がある。移植部位の母床骨との生着がよく、骨欠損修復材料としては最適であるが、採取部位に侵襲が加わること、採取量に限界があることが欠点となる。

523 歯科用コーンビームCT
しかようこーんびーむしーていー
dental cone-beam CT

同義語 CBCT

歯科用コーンビームCTは、エックス線管と二次元検出器が対向し、エックス線を円錐状（コーン状）に照射することにより、二次元データを取得する。そのため、エックス線管と対向する検出器が1回転することで、三次元画像の作成が可能である。利点として、①解像度（空間分解能）が高い、②被曝線量が少ない、③撮影時間が短い、④金属によるアーチファクトが目立たない、⑤軽量で設置面積が小さい、があげられる。

524 歯間鼓形空隙 しかんこけいくうげき
embrasure

関連語 ブラックトライアングル

隣接する歯の接触点を中心に現れる三角垂形の空隙のこと。その部位から、咬合面（上部）鼓形空隙、歯頸（下部）鼓形空隙などに分類される。歯周疾患や加齢変化などにより歯頸（下部）鼓形空隙の歯間乳頭が退縮した状態は、いわゆるブラックトライアングルとよばれ、審美的に問題を生じる。

525 歯冠歯根比 しかんしこんひ
crown-root ratio

同義語 クラウン-インプラント比

補綴装置の力学的な支持能力評価指標の一つである。一般的には、顎骨の歯槽窩から突出している部分を歯冠とし、歯槽窩内の部分を歯根として、それ

ぞれの長さの比を歯冠歯根比という。インプラントにおいては、同様の指標としてクラウン-インプラント比（crown-implant ratio）が知られている。歯冠歯根比が大きな（歯根に比べ歯冠が長い）天然歯またはインプラントでは歯冠部への側方力が顎骨内への大きな応力となるため臨床的対応が必要となる。

526 歯間乳頭 しかんにゅうとう
interdental papilla

類義語 乳頭部歯肉

歯の両隣接面の接触点の下方の三角形の歯肉、隣在する歯の歯間鼓形空隙を埋めている歯間部の歯肉をいう。この歯肉は、歯の隣接面の幅、接触点の位置、歯間部の骨形態などにより形態が異なる。隣接面の広い大白歯部では、頬側・舌側の二つにピークをもち、その中間がコルとよばれる陥凹部になっている。

527 歯間乳頭保存術 しかんにゅうとうほそんじゅつ
papillae preservation flap surgery

同義語 パピラプリザベーションフラップ手術、乳頭保存フラップ手術

歯周外科治療において歯間部歯肉を保存することで、術前の歯間乳頭の形態を極力保存する手術法である。具体的には、歯肉溝内切開を口蓋側（舌側）の歯間乳頭部まで延長し、歯間乳頭部を保存した状態で、唇（頬）側歯肉弁を形成する。

528 歯間ブラシ しかんぶらし
proxy brush

同義語 インターデンタルブラシ、歯間清掃ブラシ
コンタクトポイント下の歯間部隣接面の清掃用具の一つである。中心のワイヤーからブラシが放射状に配列されている。一般にブラシ部分が円錐状のものが多く、歯間部の大きさに合わせた毛束の長さの異なる数種類のサイズがある。インプラントの表面の損傷を避けるため中心部のワイヤーがプラスチックでコーティングされている場合もある。

529 磁気共鳴画像 じききょうめいがぞう
magnetic resonance imaging (MRI)
⇒ **161** MRI

530 死腔 しくう
dead space

無駄な、あるいは意味のない空間や間隙のこと。生体組織に実質欠損が生じた場合の欠損空隙などをいう。死腔には出血や滲出液が貯留し、細菌増殖の

場となり、感染を惹起する場合がありますので注意が必要である。

531 止血鉗子 しけつかんし

hemostat

手術時に血管を結紮する目的で、血管をはさむために用いられる器具である。モスキート、ペアン、コッヘルなどがある。狭い口腔内ではモスキートが用いられることが多い。

532 止血機能検査 しけつきのうけんさ

hemostatic function test

止血機能には、血管壁、血小板、凝固因子、線溶系が関与する。止血機能のスクリーニング検査として、毛細管抵抗試験、出血時間、凝固時間、血小板数と機能、APTT（活性部分トロンボプラスチン時間）、PT（プロトロンビン時間）、フィブリノゲン、FDP（フィブリン/フィブリノゲン分解産物）などの測定が行われる。

533 止血剤 しけつざい

hemostatic agent

関連語 止血法

止血のために用いられる薬剤のこと。ゼラチン、トロンビン、ビタミンK、カルシウム製剤などがある。骨からの出血には骨ろう（ボーンワックス）が用いられる。

534 止血法 しけつほう

hemostasis

関連語 止血剤

出血への対処法である。一時的止血法と永久的止血法がある。前者には指圧法、圧迫法、塞栓法などが、後者には血管結紮法、挫滅法、焼灼法などがある。骨出血には、挫滅法や塞栓法を用いる。さらに全身的、局所的止血剤を併用する場合もある。

535 自己免疫疾患 じこめんえきしっかん

autoimmune disease

免疫系が内因性抗原に対する自己抗体を作り出すことで起こる疾患の総称である。関節リウマチや膠原病などの全身性自己免疫疾患と、重症筋無力症などの臓器特異的疾患の2種類に分けることができる。治療にはステロイドが用いられることが多く、その副作用として易感染性、骨粗鬆症、二次的な副腎皮質不全などがあり、インプラント治療のリスクファクターとなる。

536 歯根型インプラント しこんがたいんぷらんと

root form implant

現在主流となっている骨内インプラントの形態である。構造はインプラント体とアバットメントの二つの部品で構成され、一体型も存在する。材料はチタン製がほとんどで、表面にはさまざまな手段によって粗面が付与されたり、生体材料によるコーティングなどが行われている。いずれもオッセオインテグレーションを積極的に獲得するよう工夫されている。

537 歯根吸収 しこんきゅうしゅう

root resorption

歯根のセメント質および象牙質の吸収をいう。セメント質に接する破歯細胞によって行われる。歯根膜を介さず骨組織と歯根が接し、骨組織のリモデリングにより、歯根が骨組織に置換されることを置換性吸収という。また、歯根膜のない部位でセメント質が吸収されると、象牙細管が露出し、失活歯などの歯髓腔より放出された細菌により炎症が惹起し、歯根吸収が起こることを炎症性吸収という。

538 歯根膜 しこんまく

periodontal ligament

同義語 歯周靭帯

歯槽骨とセメント質の間に介在している線維性結合組織である。歯根膜には主線維とよばれるコラーゲン線維が豊富に存在し、その両端はセメント質と歯槽骨にシャービー線維となって埋入され、歯に加わるさまざまな方向の力に対応するように機能配列している。

539 支持歯槽骨 しじしろうこつ

supporting alveolar bone

⇒ 557 歯槽骨

540 歯周形成手術 ししゅうけいせいしゅじゅつ

periodontal plastic surgery

同義語 歯肉歯槽粘膜形成術

小帯の高位付着、付着歯肉幅の不足、口腔前庭の狭小、歯根面露出などの歯肉歯槽粘膜部位の形態異常を改善するための歯周外科手術の総称である。インプラント周囲軟組織に対しても同様の目的で行われる。歯肉歯槽粘膜形成術と同義語であり、歯肉弁根尖側移動術、歯肉弁冠側移動術、歯肉弁側方移動術、口腔前庭拡張術、遊離歯肉移植術、遊離結合組織移植術がある。

541 歯周支持療法 ししゅうしじりょうほう

supportive periodontal therapy

⇒ **486** サポートイブペリオドンタルセラピー**542 歯周靱帯** ししゅうじんたい

periodontal ligament

⇒ **538** 歯根膜**543 歯周バイオタイプ** ししゅうばいおたいぶ

periodontal biotype

同義語 バイオタイプ

頰側歯肉の厚さおよび形状を示す。歯周バイオタイプは厚いタイプ (thick-flat) と薄いタイプ (thin-scallop) に分類される。歯周バイオタイプを評価することにより、歯周外科の難易度、支台歯形成時の形成限界の位置決定、術後および長期経過における歯肉退縮のリスクを判定することが可能である。

544 歯周パック ししゅうぱっく

periodontal pack

同義語 サージカルパック、歯周包帯《包填剤》、ペリオドンタルドレッシング

歯周外科手術後の創傷部を保護するために使用する材料である。後出血の防止、術後の不快感・疼痛の緩和、感染の防止、象牙質知覚過敏、肉芽組織の過剰増殖の抑制、術後における動揺歯の固定、歯肉弁の固定、咀嚼中における外傷の防止などが期待される。代表的なものとして、ユージノール系と非ユージノール系のものがある。

545 歯周病原細菌 ししゅうびょうげんさいきん

periodontopathic bacteria

歯周病やインプラント周囲炎の発症・進行に関与するとされるグラム陰性嫌気性の細菌の総称である。特に、*Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は侵襲性歯周炎に、red complex と称される *Porphyromonas gingivalis*, *Tannerella forsythia*, *Treponema denticola* の3菌種は慢性歯周炎の進行や発症に強く関わるといわれている。

546 歯周プローブ ししゅうぶろーぶ

periodontal probe

同義語 ポケット探針

歯肉溝、歯周ポケットやインプラント周囲溝の深さを測定するための器具で、根面の触知により歯根面の状態を把握することにも用いる。挿入圧は0.2～0.3 Nが適切とされている。インプラント周囲溝の測定にはプラスチック製プローブを使用することもある。

547 歯周包帯《包填材》

ししゅうほうたい《ほうてんざい》

periodontal dressing

⇒ **544** 歯周パック**548 歯周ポケット** ししゅうぽけっと

periodontal pocket

類義語 真性ポケット

歯と歯肉の間の溝（歯肉溝）が病的に深くなったものである。歯肉縁からポケット底部までの深さを、歯周プローブを用いて測定し、歯周病の進行度を診断する。通常の歯肉溝の深さは0.5～2 mm程度であるが、4 mm以上の深さになり、歯周ポケットが形成された場合は病的な状態である。

549 矢状顆路 しじょうかる

sagittal condylar path

下顎頭（顎頭）の運動経路である顆路を矢状面に投影したものである。前方滑走運動時における顆路を矢状前方顆路といい、側方滑走運動時における非作業側下顎頭の顆路を矢状側方顆路という。またフランクフルト平面などの水平基準面と矢状顆路がなす角度を矢状顆路傾斜角とよぶ。

550 持針器 じしんき

needle holder

手術時の創の縫合などの際、縫合針を把持する器具のこと。縫合針の保持部、連結部、把持部から構成される。把持部の形態によりマチュウ型、ヘガール型、カストロビージョ（カストロビエホ）型に分類される。



☒：持針器

551 歯髓幹細胞 しずいかんさいぼう

dental pulp stem cells

関連語 間葉系幹細胞、脂肪幹細胞

象牙質に囲まれた歯髓組織内に存在する間葉系幹

細胞である。歯髄組織内では線維芽細胞や象牙芽細胞に分化する。骨髄の間葉系幹細胞と同様に、自己複製能と中胚葉系の細胞への多分化能をもつ。

552 システマティックレビュー

しすてまでいっくればいゆー

systematic review

医療文献を徹底的に調査し、ランダム化比較試験(RCT)のような質の高い研究のデータを限りなく偏りを除き、分析を行うこと。EBM(根拠に基づいた医療)で用いるための客観性の高い情報の収集と検証を行う調査である。

553 CIST しすと

cumulative interceptive supportive therapy

⇒ 1188 累積的防御療法

554 磁性アタッチメント じせいあたっちめんと

magnetic attachment

同義語 マグネットアタッチメント

関連語 アタッチメントシステム、バーアタッチメント、ポールアタッチメント、ロケーターアタッチメント

磁力を維持に利用した支台装置のこと。現在市販されているものは希土類磁石をステンレス製のヨークで被覆したものが多い。支台歯やインプラント体に装着されるキーパーと吸着することで義歯の維持力を発現する。オーバーデンチャーの支台装置のためにアタッチメントとして設置されることが多い。

555 歯石 しせき

calculus

類義語 歯肉縁下歯石、歯肉縁上歯石

プラークがリン酸カルシウムを主成分とし石灰化したものである。無機質が約90%、有機質が約10%である。歯石の形成は唾液腺からの分泌も影響しているため、下顎前歯部の舌側、上顎第一大臼歯の頬側などの大唾液腺開口部に近接して認められることが多い。歯石はプラークリンテンションファクターとして二次的に歯周組織に影響を及ぼす。

556 自然孔 しぜんこう

semilunar hiatus

⇒ 992 半月裂孔

557 歯槽骨 しそうこつ

alveolar (bone) crest

歯根の周囲を取り巻く骨を歯槽骨という。歯槽骨は固有歯槽骨と支持歯槽骨に分けられる。固有歯槽

骨は歯根膜に接している緻密骨で、束状骨と層板骨に分けられる。束状骨には、主線維が埋没しており、埋没した主線維がシャープリー線維である。支持歯槽骨は固有歯槽骨を除く歯槽骨の部分で、固有歯槽骨を支持している。

558 歯槽骨延長術 しそうこつえんちようじゆつ

alveolar distraction osteogenesis

⇒ 217 仮骨延長術

559 歯槽〔骨〕吸収 しそう〔こつ〕きゆうしゆう

alveolar (bone) resorption

同義語 歯槽骨喪失

関連語 歯槽骨、骨吸収

歯槽骨にみられる骨吸収のこと。生理的または病的な吸収がある。病的な吸収は主として垂直性骨吸収および水平性骨吸収に分類される。

560 歯槽骨頂 しそうこつちよう

alveolar (bone) crest

類義語 歯槽縁、歯槽稜、歯槽頂

歯根を入れる歯槽の自由縁(歯槽縁)で、歯槽突起の内板・外板の緻密骨(皮質骨)と線維骨と層板骨からなる固有歯槽骨との接点(頂部)である。

561 歯槽頂 しそうちよう

alveolar ridge crest

歯槽突起(上顎)あるいは歯槽部(下顎)において、歯の喪失後に生じる骨改造によって鞍状を呈した顎堤粘膜の頂上のこと。

562 歯槽頂アプローチ しそうちようあぷろーち

alveolar crest approach

⇒ 563 歯槽頂切開

563 歯槽頂切開 しそうちようせつかい

alveolar crestal incision

同義語 歯槽頂アプローチ

上顎骨歯槽突起・下顎骨歯槽部の骨稜または歯が欠損した部分における歯槽堤頂部の切開のこと。

564 歯槽堤 しそうてい

alveolar ridge

⇒ 210 顎堤

565 歯槽堤拡大術 しそうていかくだいじゆつ

alveolar ridge enhancement

⇒ 405 骨造成

566 歯槽堤形成術 しそうていけいせいじゆつ

alveolar ridge plastics

萎縮した歯槽堤を補綴治療やインプラント治療が有利に行えるように形成する手術法の一つである。口腔前庭や舌側の可動性軟組織を切り下げて形成する相対的歯槽堤形成術と、骨移植などで骨高径を高める絶対的歯槽堤形成術とがある。インプラント治療では、前者は角化付着粘膜（非可動粘膜）の獲得に、後者はインプラント体埋入部の骨量獲得に用いられる。

567 歯槽堤整形 しそうていせいけい

orthopaedics of alveolar ridge

⇒ **212** 顎堤整形**568 歯槽堤増生** しそうていぞうせい

alveolar ridge augmentation

⇒ **405** 骨造成**569 歯槽堤造成** しそうていぞうせい

alveolar ridge augmentation

⇒ **405** 骨造成**570 歯槽堤幅〔径〕** しそうていふく〔けい〕

alveolar ridge width

⇒ **210** 顎堤**571 歯槽突起** しそうとつき

alveolar process

上顎骨における歯が釘植している歯槽窩を取り巻く骨である。

572 歯槽部 しそうぶ

alveolar part

下顎骨における歯が釘植している歯槽窩を取り巻く骨である。

573 自動体外式除細動器

じどうたいがいしきじよさいどうき

automated external defibrillator (AED)

⇒ **141** AED**574 歯内骨内インプラント**

しないくつないいんぷらんと

endodontic endosseous implant

天然歯根を貫通し、骨内にまで到達しているインプラントのこと。歯周病などで歯が動揺している場合に、インプラントを利用して固定する歯の延命処置であったが、現在ではほとんど行われていない。

575 歯肉炎 しにくえん

gingivitis

同義語 辺縁性歯肉炎**類義語** プラーク性歯肉炎、単純性歯肉炎、妊娠性歯肉炎、壊死性潰瘍性歯肉炎

歯周病の一つで、付着の喪失や歯槽骨吸収を伴わない、歯肉に局限した炎症である。プラークや歯石、歯列不正などの局所的な原因と、ホルモンの変調、内分泌異常などの全身的要因がある。歯周炎とは異なり、炎症が歯槽骨、歯根膜などに及んでいないため、原因の除去により健康な歯周組織へと治療をする。

576 歯肉炎指数 しにくえんしすう

gingival index

同義語 GI

歯肉の炎症の程度を表す指数で、1963年にLöeとSilnessにより提唱された。歯面を4面（頬・唇側面、舌・口蓋側面、近心面、遠心面）に分け、4段階のスコアで判定する。

577 歯肉縁切開 しにくえんせつかい

intracrevicular incision

⇒ **579** 歯肉溝内切開**578 歯肉溝滲出液** しにくこうしんしゅつえき

gingival crevicular fluid

同義語 GCF

上皮を通過して周囲組織から歯肉溝に滲出してくる組織液のこと。炎症の亢進によってその量が増加する。歯周組織の健康状態と関連するさまざまな細菌成分、細菌由来成分および生体由来成分を含む。

579 歯肉溝内切開 しにくこうないせつかい

intracrevicular incision

同義語 歯肉縁切開

歯肉辺縁部から歯周ポケット底あるいは歯槽骨頂に向けて行う切開法である。フラップ手術などに用いられる基本的な切開法の一つである。付着歯肉の幅がほとんど変化しないことから、審美性に優れ、付着歯肉幅の少ない症例にも応用できる。

580 歯肉歯槽粘膜移行部《境》

しにくしそねんまくいくこうぶ《きょう》

mucogingival junction

同義語 MGJ

非可動性・角化性の歯肉と可動性・非角化性の歯槽粘膜が移行・境界する部分のこと。インプラント周囲組織にも可動粘膜と非可動粘膜の移行部が存在

し、非可動部の狭小はインプラント周囲粘膜炎の発現との関連相関が指摘されている。

581 歯肉歯槽粘膜形成術

しにくしそうねんまくけいせいじゆつ

mucogingival surgery

⇒ 540 歯周形成手術

582 歯肉整形 しにくせいけい

gingivoplasty

歯肉の形態異常を生理的な歯肉形態に改善すること。審美的な改善，機能的な改善を目的とする。

583 歯肉切除術 しにくせつじよじゆつ

gingivectomy

切除療法に分類される歯周外科手術であり，歯肉炎による仮性ポケットや線維性歯肉増殖症あるいは軽度歯周病の浅い骨縁上ポケットに適応され，歯周ポケットの除去や減少を目的としている術式である。

584 歯肉退縮 しにくたいしゆく

gingival recession

辺縁歯肉がセメントエナメル境より根尖側方向へ退行することで歯根面が露出した状態である。歯周炎による付着の喪失や，咬合性外傷，加齢による変化，過度のブラッシング圧などの機械的刺激によって生じる。露出した根面は，象牙質知覚過敏や根面齧蝕が生じやすくなる。歯周形成手術により根面被覆が可能な場合もある。

585 歯肉剝離子 しにくはくりし

gingival raspatory

⇒ 972 剝離子

586 歯肉付着〔部〕 しにくふちゃく〔部〕

gingival attachment

歯肉が歯に付着している部位を歯肉付着部という。生理的にはセメントエナメル境を挟んでエナメル質側に上皮が，セメント質側に結合組織が付着するが，歯周病の進行などにより歯肉が退縮した場合には，歯肉付着も根尖側に移動する。インプラントにも類似した付着がみられるが，天然歯に比べて付着が脆弱である。

587 歯肉弁 しにくべん

gingival flap

同義語 フラップ

歯肉が手術により周囲の組織から切り離されて弁

状になり（フラップ），可動性となったものをさす。骨膜を含め歯肉全層を剝離して形成された歯肉弁を粘膜骨膜弁（全層弁）といい，骨膜を骨面上に残して上皮と結合組織の一部のみを剝離して形成された歯肉弁を粘膜弁（部分層弁）という。基底部も含めて周囲の組織から完全に切り離された歯肉を遊離歯肉弁，基底部を残した場合を有茎弁という。

588 歯肉弁根尖側移動術

しにくべんこんせんそくいどうじゆつ

apically positioned flap operation

⇒ 540 歯周形成手術

589 歯肉弁冠冠側移動術

しにくべんしかんそくいどうじゆつ

coronally repositioned flap surgery

⇒ 540 歯周形成手術

590 歯肉弁側方移動術

しにくべんそくほういどうじゆつ

laterally repositioned flap surgery

⇒ 540 歯周形成手術

591 脂肪幹細胞 しぼうかんさいぼう

adipose-derived stem cells

関連語 間葉系幹細胞，歯髓幹細胞

脂肪組織中に存在する間葉系幹細胞である。骨髄の間葉系幹細胞と同様に，自己複製能と中胚葉系の細胞への多分化能をもつ。

592 脂肪髄 しぼうすい

fatty marrow

同義語 黄色髄，黄色骨髄

骨髄において，本来の生理的な働きを担っている血球系や間葉系幹細胞がその機能を失い，脂肪組織に置き換えられたもので，黄色（骨）髄ともいう。骨髄が脂肪髄化すると，骨量は減少し，骨密度は低下するとされる。

593 シミュレーションソフトウェア

しみゆれーしょんそふとうえあ

simulation software

擬似画像をコンピュータ画面上に形成するプログラム一般をいう。インプラント治療に関しては，解剖学的な構造を画面に投影し，顎骨形態の立体的検査や上部構造においてインプラント体の埋入位置・方向などを診断する作業に利用される。

594 射出成形 しゃしゅつせいけい

injection molding

熱可塑性樹脂や金属、ガラスなどの材料を、高温・高圧・高速で型内へ充填する成形法である。歯科では、材料にはポリカーボネート、ポリスルホン、アクリルなどの熱可塑性樹脂やガラスが利用される。また型材には石膏が用いられる。

595 斜切開法 しゃせつかいほう

bevel incision

関連語 内斜切開

メスや外科用ナイフ、電気メスなどにより歯肉や歯槽粘膜に斜めに切開を加える方法のことで、これにより歯肉や歯槽粘膜の厚みは減少する。歯肉外側の根尖側から歯冠側へ斜めに加える切開を外斜切開といい、歯肉切除術や歯肉整形術などのときに用いられる。歯肉辺縁のやや根尖側より歯槽骨頂に向けて行う切開を内斜切開という。

596 遮断膜 しゃだんまく

barrier membrane

⇒ **990** バリアメンブレン**597 集学的治療** しゅうがくてきちりょう

multidisciplinary treatment

複数の異なる分野の診療科が協力して統合的に行う治療である。

598 周術期管理 しゅうじゅつきかんり

perioperative management

術前、術中、術後を通じた患者管理で、術前検査をはじめ、手術計画、術中のモニタを含めた麻酔管理、感染防止、疼痛管理を含めた術後管理などからなる。

599 縦断〔的〕研究 じゅうだん〔てき〕けんきゅう

longitudinal study

関連語 横断〔的〕研究

統計学的調査・解析を伴う科学的な量的研究法の一つである。同一の対象者を、時間軸に沿って定期的、継続的に追跡調査する研究方法である。長期において行うため、連続性や安定性を観察できるが、労力や費用が大きくなる。横断的研究と対比して用いられる。

600 手術危険度 しゅじゅつきけんど

surgical risk

同義語 サージカルリスク**関連語** physical status

手術に伴う危険度のこと。

⇒ **1038** physical status**601 出血時間** しゅつけつじかん

bleeding time

関連語 止血機能検査、出血性素因

止血機能検査の一つである。血小板数の減少や機能低下、血管壁の脆弱性の存在などにより異常を示すが、臨床的には血小板機能のスクリーニング検査としての意義が大きい。血小板無力症、非ステロイド性消炎鎮痛薬（NSAIDs）や抗血小板薬内服などが測定値に影響する。耳朶を用いた Duke 法が一般に用いられる。基準値：2～5分。

602 出血性素因 しゅつけつせいそいん

hemorrhagic diathesis

類義語 出血傾向

種々の疾患や薬物などが原因となり、止血機序が破綻し出血を起こしやすい状態のことをさす。血管壁、血小板、凝固因子、線溶系などの異常が関与している。出血傾向ともいう。

603 術後管理 じゅつごかんり

postoperative care

同義語 術後ケア

手術後の全身状態、局所の感染、血腫の防止などの管理のこと。術後感染予防に抗菌薬を投与する、半流動性の食事や摂食後の含嗽の励行などを含む。個々の症例によって対応は異なる。

604 術後性上顎嚢胞 じゅつごせいじょうがくのうほう

postoperative maxillary cast

上顎洞の粘膜をすべて除去する上顎洞根治術の後に、上顎洞内に生じる嚢胞である。上顎洞臼歯部へのインプラント埋入の際に注意を要する。

605 術前管理 じゅつぜんかんり

preoperative care

関連語 術前評価

外科処置一般の術前の患者管理のことをいう。全身既往症への対応、術後を予想したインフォームド・コンセント、埋入部位の診断などが含まれる。

606 術前評価 じゅつぜんひょうか

preoperative assessment

同義語 術前アセスメント**関連語** 術前管理、physical status

手術を安全に行うために、手術前の血圧、脈拍、

呼吸数などのバイタルサイン，全身合併症の有無および管理状態，精神的状態を評価すること，評価基準としてNYHAの心機能分類やASAのphysical statusなどがある．局所の評価としては，開口量や画像診断によって埋入部位の骨の状態を診断することも重要である．

607 シュナイダー膜 しゅないだーまく

Schneiderian membrane

⇒ **621** 上顎洞粘膜

608 受容側 じゅようそく

recipient site

⇒ **1192** レシピエントサイト

609 純チタン じゅんちたん

pure titanium

⇒ **839** チタン

610 常温重合レジン じょうおんじゅうごうれじん

cold-curing resin, self-curing resin, self-curing repair resin

同義語 即時重合レジン

常温で重合するレジンの総称である．義歯用の流し込みレジンや筆積法などを用いる義歯補修用レジン，あるいは歯冠修復用コンポジットレジンや接着性レジンセメントなど歯科では多種類のレジンが用いられる．基材にはアクリレートやメタクリレートなど多種類のポリマーやモノマーが用いられる．重合反応させる方法は，過酸化ベンゾイル（BPO）と第3級アミンのレドックス系，トリn-ブチルボランの系，光増感剤と可視光線あるいは紫外線による系，パラトルエンスルフィン酸の系などが歯科用として用いられている．

代表的な常温重合レジンである流し込みレジンには，加熱重合レジンと比べて寸法精度が高く，操作性に優れるが，残留モノマーが多く，機械的性質に劣るなどの欠点をもつ．強さが増すことから専用の重合器で40～60℃に加温し加圧条件で重合させる製品が多い．

611 上顎結節 じょうがくけっせつ

maxillary tuberosity

上顎体の後面（側頭下面）の中央部が後方へ隆起した部分で，上顎洞の後方への膨隆部に当たる．上顎結節の骨壁は極めて薄く，骨壁表面には数個の歯槽孔（後上歯槽動・静脈および同名神経が通過）が存在している．

612 上顎洞 じょうがくどう

maxillary sinus

同義語 ハイモア洞

副鼻腔の一つで，上顎骨体の中に体外形に一致した，鼻腔面を底とするピラミッド型の空洞で，副鼻腔最大の大きさ（10～15mL）を有する．洞壁は鼻粘膜の続きで，線毛上皮で覆われている．鼻腔とは中鼻道に開口する自然孔を介して交通する．

613 上顎洞炎 じょうがくどうえん

maxillary sinusitis

同義語 菌性上顎洞炎

副鼻腔炎の一つで，上顎洞に発症した炎症である．歯根が上顎洞底と近接しているため，歯の炎症や治療が原因で生じるものを菌性上顎洞炎とよぶ．インプラント治療においては上顎洞に侵襲が及ぶような操作により洞炎が生じる．特に上顎洞底挙上術，ソケットリフト時の上顎洞粘膜剝離操作，上顎洞粘膜の穿孔とそれに継発する骨補填材の上顎洞への逸出，インプラント体の迷入などに伴い炎症を生じる場合がある．

614 上顎洞隔壁 じょうがくどうかくへき

maxillary sinus septum

上顎洞底から上顎洞を分けるように隆起した突起状構造物である．日本人の約3割にみられ，棘状，鋸歯状，隆起状などを呈し，頂部では薄い上顎洞粘膜が固着しており，剝離が難しく，上顎洞底挙上術においては，粘膜穿孔をきたしやすい．

615 上顎洞根治術 じょうがくどうこんちじゅつ

radical operation of maxillary sinus

同義語 上顎洞炎根治術，上顎洞根本手術

関連語 術後性上顎嚢胞

上顎洞炎に対する手術法の一つで，口腔内より上顎洞前壁の骨を開削し，病的な上顎洞粘膜を摘出するものである．鼻腔側壁との境界の骨を開削し，下鼻道に開放する．数年～数十年後に，術後性上顎嚢胞を発症することがあり，上顎臼歯部のインプラント治療の際には注意が必要である．

616 上顎洞穿孔 じょうがくどうせんこう

perforation of maxillary sinus

上顎臼歯部の抜歯やインプラント体埋入の際などに，粘膜の裂開とともに骨欠損が生じ，口腔と上顎洞が交通した状態である．自然閉鎖することもあるが，閉鎖床や閉鎖手術が必要となることもある．口腔と上顎洞の間に長期間瘻孔が形成されることを口腔上顎洞瘻とよび，瘻孔閉鎖術が必要となる．

617 上顎洞貯留嚢胞 じょうがくどうちりゅうのうほう

maxillary sinus mucocele

⇒ **620** 上顎洞粘液貯留嚢胞**618 上顎洞底** じょうがくどうてい

maxillary sinus floor

上顎洞の下壁の最深部である。洞底には隔壁がみられることがある。

619 上顎洞底挙上術

じょうがくどうていきょじょうじゆつ

maxillary sinus floor elevation

同義語 サイナスフロアエレベーション**類義語** サイナスリフト, ソケットリフト, ラテラルウィンドウテクニック, クレスタルアプローチ

上顎洞底挙上術(サイナスフロアエレベーション)とは, 上顎臼歯部の歯槽頂から上顎洞底までの骨高径が短い場合に, インプラント体を埋入するために行う洞底部の骨造成法である。上顎洞前壁の骨を開窓し, 洞底部から上顎洞粘膜を剝離挙上するラテラルウィンドウテクニック(側方アプローチ; 側方開窓術)と, 歯槽頂から行うクレスタルアプローチ(歯槽頂アプローチ)が一般的である。前者をサイナスリフト, 後者をソケットリフトとよぶことがある。

620 上顎洞粘液貯留嚢胞

じょうがくどうねんえきちりゅうのうほう

maxillary sinus mucocele

同義語 上顎洞貯留嚢胞, ムコツェーレ

上顎洞底部に発症する半円形の粘液貯留嚢胞である。摘出は必ずしも必要ではないが, 上顎洞底挙上術を行う際には注意が必要である。

621 上顎洞粘膜 じょうがくどうねんまく

maxillary sinus mucous membrane

関連語 上顎洞底挙上術

上顎洞の粘膜は鼻腔の粘膜の続きで, 厚さは0.5~1.0 mmである。上顎洞の骨壁を覆っており, 粘膜上皮は偽重層(線毛)上皮で, 粘膜固有層は線維性結合組織で, 洞壁の骨膜に移行している。粘膜下組織はほとんど認められない。上顎洞粘膜は口腔インプラントの上顎洞底挙上術時に注意を要する粘膜である。シュナイダー膜ともよばれるが, 医学用語として使用は好ましくない。

622 上顎洞迷入 じょうがくどうめいりにゅう

abberation into the maxillary sinus

歯, 歯根, 根管治療材料, インプラント体などが

上顎洞内に入り込んでしまうことをいう。上顎洞内の迷入異物は上顎洞炎(副鼻腔炎)の原因となるために除去しなければならない。

623 上顎洞裂孔 じょうがくどうれっこう

aperture of maxillary sinus

⇒ **992** 半月裂孔**624 衝撃破壊試験** しょうげきはかいしけん

impact fracture test

試験片に衝撃荷重を加え, 破壊に要したエネルギーを測定する試験のこと。シャルピー試験やアイゾット試験が行われる。単位はジュール(J)で表す。

625 焼結アパタイト しょうけつあぱたいと

sintered apatite

アパタイト粉末の集合体を融点より低い温度での加熱で, 粉末同士が結合した多孔質体である。人工骨の場合には気孔率などによって新生骨が焼結体の内部まで侵入可能となる。

626 常在細菌 じょうざいさいきん

indigenous bacterium

同義語 口腔常在菌

皮膚や粘膜に常在している細菌のこと。通常, それぞれの固有の環境に適応しやすい複数の微生物が集団となって細菌叢を形成している。このうち, 口腔内に常在する細菌のことを口腔常在菌という。歯肉縁上, 縁下にそれぞれ常在細菌が存在し, 歯周ポケットが深くなると, 歯肉縁下に高頻度で歯周病原細菌が検出されるようになることが知られている。

627 焼成骨 しょうせいこつ

sintered bone

関連語 骨補填材

骨補填材の他家骨, 異種骨は高温焼成して感染源を除去したものである。焼成温度や焼成後の粉碎方法が規格化されていないので, 人工材料に比較して同品質のものが提供できるかが問題になる。日本ではウシ骨由来の骨補填材が使用される。

628 掌蹠膿疱症 しょうせきのうほうしょう

palmoplantar pustulosis

手掌, 足底に多数の無菌性の膿疱が両側に出現し, 増悪, 寛解を繰り返す皮膚病の一つで, 胸鎖肋関節症を合併することが多い。根尖病巣, 歯周病などの病巣感染やパラジウム, ニッケルなどの歯科用金属による金属アレルギーとの関連が指摘されている。

629 小帯切除〔術〕 しょうたいせつじょ〔じゅつ〕

frenectomy, frenulectomy

審美性不良や機能障害の原因となる小帯を外科用メスやレーザー照射により切除すること。歯肉歯槽粘膜形成を目的とした場合、切除前に歯槽頂近くにあった小帯の付着部位は、切除後は口腔前庭（歯肉頬移行部）近くに改善される。

630 小帯付着異常 しょうたいふちやくいじょう

malformation of frenum

上唇小帯、下唇小帯、舌小帯、頬小帯の付着位置や厚み、大きさの異常である。これらの小帯が通常よりも歯冠側に付着することを高位付着といい、その逆を低位付着という。小帯の高位付着や肥厚は、ブラッシングや発音の障害となったり、歯間離開の原因となることもある。

631 上皮 じょうひ

epithelium

身体の外表面、体腔、中空器官の内面、および腺腔の内面を覆う表面構造である。身体における位置やその位置における機能によって特殊化し、最も原始的な状態を保っている組織で、体表は外胚葉性、消化器・呼吸器系の器官は内胚葉性、泌尿器系の上皮や体腔の内面は中胚葉性である。形態によって扁平上皮、立方上皮、円柱上皮、偽重層上皮などに大別される。

632 上皮性付着 じょうひせいふちやく

epithelial attachment

歯肉溝の底部における単層または多層の非角化上皮の、歯面またはインプラント表面への付着のこと。一方、上皮下の歯肉線維または歯根膜線維のセメント質やインプラント表面へ付着を結合組織性付着という。歯周治療により露出歯根面に長い上皮性付着が得られることが知られている。

633 上部構造〔物〕 じょうぶこうぞう〔ぶつ〕

superstructure

⇒ **110** インプラント上部構造**634 静脈内鎮静法** じょうみゃくないちんせいほう

intravenous sedation

治療に対する恐怖心や不安・緊張感を最小限に抑制し、円滑・快適かつ安全に治療を施行することを目的とし、経静脈的に薬物を投与して行われる患者管理方法である。健忘効果、異常絞扼反射の抑制効果も期待できる。ベンゾジアゼピン系緩和と精神安定薬などの抗不安作用をもつ薬物やプロポフォール、

デクスメドミジンなどが用いられる。

635 商用純チタン しょうようじゅんちたん

commercially pure titanium

同義語 CPTi⇒ **839** チタン**636 ショートインプラント** しょーといんぷらんと

short implant

関連語 ミニインプラント

通常より短い長径のインプラント体のことで、一般に8mm以下のものをいう。この際、長径とは、スクリュータイプのインプラント体において、骨の中に入るべき部分の長さをさし、骨内長とよばれることもある。ショートインプラントとよばれるインプラント体においても、インプラント体の表面性状の改良やガイドドサージェリーの進歩により、近年、良好な治療成績が報告されている。顎堤の吸収が進み、上顎洞や下顎管に近接している部位に骨造成を回避する目的で用いられることが多い。

637 初期固定 しょきこてい

primary stability

同義語 一次固定

埋入直後のインプラント体と周囲骨組織との機械的な安定性のこと。

638 除去トルク値 じょきょとるくち

removal torque value

同義語 RTV

スクリュー型インプラント体に対して、埋入時と反対方向の回転力を加えて、骨との界面を破壊するのに必要な回転力の数値であり、単位はN・cmで表す。基礎研究ではオッセオインテグレーションの評価として用いる。

639 植立 しょくりつ

implantation

⇒ **1122** 埋入**640 シランカップリング** しらんかっぷりんぐ

silane coupling

シリカを含むセラミックスやハイブリッド型コンポジットレジン用の接着剤キットに包含されている、ガラス、シリカなど無機質の表面改質に用いられるケイ素を含む有機化合物のこと。

641 シリンダー型インプラント

しりんだーがたいんぷらんと

cylinder implant

同義語 プレスフィットインプラント

円筒形の骨内インプラントである。形成した埋入窩にインプラント上面をマレットなどで槌打したり、指圧装置で圧入して骨内に埋入する。

642 ジルコニア じるこにあ

zirconia

同義語 酸化ジルコニウム**関連語** 部分安定化ジルコニア

二酸化ジルコニウム (ZrO_2) のこと。常態では白色の固体で融点が $2,700^\circ C$ と高く、耐熱性セラミック材料としても利用されている。インプラント上部構造に用いられている。海外では上部構造だけでなくインプラント体にも用いられている。ジルコニアにカルシウム、マグネシウム、イットリウムの希土類酸化物を固溶させて昇降温による破壊を抑制したジルコニアのことを安定化ジルコニア、あるいは部分安定化ジルコニアといい、強度や靱性などの機械的特性に優れる。特にイットリア安定化ジルコニア (YSZ) はインプラント上部構造に多用される。

643 神経移動術 しんけいどうじゅつ

nerve repositioning

手術時の神経損傷を回避したり、神経圧迫を解除するために神経を移動させる方法である。下槽槽神経側方移動術やオトガイ神経移動術などがあるが、神経損傷のリスクを伴い、術後には合併症として知覚神経麻痺、感染、骨髄炎、病的骨折などがあるため、現在では推奨されていない。

644 神経筋機構 しんけいきんきこう

neuromuscular mechanism

中枢神経と末梢神経によって筋が調節され、反射的に体の位置や運動を制御するメカニズムをいう。顎口腔系では、顎運動、咀嚼、嚥下、発音などの機能を生理的に良好に行えるようにする神経系と筋肉の協働作業を制御する。

645 神経損傷 しんけいそんしょう

nerve injury

関連語 神経麻痺、神経縫合

中枢系あるいは末梢系の神経が何らかの刺激によって障害を受け、神経麻痺が起こる状態である。末梢神経の損傷程度は以下の三つに分類される (Seddon の分類)。

表 : Seddon の分類

neurapraxia	神経線維の圧迫による一過性神経伝導障害
axonotmesis	軸索断裂。断裂部より末梢の軸索は Waller 変性を起こす。髄鞘の連続性は保たれており回復が期待できるが、早期の専門的治療が必要
neurotmesis	神経線維が軸索、髄鞘ともに破壊された状態。最も重症で神経保存的な治療では回復は困難

646 神経痛 しんけいづう

neuralgia

末梢神経系が何らかの障害を受けることによって起こる痛みである。障害には腫瘍、動脈硬化、ウイルス感染、外傷、代謝性、遺伝性などがある。原因不明のものは特発性神経痛、明らかなものは症候性神経痛とよぶ。口腔顔面領域で神経痛の名称をもつ疾患には三叉神経痛、舌咽神経痛、帯状疱疹後神経痛などがある。

647 神経ブロック しんけいぶろくく

nerve block

関連語 下顎神経ブロック、星状神経節ブロック

局所麻酔を用いて原因となる神経を一時的にブロックする痛みの治療法の一つである。神経痛などの恒常的な痛みを訴えている患者に行われる。歯科領域では星状神経節ブロック、三叉神経ブロック (眼窩下神経ブロック、下顎神経ブロック、ガッセル神経節ブロック)、トリガーポイントブロックなどが行われる。

648 神経縫合 しんけいほうごう

nerve suture

関連語 神経麻痺、神経損傷

神経断裂の修復のために行う手技である。患者の年齢、創傷の状態、手術までの期間、縫合部から神経終末までの距離、神経の緊張の有無、手術手技などにその効果は影響される。細い神経線維を 1 本 1 本縫合するのではなく、神経周膜を縫合するものであり、完全に元の神経に繋がるものではない。

649 神経麻痺 しんけいまひ

neuroparalysis

外傷、炎症などによって末梢神経系が障害を受け、その支配領域に運動麻痺、知覚麻痺が起こること。

650 人工器官 じんこうきかん

prosthesis

身体の喪失部分を補って機能的回復や審美的回復をするための人工的な代用品のこと。義歯・義手・義足や義眼など生体外部環境に装着するものと、人工心臓・心臓弁・ペースメーカー・人工血管・人工関節・人工歯根・眼内レンズなど生体内部環境に設置するものがある。

651 人工骨 じんこうこつ

artificial bone

同義語 代用骨

関連語 β -TCP, 炭酸アパタイト

骨欠損の著しい部位に適用される骨代替材料で、化学的に合成されたものである。国内で販売をされている人工骨は、非置換型材料（HAP）、吸収置換型材料（炭酸アパタイト、 β -TCP）、硬化型材料（ α -TCP）が主なものである。

652 人工サファイア じんこうさふあいあ

synthetic sapphire

⇒ **481** サファイアインプラント

653 人工歯根 じんこうしこん

dental implant, artificial tooth root, implant body, fixture

同義語 インプラント体

歯の欠損部の顎骨内に埋入し、その上に歯冠部分を装着することにより咬合・咀嚼、審美ならびに発音機能を回復することができる人工材料のこと。純チタン、チタン合金、ジルコニアなど、生体親和性よく力学的強度が十分な材料で作られる。

654 人工歯肉 じんこうしにく

artificial gum

歯肉退縮や歯肉の実質欠損によって生じた空隙を修復する付加的な補綴装置である。審美性や発音機能の回復を目的に、義歯床用レジンやシリコンなどの軟性材料で作成、装着されることが多い。また、作業用模型上に歯肉形態を再現するために、シリコンなどの軟性材料で付与した疑似歯肉をさすこともある。

655 人工多能性幹細胞

じんこうたのうせいかんさいぼう

induced pluripotent stem cell (iPS cell)

⇒ **10** iPS 細胞

656 新生骨 しんせいこつ

newly formed bone

骨欠損、骨折、骨増生などにより、既存の骨に新しく形成された骨のこと。

657 身体表現性障害 しんたいひょうげんせいしょうがい

somatoform disorders

身体疾患を疑わせる身体症状を呈するが、その症状を説明できる器質的な異常所見に乏しく、心理的要因（ストレス、心的葛藤など）によって身体症状が起こる障害である。診断にあたっては、身体疾患およびうつ病などの他の精神疾患を否定することが必要である。身体症状が痛みでもあり、その場合は身体表現性障害の中の一つである疼痛性障害とよばれる。米国精神医学会における DSM-IV-TR の診断基準では、持続時間が 6 カ月未満のものを急性疼痛性障害、6 カ月以上のものを慢性疼痛性障害と分類している。

658 診断用セットアップ しんだんようせつとあつぷ

diagnostic setup, diagnostic set-up

術前の治療計画立案において、患者の顎口腔模型に対し最終上部構造の形態をワックスなどで示すこと（診断用ワックスアップ）、あるいはコンピュータにより最終上部構造の三次元データを構築すること。

659 診断用テンプレート しんだんようてんぷれーと

diagnostic template

同義語 診断用ステント、診断用ガイドプレート

関連語 サージカルガイドプレート

欠損部の骨量や骨質を診断するとともにインプラント植立の計画を立てる目的のために用いる。金属、ガッタパーチャ、仮封材などのエックス線不透過物質を使用して、計画したインプラントの埋入位置と方向を示す指標を取り付ける。

660 診断用模型 しんだんようもけい

diagnostic cast

⇒ **683** スタディモデル

661 診断用ワックスアップ

しんだんようわくくすあつぷ

diagnostic wax-up

⇒ **658** 診断用セットアップ

662 深度ゲージ しんどげーじ

depth gauge

⇒ **881** デプスゲージ

663 審美修復 しんびしゅうふく

esthetic restoration

⇒ **664** 審美性**664 審美性** しんびせい

esthetic(s)

類義語 審美修復

顎口腔系における形態美・色彩美・機能美の調和のこと。健康でかつ高さ、量、色調、そしてカントウアを含めた審美性のあるインプラント周囲組織は、健康的な周囲の天然歯と調和がとれていなければならない。インプラント治療において一般的に上顎前歯部の審美修復の難易度は高く、また複雑な術式が必要であると考えられる。そのため、補綴主導型の手法に基づいた包括的な術前計画と繊細な外科手術が必要とされる。

665 審美領域 しんびりょういき

esthetic zone

前歯部のような、高いレベルの審美的配慮が必要となる領域をさす。上下顎前歯部をさすことが多いが、小臼歯部までを含める場合もある。

す

666 垂直歯槽骨延長術

すいちよくしそうこつえんちようじゅつ

vertical alveolar distraction osteogenesis
(lengthening, elongation)⇒ **217** 仮骨延長術**667 垂直性骨吸収《欠損》**

すいちよくせいこつきゅうしゅう《けつそん》

vertical bone resorption

天然歯ではセメントエナメル境を結んだ仮想線に対して、インプラントではインプラント体のプラットフォームに対して、歯槽骨が角度をもって斜めに吸収している状態である。

668 垂直被蓋 すいちよくひがい

vertical overlap

⇒ **170** オーバーバイト**669 垂直マットレス縫合**

すいちよくまっとれすほうごう

vertical mattress suture

切開部に深部と浅部で二重に糸を通し、露出する縫合糸が切開線に対して垂直になるような状態で縫

合する方法である。創縁を深部まで確実に密着させるための縫合法で、死腔を作りにくく、術後の創面の裂開を防止できる。切開部の底面が平面でない場合や、切開部の両端の厚さが異なる場合にも有効である。

670 水平歯槽骨延長術

すいへいしそうこつえんちようじゅつ

horizontal alveolar distraction osteogenesis
(lengthening, elongation)⇒ **217** 仮骨延長術**671 水平性骨吸収《欠損》**

すいへいせいこつきゅうしゅう《けつそん》

horizontal bone resorption

天然歯ではセメントエナメル境を結んだ仮想線に対して、インプラントではインプラント体のプラットフォームに対して、歯槽骨がほぼ平行に吸収している状態である。

672 水平被蓋 すいへいひがい

horizontal overlap

⇒ **169** オーバージェット**673 水平マットレス縫合** すいへいまっとれすほうごう

horizontal mattress suture

関連語 単純結節縫合

切開部に対して離れた位置で2回糸を通し、露出する縫合糸が切開線に対して平行になるような状態で縫合する方法である。創縁を広い範囲で確実に密着させるための縫合法で、創面を強く結ぶことができる。切開部の表面の密着性が弱いため、単純結節縫合の追加が必要になることもある。

674 スカルプティング すかるぶていんぐ

sculpting

インプラント上部構造の最終印象前に、粘膜貫通部を理想的な形態に修正することをいう。プロビジュアルレストレーションでスカルプティングを行い、カスタム印象用コーピングでその形態を印象採得する間接法と、理想的形態の最終アバットメントでスカルプティングを行う直接法がある。

675 スキャフォールド すきやふおーど

scaffold

同義語 足場

細胞の接着、増殖、分化を制御させるための細胞培養基材、および体内における再生誘導のための細胞の足場となる担体周辺環境のこと。再生医療には

細胞、成長因子とともに不可欠な要素としてあげられる。

676 スキャンボディ すきやんぼでい

scan body

関連語 光学印象

インプラントの光学印象に使用する印象用コーピングまたはアバットメントのことをいう。インプラントの位置および方向を、CAD/CAM システム上で確定するためのデジタルコードが付与されている。

677 スクリュー型インプラント

すくりゅーがたいんぷらんと

screw type implant

同義語 スレッドインプラント

関連語 シリンダー型インプラント

インプラント体の表面にスレッドが形成されているもので、現在使用されているインプラントの多くがこれである。スレッドの形態は骨結合を促進したり、脆弱な骨でも初期固定が得られるような工夫が行われている。

678 スクリュー固定式上部構造

すくりゅーこていしきじょうぶこうぞう

fixed screw type implant superstructure

⇒ **110** インプラント上部構造

679 スクリュータップ すくりゅーたつぷ

screw tap

スクリュー型インプラントのスレッドと一致した概形を埋入窩骨面に形成するための切削器具のこと。埋入窩の骨質が固く、スクリュー型インプラントのセルフタップ埋入が難しい場合に用いられる。

680 スクリューホール (インプラント体内部の)

すくりゅーほーる (いんぷらんとたいないぶの)

screw hole

関連語 アクセスホール、プラットフォーム

プラットフォーム中央部に内部に向けて設けられたネジ穴のこと。インプラントとアバットメント、もしくはインプラントと上部構造を連結する。

681 スクレイパー すくれいぱー

scraper

⇒ **416** 骨片収集器

682 スケーリング すけーりんぐ

scaling

歯面またはインプラント表面に付着したプラーク、歯石などの沈着物を機械的に除去する操作をいう。歯面のスケーリングに用いる金属製手用スケーラーや超音波スケーラーをインプラントに使用すると、表面に傷がついたり、異種金属の混入を起こしてしまうので、プラスチック製スケーラーやチタン製スケーラーなどが用いられる。

ク、歯石などの沈着物を機械的に除去する操作をいう。歯面のスケーリングに用いる金属製手用スケーラーや超音波スケーラーをインプラントに使用すると、表面に傷がついたり、異種金属の混入を起こしてしまうので、プラスチック製スケーラーやチタン製スケーラーなどが用いられる。

683 スタディモデル すたでいもでる

study cast, study model

同義語 診断用模型

診断や治療計画に使われる上下顎模型のこと。術前検査において、上部構造の設計、インプラント体の種類、本数、近遠心的および頬舌的な埋入位置を決定する際の参考となる。咬合器に装着することで、残存歯列や顎間関係を把握し、咬合平面の是正やインプラント上部構造の設計などに利用する。

684 スタビライズドブレードインプラント

すたびらいずどぶれーどいんぷらんと

stabilized blade implant

関連語 ブレードインプラント

ブレードインプラントにおいて骨との維持を強固にするためにインプラント体に突起物（スタビライザー）を付けたものをいう。

685 スタンダードプリコーション

すたんだーどぶりこーしょん

standard precautions

感染症の有無や重篤度を問わず、常に実施されるべき一般的な感染予防処置である。具体的には、手洗いの励行、手袋やガウンの着用、器具の適切な洗浄滅菌処理を常に行い、いかなる場合でも患者や医療者への感染を防止する。

686 Student の t 検定

すちゅーでんとおていけんてい

Student t-test

同義語 t 検定

対応のある二つの母集団の平均値（母平均）の差をみる統計方法のこと。母集団が正規分布と仮定するパラメトリック検定法である。

687 ステージドアプローチ すてーじどあぷろーち

staged approach

同義語 段階的アプローチ

関連する二つの処置の間に期間を設け、段階的に処置を進める手法のこと。例えば、骨移植を行い、骨が生着してからインプラント体を埋入する、などである。

688 スteroidカバー すてろいどかばー
steroid cover

副腎皮質ステロイドホルモンを長期投与された患者では、副腎皮質機能低下や副腎萎縮の可能性があり、手術、全身麻酔など大きなストレスが加わった場合、十分なコルチゾールが分泌されず急性副腎不全（副腎クリーゼ）を生じる可能性がある。そのためストレスが加わる前に副腎皮質ステロイドホルモンを投与する必要がある。これをステロイドカバーという。

689 スtent すてんと
stent

同義語 テンプレート

関連語 サージカルガイドプレート、診断用テンプレート

本来は人体の管状の部分を管腔内部から拡張する医療機器のことをいう。インプラント治療では、インプラントの埋入位置を決定するため、金属棒などを装着してエックス線写真やCTを撮影するものを診断用テンプレート（診断用ステント）とよぶ。診断用テンプレートで決定したインプラントの埋入位置で埋入のガイド孔やスリーブを形成したものをサージカルガイドプレート（手術用ステント）という。現在ではステントは使わず、テンプレートという。

690 スパイラルインプラント

すばいらるいんぷらんと

spiral implant

同義語 らせん型インプラント

骨内インプラントの最初の形状で、ワイヤーをらせん状にねじって使用された。

691 スパイラルドリル すばいらるどりる

spiral drill

⇒ **909** ドリル

692 スパッターリング法 すばったりんぐほう

sputtering method

インプラント表面処理の乾式メッキ法の一つで、真空中に不活性ガス（主にアルゴンガス）を導入しながら基板とターゲット（成膜させる物質；クロム、チタンなど）間に直流高電圧を印加し、イオン化したアルゴンをターゲットに衝突させて、はじき飛ばされたターゲット物質を基板に成膜させる方法である。

693 スプリットクレスト法 すぶりっとくれすとほう
split crest technique

インプラント体を埋入するために十分な骨幅がない症例で、歯槽頂部に骨切りを行い徐々に分割して、その空隙にインプラント体を埋入する方法である。インプラント体と骨との空隙には、人工の骨補填材や自家骨を移植することもある。スプリットする骨は骨膜からはがれないように注意する。

694 スプリンティング すぶりんていんぐ
splinting

変位した組織あるいは可動性の硬組織を一定期間適切な位置に固定する処置のこと。インプラント治療では上部構造同士を連結する処置を意味する。

695 スペースメーカー すべーすめーきんぐ

space making

関連語 バリアメンブレン

再生療法（骨再生、組織再生）において、再生のための空間を確保すること。この空間を保持し上皮や結合組織の侵入を阻止する目的でバリアメンブレンが使用されることが多い。組織再生誘導法（GTR）に使用されるバリアメンブレンはGTR膜、骨面やインプラント体表面に骨を再生させる骨再生誘導法（GBR）に使用されるものをGBR膜とよぶ。

696 スマイルライン すまいらいん

smile line

関連語 リップライン

笑顔をつくった際の下唇のラインと上顎前歯の先端を横に結んだラインのこと。前歯のラインは、唇と平行なやや凸型の彎曲を呈す。上顎前歯歯頸線の指標となる。適切なスマイルラインの決定には、咬合関係、歯肉レベル、歯冠形態に加え、患者の性別や年齢などの要素が複雑に絡み合う。上唇の挙上量によって3パターン（ハイリップライン・ミドルリップライン・ローリップライン）に分類されるが、ハイリップの症例は審美的な治療難易度は高いとされる。

697 3DCT すりーでいーしーていー

three-dimensional (3D) CT

⇒ **498** 三次元CT画像

698 3Dプリンタ すりーでいーぷりんた

three-dimensional (3D) printer

関連語 光造形法

三次元デジタルデータを利用して立体を造形する機器である。従来は光造形方式が代表であったが、

粉末焼結方式、インクジェット方式など新しい技術も開発されている。従来の切削法ではむずかしい中空形状や複雑形状の造形が可能である。歯科医療ではすでに、鋳造用原型、デジタル印象採得後の模型、手術シミュレーション模型、補綴装置（金属フレーム、義歯）などの製作に幅広く利用されている。インプラント治療ではサージカルガイドプレートの製作に多用されている。

699 スリーピング すりーびんぐ sleeping

何らかの理由でインプラントの上部構造を装着せず、カバースクリューを装着し、インプラント体を機能させないことをいう。また、当面は使用しないものの、将来必要となることをあらかじめ想定し埋入されたインプラント体のことをいう。

700 スレッドインプラント すれつどいんぷらんと threaded implant ⇒ 677 スクリュー型インプラント

せ

701 脆弱骨 せいじゃくこつ brittle bone, osterpenia

骨密度が低くなり、骨質も粗になることで強度が低下した骨のこと。脆弱骨へのインプラント体の埋入は良好な初期固定が得られにくい。

702 星状神経節ブロック せいじょうしんけいせつぷろく

stellate ganglion block

頸部交感神経の局所麻酔薬によるブロックである。口腔顔面領域の疼痛性疾患（筋筋膜痛症候群、非定型口腔顔面痛、舌痛症など）、麻痺性疾患（顔面神経麻痺、外傷性三叉神経ニューロパシーなど）、インプラント治療による下歯槽神経麻痺の治療にも適応がある。

703 精神鎮静法 せいしんちんせいほう psycho sedation

同義語 鎮静法

関連語 静脈内鎮静法

歯科治療に対する精神的緊張を緩和し、快適で円滑な歯科治療を行うことを目的とした薬物を用いた患者管理法である。薬物の投与方法により吸入鎮静法と静脈内鎮静法がある。

704 生存率【植皮・移植片の】 せいぞんりつ survival rate

植皮・移植片が生体内にどのくらいの期間生存するかを表す指標である。通常は観察期間を考慮して、Kaplan-Meier 分析法や生命表による手法で累積生存率を算出する。

705 生体活性 せいたいかつせい bioactive

関連語 生体不活性, 生体許容性

生体内で自らが生理的に活性化して骨と化学的に直接結合する状態をいう。生体内活性材料としては、リン酸カルシウム、生体活性ガラスなどがあげられる。

706 生体活性ガラス せいたいかつせいがらす bioactive glass

同義語 バイオガラス

ケイ素、カルシウム、ナトリウム、リンおよび酸素によって構成されたアモルファス構造で、生体内ではその表面上に自然骨と同等のミネラルマトリックスを形成する。

707 生体監視 せいたいかんし patient monitoring ⇒ 1157 モニタリング

708 生体許容性 せいたいきょようせい biotolerance

関連語 生体適合性, 生体活性, 生体不活性

生体に許容されるが、線維性結合組織で被包され、埋入部位の母床骨と直接は結合することがない状態をいう。生体許容性材料としては、コバルトクロム合金や医療用ステンレス鋼、PMMAなどがあげられる。

709 生体高分子材料 せいたいこうぶんしざいりょう biopolymer

骨組織、心筋、動物の血管壁などを精製処理し、抗原性を除去したものである。医用材料としては、コラーゲン（人工皮膚や止血剤）、ゼラチン（止血剤や人工血漿）、フィブリン（接着剤やカバー）、フィブロン（縫合糸）、ヘパリン（抗血液凝固剤）、キチン（創傷被覆材）などがある。

710 生体材料 せいたいざいりょう biomaterial

生体に移植する目的を有した材料をいい、人工関節や口腔インプラント、人工骨、人工血管などに用

いられ、組織反応や拒絶反応がほとんどないことが求められる。ハイドロキシアパタイトなど生体由来の材料を用いて、組織誘導など材料の特性を生かすことを目的とした材料が探求される。吸収性と非吸収性の生体材料がある。

711 生体情報モニタ せいたいじょうほうもにた
 patient monitor, medical monitor
 ⇒ **1157** モニタリング

712 生体適合性 せいたいてきごうせい
 biocompatibility

同義語 生体親和性

生体組織に有害な作用を及ぼさず、本来の機能を保ちながら生体になじむ性質である。材料が用いられる用途や場所によって求められる性質は変動する。例えば、ハイドロキシアパタイト (HA) は生体適合性や骨伝導に優れている。歯科用インプラントではさらに力学的適合性なども求められる。

713 生体不活性 せいたいふかつせい
 bioinert

関連語 生体活性

口腔インプラント材料を硬組織および軟組織に埋入した場合の生体反応で、生体組織とは化学結合しない状態をいう。生体不活性材料としては、金属ではチタンとチタン合金、セラミックスではアルミナ、ジルコニアならびにカーボンなどがあげられる。

714 生体防御機構 せいたいぼうぎょきこう
 biophylactic mechanism

病原体の侵入、増殖を阻止するシステムをいう。組織内への侵入を防止する皮膚、粘膜の機械的バリア、常在細菌叢による生物学的バリア、抗菌物質、抗体、免疫応答などの機序がある。

715 静的荷重 せいてきかじゅう
 static load

同義語 静荷重, 定荷重

関連語 動的荷重

構造物に加わる荷重の中で、時間的な変化をしない一定の荷重のことをいい、定荷重ともいう。

716 生物学的安全性試験
せいぶつがくてきあんぜんせいしけん
 biological safety test

インプラントや歯科材料などを含む医療機器は十分な生物学的安全性が必要である。JIS T 0993-1 および ISO 10993-1 などに準拠し、生物学的安全性

のリスク分析手法により医療機器の接触部位、接触期間や原材料の特性などに応じて必要な評価項目や試験方法を選定し、市販前の安全性評価を行う。インプラントなど体内植込み機器のリスク評価は全身のおよび局所的影響の考慮が求められる。評価項目は細胞毒性、感作性、刺激性／皮内反応、急性／亜急性全身毒性、遺伝毒性、発熱性、埋植、血液適合性などがある。

717 生物学的安定性 せいぶつがくてきあんていせい
 biological stability

ヒトや動物の体内で医薬品や歯科生体材料を含む医療機器などが示すべき性質。さらに体内環境すなわち血液やリンパ液などと物理化学的にも示される必要がある。また、医薬品の有効性および安全性が維持されるために必要な品質の安定性のことでも使われる。

718 生物学的封鎖 せいぶつがくてきふうさ
 biological seal

関連語 接合上皮

インプラント体あるいはアバットメントは口腔粘膜を貫通しており、この生体内と生体外を隔する部位を生物学的封鎖層とよんでいる。これは天然歯の接合上皮にあたる。

719 生物学的幅径 せいぶつがくてきふくけい
 biologic width, biological width

類義語 骨縁上附着組織

関連語 上皮性附着

生物学的幅径は歯肉溝底から歯槽骨頂までの歯肉の附着の幅を示し、上皮性附着と結合組織性附着から成り立っている。インプラント周囲では上皮性附着と結合組織の垂直の高さをいう。

720 セカンドオピニオン せかんどおびにおん
 second opinion

患者自身が納得できる治療を選択することを目的として、これから受けようとする検査や治療について、主治医以外の医師に意見を求めることをいう。患者は主治医にセカンドオピニオンを希望することを話し、それまでの経過を診療情報提供書として作成してもらうことで、二重に検査を行うことが避けられる。

721 セグメントタイプ せぐめんとたいぶ
 segment type

⇒ **954** ノンセグメントタイプ

722 石灰化 せっかい

calcification, mineralization

カルシウム塩が沈着して硬組織が形成されることをいう。骨では、骨芽細胞が骨基質を合成分泌し、体液中のリン酸カルシウムが沈着して起こる。

723 切開法 せっかいほう

incision

インプラント治療における切開法としては、主として歯槽頂切開法、口腔前庭切開法があげられる。血流の面からは前者がよいといわれている。哆開や術後の歯肉壊死・退縮を生じないように血流を考慮して設計することが重要である。

724 舌下動脈 ぜっかどうみやく

sublingual artery

舌動脈から分岐する終枝の一つで、舌骨舌筋前縁部にて舌動脈から分岐し、オトガイ舌筋と顎舌骨筋の間を前方に走行し、舌下腺と舌下部の口腔粘膜に血液を供給する。本動脈がよく発達すると、下顎前歯部の舌側歯肉に分布したり、下顎骨内側面にあるオトガイ棘孔に入る。下顎前歯部の舌側の観血的処置には注意をしないと、出血死に至ることがある。

725 舌孔 ぜつこう

lingual foramen

下顎骨前歯部の内側面にみられるオトガイ棘孔以外の小孔のこと。小孔には血管や神経が通っていることがある。

726 接合上皮 せつごうじょうひ

junctional epithelium

同義語 附着上皮

生理的にはエナメル質に附着している部分の上皮であり、最先端はセメントエナメル境に位置する。最表層の細胞の基底板とヘミデスマゾームを介してエナメル質に附着している。インプラント表面にも接合上皮と類似した組織が存在する。

727 切削 せつさく

cutting

材料の加工法の一つで、刃物を用いて切屑を出しながら加工すること。エアタービン、エアモーターや電気エンジンなどの回転切削器具に対して手用切削器具がある。回転切削器具ではインプラント用ドリルで埋入窩の形成や各種のバーで技工物の切削加工を行う場合などの例がある。これに対して、砥粒を固めて成型したポイントやディスクなどを使用する場合は研削といい、切削とは区別する。

728 切削トルク せつさくとるく

cutting torque

回転軸にかかる力のモーメントのことであり、単位は $N \cdot cm$ で表す。インプラントの埋入窩を形成する際に用いる回転式切削ドリルは、回転数が少なく、切削トルクの大きい電気モーターが適している。

729 切歯管 せっしかん

incisive canal

左右上顎骨口蓋突起による正中口蓋縫合上にみられ、鼻腔面の鼻稜の両側から起こって口蓋に通じる上下に貫く管である。骨中で一つに合して口腔側の上顎骨の切歯窩に開口し、ここを切歯孔といい、切歯乳頭が目安となる。鼻口蓋動脈と同名の神経の枝が通る。臨床では顎堤の吸収により相対的な位置の変化や切歯管の太さにも配慮しなければならない。

730 接点 せつしよくてん

contact point

⇒ **447** コンタクトポイント**731 切歯路** せつしる

incisal path

下顎が前方あるいは側方運動したときの切歯の運動路のこと。上下前歯の形態や被蓋関係によって決定される。

732 舌神経 ぜつしんけい

lingual nerve

三叉神経第三枝で下顎神経の終枝の一つである。下顎第二大臼歯の舌側を走行しており、舌の前 2/3 の知覚を司るとともに、顔面神経からの味覚線維を含むために、舌神経の損傷は知覚と味覚の両方の障害を生じる。したがって下顎臼歯部へのインプラント埋入手術の際には、軟組織を圧排し、舌神経を巻き込まないことが重要である。

733 切端咬合 せつたんこうごう

edge-to-edge bite

咬頭嵌合位において、上下顎の前歯が切縁同士で接触する咬合様式である。水平被蓋、垂直被蓋がともに 0 mm の状態を示す。

734 接着 せつちやく

adhesion, bonding

異なった二つの物体が接したときに働く、分子を引き付ける力で起こる現象が接着である。歯科用セメントでは化学的な接着の他に物理的な嵌合なども期待される。接着剤が被着体間に介在して化学的相

相互作用によって結合力が発揮されることである。接着強さは、接着構造物の破壊に要する応力で、接着剤や被着体の機械的性質、接着部の形態、接着剤層の厚み、加わる外力の種類などの要因の影響を受ける。

735 セットアップモデル せつとあつぷもでる

set up model

同義語 予測模型

術後の咬合状態や歯冠形態、排列位置を模型上で予測試作する模型のこと。治療の最終目標を視覚的に把握できる。検査診断用と装置製作用のセットアップモデルがある。

736 説明と同意 せつめいとどうい

informed consent

同義語 IC

⇒ 83 インフォームド・コンセント

737 セファログラム せふあろぐらむ

cephalogram

⇒ 901 頭部エックス線規格撮影法

738 セメントエナメル境 せめんとえなめるきょう

cemento-enamel junction

同義語 CEJ

歯の歯頸部におけるセメント質とエナメル質との境界部のこと。解剖学的歯頸線と一致する。生理的にはエナメル質には接合上皮が付着し、セメント質には結合組織が付着している。このため、臨床的アタッチメントレベルおよび歯肉退縮の基準点とされる。

739 セメント芽細胞 せめんとがさいぼう

cementoblast

セメント質を形成する細胞である。由来は、歯小囊の間葉系細胞で、ヘルトウィッチ上皮鞘の間隙を通過した間葉系細胞が歯根象牙質に直接接触することでセメント芽細胞に分化する。セメント芽細胞自身が産生したセメント質に封入されるとセメント細胞とよばれる。

740 セメント固定式上部構造 せめんとこていしきじょうぶこうぞう

fixed cement implant superstructure

⇒ 110 インプラント上部構造

741 セラミックアバットメント せらみっくあばつとめんと

セラミックアバットメント

ceramic abutment

⇒ 33 アバットメント材料

742 セラミックインプラント せらみっくいんぷらんと

セラミックインプラント

ceramic implant

アルミナやジルコニアなど酸化物系セラミックスで製作されたインプラント体のこと。セラミックスは、金属に比べ、化学的に安定しており、腐食や拒絶反応を認めない材料であり、生体適合性にも優れている。特にジルコニアはセラミックスの中でも機械的強度が大きいいためインプラント体の材料として注目されている。

743 セラミッククラウン せらみっくらうん

ceramic crown

歯科用セラミックスのみで製作された被覆冠のこと。インプラント上部構造としては金属よりも審美性、化学的安定性、耐摩耗性に優れ、組織に対する為害作用が少なく、金属アレルギー患者に対応できる利点がある。反面、脆弱で破折しやすく、製作行程が煩雑である欠点がある。従来の陶材を用いたポーセレンジャケットクラウンは素材的に衝撃力に弱く破損しやすいという欠点があったが、ジルコニアのフレームを用いるジルコニアクラウンが登場し機械的強さの点では改善された。しかし、アルミナスポーセレン同様に天然歯と違って白色傾向が強く、ジルコニアにさらに陶材を焼き付けて審美性を改善した製品もある。成形法として機械的性質の向上した加圧加熱成形法（プレス法）、CAD/CAMによるセラミッククラウンが多用される。

744 セラミックコーティング せらみっくこーていんぐ

セラミックコーティング

ceramic coating

インプラント体表面にリン酸カルシウム系セラミックスの層を形成すること。リン酸カルシウム系セラミックスの代表として、ハイドロキシアパタイトやリン酸三カルシウムなどがあげられる。これらの材料は、生体内で高い骨伝導性を有する反面、単独でのインプラント体への応用は強度的に難しく、チタン表面へのコーティング材として応用される。

745 セラミックス せらみっくす

ceramics

同義語 陶材

酸化物、炭化物、ホウ化物、窒化物などの無機化

合物よりなる成形体材料の総称である。陶磁器を含む。ガラスセラミック系（長石、リューサイトおよび2ケイ酸リチウムとガラスマトリックス）、ガラス含浸系（スピネル、アルミナ、ジルコニア多孔質にガラスを浸）、高密度焼結系（ジルコン、アルミナ、ジルコニア）の3種類に大別される。

746 セルフスレッディングスクリューインプラント

せるふすれっいでんぐすくりゅーいんぷらんと

self threading screw implant

⇒ 747 セルフタッピングインプラント

747 セルフタッピングインプラント

せるふたっぴんぐいんぷらんと

self tapping implant

同義語 セルフスレッディングスクリューインプラント

インプラント体の先端にスレッドが付与され、ねじ切りの機能が備わっているインプラント体のこと。セルフスレッディングスクリューインプラントともいう。このタイプのインプラントは、前もってスレッドを骨床に形成する必要がなく、インプラント自体が骨内でねじを切りながら埋入することができる。

748 線維芽細胞

せんいがさいぼう

fibroblast

線維性結合組織の主要な細胞で、紡錘形の形態が特徴的である。主にコラーゲン、エラスチンやプロテオグリカンなどを合成し、膠原線維や弾性線維を形成する。また老化した線維も分解する。組織や器官の維持・安定に重要な役割を果たし、組織が障害を受けた後の結合組織の構造や機能の修復（創傷治療）にも大きく関与する。

749 線維芽細胞増殖《成長》因子

せんいがさいぼうぞうじょく《せいちょう》いんし

fibroblast growth factor

同義語 FGF

線維芽細胞の増殖を促進する、ヘパリン結合性の増殖因子である。細胞増殖、血管新生、創傷治療、細胞分化の促進など多くの機能を有しており、骨代謝にも重要な役割を果たしている。

750 線維骨

せんいこつ

fibrous bone

骨欠損や骨折などで、骨の治療過程の初期に形成される。線維性成分が多く、石灰沈着が少ない骨で

ある。

751 線維性オッセオインテグレーション

せんいせいおっせおいんてぐれーしょん

fibro-osseointegration

インプラント周囲に線維性組織が増殖し、インプラント体を一定の層で被包した状態である。

752 線維性骨

せんいせいこつ

woven bone

関連語 線維骨

膜内骨形成の初期にみられる不規則な走行のコラーゲン線維の基質からなる石灰沈着が少ない骨である。

753 線維性被包

せんいせいひほう

fibrous encapsulation

生体内において異物周囲に形成される線維性結合組織のこと。

754 線維束骨

せんいそくこつ

bundle bone

⇒ 778 束状骨

755 全身的禁忌症

ぜんしんてききんぎしょう

general contraindication

関連語 局所的禁忌症、リスクファクター

インプラントの禁忌症は全身的禁忌症と局所的禁忌症に大別される。全身的禁忌症には絶対的禁忌症と相対的禁忌症がある。

・絶対的禁忌症：改善の望めない全身疾患の中で、外科処置が困難となる循環系の疾病、血液疾患、免疫不全、末期の悪性腫瘍などがあげられる。また治療へのコンプライアンスが得られない場合も含まれる。

・相対的禁忌症：全身疾患に罹患している患者でも、症状の改善が期待でき、専門医による管理がなされたうえで、的確な術式が施されリスクが少ないと判断される場合はインプラント治療は可能となる。糖尿病、喫煙などがあげられ、医科との連携が重要である。

756 全層弁

ぜんそうべん

full thickness flap

⇒ 948 粘膜骨膜弁

757 せん断強さ

せんだんつよさ

shear strength

材料が破断せずに耐えられる最大せん断応力のこ

と、せん断応力とは、せん断荷重を受ける材料の極限強さ、断面積を規定した単一の物質または二つを接合、結合、合着、接着したものを試験片とし、試験片断面または接合面をせん断面とし、この平面と並行で反対方向にせん断荷重を負荷して破壊したときの最大荷重を断面積で除した値である。単位はPaで表す。

758 前投薬 ぜんとうやく
premedication

関連語 抗菌薬予防〔的〕投与

手術もしくは侵襲的治療に先立って行われる薬物療法のこと。インプラント治療においては、患者の手術に対する不安や恐怖を取り除く目的で、必要に応じて手術開始30分～1時間前に、ベンゾジアゼピン系薬剤を投与することがある。また抗菌薬も症例に応じて投与する。

759 前鼻棘 ぜんびきょく
anterior nasal spine

同義語 ANS

上顎骨口蓋突起の前端に位置し、鼻腔下位から前方に突出する三角形の骨突起である。小規模の骨移植のために、自家骨の口腔内供給源として使用されることがある。

そ

760 早期荷重 そうきかじゅう
early load

同義語 アーリーローディング、早期負荷、早期加重

インプラント体埋入後1週から2カ月までの間に、暫定的なアバットメントあるいは最終的なアバットメントを装着し、暫間上部構造を装着して咬合接触を与えること。早期荷重を加える作業に関しては早期加重ともいう。

761 早期失敗 そうきしつぱい
early failure

インプラント体埋入後、インプラントを機能させる前に、オッセオインテグレーションが得られずに喪失すること。

762 早期接触 そうきせつしよく
premature contact

関連語 咬合干渉

咬頭嵌合位など安定した顎関係に達する前に起こ

る咬合接触や咬合干渉のこと。歯根膜のある天然歯の歯冠修復と比較して、インプラントではわずかな早期接触がチップングや咬合の不調和を招きやすい。

763 早期負荷 そうきふか
early loading

⇒ **760** 早期荷重

764 早期埋入 そうきまいにゅう
early implant placement

抜歯窩周囲の軟組織が治癒した状態（抜歯後1～4週後）、あるいは抜歯窩に部分的に骨が形成された状態（抜歯後12～16週後）でインプラント体を埋入すること。

765 双極性障害 そうきよくせいしょうがい
bipolar disorder

うつ状態と躁状態という相反する二つの状態を繰り返す疾患である。社会生活に弊害を伴う躁状態を呈する双極Ⅰ型障害と、明らかに躁状態を呈しているが社会生活を維持でき入院を必要としない双極Ⅱ型障害に分類される。うつ病に比較し若年発症が多く、妄想や幻覚などの精神病症状を伴いやすい。

766 創傷治癒 そうしょうちゆ
wound healing

関連語 一次治癒、二次治癒

外的あるいは内的要因により生じた体表組織の損傷が修復される過程のこと。手術創のような新鮮創が無菌的に癒合治癒し、瘢痕形成を伴わない一次治癒と、組織欠損もしくは感染や壊死を伴い、多量の肉芽組織が形成され、瘢痕を残して治癒する二次治癒に分類される。抜歯窩の治癒は二次治癒である。またインプラントの埋入とその後のオッセオインテグレーションの獲得も骨の創傷治癒の状態により左右される。創傷治癒は全身的因子、局所的因子、手術関連因子によって影響を受ける。

767 創傷被覆材 そうしょうひふくざい
wound dressing material

創傷治癒過程において、湿潤療法の概念により、創傷が生じた部位を保護し、治癒を促進するために用いられる医療機器である。用途により、ポリウレタン、ハイドロコロイド、アルギン酸、ハイドロポリマー、ハイドロジェルなどが使用されている。

768 増殖因子 そうしょくいんし

growth factor

関連語 サイトカイン

細胞の増殖を促進する作用をもつ物質のことで、歯周組織再生に用いられる PDGF, BMP-2 および bFGF などはその代表である。

769 増生術 そうせいじゅつ

augmentation

⇒ **404** 骨増生

770 造成術 そうせいじゅつ

augmentation

⇒ **405** 骨造成

771 層板骨 そうばんこつ

lamellar bone

⇒ **848** 緻密骨

772 ソーサイライゼーション そーさいらいぜーしょん

saucerization

⇒ **487** 皿状吸収

773 即時インプラント そくじいんぷらんと

immediate implant

同義語 即時埋入

抜歯あるいはインプラント除去と同時に抜歯窩に埋入するインプラントのこと。周囲組織に感染や炎症がなく、また初期固定が期待できる症例に限られる。

774 即時荷重 そくじかじゅう

immediate load

同義語 イミディエイトローディング、即時負荷、即時加重

インプラント体埋入時あるいはその1週以内に暫間的なアバットメントあるいは最終的なアバットメントを装着し、暫間上部構造を装着して咬合接触を与えること。即時荷重を加える作業に関しては即時加重ともいう。

775 即時義歯 そくじぎし

immediate denture

抜歯の必要な歯があるとき、抜歯後の状態を予測して製作し、抜歯と同時に装着する義歯のこと。時間的ロスがなく審美的回復がしやすいが、抜歯窩の治療に伴いラインが必要となることが多い。

776 即時負荷 そくじふか

immediate loading

⇒ **774** 即時荷重

777 即時埋入 そくじまいにゅう

immediately implant

⇒ **773** 即時インプラント

778 束状骨 そくじょうこつ

bundle bone

同義語 線維束骨

歯槽骨の中にシャーピー線維が貫入している骨のこと。その内側また、その周囲にはシャーピー線維の嵌入を欠く層板骨が存在する。

779 側方運動 そくほううんどう

lateral movement

下顎の側方への運動であり、通常は咬頭嵌合位あるいは下顎後退接触位から側方への接触滑走運動のこと。側方運動の咬合様式には、犬歯誘導咬合、グループファンクション、バランスドオクルージョンなどがある。

780 側方応力 そくほうおうりょく

lateral stress

歯あるいはインプラントに対して側方荷重が加わったときに生じる応力のこと。咬合力だけでなく、ブラキシズム、傾斜埋入によっても生じ、インプラントのリスクファクターと考えられている。

781 側方開窓術 そくほうかいそうじゅつ

lateral window technique

⇒ **619** 上顎洞底挙上術

782 ソケットプリザベーション

そけつとぶりざべーしょん

extraction socket preservation

抜歯の際に、各種補填材やバリアメンブレンを用いて骨再生の場を維持し、抜歯窩内の骨形成の促進を図る処置である。抜歯後の顎堤吸収を抑制または遅延させ、歯槽部の骨と軟組織の形態を維持することを目的としている。

783 ソケットリフト そけつとりふと

socket lifting

⇒ **619** 上顎洞底挙上術

784 組織再生誘導〔法〕

そしきさいせいゆうどう〔ほう〕

guided tissue regeneration〔method〕

同義語 歯周組織再生誘導〔法〕, GTR〔法〕

歯周組織再生療法に含まれる手術法である。歯槽骨欠損部位にバリアメンブレンを適用し、歯肉上皮細胞の歯根面への付着、根尖側方向への移動を阻止し、歯根膜組織に含まれる間葉系細胞を歯根面に最初に付着できるようにすることで、シャービー線維を含む細胞性セメント質の新生が得られ、結合組織性付着である新付着が形成される。

785 組織適合性 そしきてきごうせい

histocompatibility, tissuecompatibility

造血幹細胞、腎臓、肝臓、膵臓および心臓などの移植医療で、移植される側（宿主）と移植片との間に起こる拒絶反応の程度である。また、再生医療では人工材料や、組織や細胞などの生体成分と人工材料とのハイブリッド材料による人工臓器などについても生体適合性のレベルが重要である。

786 咀嚼 そしゃく

chewing

関連語 咀嚼運動

摂取した食物を粉碎し、食塊を形成して、嚥下しやすくすること。食物中の異物除去の役割もある。また、咀嚼刺激により消化液の分泌を促進し、食物の消化吸収を助ける。さらに、舌・顎・筋など口腔諸組織の血流の増加により健康を保持し組織の発育を促進する。脳内の血流量の増加により脳の活性化、覚醒、リラックス効果なども得られる。

787 咀嚼運動 そしゃくうんどう

masticatory movement

関連語 咀嚼

咀嚼時に随意的あるいは反射的に行われる顎運動のこと。食物を摂取する際に、かみ切る（咬断）、かみ砕く（粉碎）、すりつぶす（臼磨）、混ぜ合わせる（混合）、食塊形成、嚥下に至る動作などが含まれる。咀嚼運動は食物の状態や種類に関係なく、ほぼ一定のリズムが保たれる。

788 咀嚼機能 そしゃくきのう

masticatory function

同義語 咀嚼, 咀嚼能率**関連語** 咀嚼運動

食物摂取から嚥下に至る一連の過程で、咀嚼運動によって生じるさまざまな能力のこと。

789 咀嚼筋 そしゃくきん

masticatory muscles

下顎骨の下顎枝内面および外面に広がる、咬筋・側頭筋・内側翼突筋・外側翼突筋からなる筋肉群で、下顎骨の下顎枝内面および外面に位置し、咀嚼運動に関与する。咬筋、側頭筋は頭蓋骨の表層の頬骨・側頭骨を起始とし、主に下顎枝外側面に付着する。内側翼突筋、外側翼突筋は深層の頭蓋底の蝶形骨翼状突起を起始とし、下顎枝内側面に付着する。支配神経は三叉神経の枝である下顎神経である。下顎骨の挙上、下制、前突、後退、側方運動に関与する。

790 咀嚼効率 そしゃくこうりつ

masticatory efficiency

⇒ **793 咀嚼能率****791 咀嚼困難** そしゃくこんなん

difficulty of mastication, dysmastication

器質性障害による咬合支持域の喪失、運動性障害および加齢変化などに起因して咀嚼能力が著しく低下した際に、患者自身が咀嚼機能の低下を自覚すること。患者がものをうまく咬めない、咬むと顎が痛いなどの様子を表現し、主訴に用いる。

792 咀嚼障害 そしゃくしょうがい

masticatory dysfunction, dysmasesis

関連語 咀嚼困難

食物の切断・粉碎、食塊形成、食塊の咽頭への送など口腔期の一連の正常な咀嚼過程が、器質性障害や運動性障害によって妨げられる障害である。咀嚼障害は客観的かつ定量的に評価し、判定には咀嚼能力検査法などを用いて検査する。咀嚼障害は傷病名として使用する。

793 咀嚼能率 そしゃくのうりつ

masticatory efficiency

同義語 咀嚼効率

咀嚼機能を評価する指標の一つである。検査法としては、粉碎性のある咀嚼試料（ピーナッツや生米など）を決まった時間咀嚼させ、その粉碎粒子の分布状態を測定する方法があるが、先進医療「有床義歯補綴治療における総合的咬合・咀嚼機能検査」における咀嚼能率検査においては、グミゼリーを左右いずれか片側で咀嚼させた後、口腔内に溶出したグルコース濃度を測定する方法が採用されている。

794 咀嚼パターン そしゃくばたーん

chewing pattern

同義語 咀嚼運動経路

咀嚼運動時における切歯点の運動経路の前頭面観のこと。歯の接触滑走が著明で、中心咬合位から非咀嚼側への白磨運動を呈するグラインディングタイプと、歯の接触滑走が少なく、咀嚼側のみで運動する咬断運動様の経路を呈するチョッピングタイプの2種類に大別できる。咀嚼パターンは咀嚼する食品によって異なる。

795 ソフトティッシュマネジメント

そふとていっしゅまねじめんと

soft tissue management

インプラント周囲組織の審美性の回復や長期の維持安定を図るために軟組織に行う処置のこと。インプラント周囲組織の退縮の予防、角化付着粘膜の獲得、歯肉切除、結合組織移植、歯肉整形などがある。

796 ソフトレーザー そふとれーざー

soft laser

⇒ **995** 半導体レーザー

た

797 対孔 たいこう

nasoantral window, intranasal drainage

同義語 鼻腔内ドレナージ**関連語** 上顎洞炎, 上顎洞根治術

上顎洞炎に対する上顎洞根治術において、洞内粘膜の除去と同時に通気と膿排出の改善を図る目的で形成される中鼻道、下鼻道への交通路のこと。術後性上顎嚢胞の手術においても形成される。上顎洞根治術施行患者では、上顎洞粘膜は除去されているため、上顎洞底挙上術は禁忌とされている。

798 大口蓋孔 だいくがいこう

greater palatine foramen

上顎第二大臼歯遠心口蓋側の口蓋突起の後縁で、上顎骨と口蓋骨の移行部にあり、大口蓋管の骨口蓋への開口部である。大口蓋動脈と大口蓋神経は大口蓋管内を走行し大口蓋孔から出て前方に進み、鼻口蓋動脈・神経と交通し、硬口蓋の粘膜や口蓋腺、舌側歯肉の栄養と知覚、腺の分泌に関与する。

799 ダイコム だいくむ

DICOM

Digital Imaging and Communication in Medicine

の略 (DICOM) であり、医用画像のフォーマットとそれらの画像を扱う医用画像機器間の通信プロトコルの共通規格を示す。DICOM に則ったデータにより、多機種の画像形成装置や画像観察システムが互換可能となる。インプラント治療における CT データの活用に貢献している。

800 待時荷重 たいじかじゅう

conventional loading

同義語 待時負荷, 通常荷重, 待時加重**関連語** 即時荷重, 早期荷重

インプラント体埋入後2カ月以上経過した後に、暫定的なアバットメントあるいは最終的なアバットメントを装着し、暫間上部構造を装着して咬合接触を与えること。さらに荷重までに時間をかける場合 (遅延荷重または遅延負荷) では、下顎で3カ月、上顎で6カ月待つ場合もある。待時荷重を加える作業に関しては待時加重ともいう。

801 待時負荷 たいじふか

waiting load

⇒ **800** 待時荷重**802 待時埋入** たいじまいにゅう

delayed implant placement

同義語 遅延埋入**関連語** 早期埋入, 即時インプラント

抜歯窩が治癒した状態でインプラント体を埋入すること。抜歯窩が完全に治癒して骨に変換されるまでには6カ月以上はかかるかとされている。

803 耐食性 たいしょくせい

corrosion resistance

同義語 耐蝕性

金属が気体もしくは液体中で腐食に抵抗する性質である。金属腐食の中心には酸化還元反応があり、異種金属が接触している部位はガルバニー電流が発生するために腐食が加速する。

804 代用骨 だいうこつ

bone substitute

⇒ **651** 人工骨**805 唾液分泌障害** だえきぶんびつしょうがい

hypoptyalism

⇒ **334** 口腔乾燥症

806 他家移植〔体, 片〕 たかいしょく〔たい, へん〕
heterograft(s)
⇒ **64** 移植〔術, 法〕

807 他家骨移植 たかこついしょく
allograft(s)

関連語 移植〔術, 法〕, 自家骨移植, 同種移植

本人以外から採取した骨移植片を用いた骨移植のこと。他人の骨を用いるものを特に同種骨移植とよび、異種骨移植と区別する。インプラント治療には凍結乾燥骨 (FDB), 脱灰凍結乾燥骨 (DFDB) などが海外では用いられているが、感染のリスクなどから日本ではほとんどが未承認である。

808 多血小板血漿 たけっしょうばんけっしょう
platelet-rich plasma

同義語 血小板濃厚血漿, PRP

関連語 血液由来成長因子を利用した再生療法

全血を遠心分離して得られる血液成分のうち、血小板を多く含む血漿成分である。間葉系組織の再生を促す血小板由来成長因子 (PDGF), 血管内皮成長因子 (VEGF), トランスフォーミング成長因子 (TGF) などの増殖因子を高濃度を含む。

809 多孔質材料 たこうしつざいりょう
porous material

細孔が非常にたくさんある材料のことで、細孔の大きさによって、マイクロポーラス材料、メソポーラス材料、マクロポーラス材料に分けられる。また材質により、多孔質セラミックス (アルミナ, ハイドロキシアパタイト), 多孔質金属 (チタン) などがあり、多孔質ハイドロキシアパタイトや多孔質チタンは多孔質インプラントとして使用される。

810 多孔質ハイドロキシアパタイト

たこうしつはいどろきしあぱたいと

hydroxyapatite porous body

⇒ **809** 多孔質材料

811 多職種連携 たしよくしゅれんけい
interprofessional work

関連語 チームアプローチ, チーム医療

医療・保健・福祉・介護など複数の専門職が、患者や利用者に関する情報を共有し、それぞれの職種が専門性を活かしながら協働することにより、患者や利用者の状況に的確に対応した医療や支援を提供すること。インプラント治療においても、超高齢社会や在宅医療の普及などに伴い、多職種連携の重要性が高まってきている。

812 打診 だしん

tap, percussion

叩打することにより疼痛の有無や音で検査することであり、垂直打診と水平打診がある。インプラント治療では、打診によりオッセオインテグレーションの状態、アバットメントやスクリューの緩みを打診音、動揺、痛みなどで診断する。

813 多断面再構成画像 ただんめんさいこうせいがぞう
multiplanar reconstruction, multiplanar reformation

同義語 MPR, 多断面変換画像

類義語 クロスカット画像, クロスセクショナル画像, オブリーク画像

CT などの容積データから抽出した任意平面の画像を示す。主に体軸横断像, 矢状断像, 前額断 (冠状断) 像などが用いられる。

814 多断面変換画像 ただんめんへんかんがぞう
multiplanar reconstructed image

⇒ **813** 多断面再構成画像

815 脱灰骨 だっかいこつ
decalcified bone

類義語 凍結乾燥骨 (FDB), 脱灰凍結乾燥骨 (DFDB), 脱灰凍結乾燥同種骨移植〔体, 片〕 (DFDBA), 凍結乾燥同種骨移植 (FDBA), 凍結乾燥異種骨移植 (FDBX)

骨移植に用いる材料の一種で、自家骨, 他家骨 (同種, 異種) 材料からリン酸カルシウム塩の結晶を溶出させて作製されるものである。一般的に、自家骨移植が臨床的に最も有効な方法であるが、採取部位への侵襲と、採取できる骨量に限界がある。そこで、同種で他の個体から採取した骨を脱灰凍結乾燥することで、感染の危険性, 免疫原性を下げた他家同種骨移植の DFDBA が臨床応用されている。骨誘導能を有すると報告されているが、日本では厚生労働省から認可されていない。

816 脱灰凍結乾燥骨 だっかいとうけつかんそうこつ
demineralized freeze-dried bone (DFDB)

⇒ **815** 脱灰骨

817 脱灰凍結乾燥同種骨移植〔体, 片〕

だっかいとうけつかんそうどうしゅこついしょく〔たい, へん〕

dimineralized freeze-dried bone allogous [transplant, grafting] (DFDBA)

⇒ **815** 脱灰骨

818 タッピング たっぴんぐ

tapping

同義語 ねじ切り

スクリュー型インプラントの埋入前に、骨内にスレッド(ねじ山)を形成すること。

819 段階的アプローチ だんかいてきあびるーち

staged approach

⇒ **687** ステージドアプローチ**820 単結晶体** たんけっしょうたい

monocrystalline

任意の結晶軸に対してどの部分もその向きが同じになるように原子が規則正しく配列した結晶体である。多結晶体と比較して、一般に機械的強さや化学的安定性が高い。ハイドロキシアパタイトは主に単結晶粒が不規則に集合した多結晶体で利用されるが、単結晶粒を配向させたハイドロキシアパタイトが単結晶アパタイトである。アルミナの単結晶である単結晶サファイアはダイヤモンドにつぐ硬さであり、高純度のアルミナ(Al_2O_3)を人工的に巨大結晶に成長させたもので、インプラントとして使用されていた。

821 炭酸アパタイト たんさんあぱたいと

carbonate apatite, apatite carbonate

同義語 炭酸含有水酸アパタイト**関連語** ハイドロキシアパタイト, β -TCP

ヒトの骨の無機成分で、ハイドロキシアパタイトのリン酸基の一部が炭酸基に置換したものである。人工骨補填材として合成されたものは骨伝導性を有し、経時的に吸収されて新生骨に置換される。化学組成式は $\text{Ca}_{10-x}(\text{PO}_4)_{6-y}(\text{CO}_3)_z(\text{OH})_{2d}$ である。

822 炭酸ガスレーザー たんさんがすれーざー

carbon dioxide laser

同義語 CO_2 レーザー**関連語** Nd:YAG レーザー

炭酸ガスを用いて発生する気体レーザーである。発振波長は $10.6\ \mu\text{m}$ の連続波、あるいはパルス波として発振される。水に吸収されやすく表面吸収型である。軟組織の蒸散・除去、メラニン色素除去、知覚過敏処置などに用いられる。止血作用にも優れ、熱凝固層も比較的薄い。熱作用が強く、照射表面に炭化層を生じやすい。

823 短縮歯列 たんしゅくしれつ

shortened dental arch

遊離端欠損において歯列の回復を第二小臼歯まで

にとどめ、大臼歯は補綴しないという概念である。少なくとも小臼歯の咬合接触が存在する遊離端欠損の場合、その欠損を放置しても咬合支持や顎機能には問題がなく、むしろ欠損補綴を行うことにより残存歯の二次齲蝕や歯周病の進行、顎堤の吸収、異物感、患者負担などが生じるという考え方がある一方、咀嚼機能の低下や顎関節症状発現の危険性などを懸念する考え方もある。

824 単純結節縫合 たんじゅんけっせつほうごう

simple interrupted suture

関連語 水平マットレス縫合

創傷を1針ずつ縫合結紮する方法である。創面を合わせやすく、張力を調整しやすい、部分的な抜糸が可能という利点をもつ。一方、連続縫合に比較し、操作に時間を要する、結節痕が残りやすいという欠点もある。

825 弾性係数 だんせいけいすう

elastic modulus

同義語 弾性率, ヤング率

単軸応力の下では、材料の応力とひずみが、弾性変形の範囲では、比例関係にあり、その比例定数という。単位はPaで表す。チタンの弾性係数は106 GPaで骨の弾性係数10~30 GPaより大きい。

826 弾性変形 だんせいへんけい

elastic deformation

材料に外力を加えたときに起こる変形のうち、外力を取り除くとただちにもとに戻る変形である。

827 弾性率 だんせいりつ

elastic modulus

⇒ **825** 弾性係数**828 炭素繊維** たんそせんい

carbon fiber

同義語 カーボン繊維

ポリアクリロニトリル(PAN)繊維やピッチ(PITCH)繊維などの有機繊維を不活性雰囲気中で蒸し焼きにして炭素以外の元素を脱離させて製作する。炭素含有量は標準弾性係数の炭素繊維で90%以上、高弾性係数の炭素繊維ではほぼ100%が炭素となる。炭素繊維の比重は約1.8でチタンの約4.5、アルミニウムの約2.7、ガラス繊維の約2.5と比べても軽い。また、強度、弾性係数、耐摩耗性、耐熱性、耐酸性、エックス線透過性、熱や電気の伝導性などに優れる。しかし、加工性が欠点とされ、単独使用例が少なく、炭素繊維強化プラスチックあるい

は炭素繊維強化複合材料などとして用いられる。医療用としては整形外科領域でインプラント材料や義肢などに使用される。歯科領域ではポスト用の材料として使用され、ガラス繊維と同様にメタルフリーのブリッジのボンテック部の補強用としても用いられる。他のさまざまな歯科用途への研究開発がされている。

829 担体 たんたい

carrier

⇒ **906** ドラッグデリバリーシステム

830 単独植立 たんどくしょくりつ

single standing

同義語 単独インプラント

天然歯または他のインプラントと上部構造で連結することなく、単独で機能するインプラントのこと。オッセオインテグレーションを獲得したインプラントであれば、単独植立は可能である。

ち

831 チームアプローチ ちーむあぷろーち

team approach

関連語 チーム医療、多職種連携

インプラント治療を受ける患者に対し、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、受付、メーカー、医師、看護師、さらには患者とその家族など、患者を取り囲むすべてのスタッフが連携し、包括的に治療やケアを行うための取り組みをさす。

832 チーム医療 ちーむいりょう

team medical care, team care, team treatment

関連語 チームアプローチ、多職種連携

主に医療機関を中心とした治療やケアを行う場合に用いられる。インプラント治療では、患者を中心とし、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、さらに医師、看護師などの医療従事者が連携し、それぞれの専門性を活かすことでよりよい医療を行うことを意味する。各専門職が協力して多角的に病態をとらえて治療にあたることで、インプラント治療の質を向上させることができる。

833 遅延荷重 ちえんかじゅう

delayed load

⇒ **800** 待時荷重

834 遅延負荷 ちえんふか

delayed loading

⇒ **800** 待時荷重

835 遅延埋入 ちえんまいにゅう

delayed implant

⇒ **802** 待時埋入

836 知覚異常 ちかくいじょう

abnormal sensation

関連語 知覚障害

知覚神経の障害後にその神経支配領域に発症する痛感、温度感覚、触覚あるいは深部感覚などに異常を生じた状態で、知覚鈍麻および知覚消失、知覚過敏などの状態がある。anesthesia（感覚消失）、hypoesthesia（知覚低下）のほか、allodynia（通常は痛みを誘発することがない刺激強さで痛みが出現する）、hyperalgesia（加えられた痛み刺激以上に強い痛みを感じる）、dysesthesia（自発性または誘発性に生じる「不快な感覚」）などの異常感覚も含まれる。

837 知覚障害 ちかくしょうがい

sensory disturbance

関連語 知覚異常

中枢あるいは末梢神経の知覚伝導路障害によって、刺激を正常に知覚できない状態をいう。末梢神経での伝導路障害は抜歯、口腔インプラント、歯内療法、局所麻酔注射などの歯科治療によっても起こりうる。

838 置換性吸収 ちかんせいきゅうしゅう

replacement resorption

⇒ **537** 歯根吸収

839 チタン ちたん

titanium

同義語 チタニウム、Ti

原子番号 22、第 4 族元素（チタン族元素）の一つで、金属光沢をもつ。歯科用金属の中で比重は 4.5 と非常に軽く、電気や熱の伝導性が低く、弾性に富み、展性や延性が大きく、磁性が極めて弱い。商用純チタン（CPTi）は不純物元素の含有量から JIS で 1～4 種までに分類され、引張強さは順に大きくなり、4 種が最も大きく 600 MPa 以上となる。チタン表面に安定な酸化チタンの不動態膜の生成による高い耐食性や優れた生物学的適合性がある。さらに、オッセオインテグレーションを示し、インプラント体として優れている。

840 チタンインプラント ちたんいんぷらんと

titanium implant

⇒ **839** チタン**841 チタン合金** ちたんごうきん

titanium alloy

チタンの機械的性質などを改善するため、チタンを主成分に他の元素を添加した合金である。チタン合金の機械的性質は金属組織依存性が大きく、室温での組織によって α 型、 $\alpha + \beta$ 型、 β 型などに分類される。1954年に実用化された $\alpha + \beta$ 型のチタン6-アルミニウム4-バナジウム合金は工業用のチタン合金として、すぐれた機械的性質を有し、熱処理性や溶接性などのバランスがよいことが知られ最も多く用いられている。歯科領域でも各種補綴装置のほか、純チタン同様にオッセオインテグレーションがあるとされ、インプラントに用いられている。しかし、合金組成のV（バナジウム）の細胞毒性が特に強いことが古くから知られており、生体適合性の点からVをNb（ニオブ）など、毒性がさらに低い他の元素に置き換えた合金も各種研究開発され、インプラントや他の整形外科用材料として用いられている。他にニッケルチタン合金なども用いられる。

842 チタン-ジルコニウム合金

ちたんじるこにうむごうきん

titanium-zirconium alloy

関連語 チタン合金

チタンとジルコニウムの合金のこと。機械的強度や生体適合性に優れ、インプラント材料として用いられている。

843 チタンの腐食 ちたんのふしょく

corrosion of titanium

チタンは表面に酸化チタンの不動態膜を形成するので、コバルトクロム合金やステンレス鋼よりも耐食性が良好でインプラントに利用されているが、強酸性下のフッ化物、塩基性の過酸化水素水、硫化物の存在する環境下で腐食する可能性がある。

844 チタンプラズマコーティング

ちたんぷらすまこーていんぐ

titanium plasma coating

⇒ **866** TPS コーティング**845 チタンプラズマ溶射インプラント**

ちたんぷらすまようしゃいんぷらんと

titanium plasma sprayed (TPS) implant

同義語 TPS インプラント**関連語** TPS コーティング

チタンプラズマ溶射（TPS）により表面処理されたインプラントのこと。

846 チタンメッシュ ちたんめっしゅ

titanium mesh

骨造成に用いられる、骨再生のためスペースを維持するために用いられる網状のチタン膜である。通常0.1～0.2 mm厚のものが使用される。細片状の移植骨などを本メッシュにて覆い、マイクロスクリューなどで固定する。本材料は賦形性に優れ、作られたスペースに移植された材料が安定しやすいという利点をもつ反面、被覆粘膜の菲薄な部位では、メッシュが露出しやすく、ときに細菌感染を引き起こしうることに注意を要する。

847 チタン6-アルミニウム4-バナジウム合金

ちたんろくあるみにうむよんばなじうむごうきん

Ti-6Al-4V

同義語 JIS60種

アルミニウム（Al）を6 mass%、バナジウム（V）を4 mass%含むチタン合金である。純チタンよりも引張強さや耐力が大きい。高耐食性で比強度（密度あたり引張強さ）が大きい合金の代表として整形外科領域の医療材料として使用されている。インプラント治療では純チタンと同様に骨とオッセオインテグレーションする。

848 緻密骨 ちみつこつ

compact bone

同義語 皮質骨**類義語** 緻密質、層板骨

骨の表層を形成する緻密な性状の骨質からなり、皮質骨ともよばれる。長管骨の骨幹部では、緻密骨が厚く発達する一方で、他の短骨などにおいては薄い。緻密骨には動静脈を通すための二つの管系（ハバース管とフォルクマン管）が発達している。組織学的には骨層板が重なり合うことで構成される。特に骨の長軸に並走するハバース管を同心円状に取り巻くハバース層板が特徴で、一つの円柱構造を骨単位（オステオン）とよぶ。

849 中間欠損 ちゅうかんけつそん

bounded missing, intermediate missing

欠損部の近遠心側のいずれにも残存歯が存在する

歯列の部分欠損のこと。Kennedy 分類ではⅢ級またはⅣ級に分類される。装着される部分床義歯を咬合圧の支持様式により分類すると、主として歯根膜支持型義歯となる。

850 中空円柱状インプラント

ちゅうくうえんちゅうじょういんぷらんと

hollow cylinder implant, implant basket,
inverted basket implant

インプラント体の設計の一つで、維持安定を図るため先端部が中空になっており、埋入時の骨形成の際、コア部分の骨を残してインプラント根尖の中空部分と適合する形態をとる。

851 中心位 ちゅうしんい

centric relation

⇒ 196 下顎位

852 中心咬合位 ちゅうしんこうごうい

centric occlusion

⇒ 196 下顎位

853 中水準消毒 ちゅうすいじゆんしょうどく

intermediate-level disinfection

関連語 高水準消毒, 低水準消毒

芽胞以外のすべての微生物を殺滅する処理である。実際に死滅するのは結核菌、栄養型細菌、ほとんどのウイルス、ほとんどの真菌とされる。

⇒ 356 高水準消毒の表参照

854 超音波スケーラー ちようおんぱすけーらー

ultrasonic scaler

25,000 ~ 42,000 Hz/秒の超音波振動出力により、注水下で歯石を粉砕、除去するスケーラーである。歯石表面をフェザータッチで振動、槌打し、歯石を破砕、空洞現象（キャビテーション）で剝離させると同時に、噴霧、洗浄によりスケーリングを行う。ペースメーカー装着者には禁忌である。

855 腸骨移植 ちようこついしょく

iliac bone graft (s)

⇒ 64 移植〔術、法〕

856 治療用義歯 ちりょうようぎし

treatment denture

最終補綴装置の製作に先立ち、顎堤粘膜や筋・顎関節の異常を治療することを目的として装着する暫間的な義歯のこと。使用中の義歯を修正する場合、治療を目的として新義歯を製作する場合がある。イ

ンプラント治療では、最終的な上部構造の装着前に使用する。

857 鎮静法 ちんせいほう

sedation

⇒ 634 静脈内鎮静法, 703 精神鎮静法

つ

858 ツイストドリル ついすとどりる

twist drill

⇒ 909 ドリル

859 ツーピースインプラント

つーぴーすいんぷらんと

two-part implant

インプラント体とアバットメントが分かれているタイプのインプラントシステムで、現在使用されているインプラントのほとんどがこのタイプである。

て

860 DFDB ていーえふでいーびー

demineralized freeze-dried bone

⇒ 815 脱灰骨

861 DFDBA ていーえふでいーびーえー

demineralized freeze-dried bone allograft (s)

⇒ 815 脱灰骨

862 t検定 ていーけんてい

t-test

⇒ 686 Student の t 検定

863 TGF ていーじーえふ

transforming growth factor

同義語 形質転換成長《増殖》因子, トランスフォーミング成長《増殖》因子

二つのポリペプチド成長因子からなる。TGF- α は形質転換細胞や癌細胞の条件培地から得られ、多くの表皮や上皮細胞の増殖を促進する。もう一方の TGF- β は腎臓や血小板から得られ、多くの細胞に対し増殖、分化を制御する。

864 DDS ていーでいーえす

drug delivery system

⇒ 906 ドラッグデリバリーシステム

865 TPS インプラント ていーびーえすいんぷらんと
titanium plasma sprayed (TPS) implant
⇒ **845** チタンプラズマ溶射インプラント

866 TPS コーティング ていーびーえすこーていんぐ
titanium plasma sprayed (TPS) coating

同義語 チタンプラズマコーティング

インプラント表面性状の種類の一つで、インプラント体にチタン粉末を完全にまたは部分的に溶解し、高温蒸着し急激に凝固させ高密度または多孔質の被膜を形成する表面処理のこと。

867 低血糖性昏睡 ていけっとうせいこんすい
hypoglycemic coma

血液中のブドウ糖量が低下することによって起こる意識障害である。一般的には血糖値が70 mg/dL以下になると、動悸、冷汗、手指のふるえなどの自律神経症状（警告症状）が出現し、さらに、血糖値が50 mg/dL以下になると、意識障害などの症状が出現する。インスリン注射あるいはスルフォニル尿素薬を内服する糖尿病患者のインプラント治療においては、長時間の手術や術後の食事摂取が困難であるため、低血糖性昏睡に注意が必要である。

868 低水準消毒 ていすいじゅんしょうどく
low-level disinfection

関連語 高水準消毒, 中水準消毒

ほとんどの栄養型細菌, ある種のウイルス, ある種の真菌を殺滅する処理である。結核菌, 芽胞, B型肝炎ウイルスは殺滅できない。傷のない健常な皮膚に接触する器具や頻繁に手が接触する環境に必要である。

⇒ **356** 高水準消毒の表参照

869 ディスインテグレーション

ていすいんてぐれーしょん

disintegration

同義語 骨結合喪失

オッセオインテグレーションを獲得した後にそれが喪失した状態である。オッセオインテグレーションの失敗は獲得失敗と維持喪失に分かれるが、本用語はオッセオインテグレーションの維持喪失をさす。

870 ディスクルージョン ていすくろーじょん
disclusion

同義語 臼歯離開咬合

類義語 即時離開咬合, 遅延離開咬合

下顎の偏心運動中に、下顎をガイドしている前歯

以外の対向している臼歯に離開が認められる咬合様式である。有歯顎における理想咬合では、咬頭嵌合位での両側同時均等接触, 偏心運動時の犬歯誘導や臼歯離開などが条件として提示されており、インプラント上部構造においても有歯顎の咬合様式と同じとする考えがある。

871 ディスタントオステオジェネシス

ていすたんとおすておじえねしす

distant osteogenesis

関連語 オッセオインテグレーション, コンタクトオステオジェネシス

インプラントの方向へ向かって既存骨から骨が徐々に添加していく治療形態である。

872 ディストラクション ていすとらくしょん

destruction

⇒ **217** 仮骨延長術

873 ティッシュエンジニアリング

ていっしゅえんじにありんぐ

tissue engineering

同義語 組織工学

類義語 生体組織工学, 組織再生工学

関連語 再生医療

細胞などを使った生命科学と工学を組み合わせ、失われた臓器や組織の機能を補う技術である。

874 ティッシュコンディショナー

ていっしゅこんでいしょなー

tissue conditioner

義歯床粘膜面を削除してそのスペースを満たすように用いる弾性あるいは粘弾性を有した材料のこと。インプラント治療においては、埋入手術後の治療期間中に有床義歯を装着する場合、創傷治療への対応やインプラント体への応力緩和を目的として治療用義歯の義歯床粘膜面をリリースしてティッシュコンディショナーを使用することがある。なお、軟質リライン材は暫間的な材料ではないため、ティッシュコンディショナーとは区別される。

875 ティッシュパンチ ていっしゅばんち

tissue punch

同義語 粘膜パンチ

類義語 歯肉パンチ

関連語 フラップレスサージェリー《手術》

粘膜, 骨膜などの軟組織に穴を開ける器具のこと。大きく切開を入れずに目的とする部分の軟組織のみを除去したい場合に用いる。インプラントの二次手

術で、ティッシュパンチの先端部をカバースクリュー中央部に挿入して回転させることにより、骨膜や結合組織を除去し、カバースクリューを露出させる目的で用いる。

876 テーパージョイント てーぱーじょいんと

tapered joint

同義語 モーステーパー

インプラント体の内部にテーパの形状が付与されており、アバットメントスクリューを締めることでくさび効果が生じて強固にインプラントとアバットメントが固定される適合様式のこと。アバットメントの緩みが生じにくいだけでなく、微小漏洩が少なく、細菌感染がインプラント体の内部に及びにくいという利点がある。

877 テーパードインプラント

てーぱーどいんぷらんと

tapered implant

インプラント体の上部から先端にかけて細くなる形状で、天然歯形態に類似した形状をもつインプラントである。ストレート（パラレル）タイプに比べて下顎前歯部などの解剖学的に天然歯と近接する部位に埋入しやすく、埋入時のトルクが大きく初期固定を得やすいとされている。

878 適合性試験 てきこうせいしけん

fit checking, evaluation of fit

関連語 パッシブフィット, 微小漏洩

上部構造の適合精度を検査するための試験である。天然歯と比較してインプラントは可動性が著しく小さいので、より高い適合精度が求められる。特にスクリュー固定の連結冠やブリッジの上部構造ではパッシブフィットが要求されるので最端部のスクリューだけを連結して、他の部のマージンの浮き上がり量をチェックする（ワンスクリューテスト）。マージンが歯肉縁下にあり肉眼で確認できないときは、エックス線写真を利用する。また、連結する際のトルクの変化率によって浮き上がりを予測することができる（スクリューレジスタンステスト）。セメント固定の上部構造では天然歯と同様に手指圧で上部構造を適合させ、マージン部の浮き上がりやがたつきを確認したり（alternate finger pressure test）、シリコン系適合試験材を用いたりする。

879 デコルチケーション てこるちけーしょん

decortication

⇒1019 皮質骨穿孔

880 デジタルワークフロー でじたるわーくふるー

digital workflow

デジタル印象法とCAD/CAMシステムを用いて、補綴装置ならびにインプラント上部構造を製作する一連の過程のこと。

881 デプスゲージ でぶすげーじ

depth gauge

同義語 深度ゲージ, デプスプローベ

インプラント体の埋入窩をドリルで形成する際に、埋入窩の深さや直径を測定するために使用する器具である。深さはデプスゲージに刻印されたマーカーを使用して測定する。

882 デブライドメント でぶらいどめんと

debridement

同義語 壊死組織除去, 創傷郭清, デブリードマン
損傷などにより挫滅した軟組織, 血行障害で壊死に陥る可能性の大きい創縁, 感染創などにおける壊死部分をメスや鋭匙などを用いて除去し, 健全な創傷治癒を導くこと。特に汚染創の処置においては必須の手技である。異物や壊死部分は血行障害や感染を招き, 創傷の治癒機転を著しく阻害して瘢痕も醜形となるため, 一次治癒に導くためできるだけ早期に徹底的に行うことが重要である。

インプラント治療や歯周治療においては, インプラントや歯根表面に強固に付着した歯石や異物, バイオフィルム, 骨欠損部感染組織などを除去する行為を含む。

883 デブリードマン でぶりーどまん

debridement

⇒ 882 デブライドメント

884 テレスコープ てれすこーぷ

telescope

類義語 テレスコープクラウン, シリンダーテレスコープ, 二重金属冠

分離可能な外冠と内冠からなる二重金属冠であり, 義歯の支台装置として用いられる。両者の緊密な適合から生じる摩擦力やくさび効果を利用して維持力を得る。内冠の軸面が平行なパラレル（シリンダー）型と内冠の軸面がテーパを有し円錐面となっているコースヌ型がある。また金属製の内冠とレジン製の外冠が組み合わされたコーピングテレスコープは支台歯の状況により支持力の調整が容易である。

885 電気メス でんきめす

electric scalpel

電気を熱エネルギーに変換し、切開、組織凝固をはかるメスである。

886 テンションフリー縫合

てんしょんぷりーほうごう

tension-free sutures

関連語 減張切開

切断された軟組織を緊張なく縫い合わせること。過度な結紮糸の締め込みによる組織断端の断裂や縫合創部の血流障害、術後の縫合創の哆開の防止などを目的に行う。前段階として、粘膜、骨膜の減張切開、粘膜下、骨膜下の十分な剝離操作を行うことがある。

887 伝達麻酔 でんたつますい

block anesthesia

末梢神経の本幹または神経叢に局所麻酔薬を注射して、その神経の支配領域の麻酔を得る方法である。少量の麻酔薬で広範囲に麻酔効果が得られる、麻酔奏効時間が長い、手術部位より離れたところで神経を麻酔するので、局所に炎症があっても効果的に麻酔が行えるなどの利点がある。歯科領域では下顎孔伝達麻酔が多く用いられる。

888 デンタルエックス線写真

でんたるえつくすせんしゃしん

dental radiography

歯科用のエックス線撮影装置によって撮影する方法、またはその方法により撮影された画像のことを示す。撮影法としては、平行法、二等分法、咬翼法、咬合法などがある。解像度が高いため、歯の診断には欠かすことができない。

889 デンチャースペース でんチャーすべーす

denture space

口腔内における補綴装置が装着可能な空間のこと。

890 テンプレート てんぷれーと

template

関連語 診断用テンプレート、サージカルガイドプレート

診断用テンプレート、サージカルガイドプレートの総称である。

891 テンポラリーアバットメント

てんぼらりーあぼつとめんと

temporary abutment

同義語 テンポラリーシリンダー**関連語** 暫間上部構造

最終上部構造を装着するまでの期間に、咀嚼機能、審美性の回復、理想的な歯肉形態を得るために装着する暫間上部構造の製作に使用するアバットメントのこと。

と

892 凍結乾燥異種骨移植

とうけつかんそういしゅこついしよく

freeze-dried bone xenograft(s) (FDBX)

⇒ **815** 脱灰骨**893 凍結乾燥骨** とうけつかんそうこつ

freeze-dried bone (FDB)

⇒ **815** 脱灰骨**894 凍結乾燥同種骨移植〔体、片〕**

とうけつかんそうどうしゅこついしよく〔たい、へん〕

freeze-dried bone allograft(s) (FDBA)

⇒ **815** 脱灰骨**895 陶材** とうざい

porcelain

⇒ **745** セラミックス**896 陶材焼付金属冠** とうざいやきつけきんぞくかん

ceramometal crown, porcelain fused-to-metal crown

同義語 メタルボンドクラウン

単独あるいは連結、ブリッジタイプの固定性上部構造として用いられる前装冠の一つである。セメント合着では内冠を個別に固定する。スクリュー固定では、インプラント体に直接メタルフレームを固定するので適合性が重要になる。またアクセスホール周辺のポーセレンの破折に注意を要する。

897 同種移植 どうしゅいしよく

allograft(s)

同義語 アログラフト

広義には同一種間で行う細胞、組織、臓器の移植をいう。ヒトでは他人由来の材料を移植することをいう。使用される材料は拒絶反応を阻止するために、抗原性を除去する処理が施される。代表的な材料と

しては、脱灰凍結乾燥同種骨移植片 (DFDBA) などがある。

898 疼痛外来 とうつうがいらい

pain clinic

⇒ **T094** ペインクリニック

899 動的荷重 どうてきかじゅう

dynamic load

同義語 機能負荷

物体に働く力の大きさや向きが時間とともに変わる荷重である。インプラント体に加わる荷重の種類では、咬合圧などによる荷重の大きさや方向が一定時間中に変化することであり、変化しない場合の静的荷重と対比される。

900 糖尿病 とうにようびょう

diabetes mellitus

同義語 DM

インスリンの相対的あるいは絶対的欠乏により生じる慢性代謝性疾患である。髒ランゲルハンス島の破壊・消失によりインスリン産生が著しく低下して発症するⅠ型糖尿病と、インスリンの分泌低下・抵抗性をきたす遺伝子因子に過食、肥満、ストレス、運動不足などが加わって発症するⅡ型糖尿病に分けられる。重篤な場合は慢性の高血糖症、尿糖、電解質異常、ケトアシドーシス、昏睡などが生じる。血管合併症として末梢神経障害、網膜症、腎障害、心筋梗塞などがある。インプラント治療のリスクファクターである。

901 頭部エックス線規格撮影法

とうぶえっくすせんきかくさつえいほう

cephalometric radiography

同義語 セファログラム

「焦点-セファロスタット回転中心-感光系」の距離を「0-150-165 (mm)」に規格し、頭部の平均的拡大率を1.1倍になるようにしたエックス線撮影システムを頭部エックス線規格撮影〔法〕といい、撮影された画像をセファログラムと呼称する。撮影は基本的に患者のフラン克福ルト平面を床面に平行に行う。

902 動揺度検査 どうようどけんさ

mobility examination

オッセオインテグレーションの状況の診断方法のこと。動揺度検査法には、直接インプラント体の動揺を調べる肉眼的観察もあるが、客観的にかつ非侵襲的に測定する方法として、直接アバットメントを

植打測定する検査法 (Periotest™) と共振周波数分析法を用いる検査法 (Osstell mentor™) がある。

903 毒性 どくせい

toxicity

生命活動に芳しくない影響を与える物質 (毒) の性質や、物体・生物を問わず、そのような性質があるものを有毒と表現する。なお、これを専門に扱う学問としては毒性学がある。

904 トップダウントリートメント

とつぷだうんとりーとめんと

top-down treatment

同義語 補綴主導型治療

関連語 外科主導型治療, 患者主導型治療

機能的、審美的に優れたインプラント治療を行うために、補綴学的に理想的な補綴装置の位置や形態を想定し、それに合わせてインプラント体の本数や埋入位置を決定する方法のこと。そのため、インプラント体埋入時に骨量不足が生じる場合もあり、骨造成をしばしば必要とする。

905 ドナーサイト どなーさいと

donor site

同義語 供給側

関連語 レシピエントサイト

骨などの移植組織を採取する身体の領域をいう。移植される部位はレシピエントサイトという。

906 ドラッグデリバリーシステム

どらっくでりばりーしすてむ

drug delivery system

同義語 DDS, 薬物送達システム, 薬物伝達システム

体内における薬物分布を量的・空間的・時間的に制御することにより、薬物の効果を最大限に高めて副作用を最小限に抑えることを目的とした薬物送達システムである。放出抑制・制御 (徐放製剤化, 腸溶性製剤), 吸収改善 (プロドラッグ化, 投与経路の変更) および標的指向化 (薬剤の修飾, 目的部位に直接投与) の三つがあり、薬を運ぶ「輸送担体・ドラッグキャリア」の工夫が重要である。

907 トランスファーコーピング

とらんすびあーこーぴんぐ

transfer coping

同義語 トランスファーキャップ

⇒ **77** 印象用コーピング

908 ドリリング どりりんぐ

drilling

インプラント埋入窩を形成するために骨を切削することをいう。

909 ドリル どりる

drill

インプラント体の骨内埋入窩を形成するための器具のことものである。用途によってインプラント体の埋入方向を決定するスパイラルドリル、インプラント体長径を形成するパイロットドリル、インプラント体埋入径を形成するツイストドリルなどがある。

910 ドリルガイド どりるがいど

drill guide

⇒ **455** サージカルガイドプレート

911 トルク〔値〕 とるく〔ち〕

torque

同義語 回転モーメント

回転軸のまわりに働く力のモーメントのこと。インプラント治療ではインプラント体埋入時に加わる力やスクリュー締めつけや緩める力を意味する。単位は $N \cdot cm$ で表す。

912 トルクコントローラー とるくこんとろーらー

torque controller

インプラント体埋入あるいはインプラント体とアバットメントの締めつけや緩める場合に回転トルク値を適切に保つために用いる装置、あるいは器具のこと。埋入手術時に用いるサージカルモーターに内蔵され電氣的に回転トルクを検出するものや、機械工具の一種であるトルクレンチやトルクドライバーなどがある。

913 トルクドライバー とるくどらいばー

torque driver

アバットメントやスクリュー固定上部構造の締めつけに用いる器具のこと。設定トルク値を超えると音を発して知らせる機構を付与した回転締めつけ器具の一種である。

914 トルクレンチ とるくれんち

torque wrench

同義語 トルクラチェット、ラチェットレンチ、トルクメーター

インプラント体埋入あるいはインプラント体とアバットメントの締めつけや緩める場合に用いる器具

のこと。規定のトルク値を超えると折れ曲がるものや、金属の変形を利用して回転トルク値の測定ができるものなどがある

915 ドルダーバーアタッチメント

どるだーばーあたちめんと

Dolder bar attachment

⇒ **955** バーアタッチメント

916 ドレーピング どれーびんぐ

draping

清潔域の確保と顔面の保護を目的に、顔面および全身に手術用滅菌覆い布をかけることをいう。覆い布は布鉗子やテープで固定する。

917 トレフィンバー とれびんばー

trephine bur

同義語 トレパンバー

中空の円柱状のバーのこと。先端に刃がついており、注水下で骨を円柱状にくり抜いて採取する。自家骨採取あるいはオッセオインテグレーションしたインプラント体周囲の骨を削り、インプラント体を除去するために使用する。また骨生検で用いることもある。

918 トロンビン末 とろんびんまつ

thrombin

関連語 フィブリン糊

トロンビンの粉末製剤で、フィブリノゲンに配合してフィブリン糊として生体接着剤として用いる。ヒト由来とウシ由来とがある。通常の結紮では止血困難な場合に用いられ、小血管、毛細血管および実質臓器からの出血（歯科では、外傷による出血、術中出血、骨性出血、抜歯後出血など）が適応症である。

な

919 内斜切開 ないしやせつかい

internal bevel incision

関連語 歯肉溝内切開

歯肉辺縁または歯肉辺縁のやや根尖側より歯槽骨頂や歯周ポケット底部に向けて切る切開法である。フラップ手術、Widman 改良フラップ手術、歯冠延長術や新付着術などに用いられる最も一般的な切開法である。類似した切開法に歯周組織再生療法で使用される歯肉溝内切開がある。

920 ナイトガード ないとがーど

night guard

関連語 オクルーザルアプライアンス

夜間ブラキシズムによる補綴装置の物理的破壊を防ぐ目的で装着するスタビライゼーションアプライアンスに類似した装置のこと。透明なアクリルレジンのハードタイプと柔軟性がある樹脂性のソフトタイプがある。

921 内部注水 ないぶちゅうすい

internal irrigation

埋入窩を顎骨に形成する際に、内部に注水路を有する特殊なドリルを用いて、ドリル先端から直接骨切削部位に注水すること。これに対し、ドリルの外から切削部位に対して注水して冷却することを外部注水という。

922 内部連結 ないぶれんけつ

internal connection

⇒ **79** インターナルコネクション**923 内部六角** ないぶろっかく

internal hex

⇒ **80** インターナルヘキサゴン**924 ナビゲーションシステム**

ナビゲーしょんしすてむ

navigation system

⇒ **451** コンピュータ支援ナビゲーション**925 ナビゲーション手術** ナビゲーしょんしゅじゅつ

navigation surgery

⇒ **451** コンピュータ支援ナビゲーション**926 ナラティブベースドメディシン**

ならていぶえいすどめでいしん

narrative based medicine

同義語 NBM**関連語** EBM

患者との対話を通じて、病に至るまでの語り（物語：ナラティブ）を真摯に受け止めて理解し、患者にとって最も有効な医療を進めるアプローチのこと。EBMを補完する目的で用いられる。

927 ナローインプラント なるーいんぷらんと

narrow implant

関連語 ミニインプラント

インプラント体の直径が3.0～3.5 mmのインプラントのことをさす。力学的強度に劣るため、咬合

力が強く加わらない部位（前歯部など）、骨幅の狭い部位、隣接歯あるいはインプラント間のスペースが限られている症例などに用いられる。同じコンセプトのものとして、直径が2 mm前後のミニインプラントがある。

928 軟骨内骨化 なんこつないこつか

enchondral ossification

同義語 軟骨性骨化**類義語** 置換骨

骨の骨化様式の一つで、身体の大部分の骨がこの様式で作られる。胎生期に軟骨が作られ、これが破骨細胞と骨芽細胞によって骨組織に置き換えられる。この様式で形成された骨を置換骨ともいう。軟骨内骨化によって形成された骨は顎顔面領域では下顎骨の下顎頭、頭蓋底（篩骨、蝶形骨、側頭骨の錐体および後頭骨の底部）、およびすべての長管骨、椎骨と肋骨である。

に

929 2回法インプラント にかいほういんぷらんと

two-stage implant

同義語 サブマージドインプラント**関連語** 1回法インプラント

アバットメントとインプラント体が分かれるもので、一次手術としてインプラント体の埋入、二次手術としてアバットメントの連結（歯肉貫通部形成）が必要である。インプラント体が歯肉レベルよりも下方（骨側）にあることからサブマージドインプラントともよばれる。

930 肉芽組織 にくげそしき

granulation tissue

同義語 炎症性肉芽組織、線維性肉芽組織**関連語** 創傷治癒、瘢痕

創傷治癒過程において、障害を受けた局所の防御や修復のために形成される幼若な血管結合組織である。主要構成成分は線維芽細胞、毛細血管および白血球などの小型円形細胞である。瘢痕治癒するものを健康肉芽、糖尿病などの全身性因子あるいは血行障害や感染などの局所的因子により治癒に向かわないものを病的肉芽（陳旧肉芽）とよぶ。

931 二次固定 にじてい

secondary stability

同義語 二次安定⇒ **176** オッセオインテグレーション

932 二次再建 にじさいけん

secondary reconstruction

類義語 二次的骨移植, 二次移植

外傷や切除手術などにより生じた組織欠損に対して、まず初回手術では腫瘍の切除や閉創のみを行い、その後、時期を異にして二次的に骨移植などの硬組織や軟組織の再建、さらにはインプラントも含めた咬合の再建を行うこと。

933 二次手術 にじしゅじゅつ

second-stage surgery

関連語 一次手術

2回法インプラントにおいて一次手術後オッセオインテグレーション獲得のための免荷期間をおき、インプラント体にアバットメントあるいはヒーリングキャップを連結する手術のこと。二次手術と同時にインプラント周囲の粘膜のマネジメント手術（角化付着粘膜形成、口腔前庭拡張術など）を行うこともある。

934 二次治癒 にじちゆ

secondary healing

同義語 二次創傷治癒**関連語** 一次治癒, 創傷治癒

創縁や創腔の組織欠損、壊死組織や異物の介在、細菌感染などが原因で、多量の肉芽組織が形成され、上皮創の緊密な閉鎖が不完全なために癒痕形成を伴って治癒することをさす。

935 二重盲検試験 にじゅうもうけんしけん

double blind test

薬物などの効果を試験する方法で、被験者（患者）が薬の投与などを受けることによる精神的影響を排除し、効果を判定する験者（評価者：医師）も、どの被験者にどの薬が投与されているかをわからないようにして行う評価試験方法である。この試験方法で被験者、験者の両者の精神的、心理的影響を排除できる。

936 ニッケルチタン合金 につけるちたんごうきん

nickel-titanium alloy

ニッケルとチタンから構成される合金のこと。形状記憶合金あるいは超弾性合金として利用されている。形状記憶ブレードインプラントに用いられたが、現在は超弾性矯正用ワイヤーや根管形成器具に用いられる。

937 二点識別検査 にてんしきべつけんさ

two-point discrimination test

同義語 二点弁別閾

知覚検査の一つである。コンパスやノギスを使って体表面の2点に同時に機械的刺激を加えたとき、視覚によらずにこれらが1点でなく2点であると識別できる最小の距離を計測する。測定された値は二点弁別閾とよばれ、部位により大きな差があり、背部では60～70 mmであるのに対し、顔面部の皮膚は数 mm と小さい。

938 ニューロパチー にゅーろぱちー

neuropathy

神経障害と訳す。末梢神経系に機能的障害あるいは病理学的変化がある状態を示す。組織学的には神経細胞が軸索変性や脱髄を起こす。障害は外傷、炎症、腫瘍、代謝性疾患、膠原病などがあり、知覚神経、運動神経、自律神経のいずれにも起こる可能性がある（例：糖尿病性ニューロパチー、Guillain-Barré 症候群、腫瘍随伴性ニューロパチー）。

939 尿検査 にょうけんさ

urine analysis

尿から患者の全身状態を把握するために行う検査のこと。尿にタンパク質が含まれる場合は腎疾患や尿路系の異常、糖代謝低下によるケトン体上昇、糖の混在では糖尿病、血液の混在では尿路系の炎症や結石が疑われる。ウロビリノーゲンの量や尿の比重も臓器の疾患を示唆する。ウイルス、細菌の混在では泌尿器系の感染症が疑われる。

ぬ

940 ぬれ ぬれ

wetting

一般的には固体に少量の液体が接した状態の現象であり、付着ぬれとよばれる。さらに、固体全体が液体に沈んだ状態を浸漬ぬれ、固体内部に液体が浸透した状態を浸透ぬれ、液体が固体表面に拡がっていく状態を拡張ぬれという。表面のぬれの程度は接触角またはぬれ角によって定量的に測ることができる。金属表面は親油性であり、水あるいは体液との接触角が大きくぬれが悪いが、金属表面に酸化被膜を作ることで親水性になり、体液とのぬれが良好となる。

ね

941 Nd : YAG レーザー ねおじうむやぐれーざー

Neodyum YAG laser

関連語 炭酸ガスレーザー

Yttrium Aluminium Garnet (YAG) にネオジウム (Nd) を添加した物質を用いて発生する固体レーザーである。歯科用機種では発振波長は 1.064 μm のパルス波として発振される。色調選択性があり黒色色素によく吸収される。水における吸収が少なく、組織深達性が大きいいため、深部組織への影響を常に配慮する必要がある。

942 ねじ切り ねじきり

tapping

⇒ 818 タッピング

943 熱可塑性樹脂 ねつかせせいじゅし

thermoplastic resin

加熱によって軟らかくなり、容易に塑性変形する高分子材料のこと。冷却すると元に戻り、塑性変形しにくくなる。モノマーや溶媒に溶けやすい性質がある。義歯床用レジンであるポリメチルメタクリレート (PMMA) などの直鎖状高分子材料が該当する。コンポジットレジンに使用されている架橋性モノマーは加熱しても塑性変形しない熱硬化性樹脂である。

944 熱伝導 ねつでんどう

thermal conductivity

物質内部に温度差が生じた場合、物質内部の温度勾配をなくして一様な温度になろうとして、熱エネルギーが高温側から低温側へ移動する現象である。熱伝導は温度差、物質の断面積、熱伝導率などによって左右される。金属材料は無機材料や高分子材料に比べて熱伝導率が高い。

945 粘性 ねんせい

viscosity

流体（液体または気体）が流れの場にある時に流れに逆らって示す抵抗のこと。運動している流体の内部で、相対的に流れの速度が異なる層がある場合、この速度差をなくして一様にしようとするために、その境界面に沿って流れに対する抵抗が生じる。粘性材料は一定応力下では一定速度で変形が進行し、応力を取り除いても変形はそのまま残る。

946 粘膜移植 ねんまくいしょく

mucosal grafting

広義には、口腔腫瘍の手術や外傷などによって生じた組織欠損、特に舌や歯肉などの粘膜部再建のために口腔粘膜を採取して移植する方法である。狭義には、付着歯肉の獲得、歯肉退縮による露出根面を被覆する遊離歯肉移植術や結合組織移植術がこれにあたる。

947 粘膜貫通部 ねんまくかんつうぶ

permucosal extension

骨内のインプラント体と接合したヒーリングアバットメントもしくは上部構造装着のためのアバットメントにより形成される粘膜の貫通部をいう。軟組織の治癒後の補綴装置装着に際し、貫通部の形態によりマージン位置に変化を及ぼし、その長さ（ジナルハイト）によりアバットメントが選択される。

948 粘膜骨膜弁 ねんまくこつまくべん

mucoperiosteal (mucoperiosteum) flap

同義語 全層弁、全層歯肉弁、フルシクネスフラップ**関連語** 粘膜弁

骨面から粘膜（上皮、結合組織）と骨膜を一体に剥離して形成された有茎の歯肉弁である。骨膜ごと剥離するので歯槽骨は露出する。骨面の処置が必要な手術の際、骨に達する内斜切開を行い、骨膜剥離子の先端を切開部に挿入、骨に沿って粘膜骨膜を剥離し、歯肉弁を形成する。

949 粘膜内インプラント ねんまくないしんぷらんと

mucosal implant

類義語 ボタンインプラント**関連語** 骨内インプラント

義歯の維持・安定を図る処置で、義歯の粘膜面に突起物をいくつか装着し、その突起物が義歯床粘膜に入り込む粘膜の窪みを作り、その窪みで、義歯の突起物を包み込み、義歯の脱落を防止するものである。義歯を装着せず放置した場合、粘膜面の窪みが治癒してしまい、再度、粘膜の窪みの形成を行わなくてはならなくなることから、現在ではあまり行われていない。

950 粘膜剥離子 ねんまくはくりし

mucosal elevator

⇒ 972 剥離子

951 粘膜パンチ ねんまくばんち

mucosal punch

⇒ **875** ティッシュパンチ**952 粘膜弁** ねんまくべん

mucosal flap

同義語 部分層弁, 部分層歯肉弁, パーシャルシクネスフラップ, スプリットシクネスフラップ**関連語** 粘膜骨膜弁

粘膜の上皮と結合組織の一部からなり, 骨膜を骨に残して形成される歯肉弁である. 一般的に遊離歯肉移植術, 結合組織移植術, 歯肉弁移動術 (側方, 歯冠側, 根尖側) などの歯周形成手術 (歯肉歯槽粘膜形成術), インプラント治療のティッシュマネジメントに用いられる.

の

953 ノンサブマージドインプラント

のんさぶまーじどいんぷらんと

non-submerged implant

⇒ **72** 1 回法インプラント**954 ノンセグメントタイプ** のんせぐめんとたいぷ

non-segment type

関連語 UCLA アバットメント

インプラント体と歯冠修復装置 (上部構造) が直接スクリューで連結されている様式のこと. インプラント体と歯冠修復装置の間に, 何らかの独立した構造体 (アバットメントなど) が介在する様式をセグメントタイプという.

は

955 バーアタッチメント ばーあたっちめんと

bar attachment

関連語 アタッチメントシステム, ボールアタッチメント, ロケーターアタッチメント, 磁性アタッチメント

インプラント-インプラント間を既製 (ドルダーバーアタッチメントなど) または自家製の金属製バーで連結し, 義歯内面に装着されたクリップアタッチメントやスリーブがバーに嵌合し義歯を維持および支持するアタッチメントのこと.

956 ハーバード会議 はーばーどかいぎ

Harvard Conference

類義語 トロント会議

ハーバード大学とアメリカ国立衛生研究所の共催で1978年に開催された初のインプラント治療のコンセンサス会議のこと. この会議はインプラント治療のデータ収集と分析の評価基準と標準が確立された象徴的な会議であったと評価されている.

957 バイオエンジニアリング

ばいおえんじにありんぐ

bioengineering

同義語 生物工学

生物学の知見をもとにし, 実社会に有用な利用法をもたらす技術の総称であり, 特に, 生物のもつ機能や構造, 運動機構, 運動性能を模倣または利用して, 実用的な材料を生み出す技術として認識されている. 例えば, 生物の行う反応を工業規模で行ってエネルギーを取り出したり, 新しい物質を作ったりする技術などが提唱されている. 医療や創薬分野への工学技術の応用もバイオエンジニアリングといわれている.

958 バイオガラス ばいおがらす

bioglass

⇒ **706** 生体活性ガラス**959 バイオフィルム** ばいおふいるむ

biofilm

同義語 細菌性バイオフィルム**類義語** プラーク

菌体外多糖よりなるグリココッカスに覆われた細菌の凝集塊がフィルム状に付着した細菌集合体である. バイオフィルム中の細菌は共生, 共存して, 好中球などによる食作用を防ぎ, 抗菌薬に対して抵抗性を示す. 狭義ではプラークと同義語と考えるとよい.

960 バイコルチカル ばいこるちかる

bicortical

コルチカルとは, 「皮質骨の」という意味で, インプラント埋入に際して, インプラント頸部と尖端部の2カ所を皮質骨で固定する手技である. 周囲組織への侵襲に伴う併発症に注意する必要がある.

961 胚性幹細胞 はいせいかんさいぼう

embryonic stem cell

⇒ **52** ES細胞

962 バイタルサイン はいたるさいん

vital signs

医療における生体情報，特に生命徴候をいう。一般的には，脈拍または心拍，呼吸，血圧，体温，意識状態をさす。

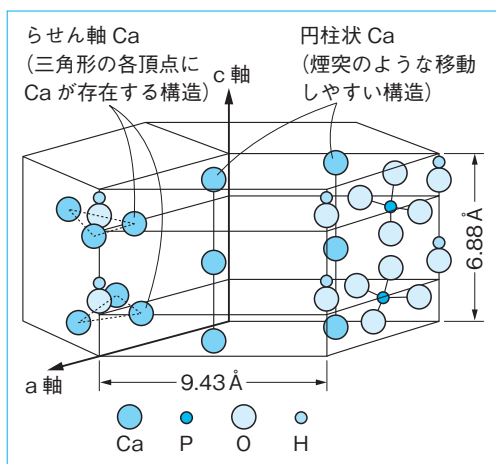
963 ハイドロキシアパタイト

はいどろきしあぱたいと

hydroxyapatite

同義語 ヒドロキシアパタイト，HA**関連語** アパタイト

歯や骨の無機質の主成分であり，化学組成式は， $\text{Ca}_{10}(\text{PO}_4)_6(\text{OH})_2$ である。塩基性リン酸カルシウム化合物である。中性条件下ではほとんど溶解しないが，酸性条件下では溶解しやすくなる。合成ハイドロキシアパタイトの焼結緻密体はインプラント体として使用されていたが，破折などの問題があり，現在はチタンインプラントへのコーティング材や骨補填材として使用されている。



図：ハイドロキシアパタイトの結晶構造

964 ハイドロキシアパタイトコーティング

はいどろきしあぱたいとこーていんぐ

hydroxyapatite coating

同義語 HA コーティング

チタンインプラントの表面改質手法として用いられており，骨との早期結合が期待されている手法である。物理的気相蒸着法によるコーティングが主流であり，プラズマスプレー法によるハイドロキシアパタイトコーティングが多く用いられているが，現在はマグネトロンスパッタリング法による薄膜ハイドロキシアパタイトコーティングインプラントも製品化されている。また，国産では熱分解法を用いた薄膜ハイドロキシアパタイトコーティングインプラ

ントも市販されている。

965 ハイブリッド材料 はいぶりっどざいりょう

hybrid material

二つまたはそれ以上の性質の異なるものを分子や原子レベルで混合して組み合わせ，それぞれの長所を相乗的に高めた材料である。インプラントの上部構造に用いられるハイブリッドセラミック材料は，天然のエナメル質に近い性質を目指して，高密度の無機物フィラーを高分子材料に混合させたもので，フィラー含有率が高いほど硬さ，圧縮強さや耐磨耗性に優れている。ジルコニアやセラミック単独の材料と比べて経済性に優れているが，機械的性質や耐変色性がやや劣ることが多い。また，医療分野としてハイブリッド材料が用いられることも多い。さらに再生医療分野では高分子材料と血管から採取した細胞とを組み合わせたハイブリッド人工血管などがある。

966 廃用〔性〕萎縮 はいよう〔せい〕いしゆく

disuse atrophy

関連語 Wolff の法則

適度な刺激が加わると骨は緻密化し，皮質骨の幅，海綿骨梁は増加する。これに対して刺激が途絶えると逆の現象が起きる。これらは骨に過重ストレスがかかると，これに拮抗できるよう骨の微小構造が改築，改変されるという Wolff の法則に則った現象でもある。

967 パイロットドリル ぱいろっとどりる

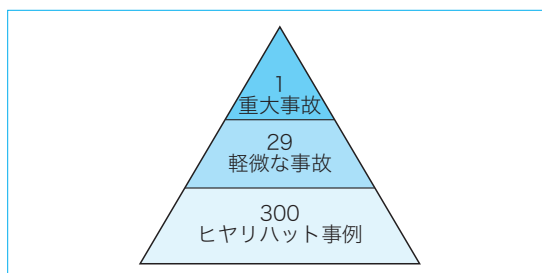
pilot drill

⇒ 909 ドリル

968 ハインリッヒの法則 はいんりっひのほうそく

Heinrich's law

一つの重大事故や災害の背後には，29 の軽微な事故や災害があり，さらにその背景には 300 の事故に至らなかったヒヤリ・ハット事例が存在するという，労働災害における経験則の一つ。



図：ハインリッヒの法則

969 ハウシップ窩 はうしつぷか

Howship's lacuna, resorption lacuna

同義語 骨吸収窩, 吸収〔小〕窩

破骨細胞が存在するくぼみであり, 破骨細胞がハウシップ窩にて骨と接する側(機能側)には高さ1.5~2 μmの複雑で密なひだである波状縁(ruffled border)(刷子縁に似た構造)があり, 酸と各種水解酵素を分泌し, 骨のミネラルを溶解し, 有機基質を消化吸収する。

970 破壊靱性 はかいじんせい

fracture toughness

材料が破壊されるまでの粘り強さを表す。材料表面や内部の亀裂が応力集中によって拡大して破壊に至る場合, 破壊に対する抵抗性を表すパラメータであり, 破壊靱性値が大きいくほど, 破壊抵抗性は大きくなる。破壊靱性 $KIC = (EGc)^{0.5}$ で定義される。Eは材料の弾性係数, Gcは破壊に要した単位面積あたりの全エネルギーである。

971 歯ざしり はざしり

bruxism

⇒ **1063** ブラキシズム**972 剥離子** はくりし

raspatorium, gingival elevator

骨と骨膜, 骨膜と骨膜上疎性結合組織間を剥がす手術用器具のこと。骨膜を骨から剥がす骨膜剥離子, 歯肉や歯槽部の非可動粘膜を骨から剥がす歯肉剥離子は両者間を結んでいる繊維を切断できるよう先端が鋭利に作られている。一方, 粘膜剥離子は剥離組織を損傷しないように先端が鈍になっている。

973 破骨鉗子 はこつかんし

bone cutting forceps

骨をちぎりとれるように両方の刃の先端が鋭く, 合わさるように作られた手術器具のこと。ちぎり取った骨片が周囲に飛び散らないよう, 両側の刃先を合わせた状態でも内部に空隙が設けられている。インプラント手術では, インプラント埋入前に歯槽骨の鋭縁部除去や, 移植骨片の採取や粉碎に用いられることがある。

974 破骨細胞 はこつさいぼう

osteoclast

造血幹細胞由来で, 骨組織を吸収し, 骨改造の中心的役割を果たす。破骨細胞は大型で樹枝状の運動性細胞である。骨髓由来の単球系細胞が分化・融合したものである。数個から数十個の核を有する多核

巨細胞で, 細胞質は好酸性を示し, 酒石酸抵抗性酸性ホスファターゼ(TRAP)活性を有する。破骨細胞の分化はパラソルモンで促進, カルシトニンやビスフォスフォネートで抑制される。

975 破歯細胞 はしさいぼう

odontoclast

破骨細胞と類似の多核巨細胞で, 歯の吸収を担う。単球から誘導され, 血管のなかから吸収部位へ遊走して, 互いに融合して明らかな接着帯と波状縁をもつ。後継永久歯萌出時の乳歯・歯根吸収や過剰な物理力や炎症などの病理学的状況でも出現する。

976 VAS ばす

visual analogue scale

痛みの強さや患者満足度の評価方法として広く用いられている。痛みの評価では長さ10 cmの黒い直線の左端が「痛みなし」、右端が「想像できる最高の痛み」とし, 現在の痛みがどの程度かを指し示させる。痛みの程度は左端よりの距離(mm)で表される(例:左端より60 mmであれば60/100と表記される)。患者の主観を数値化できる利点があるが, 被検者によって基準となる痛みの決定が曖昧であり, 異なった被検者間での痛みの比較ができないという問題点もある。

977 バス法 ばすほう

Bass method

⇒ **1060** ブラークコントロール**978 発音障害** はつおんしょうがい

speech disorder

⇒ **322** 構音障害**979 パッシブフィット** ぱっしぶふいと

passive fit

複数のインプラントを連結するスクリュー固定式メタルフレームの望ましい適合状態のこと。外力を加えない(パッシブな)状態で, すべてのインプラント, あるいはアバットメントとメタルフレームが肉眼的に良好な適合状態を示すことをさす。確認方法として, 一番端のスクリュー1本のみを締めたとときに, 短冊状にしたパラフィンワックスで反対側の端を押さえて肉眼的にギャップが生じず適合しているかどうかを調べるシェフィールドテスト(ワンスクリューテストともいう)が用いられる。

980 パッチテスト ぱっちてすと

patch test

アレルギー性疾患の原因物質（アレルゲン）を特定する検査法の一つである。アレルゲンと推定される物質を背部、上腕内側の健常皮膚に絆創膏などで密封貼付し、48時間後の皮膚反応を観察、評価する。通常、遅延型アレルギー反応をみる。歯科では歯科用金属、歯科材料のアレルギー検査として用いられる。

981 バットジョイント ぱっとじょいんと

butt joint

関連語 テーパージョイント、コニカルコネクション

二つの構造物を互いの端を重ねることなく水平な面同士で接合することにより形成される継ぎ目のこと。インプラントにおいては、インプラント体とアバットメントとの連結部の主要構造が平面同士で接合するタイプの連結様式をさす。さらなる分類として、インプラント体内部にアバットメントの突起部が嵌合するインターナルコネクションと、アバットメント内部にインプラント体の突起部が嵌合するエクスターナルコネクションに大別される。ブローネマルクインプラントは、バットジョイントのエクスターナルコネクションに分類される代表例である。

982 歯の移植〔術〕 はのいしよく〔じゅつ〕

tooth transplantation

関連語 歯の再植〔術〕

本来とは別の部位に歯槽窩を形成し、歯を移し替えることによって審美性・咀嚼機能を回復する手術である。自家移植で智歯が使用されることが多い。移植歯は骨性癒着し、歯根吸収することが多い。

983 歯の再植〔術〕 はのさいしよく〔じゅつ〕

tooth replantation

関連語 歯の移植〔術〕

外傷など何らかの原因により脱落した歯を元の歯槽窩に戻し、審美性・咀嚼機能を回復する手術である。脱落后、短時間で再植すれば生着することが多い。

984 歯の保存液 はのほぞんえき

tooth preservation solution

関連語 歯の移植〔術〕、歯の再植〔術〕

移植・再植歯の保存液のこと。脱落歯の乾燥、歯根膜組織の保護などを目的とし、浸透圧、pHが調整されている。成分は塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩化マグネシウム、塩化カルシウム、硫酸マグ

ネシウムなどである。

985 パノラマエックス線撮影〔法〕

ばのらまえつくすせんさつえい〔ほう〕

panoramic radiography

回転断層の原理で撮影する顎骨を展開して観察できる総覧撮影法の呼称で、撮影された画像をパノラマエックス線写真という。インプラント治療においては、初診時から経過観察まで幅広く応用される。

986 パノラマエックス線写真

ばのらまえつくすせんしゃしん

panoramic radiograph

⇒ **985** パノラマエックス線撮影〔法〕**987** ハバース管 はばーすかん

Haversian canal

同義語 中心管

類義語 ハバース系

関連語 骨単位、ハバース層板

緻密骨における動静脈を通す管系の一つで、骨の長軸に平行する長い無数の管である。ハバース管は口径20～100 μmの管で、毛細血管ないし細い動静脈を通し、疎性結合組織で満たされる。骨細胞は酸素と栄養をハバース管を通して供給されている。介在層板は骨単位（オステオン）間を埋める層板である。

988 ハバース層板 はばーすそうばん

Haversian lamella

関連語 骨単位、ハバース管

ハバース管のまわりを玉葱のように同心円状に取り囲む5～20枚の骨層板（厚さ約5 μm）である。中心に位置するハバース管とその周囲の円筒状のハバース層板をまとめて骨単位（オステオン）という。

989 パラファンクション ばらふあんくしょん

parafunction

関連語 ブラキシズム

非生理的な咬合運動の総称である。ブラキシズム（クレンチング、グラインディング、タッピング）や咬舌癖などがあり、歯やインプラント上部構造に負荷を与える。特に睡眠時ブラキシズムでは、過大な咬合力が生じることがあり、その結果として上部構造の咬耗、前装部やスクリューの破折、ひいてはインプラント周囲骨の吸収やインプラント体の破折に至る可能性があり、インプラント治療のリスクファクターと考えられている。

990 バリアメンブレン ぱりあめんぶれん

barrier membrane

同義語 遮断膜, 遮蔽膜, 誘導膜, 保護膜, 生体親和性膜

類義語 GTR メンブレン, GTR 膜, e-PTFE 膜, d-PTFE 膜, ポリ乳酸膜

関連語 コラーゲン膜

組織再生誘導法 (GTR 法) や骨再生誘導法 (GBR 法) に適応されるメンブレンのこと。非吸収性膜と吸収性膜に大別される。非吸収性膜には e-PTFE 膜 (延伸ポリテトラフルオロエチレン膜) や, d-PTFE 膜 (高密度ポリテトラフルオロエチレン膜) がある。吸収性膜にはポリ乳酸などの合成高分子膜や, コラーゲン膜などの天然高分子膜がある。非吸収性膜は, 膜の除去のために二次手術が必要であるが, 新生した再生組織を明視下で確認できる利点がある。

991 パルスオキシメータ ぱるすおキシめーた

pulse oximeter

呼吸器系モニタとして, 血液の酸素化のチェックに用いられる。指先などにセンサーを装着することで, 非侵襲的, 連続的な測定が可能である。測定値は動脈血中酸素飽和度 (SpO₂) として示され, 基準値は 96 ~ 100%。呼吸不全, 気道閉塞などで低値を示す。多くの機種では脈拍数の測定表示も可能である。

992 半月裂孔 はんげつれっこう

semilunar hiatus

同義語 上顎洞裂孔, 自然孔

上顎洞と鼻腔に通じる通路で, 中鼻道にみられる裂孔である。この裂孔は口蓋骨, 篩骨, 下鼻甲介により, その一部がふさがれ, さらに鼻粘膜に覆われるため, 著しく小さくなる。臨床では鼻腔と副鼻腔を交通している裂孔を自然孔とよび, 半月裂孔は自然孔の一つである。

993 癩痕 はんこん

scar tissue

関連語 創傷治癒, 二次治癒

創傷治癒機転の最終段階にある組織の総称である。組織学的には成熟した線維性組織で, 豊富な膠原線維, 線維芽細胞からなり, 触診上は弾性硬を示す。内部に血管が乏しいため, 肉眼的には白味を帯びる。ケロイド体質患者の癩痕は肥厚して周囲より隆起し, いわゆるケロイドとなる。

994 ハンスフィールド値 はんすふいーどち

Hounsfield unit

⇒ **512** CT 値

995 半導体レーザー はんどうたいれーざー

semiconductor diode laser

レーザー光源に半導体を使用したレーザーのこと。歯科用には 800 ~ 900 nm 程度の短波長のものが使用される。組織透過型であり, 軟組織の止血, 切開や凝固などが可能である。電気メスの場合と異なりインプラントなどの金属材料に接触した場合や, パースメーカー装着患者への電気刺激によるリスクも少ない。



996 被圧変位性 ひあつへんいせい

tissue displaceability

顎堤粘膜部のように, 負荷を受けると粘弾性によって変形移動すること。天然歯では歯根膜にも同様な性質があり, 負荷を受けると変位することで傾斜する。骨結合したインプラントでは天然歯に比べて被圧変位性は著しく低い。

997 PRF ぴーあーえふ

platelet-rich fibrin

⇒ **304** 血液由来成長因子を利用した再生療法の表参照

998 PRGF ぴーあーるじーえふ

plasma rich in growth factors

⇒ **304** 血液由来成長因子を利用した再生療法の表参照

999 PRP ぴーあーるぴー

platelet rich plasma

⇒ **304** 血液由来成長因子を利用した再生療法の表参照

1000 PMTC ぴーえむていーしー

professional mechanical tooth cleaning

同義語 専門的機械的歯面清掃, プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング

熟練した歯科医師, 歯科衛生士が, 機械的清掃用具を用いて, 歯間隣接面も含め, すべての歯面の歯肉縁上, および歯肉縁下 1 ~ 3 mm からプラークを取り除くこと。フッ化物ペースト, ブラシコーン, ラバーカップ, ラバーチップなどを使用して施行す

る。スケーリングやルートプレーニングは、原則として含まれない。

1001 BMP ビーえむピー

bone morphogenetic protein

同義語 骨形成タンパク〔質〕

関連語 リコンビナント BMP-2

骨基質中に存在する骨形成タンパクのこと。特に遺伝子組み換え骨形成誘導タンパク質（リコンビナント BMP-2）は、米国ですでに商品化され、インプラント治療などにおける骨補填材との応用が期待されている。

1002 BOP ビーおーピー

bleeding on probing

⇒ 1081 プロービング

1003 PCR ビーシーあーる

plaque control record

⇒ 1061 プラークコントロールレコード

1004 PT-INR ビーていーあいえぬあーる

prothrombin time-international normalized ratio

関連語 止血機能検査, ワルファリンカリウム

プロトロンビン時間－国際標準比の略語である。凝固系機能検査として、主に抗凝固薬であるワルファリンカリウム服用中の薬効評価に用いられる。基準値は 0.80～1.20 である。対象疾患によるが通常 2.0～3.0 にコントロールされることが多い。インプラント治療では、観血的処置時の止血機能の指標の一つとして用いられ、PT-INR が高値を示すと止血が困難となる。

1005 PTFE ビーていーえふいー

polytetrafluoroethylene

同義語 ポリテトラフルオロエチレン

テトラフルオロエチレン (C₂F₄) の重合体で、フッ素原子と炭素原子のみからなるフッ素樹脂のこと。テフロンの商品名で知られる。

1006 BDGF ビーでいーじーえふ

bone-derived growth factor

⇒ 429 骨由来成長因子

1007 PDGF ビーでいーじーえふ

platelet-derived growth factor

⇒ 314 血小板由来成長因子

1008 ヒーリングアバットメント

ひーりんぐあぼっとめんと

healing abutment

⇒ 229 カバースクリュー

1009 ヒーリングキャップ ひーりんぐきゃっぷ

healing cap

⇒ 229 カバースクリュー

1010 ヒーリングスクリュー ひーりんぐすくりゅー

healing screw

⇒ 229 カバースクリュー

1011 ピエゾエレクトリック《エレクトリカル》サージェリー

びえぞえれくとりっく《えれくとりかる》さーじゅりー

piezoelectric surgery, piezoelectrical surgery

三次元超音波振動を利用する骨切削器具を用いた手術のこと。神経や血管などの軟組織を傷つけずに骨だけを切削することができるため、創傷治癒は従来のバーや鋸に比べて良好とされる。目的に応じてさまざまな形態のチップがあり、インプラント手術では上顎洞底挙上時の骨窓形成、骨移植時の骨採取などに用いられる。

1012 光造形法 ひかりぞうけいほう

stereolithography

関連語 3D プリンタ

液状の光硬化樹脂をレーザーと光増感剤で重合させ、これを 3D データに基づいて積層して精密な立体模型を作成する技術のこと。インプラント治療では CT 撮影で得られたダイコムデータを基にした模型が製作されている。

1013 引き抜き試験 ひきぬきしけん

pullout test

実験動物の骨内にインプラント体を埋入し、一定期間後に引き抜き、その強さでオッセオインテグレーションの程度を評価する試験方法である。逆に、押込む方法もあり、push-in test（押込み試験）という。

1014 非吸収性生体材料

ひきゅうしゅうせいせいたいざいりょう

non-resorbable biomaterial

⇒ 710 生体材料

1015 非吸収性縫合糸 ひきゅうしゅうせいほうごうし

non-absorbable thread

⇒ **1103** 縫合**1016 鼻腔内ドレナージ** びくうないどれなーじ

nasal cavity drainage

⇒ **797** 対孔**1017 皮質骨** ひしつこつ

cortical bone

⇒ **848** 緻密骨**1018 皮質骨海綿骨ブロック**

ひしつこつかいめんこつぷろっく

corticocancellous bone block

類義語 自家骨ブロック, ブロック骨

皮質骨と海綿骨が一塊となった状態のブロック状の自家骨をいう。皮質骨海綿骨ブロックは、形態の保持に優れる皮質骨と、骨形成能を司る細胞成分を含む海綿骨からなるため、自家骨移植の際、移植部での活発な骨形成が期待できる。

1019 皮質骨穿孔 ひしつこつせんこう

decortication, cortical bone perforation

同義語 骨穿孔, デコルチケーション

回転切削器具などを用いて骨に穴を開ける手技をいう。皮質骨を穿孔することにより、血管や細胞進入の経路を作り、骨内部への栄養供給が豊富となることにより骨形成を促す。GBR法や骨移植術に併用することにより、骨形成が良好であるとされる。

1020 微小骨折 びしょうこっせつ

microfracture

⇒ **1119** マイクロフラクチャー**1021 微小循環** びしょうじゅんかん

microcirculation

炎症や物質代謝に反応する微小な血管を介した局所の血液循環を微小循環といい、細動脈→毛細血管→細静脈の血液の流れを表す。インプラント周囲の微小循環はインプラント体の維持に影響を与える因子と考えられている。

1022 微小動揺 びしょうどうよう

micromovement

⇒ **1121** マイクロムーブメント**1023 微小漏洩** びしょうろうえい

microleakage

同義語 マイクロリーケージ**関連語** マイクログャップ

インプラント体とアバットメントの間に存在するマイクログャップを通して、体液や汚染物質が流出することをいう。これが慢性刺激となり、インプラント周囲炎を惹起する原因になるといわれている。

1024 非ステロイド性消炎鎮痛薬

ひすてろいどせいしょうえんちんつうやく

non-steroidal anti-inflammatory drugs

同義語 NSAIDs

損傷部位においてシクロオキシゲナーゼ (COX2) を阻害し、アラキドン酸からのプロスタグランジン (PG) の産生を抑制することで消炎・鎮痛効果を示す。PG産生抑制は発痛物質であるブラジキニンに対する知覚神経の感受性を高めるのを阻止する。副作用としてライ症候群、腎障害、アスピリン喘息や、他薬剤との相互関係に注意が必要である。

1025 ビスフォスフォネート びすふおすふおねーと

bisphosphonate

⇒ **1091** BRONJ**1026 ビスフォスフォネート関連顎骨壊死**

びすふおすふおねーとかんれんがっこつえし

bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw

⇒ **1091** BRONJ**1027 ピックアップ印象** ぴっくあっぷいんしょう

pick-up impression

クラウンやブリッジあるいはメタルフレームや印象用コーピングなどを支台歯やインプラントに装着した状態で印象採得を行い、補綴装置などを印象体の中に採り込む印象方法である。この印象方法を用いて作業用模型を製作することにより、支台歯やインプラントの口腔内における位置関係を正確に記録することができる。

1028 引張強さ ひっぱりつよさ

tensile strength

材料の引張力あるいは引張応力に対する強さのこと。変形挙動を調べるために引張試験を行い、この際に材料が破断するまでに示した最大荷重を初期の断面積で除した値のこと。

1029 ヒドロキシアパタイト ひどろきしあぱたいと
hydroxyapatite

同義語 HA

⇒ **963** ハイドロキシアパタイト

1030 被包 ひほう

encapsulation

⇒ **753** 線維性被包

1031 表面粗さ ひょうめんあらさ

surface roughness

固体表面の微視的な凹凸のこと。表面粗さの表示法としては、算術平均粗さ (Ra, 旧称：中心線平均粗さ)、最大高さ (Ry)、十点平均粗さ (Rz)、凹凸の算術平均間隔 (Sm) などがあり、単位は μm である。インプラント表面は骨と結合性を高めるために粗造化されている場合が多い。

1032 表面処理 ひょうめんしりょ

surface treatment

物理的または化学的な方法によって材料表面の特性を向上させるための処理のこと。インプラント体は、骨との適合性や伝導性を向上させるため、サンドブラストなどの機械加工による表面処理が行われたが、さらに陽極酸化処理、アルカリ処理、ハイドロキシアパタイトコーティング処理などのさまざまな表面処理法が工夫されてきた。また、歯面の表面処理法としては、コンポジットレジン修復の際のプライマー処理やセルフエッチングプライマー処理などもある。

1033 表面性状 ひょうめんせいじょう

surface texture

関連語 インプラント表面構造

材料が組織と接する場合、材料表面の凹凸状態や曲面の程度などの物理的要因のほか、材料表面のタンパクなどさまざまな吸着現象、ぬれや表面エネルギーなど表面に関連するさまざまな要因が影響する。生体と接する材料では、生体側の細胞の接着や増殖などに大きな影響を与えるばかりではなく、さらに細胞分化など複雑に影響する。インプラントの表面性状は骨に接する部分と軟組織に接する部分など相手によって表面性状は大きく異なった設計がされる。インプラント体ではオッセオインテグレーションに関係する重要な因子となる。

1034 疲労試験 ひろうしけん

fatigue test

材料の疲労特性をみるための試験である。弾性範

囲内の小さい力学的応力を継続的あるいは繰り返し受けた場合に破壊に至ることがある。金属は金属疲労と称されるがセラミックや樹脂でも疲労が生じる。経年劣化とは区別して用いられている。歯科領域ではクラスプの破損が例としてよく用いられる。疲労試験では一定のひずみを付与し繰り返す方法と、一定荷重下で繰り返す方法がある。

1035 疲労破壊 ひろうはかい

fatigue fracture

材料が弾性限以下の負荷でも持続的に繰り返すことで破壊に至る現象のこと。インプラント治療後の疲労破壊を想定した研究も報告されている。

ふ

1036 ファインセラミックス ふあいんせらみっくす

fine ceramics

目的の機能を十分に発現させるため、化学組成、微細組織、形状および製造工程を精密に制御して製造したもので、主として非金属の無機物質からなるセラミックスである。ジルコニア、アルミナ、サファイア、窒化ケイ素、炭化ケイ素、イットリアなどが含まれる。他にも医療用として内視鏡を用いた電気手術用デバイス、エックス線管などの絶縁部品など、さまざまな医療器具や体外検査装置用部品など多用途に使用される。

1037 ファセット ふあせつと

facet

同義語 咬耗面

歯や上部構造における摩擦面のこと。咬合接触や対合歯との接触滑走によって光沢を有した面が形成される。ブラキシズムを示す患者では多数歯にわたりみられることが多い。

1038 physical status ふいじかるすていたす

関連語 手術危険度

アメリカ麻酔科学会 (ASA) における手術患者の全身状態分類 (ASA-PS) である。手術患者の全身状態を6クラスに分類している。

表：アメリカ麻酔学会（ASA）による physical status クラス分類（ASA-PS）

class 1	手術となる原因以外は合併症なし。健康な患者
class 2	軽度の全身疾患をもつ患者
class 3	重度の全身疾患をもつ患者
class 4	生命を脅かすような重度の全身疾患をもつ患者
class 5	手術なしでは生存不可能な瀕死状態の患者
class 6	脳死患者

1039 **フィブリン** ふいぶりん

fibrin

血液凝固に関わる線維状タンパク質のこと。血液凝固の最終過程で、フィブリノゲンの各鎖C末端からフィブリン・モノマーが形成され、カルシウムによって重合して難溶性ポリマーとなった後、第XIII因子により架橋結合して安定化フィブリン（狭義のフィブリン）とよばれるメッシュ状の線維となり、血液凝固が起きる。

1040 **フィブリン糊** ふいぶりんのり

fibrin glue

関連語 トロンビン末

血液凝固反応を利用した組織接着剤の一つで、血漿分画製剤（血液製剤）である。機序は、血漿由来のフィブリノゲンにトロンビンを加えてフィブリンに変化させ、糊状の膜を形成しながら出血部位を被覆して止血する。歯科では軟組織切除後の縫合閉鎖部などの止血に用いる。

1041 **フィブロネクチン** ふいぶろねくちん

fibronectin

約 440 kDa の高分子糖タンパク質で、細胞外マトリックスの一つである。細胞膜上の受容体タンパク質であるインテグリンと結合するほか、コラーゲン、フィブリンなど他の細胞外マトリックスとも結合して、細胞の接着、成長、遊走、分化に関わる。創傷治癒過程ではフィブリンとともに傷害部位に沈着し、凝血塊形成、組織保護に関与する。

1042 **フェイスボウ** ふえいすぼう

face-bow

同義語 顔弓

下顎顎頭に対する上顎歯列あるいは顎堤の三次元的位置関係を記録し、咬合器に上顎模型を装着する際に用いる器具のこと。前方基準点（眼窩下点あるいは鼻翼下点）と後方基準点（外耳道上縁あるいは下縁など）で決まる平面（フランクフルト平面ある

いはカンペル平面）を基準として装着する。

1043 **フォルクマン管** ふおるくまんかん

Volkman canal

皮質骨（緻密骨）に存在する血管を容れる管には2種類存在し、その一つが骨の長軸に平行に走るハバース管であり、もう一つが、これと垂直に走るフォルクマン管である。フォルクマン管は、骨膜から血管を導入している管であり、ハバース管同士を連絡しているとともに最内層のハバース管を髄腔へ連絡している。

1044 **副甲状腺ホルモン** ふくこうじょうせんほ르몬

parathyroid hormone

同義語 PTH

副甲状腺が分泌するホルモンの一つ。血中カルシウム濃度が低下すると分泌され、骨に含まれるカルシウムを血液中へ放出するとともに、腸からのカルシウムの吸収を促進することにより血中カルシウム濃度を上昇させる。副甲状腺ホルモンの測定は、カルシウムおよびリン酸代謝に関与する各臓器の機能を検査する指標となる。上皮小体ホルモンともよばれる。

1045 **副腎皮質ステロイドホルモン**

ふくじんひしつすてろいどほ르몬

adrenocortical hormon

副腎皮質より産生されるステロイドホルモンの総称である。その作用で重要なものは免疫抑制作用と抗炎症作用で、アレルギー疾患や自己免疫疾患などの治療に使われている。副作用としては、過剰な免疫抑制作用による易感染性、副腎皮質機能不全、糖尿病、骨粗鬆症、消化器潰瘍などがある。また二次的な副腎皮質機能不全により、手術などのストレスで副腎クリーゼなど重篤な全身の合併症を起こす可能性があるために、ステロイドを追加投与する必要がある。ステロイド投与を受けている場合はインプラント治療のリスクファクターとなる。

1046 **複製義歯** ふくせいぎし

duplicating denture, copy denture

使用中の義歯を複製したものである。インプラント治療においては現義歯だけでなく、理想的な上部構造を再現する方法としてろう義歯まで製作して試適し、その複製を製作してこれをCT撮影用のガイドならびにインプラント埋入時のガイドとして利用することがある。

1047 副鼻腔 ふくびくう

paranasal cavity

鼻腔を取り囲む骨が空洞を有して、鼻腔に通じる開口部をもつ空洞である。鼻腔と同じ種類の粘膜で内面が覆われており、前頭洞、篩骨洞、蝶形骨洞、上顎洞の4洞があり、それぞれの洞は同名の骨にある。上顎洞は最大の副鼻腔で、半月裂孔を経て中鼻道に開いている。

1048 腐骨 ふこつ

sequestrum

細菌感染による骨髄炎などで血行の閉塞によって骨が壊死すると腐骨を生じる。腐骨が存在するかぎり排膿と慢性炎症は続き、この刺激によって残った骨膜や骨髄から骨の新生が起こり、腐骨は新生骨で囲まれ、最終的には排除される。この新生骨を骨核という。口腔領域で生じる腐骨の原因は細菌性骨髄炎、放射線性骨壊死、薬剤性（ビスフォスフォネート系薬剤など）の骨髄炎などがあげられる。

1049 浮腫 ふしゅ

edema

組織の細胞間における過剰な液体（主成分は水）の貯留をいう。血管から血管外腔への過剰な液体排出および組織または漿膜腔からの液体の再吸収障害によって生じる。発生機序によって、炎症性浮腫、静脈浮腫、リンパ浮腫および低アルブミン血症性浮腫に分類される。臨床的には、浮腫が皮下または粘膜下に存在する場合、病変部を指で圧迫すると指圧痕が一時的に残るのが特徴である。

1050 付着上皮 ふちやくじょうひ

attached epithelium

⇒ **726** 接合上皮**1051 付着粘膜** ふちやくねんまく

attached mucous membrane

同義語 顎堤粘膜、不動粘膜

口唇、頬粘膜などの動きに左右されない不動性の口腔粘膜のこと。骨膜によって歯槽骨と強固に付着した角化付着粘膜であり、歯周組織では付着歯肉という。

1052 付着の獲得 ふちやくのかくとく

attachment gain

⇒ **1185** 臨床的アタッチメントレベル**1053 付着の喪失** ふちやくのそうしつ

attachment loss

⇒ **1185** 臨床的アタッチメントレベル**1054 浮動歯肉** ふどうしにく

flabby gum

⇒ **1072** フラビーガム**1055 不動態化** ふどうたいか

passivation

金属表面が薄い酸化被膜に覆われるとイオン溶出が著しく減少し、生体安全性に優れるようになる。このような保護被膜を形成する現象を不動態化という。不動態化しやすい金属にはチタン、クロム、スズなどがある。

1056 不動粘膜 ふどうねんまく

attached mucous membrane

⇒ **340** 口腔粘膜, **1051** 付着粘膜**1057 部分安定化ジルコニア**

ぶぶんあんていかじるこにあ

partially stabilized zirconia

関連語 ジルコニア

ジルコニア（酸化ジルコニウム）にイットリアなどの希土類酸化物を安定化剤として添加し、安定化させたものである。インプラントでは上部構造などに使用される。

1058 部分層弁 ぶぶんそうべん

partial thickness flap

⇒ **952** 粘膜弁**1059 プラーク** ぶらーく

dental plaque

⇒ **959** バイオフィルム**1060 プラークコントロール** ぶらーくこんとろーる

plaque control

歯面あるいはインプラント上部構造表面において、周囲軟組織辺縁より上方に付着したプラークを取り除くこと。また再付着を防止するために口腔内を清潔に保つこと。ブラッシングなどによる機械的な手法と抗菌薬などの使用による化学的な手法がある。インプラント上部構造に対するブラッシング法としては、バス法が主に用いられる。

1061 プラークコントロールレコード

ぶらーくこんとろーるれこーど

plaque control record

同義語 PCR

O'Learyら(1972)が発表した歯頸部歯面におけるプラーク付着状態を評価する方法である。各歯面を両隣接面、唇(頬)側、舌(口蓋)側に4分割し、歯頸部付近のプラーク付着の有無を判定する。プラークコントロールレコード(PCR)は、一口腔単位で算出され、被験歯面数に対するプラーク付着歯面数の割合(%)で表される。臨床的には20%以下が望ましいとされている。

1062 ブラキサー ぶらきさー

bruxer

⇒ **1063** ブラキシズム**1063 ブラキシズム** ぶらきしずむ

bruxism

同義語 歯ぎしり**類義語** ブラキサー**関連語** パラファンクション

パラファンクションの一つである。ブラキシズムにはクレンチング(噛みしめ)、グライディング、タッピングなど異なったタイプがある。睡眠時に発生する場合と、覚醒時に発生する場合に分けられる。睡眠時のブラキシズムでは、機能時よりもはるかに大きな力を発揮することで、歯やインプラント上部構造に負荷を与え、その結果として咬合面の咬耗、前装部の破折、あるいはインプラント周囲骨の吸収、インプラント体の破折に至ることがある。

1064 プラスチックスケーラー

ぶらすちっくすけーらー

plastic scaler

プラスチックで作られたインプラント用の特殊な手用スケーラーである。主として歯肉縁下に使用され、インプラント体のチタン表面に傷をつけないため、また異種金属の混入を防止するためにプラスチックで作られている。先端はアバットメントやインプラント体の彎曲形状に合わせてある。

1065 プラズマコーティング ぶらすまこーていんぐ

plasma coating

高エネルギーの下で原子が電子と陽子に電離する現象をプラズマという。プラズマは超高温であるため金属やセラミックスを熔融し、噴霧状にコーティングすることが可能となる。これがプラズマ溶射法であり、親和性のよいハイドロキシアパタイトやチ

タンをコーティングしたものがプラズマ溶射インプラントである。

1066 ブラックトライアングル

ぶらっくとらいあんぐる

black triangle

天然歯やインプラントを含む修復物の下部鼓形空隙は歯間乳頭で満たされているのが理想的であるが、歯間乳頭が退縮すると、外観上は黒い三角形として認識される空隙となる。これをブラックトライアングルという。

1067 プラットフォーム ぶらつとふおーむ

platform

インプラント体の最上部面のこと。

⇒ **93** インプラントカラーの図参照**1068 プラットフォームシフティング**

ぶらつとふおーむしふていんぐ

platform shifting

同義語 プラットフォームスイッチング、水平タルオフセット

プラットフォームの直径に対して、より小さい径のアバットメントを使用して、インプラント体-アバットメント連結部をインプラントショルダーから内方に移動させること。周囲の骨吸収を防ぎ、軟組織の安定性を図ることを目的とする。プラットフォームシフティングにすることで、歯肉の厚みが確保され、生物学的幅径を維持しやすくなると考えられている。

1069 フラップ ぶらっぶ

flap

⇒ **587** 歯肉弁**1070 フラップオペレーション《手術》**

ぶらっぶおべれーしょん《しゅじゅつ》

flap surgery

同義語 歯肉剝離搔爬術

歯周外科治療における基本的な術式であり、歯周組織再生療法やインプラント周囲炎の治療に応用される。周囲軟組織に切開を加え、粘膜骨膜弁あるいは粘膜弁を剝離・翻転、汚染部を廓清し、その後、弁を復位・縫合する。病巣部を明視化し、術後管理が容易な周囲環境を整えることを目的とする。

1071 フラップレスサージェリー《手術》

ふらっぷれすさーじゅりー《しゅじゅつ》

flapless surgery

同義語 無切開手術**関連語** ティッシュパンチ

術前のCTシミュレーションデータからサージカルガイドプレートを製作し、それをガイドに粘膜切開、剥離を行わずにインプラント体の埋入手術を行う方法である。本術式は生体への侵襲が小さく、手術時間を短縮できるメリットがある一方、盲目的な操作になるため重要な血管や神経の損傷の危険性も内在する。CTデータの誤差、サージカルガイドプレート製作時や手術時のガイドプレート固定時の誤差などがリスクとなる。

1072 フラビーガム ふらびーがむ

flabby gum

同義語 浮動歯肉

顎堤に発現する可動性の大きい粘膜組織で、上顎前歯部が好発部位である。歯槽骨の吸収と粘膜の肥厚および粘膜下組織の線維性増生がみられる。不適切な義歯の長期使用による慢性的な機械的刺激が原因とされ、外科的切除が必要な場合がある。

1073 フランクフルト平面 ふらんくふるとへいめん

Frankfort plane

⇒ **259** 基準平面**1074 フリクショナルフィット**

ふりくしょなるふいっと

frictional fit

同義語 フリクションフィット、くさび嵌合

摩擦力を利用する接合のこと。インプラント体とアパットメントの接合様式におけるテーパー接合や、インプラント体の埋入時に窩壁を圧迫する接合もこれに該当する。

1075 フレイル ふれいる

frailty

同義語 虚弱**関連語** 口腔機能低下症

加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能など）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した要介護の前状態である。適切な介入・支援により、生活機能の維持・向上が可能である。口腔機能低下症もその増悪因子である。

1076 ブレードインプラント ぶれーどいんぷらんと

blade implant

板状（ブレード）のインプラント体のこと。1960年代にLinkowがブレードに窓を開けたブレードベントインプラントを開発したのが最初である。ブレード周囲に骨組織が広い面積で接することが特徴としてあげられていた。

1077 フレームワーク ふれーむわーく

framework

関連語 CAD/CAM

ボーンアンカーブリッジを構成する金属製またはセラミックス製の骨格のこと。従来は鋳造法で製作されてきたが、最近ではCAD/CAMによる製作法により精度が向上した。

1078 プレジジョンアタッチメント

ぶれしじょんあたっちめんと

precision attachment

⇒ **16** アタッチメントシステム**1079 プレスフィット** ぶれすふいっと

press fit

加圧による接合のこと。インプラント体とアパットメントの接合様式におけるテーパー接合以外の接合様式や、シリンダー型インプラント体の埋入時の接合もこれに該当する。

1080 フレミタス ふれみたす

fremitus

類義語 機能的咬合診断

咬合検査の一つであり、早期接触、咬合干渉の検査に用いる触診の手技である。咬合検査では、上顎の唇・頬側面に指を当てて、咬合時の歯およびインプラント上部構造の振動の状態を検査する。

1081 プロービング ぶろーびんぐ

probing

歯周プローブを用いて歯周組織あるいはインプラント周囲組織の状態を探索すること。歯肉溝、歯周ポケットあるいはインプラント周囲溝におけるプロービング深さ（プロービングデプス）、アタッチメントレベル、プロービング時の出血（BOP）の有無、および根面、インプラント表面における石灰化沈着物の有無などが評価される。挿入圧は、歯周組織およびインプラント周囲組織ともに軽圧（0.2～0.3N）が推奨されている。

1082 **プロービングデプス** ぶろーびんぐでぶす

probing depth

⇒ **1081** プロービング**1083** **プログレッシブローディング**

ぶろぐれっしぶろーでいんぐ

progressive loading

関連語 Wolffの法則

オッセオインテグレーションしたインプラントに対して漸増的に荷重させる方法のこと。骨に対する物理的ストレスに反応してリモデリングが生じるとしたWolffの法則に基づいたもので、インプラント周囲でも該当すると考えられている。

1084 **プロスタグランジン** ぶろすたぐらんじん

prostaglandin

プロスタノ酸骨格をもつ一群の生理活性物質である。アラキドン酸から生合成されるエイコサノイドの一つで、さまざまな強い生理活性をもつ。プロスタグランジンとトロンボキサンを合わせてプロスタノイドという。PGE₂はパラソルモン、活性型ビタミンD₃、インターロイキン1, 6や11などと同様に破骨細胞の分化を促進し、骨吸収を促進させる。

1085 **ブロック骨移植** ぶろっくこついしょく

bone block graft

⇒ **64** 移植〔術、法〕**1086** **プロテーゼ** ぶろてーぜ

prosthesis

⇒ **208** 顎顔面補綴**1087** **プロビジョナルインプラント**

ぶろびじよなるいんぷらんと

provisional implant

⇒ **492** 暫間インプラント**1088** **プロビジョナルクラウン**

ぶろびじよなるくらうん

provisional crown

⇒ **493** 暫間上部構造**1089** **プロビジョナルデンチャー**

ぶろびじよなるでんちゃー

provisional denture

⇒ **493** 暫間上部構造**1090** **プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング**

ぶろふえっしょなるめかにかるとうーすくりーにんぐ

professional mechanical tooth cleaning

⇒ **1000** PMTC**1091** **BRONJ** ぶろんじえ

bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw

同義語 ビスフォスフォネート関連顎骨壊死**関連語** ARONJ, MRONJ

ビスフォスフォネート関連顎骨壊死。破骨細胞を不活化して、骨粗鬆症、癌の骨転移などに適応をもつビスフォスフォネート系薬剤を使用している患者に発生する特徴的な顎骨壊死のこと。一般にBRONJと称される。抜歯などの口腔外科手術、歯周外科治療、不適合義歯など、通常の歯科治療に関連して発症・顕在化することが多い。進行性で極めて難治性であり、インプラント治療の大きなリスクファクターである。ビスフォスフォネート系薬剤を投与されている患者にインプラント治療を行う場合には、関連学会から出される最新のポジションペーパーを参考とする。

1092 **米国食品医薬品局**

べいこくしょくひんいやくひんきょく

Food and Drug Administration

⇒ **158** FDA**1093** **併発症** へいはつしょう

complication, concurrent disease

関連語 合併症, 偶発症

手術や検査などの後、それらがもたになって起こることがある症候あるいは事象のこと。例えば、インプラント埋入手術後に生じる皮下出血など。

1094 **ペインクリニック** ぺいんくりにっく

pain clinic

同義語 疼痛外来

痛みを主症状とする疾患を治療する診療部門である。神経ブロック療法、薬物療法、理学療法などのさまざまな方法を用いて、慢性疼痛や麻痺の検査、治療を行う。口腔顔面領域の対象疾患として、三叉神経痛、舌咽神経痛、三叉神経帯状疱疹後神経痛、複合性局所疼痛症候群、顔面神経麻痺、筋筋膜痛症候群、外傷性三叉神経ニューロパチー、非定型口腔

(顔面) 痛, 舌痛症, 癌性疼痛などがある.

1095 **β-TCP** ベーたていーしーぴー

β-tricalcium phosphate

TCP (リン酸三カルシウム, $\text{Ca}_3(\text{PO}_4)_2$) はリン酸カルシウム的一种で, 単斜晶系の α と三方晶系の β があり, 水に対する溶解性は α が大きい. インプラントでは骨補填材 (人工骨) として骨再生誘導法 (GBR) に使用される. スキャフォールドなどの用途にも用いられる.

1096 **ベニアグラフト** ベにあぐらふと

veneer graft

⇒ **184** オンレーグラフト

1097 **ヘミデスモゾーム** へみですもぞーむ

hemidesmosome

同義語 半接着斑

類義語 ハーフデスモゾーム

上皮・基底部と基底膜との接着装置である. 構造はデスモゾーム (接着斑) の半側とほとんど同じであるが, 細胞膜を貫通するタンパクがカドヘリンファミリーではなくインテグリンであり, 細胞質の接着円板と基底膜とに終わっている. その他, ヘミデスモゾームはエナメル質と接合 (付着) 上皮との接着装置でもある.

1098 **ヘモグロビン A1c** へもぐろびんえーわんしー

HbA1c

ヘモグロビンにブドウ糖が結びついたもので, 過去1~2カ月の平均血糖値の状態を示す. 糖尿病の診断や血糖値のコントロール状態を示す指標として用いられる. 合併症予防の観点から目標値は7.0%未満とされている. 糖尿病はインプラント治療のリスクファクターであり, インプラント手術を行う場合には十分な主治医との対診が必要である.

1099 **ペリオトーム** ペリオとーむ

periotome

刃先が細く, 歯根膜と歯槽骨の間に挿入して歯から歯根膜のみを剥離することにより, 抜歯窩周囲の歯槽骨を残すことが可能な抜歯器具である. 特に審美的に重要な部位で抜歯後インプラントを即時埋入する際, 固定源となる骨を極力破壊せず保存しつつ抜歯するのに有効であるとされる.

1100 **ヘルシンキ宣言** へるしんきせんげん

declaration of Helsinki

1964年世界医師会ヘルシンキ大会で採択された.

ヒトを対象とした医学研究を実施する際の倫理的原則である. 重要な基本原則は, ①研究よりも患者・被験者の福利を優先, ②本人の自発的・自由意志による研究参加, ③倫理審査委員会による事前審査と研究進行状況の監視継続, ④先立つ動物実験と臨床研究データの有効活用を前提として科学的で倫理的な研究実施, の4点である. 特に医学論文においては倫理指針の観点から, ヘルシンキ宣言に則った研究である必要がある.

1101 **Bell 麻痺** べるまび

Bell's palsy

関連語 顔面神経麻痺

原因不明の末梢性顔面神経麻痺とされていたが, 現在では単純疱疹あるいは水痘・带状疱疹の回帰感染が原因とされている. 顔面神経は側頭骨の骨性トンネル (顔面神経管) を通過する. 感染を受けた顔面神経は浮腫を起こし, 二次的に顔面神経管で圧迫を受け伝導障害を起こす.

ほ

1102 **蜂窩織炎** ほうかしきえん

cellulitis

同義語 蜂巣炎

組織内に好中球がびまん性に浸潤・拡大し, 細胞間質を広範囲に融解し, 細胞実質を壊死分解する進展性の化膿性炎症である. 口腔領域においては歯周組織炎, 歯冠周囲炎, 顎炎から顎骨周囲へ炎症が波及し重症化することがある. 易感染性の患者などではインプラント周囲炎から炎症が拡大し, 蜂窩織炎に至る可能性がある.

1103 **縫合** ほうごう

suture

外科手術, 外傷などで切断された組織を縫い合わせること. 単純縫合, 連続縫合, 水平マットレス縫合, 垂直マットレス縫合などの方法があり, 創が開きやすい部位は単純縫合に水平マットレス縫合などを併用する.

縫合針は断面の形状により角針 (三角針, 逆三角針), 丸針がある. 角針は一般的に硬い組織縫合用で, 刃が外側についている逆三角針は三角針と比べると組織を損傷しにくい. 丸針は脆弱な組織縫合用である.

フ法などによって顎関節の動きを調節性咬合器にトランスファーすることにより、矢状顆路や側方顆路などのポステリアガイダンスがある程度再現される。補綴治療において、無歯顎などアンテリアガイダンスが失われている場合、前歯部の排列や臼歯部咬合面形態付与の指標となる。

1114 ポビドンヨード ほびどんよーど

povidone-iodine

ポリビニルピロリドンとヨウ素の複合体であり、暗赤褐色の粉末である。一般的に溶液化された外用消毒薬や手指消毒薬、含嗽薬などとして用いられる。特異なおいと味をもち、遊離ヨウ素の酸化作用により、殺菌力を有するとされる。一方、甲状腺機能異常やヨウ素過敏症の患者への使用には注意を要する。

1115 ポリテトラフルオロエチレン

ほりてとらふるおろえちれん

polytetrafluoroethylene

⇒1005 PTFE

1116 ボリュームレンダリング

ほりゅーむれんだりんぐ

volume rendering

サーフェスレンダリングに対する用語であり、三次元的に構造を仮想画面内に構成する際に、観察できない隠れた部分に対してもデータを構成しておくことをいう。CT画像を再構成する場合に、ボリュームレンダリングをした画像から観察断面を作成すると、内部の構造を観察することができる。

ま

1117 マージナルボーンロス まーじなるぼーんろす

marginal bone loss

同義語 ボーンロス

関連語 インプラントネック

インプラント義歯を支持している周囲骨の吸収状態を表しており、インプラント体頸部での骨吸収を計測する。一般的にデンタルエックス線写真において、上部構造を装着した時点を基準とし計測する。

1118 マイクロギャップ まいくろぎゃっぷ

microgap

同義語 微小間隙

インプラント体とアバットメントとの接合面に存在する微小間隙のこと。微小漏洩により、感染がイ

ンプラント周囲組織に及ぶなどの問題が指摘されている。

1119 マイクロフラクチャー まいくろふらくちやー

microfracture

同義語 微小骨折

埋入時の強いトルクやリッジエクспанションにより起こる骨小柱の破折のこと。骨の微細構造の連続性が失われるために骨のリモデリングに影響する。

1120 マイクロプレート まいくろぶれーと

microplate

同義語 ミニプレート

骨固定用の小さいプレートで材質はチタン製のものが主として用いられる。通常負荷が大きくかからない頭蓋骨、上顎骨などの骨固定用として用いられるが、インプラントのための骨造成においては、ブロック骨移植の固定や、スプリットクレストを行ったときの補強などに用いられることがある。

1121 マイクロムーブメント まいくろむーぶめんと

micromovement

同義語 微小動揺

インプラント体周囲の骨形成前に、荷重によって生じるインプラント体の動揺のこと。マイクロムーブメントは骨形成の障害とならないとされているが、一定以上の動揺は線維の介入をきたし、オッセオインテグレーションの獲得に障害をきたす。

1122 埋入 まいにゅう

installation, placement

同義語 植立

関連語 埋入トルク

インプラント治療においては、専用の器具などを用いてインプラント体を骨内の規定の位置に固定すること。

1123 埋入窩 まいにゅうか

insertion socket

⇒89 インプラント窩

1124 埋入トルク まいにゅうとるく

insertion torque

インプラント体埋入時に骨内に埋入される際の抵抗をトルクとよび、初期固定の目安となる。単位はN・cmで表す。

1125 マウスガード まうすがーど

mouth guard

スポーツなどによる外力から歯や歯周組織の損傷を予防するために歯列を覆うように装着する装置の総称である。スポーツマウスガードの場合、主に軟性材料で製作され、スポーツの種類によって多くの種類がある。

1126 前向きコホート研究 まえむきこほーとけんきゅう
prospective study**同義語** 前向き研究**関連語** 後向きコホート研究

観察研究の調査手法の一つである。研究を立案・開始してから新たに生じる事象について、未来に向かって観察を行う研究である。

1127 McGill コンセンサスステートメント

まぎるこんせんさすてーとめんと

McGill consensus statement

2002年にモントリオールのMcGill大学で、下顎無歯顎に対する標準的な治療法について専門家らによって決議されたコンセンサスである。下顎無歯顎に対する標準的な治療法は従来の義歯ではなく、2本のインプラント体で支持されたインプラントオーバーデンチャーであることを示すものである。

1128 膜性骨化 まくせいこっか

intramembranous ossification

同義語 骨膜性骨化, 膜内骨化**類義語** 膜性骨

骨膜に含まれる未分化間葉系細胞が直接骨芽細胞に分化し骨を形成する。軟骨を介さない骨化のことで、膜内骨化ともよばれる。頭蓋や下顎骨などの扁平な骨にみられる。一方、いったん軟骨が形成された後に骨組織に置き換えられていく骨の形成を軟骨内骨化という。

1129 曲げ強さ まげつよさ

bending strength

断面が角柱あるいは円柱の棒状試験片を二つの支点到に固定し、中央部に負荷をかけて破断に至るまでに記録した最大値を曲げ強さという。曲げ強さは以下の式により求められる。 $\sigma = 3Fl/2bh^2$ [σ : 曲げ強さ (MPa), F : 曲げ荷重 (N), l : 支点間距離 (mm), b : 試験片幅 (mm), h : 試験片厚み (mm)]. 曲げ強さを求める試験法には上記の三点曲げ試験のほかに支持部から等距離の2点に同じ負荷を与えて評価する四点曲げ試験法がある。

1130 摩擦トルク まさつとるく

friction torque

接触する面と面の間に生じるねじり力のこと。二面間の摩擦係数および押し付け圧に比例する。

1131 マットレス縫合 まっとれすほうごう

mattress suture

⇒ **1103** 縫合**1132 麻痺** まひ

paralysis

中枢神経あるいは末梢神経障害による身体機能の低下・消失状態である。運動神経障害による運動麻痺、知覚神経障害による知覚麻痺がある。

1133 摩耗 まもう

abrasion, wear

関連語 咬耗

比較的硬い物質が擦れ合うことで、接触部が徐々に減っていくこと。歯科では咬合接触による摩耗を咬耗といい、過度のブラッシングなどを原因とするものを狭義の摩耗という。

1134 慢性閉塞性肺疾患

まんせいへいそくせいはいっかん

chronic obstructive pulmonary disease

同義語 COPD

タバコ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じる肺の炎症性疾患である。呼吸機能検査で1秒率の低下を示し、臨床的には体動時の呼吸困難や慢性の咳、痰を特徴とする。症状の進行を伴う場合は、長時間の手術や増悪の誘因となるストレスを避ける必要がある。

1135 Mann-Whitney 検定 まんまいつとにーけんてい

Mann-Whitney test

独立した2標本の差を検定するノンパラメトリックな統計解析手法の一つである。二つの母集団で観察された分布を、「両標本が同じ母集団から抽出された」という帰無仮説のもとづいて検定する方法。適用できる尺度は比率尺度・間隔尺度・順序尺度である。

み

1136 Misch の骨密度の分類

みっしゅのこつみつどのぶんるい

Misch's bone density classification

⇒ 1137 Misch の分類

1137 Misch の分類 みっしゅのぶんるい

Misch's classification

同義語 Misch の骨密度の分類**関連語** CT 値

Misch (1999) が提唱したインプラント体埋入部の骨密度を CT 値 (Hounsfield 単位: HU) で評価した骨密度の分類である。

850 HU 以上のものは埋入窩形成時に摩擦熱による火傷を生じやすく, 350 HU 以下であると軟らかい骨質のため一次固定が得られにくい。

表: Misch の分類

D1 骨 (HU: > 1,250)	主に骨密度の高い皮質骨である
D2 骨 (HU: 850 ~ 1,250)	歯槽頂部に厚い皮質骨を有し, 内部に粗造な海綿骨が存在する
D3 骨 (HU: 350 ~ 850)	歯槽頂部に薄い皮質骨と微細な海綿骨を有する
D4 骨 (HU: 150 ~ 350)	ほとんど皮質骨が存在せず大部分が微細な海綿骨である
D5 骨 (HU: < 150)	不完全なミネラル化を伴う非常に軟らかい骨である

1138 ミニインプラント みにいんぷらんと

mini implant

多くは直径 2 mm 前後でワンピース構造のインプラントをさす。粘膜外部はボールアタッチメント構造をとり, 可撤性有床義歯側に設定されるハウジング内の O リングにより義歯の維持を増強する目的で使用される。対象部位は下顎前歯部を主とし, 複数本で義歯の維持を担うことが多い。

1139 ミニプレート みにいぶれーと

mini plate

⇒ 1120 マイクロプレート

1140 ミューチュアリープロテクティッドアーティキュレーション

みゅーちゅありーぷろてくていどあーていきゅれーしょん

mutually protected articulation

⇒ 351 咬合様式

1141 ミリングテクニック みりんぐてくにく

milling technique

ドリルやバーなどの回転切削器具を利用する金属の加工技術で, 歯科では歯科用ミリングマシーンを利用して切削加工することをいう。軸面を精密に付与できることから, テレスコープクラウンやアタッチメントの技工などに使用されてきた。近年は, CAD/CAM の普及によって金属以外も加工できるようになり, また, 単純な軸面の加工だけでなく多軸の CAM によって複雑な形態のアバットメントやコーピング, 大型のフレームワークの製作が容易になった。

1142 ミリングマシーン みりんぐましーん

milling machine

関連語 アバットメント, CAD/CAM

チタンやセラミックのブロックからアバットメントやインプラント上部構造を削り出す装置である。チタンやセラミック, ジルコニアのほかにも, レジンやワックスといった材料も削り出すことが可能である。

む

1143 無機性牛ミネラル むきせいぎゅうみねらる

anorganic bovine mineral

⇒ 144 ABM

1144 無作為化比較試験 むさくいかひかくしけん

randomized controlled trial

⇒ 4 RCT

1145 MRONJ むろんじえ

medication-related osteonecrosis of the jaw

同義語 薬剤関連顎骨壊死**関連語** ARONJ, BRONJ

薬剤関連顎骨壊死。骨吸収抑制薬(ビスフォスフォネート系薬剤や抗 RANKL 抗体デノスマブなど), 抗がん剤として使用される血管新生阻害薬やチロシンキナーゼ阻害薬などの分子標的治療薬など, 薬剤によって引き起こされる顎骨壊死の総称である。

め

1146 Maynard の分類 めいなどーのぶんるい

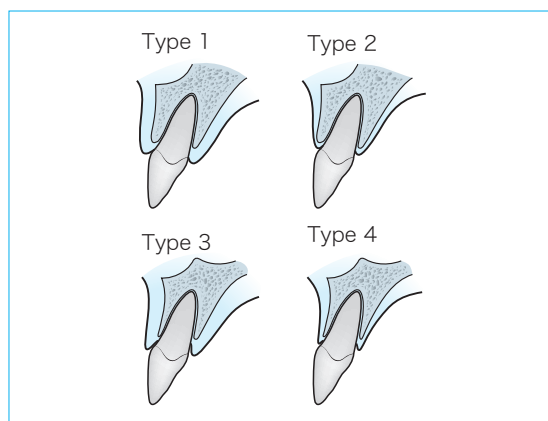
Maynard classification

関連語 歯周バイオタイプ

Maynard と Wilson (1980) により提唱された歯周組織の分類である。唇側歯槽骨の厚さと付着歯肉の量に基づき、Type1～4の四つに分類される。

表：Maynard の分類

Type1	唇側歯槽骨，付着歯肉の量ともに十分な厚さがある
Type2	唇側歯槽骨の厚さは十分あるが，付着歯肉は薄い
Type3	唇側歯槽骨は薄い，付着歯肉は厚い
Type4	唇側歯槽骨，付着歯肉ともに薄い



図：Maynard の分類

1147 メインテナンス めいんてなんす

maintenance

⇒ 129 インプラントのメインテナンス

1148 メカニカルストレス めかにかるすとれす

mechanical stress

同義語 機械的ストレス

生体内の細胞や組織に負荷される物理的，力学的な刺激のこと。メカニカルストレスに応じて骨梁構造が変化することが指摘されているが，骨のみならず，血管や神経などを含めた多くの組織や器官がメカニカルストレスを認識するだけでなく，適切に回答し変化することで形態と機能を維持している。

1149 メゾストラクチャー めぞすとらくちゃー

mesostructure

インプラント体あるいはアバットメントと上部構造の間に装着される中間構造体のこと。審美性確保を目的として用いられることが多い。骨吸収が大きく，骨造成や骨移植によって理想的な骨量を確保できない場合などに，歯肉色で前装された中間構造体を製作することにより，インプラント上部構造の歯冠長を見かけ上適正に保つことができる。しかし，中間構造体と歯肉との境界は審美性や清掃性が問題となるため，設計上注意が必要である。

1150 メタアナリシス《分析》

めたあなりしす《ぶんせき》

meta-analysis

系統的レビューで用いられる統計学的手法のこと。過去に独立して実施された複数の研究のデータを統合し，共通の指標値を推定することができる。併合効果（併合リスク比，併合オッズ比）と信頼区間の算出，一様性の検定，出版バイアスの推定などがある。

1151 メタルフリー修復 めたるふりーしゅうふく

metal-free restoration

構成要素に金属を含まない修復物のこと。ファイバーコアによる支台歯築造とオールセラミッククラウンによる歯冠修復は典型的な天然歯のメタルフリー修復である。金属アレルギーの患者に対する修復方法として有効である。

1152 滅菌 めっきん

sterilization

関連語 過酸化水素ガスプラズマ滅菌，高圧蒸気滅菌

圧や熱，ガス，電気，薬品，放射線照射などにより，あらゆる微生物を完全に除去した状態をいう。医療器具滅菌は器具の材質などにより適した滅菌法を選択する。細菌をはじめとする病原微生物の生細胞を死滅させる殺菌とは区別される。

1153 滅菌法 めっきんほう

sterilization method

関連語 過酸化水素ガスプラズマ滅菌，高圧蒸気滅菌

あらゆる微生物を完全に除去する操作を行うための方法である。高圧蒸気滅菌法，ガス滅菌法，プラズマ滅菌法，ガンマ線滅菌法，電子線照射滅菌法，紫外線照射滅菌法，閃光照射滅菌法などがある。特に高圧蒸気滅菌器は，性能によりヨーロッパ規格

EN13060 でクラス分類されており，最高基準がクラス B，次いでクラス S，クラス N の順となる．クラス B では固形製品（包装・非包装），中空製品（包装・非包装），繊維製品（包装・非包装）の滅菌が可能である．

1154 免疫グロブリン めんえきぐるぶりん
immunoglobulin

免疫を担う糖タンパク質である．B 細胞が抗原特異的に活性化されると，B 細胞は形質細胞に分化し，分泌型免疫グロブリン（抗体）を産生するようになる．IgG, IgM, IgA, IgD および IgE の 5 種類に分類される．

1155 免荷期間 めんかきかん
relief period

関連語 早期荷重，即時荷重

インプラント体に咬合力などの荷重をかけない期間のこと．インプラント体埋入後，オッセオインテグレーションが得られるまでの間を免荷期間とすることが多い．免荷期間を短縮すると患者の期待に早期に応じることができるが，早期荷重，即時荷重などはインプラント治療の成否に関わるため慎重な選択が必要である．

も

1156 モーステーパー もーすてーぱー
morse taper
⇒ **876** テーパージョイント

1157 モニタリング もにたりんぐ
monitoring

同義語 生体監視

呼吸状態，心拍数，血圧，体温といったバイタルサインや，心電図，経皮的酸素飽和度などを経時的に観察し，記録することを示す．これらを行う装置は生体監視モニタ，生体情報モニタとよばれ，患者の生体情報をさまざまな角度から連続的に把握することができる．

1158 モノフィラメントスーチャー
ものひいらめんとすーチャー
monofilament suture
⇒ **1103** 縫合

や

1159 薬剤関連顎骨壊死 やくざいかんれんがっこつえし
medication-related osteonecrosis of the jaw
⇒ **1145** MRONJ

1160 薬物アレルギー やくぶつあるるぎー
drug allergy

関連語 アナフィラキシーショック

特異的 IgE が関与する即時型のアナフィラキシー反応（I 型）と感作リンパ球が関与する遅延型アレルギー反応（IV 型）が多くみられる．アレルギー反応の多くは皮膚症状が認められ，急速に症状が発現するほど重篤度が高い．歯科臨床では，抗菌薬や消炎鎮痛薬が原因となることが多い．

1161 ヤング率 やんぐりつ
Young's modulus
⇒ **825** 弾性係数

ゆ

1162 有茎弁 ゆうけいべん
pedicle flap

ドナーサイトとの連続性を残してレシピエントサイトに移動または回転させる移植弁のこと．遊離弁と異なり血流を途絶しない利点がある．

1163 有茎弁歯肉移植術
ゆうけいべんしにくいしょくじゅつ
pedicle gingival graft

有茎歯肉弁を用いた歯肉移植術である．露出根面被覆を目的とする歯肉弁歯冠側移動術，歯肉弁側方移動術や，付着歯肉の増大を目的とする歯肉弁根尖側移動術などの歯周形成手術に応用される．

1164 有限要素法《解析》 ゆうげんようそほう《かいせき》
finite element analysis

同義語 FEA

複雑な形態や性質の物質を小単位に分割して単純化し，全体の挙動を数学的に解析する手法である．分割は三角形，四角形または三角錐，四角錐に分割するため分割後のモデルはメッシュ状に見える．インプラントの分野では，骨内の応力分布の解析や上部構造やスクリューに関連した応力解析に用いられる．

1165 UCLA アバットメント

ゆーしーえるえーあばつとめんと

UCLA abutment

関連語 ノンセグメントタイプ

上部構造を製作するための技工用パーツの一種である。インプラント体に直接スクリュー固定できるような連結部とスクリューアクセスホールを囲むシリリンダー部が一体となった形態をしており、鑄接可能な金属、または焼却可能なプラスチックで作られている。直接ワックスアップして鑄接あるいは鑄造することにより、ノンセグメントタイプのスクリュー固定上部構造やカスタムアバットメントの製作に使用される。

1166 遊離角化粘膜移植術

ゆうりかくかねんまくいしょくじゅつ

free keratinized mucosal graft

類義語 FGG**関連語** 遊離結合組織移植術

インプラント周囲の角化粘膜を増大させる歯周形成手術の一つである。口腔前庭拡張術に準じて、粘膜弁（部分層弁）により必要な大きさの受容側（移植床）を形成する。供給側としては、一般的に上顎臼歯部の口蓋側角化粘膜から遊離角化粘膜移植片が採取される。天然歯周囲での遊離歯肉移植術と区別して、インプラント周囲では遊離角化粘膜移植術という。

1167 遊離結合組織移植術

ゆうりけつごうそしきいしょくじゅつ

connective tissue graft

遊離した結合組織を用いる移植術である。有茎弁による移植との比較では血流を途絶する点で不利である。移植片は主に口蓋側の上皮結合組織から採取される。根面被覆や顎堤増大を目的とする歯周形成手術あるいはインプラント関連外科手術に用いられる。

1168 遊離端ブリッジ ゆうりたんぷりっじ

cantilever bridge

⇒ **244** カンチレバー

よ

1169 陽極酸化 ようきょくさんか

anodic oxidation

異種金属同を電解液中で通電すると、イオン化傾向の大きな金属が陽極となりイオンを放ちながら酸

化すること。この原理を応用して積極的に酸化被膜を付与して金属材料を強化する手法もある。金属表面を安定な酸化被膜で覆うことにより耐食性、耐摩耗性を向上させるための処理であり、インプラントではオッセオインテグレーションを高めるために行われる。

1170 溶接 ようせつ

welding

金属の接合方法の一つである。同種金属で接合可能なために腐食しにくい、金属を足さないため溶融後の収縮による強度低下や寸法変化が起こる可能性がある。不活性ガス中で金属の電極と材料の間にアークを発生させて接合するアーク溶接法と、電気抵抗を利用したスポット溶接が一般的である。最近ではレーザーを利用した溶接も行われ、炭酸ガスレーザーやNd:YAGレーザーなどが用いられる。

1171 翼突筋静脈叢 よくとつきんじょうみやくそう

pterygoid plexus

側頭筋から外側翼突筋の間に広がる顎動脈の枝に対応する静脈群である。後方で顎静脈に集束する。海綿静脈洞と交通している。また、顔面静脈とも交通する。上顎骨後方の手術操作による損傷で止血困難となることあるので注意が必要である。

5

1172 ラジオグラフィックマーカー

らじおぐらふいっくまーかー

radiographic marker

インプラントのガイドドサージェリーを行う際には、術前のCT撮影が重要である。この撮影に用いる診断用プレートなどにエックス線不透過性のマーカーを介在させることによって、コンピュータ支援手術の際に再現性を確保する。このマーカーをラジオグラフィックマーカーという。

1173 らせん型インプラント

らせんがたいんぷらんと

spiral implant

⇒ **690** スパイラルインプラント**1174 ラチェットレンチ** らちえつとれんち

ratchet wrench

回転方向を一定に制限する機構を有するレンチのこと。正方向のみトルクを付与し、逆回転では空回りする機構とすることができるため、レンチを装着

したままで連続的にスクリューを締めることができる。

1175 ラテラルウィンドウテクニック

らてらるういんどうてくにつく

lateral window technique

⇒ 619 上顎洞底挙上術

り

1176 リコンビナントBMP-2

りこんびなんとびーえむびーつー

recombinant BMP-2

同義語 rh BMP-2

関連語 BMP

ヒト遺伝子組み換え BMP-2 のこと。

1177 リスクファクター

りすくふあくたー

risk factor

同義語 リスク因子, 危険因子

有害事象の発生する可能性を高める危険因子のこと。インプラント治療では、患者側に起因するものと、医療提供者側に起因するものがある。

1178 リスクマネジメント

りすくまねじめんと

risk management

同義語 医療安全管理

有害事象の発生予防を目的に、医療設備や医療従事者の組織体制、治療過程のリスクを体系的に管理すること。

1179 リッジエクспанション法

りっじえくすばんしよんほう

ridge expansion

関連語 スプリットクレスト法

骨幅が狭い部分を頬（唇）舌的に広げる方法で、インプラントのガイドホールを形成した後、オステオトームや拡大用のドリルを挿入し、少しずつ力を加えながら側方に拡大し、インプラントを埋入する手技である。また、歯槽頂部に切り込みを入れ、徐々に皮質骨を広げて若木骨折させ、骨幅の拡大を行いながら埋入する手技を特にスプリットクレストとよぶ。

1180 リップサポート

りっぴさぽーと

lip support

歯や歯槽部による口唇の支持をさす。歯の喪失によってリップサポートがなくなると、口唇が後退し、

しわが形成されるため、いわゆる老人様顔貌となる。インプラント治療によってリップサポートを回復するには、歯の修復だけで回復できるのか、歯槽部を含めた修復が必要であるかを判断して、上部構造を選択する必要がある。

1181 リップライン

りっぴらいん

lip line

微笑んだときの口唇の位置であり、審美性回復の難易度に関わる指標となる。歯の一部だけが露出するローリップライン、歯頸部相当に位置するミドルリップライン、歯頸部や歯槽部の一部が露出するハイリップラインに分類される。歯槽部が完全に露出するタイプをガミースマイルという。

1182 リテーナー

りてーなー

retainer, retaining appliance

歯列などを保持する役割の装置やその構造のこと。インプラント治療においては、抜歯後の欠損部位への隣在歯や対合歯の移動を防ぐことでインプラント体埋入スペースおよび補綴空隙を確保するための固定性または可撤性の装置をいい、暫時的に歯列欠損の形態と機能を補うための装置にもなる。

1183 リマウントレコード

りまうんとれこーど

remount record

咬合器に装着して製作した補綴装置を修正する目的で咬合器に再装着をするために、補綴装置を装着した状態で口腔内で採得する咬合記録のこと。

1184 リン酸三カルシウム

りんさんさんかるしうむ

tricalcium phosphate

同義語 TCP

⇒ 1095 β -TCP

1185 臨床的アタッチメントレベル

りんしょうてきあたちめんとれべる

clinical attachment level

同義語 アタッチメントレベル, プロービングアタッチメントレベル

歯と歯肉の付着を表す数値で、プロービング時のプローブ先端からセメントエナメル境など基準点までの距離のこと。インプラント周囲軟組織では、アバットメント・補綴装置移行部あるいはテンプレートが基準点として用いられる。純粋な組織学的付着位置である組織学的アタッチメントレベルと区別して、臨床的アタッチメントレベルとよばれる。一般的に、付着の喪失は病変の進行を意味し、付着の獲得は治癒傾向を表す場合が多いので、治療の効果判

定に用いられることが多い。

る

1186 累積残存率 るいせきざんぞんりつ

cumulative survival rate

関連語 インプラント成功率

任意の群において、調査開始から対象期間までに口腔内に存在していたインプラントの割合の算定値である。生命表分析に基づき、統計学的にKaplan-Meier分析が用いられ、対象とする期間区分内でインプラントが残存していた割合（残存率）に対象期間前までの残存率を掛け合わせることで算出される。

1187 累積成功率 るいせきせいこうりつ

cumulative success rate

任意の群において、調査開始から対象とする期間までに、成功と判断されるインプラントの割合の算定値である。事前に定義された成功の評価基準に則って調査され、統計手法にはKaplan-Meier分析が用いられる。インプラント治療の成功の定義としては、トロント会議（1998）での成功の基準を用いることが多い。

1188 累積的防衛療法 るいせきてきぼうぎょりょうほう

cumulative interceptive supportive therapy

同義語 CIST

Lindheら（2003）によって提唱され、Langら（1995, 2000）によって改訂されたインプラント周囲疾患の予防、治療プログラムである。プラーク付着の有無、プロービングデプス、プロービング時の出血の有無、エックス線写真から骨吸収を評価し、A：機械的クリーニング、B：殺菌療法、C：抗菌薬療法、D：外科的アプローチ、E：インプラント体除去の5種の治療法を程度に応じて単独、累積的に組み合わせて行う。

1189 Le Fort I型骨切り術

るふおーいちがたこつきりじゅつ

Le Fort I osteotomy

Le Fortによって提唱された骨切り線に従って行う上顎骨骨切り術の一つで、上顎骨の前方移動や咬合平面の修正に用いられる。梨状孔下縁付近から上顎洞壁、鼻腔外側壁、鼻中隔を水平に骨切りを行い、目的位置に移動を行う。上顎骨の高さが足りない場合、インプラント埋入と同時に、あるいは二期的にLe Fort I型骨切り術を行う場合がある。

れ

1190 レーザー れーざー

laser

関連語 Er：YAG レーザー

Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation（輻射の誘導放出による光の増幅）の略である。一般的には媒体となる原子に強力なエネルギーを加えて励起させることで人工的に取り出された波長と位相がそろった指向性のよい光のこと。レーザー光は自然光と異なり可干渉性を有し、エネルギーを一点に集中させることが可能となる。通常は発振媒体の種類によって分類され、歯科では炭酸ガスレーザー、Er：YAG レーザー、Nd：YAG レーザー、半導体レーザーなどが使用される。

1191 レーザー溶接 れーざーようせつ

laser welding

高エネルギーのレーザーを微小範囲に集中させて照射し、溶接部分を瞬時に高温にして溶融、凝固させて接合する方法である。金属の酸化や腐食を防ぐため不活性ガス雰囲気中で行う必要があり、凝固収縮による変形には注意を要する。歯科用溶接機はNd：YAG レーザーが使用されることが多い。

1192 レシピエントサイト れしびえんとさいと

recipient site

同義語 受容側

関連語 ドナーサイト

移植される部位、つまり移植される術野を示す。移植するものを採取する部位をドナーサイトとよぶ。下顎枝から骨を採取し、上顎前歯槽部へ移植するのであれば、レシピエントサイトは上顎前歯槽部となる。

1193 裂開 れっかい

dehiscence

関連語 哆開

歯槽骨の吸収により歯根面が部分的に露出し、骨膜と歯肉によってのみ歯根表面が覆われている状態を示す。また、創部における裂開は、縫合した部位が血流障害や機械的刺激により裂けたり切れたりして離開することを示し、哆開という。

1194 Lekholm & Zarb の骨形態の分類

れっくほるむあんどざーぶのこつけいたいのぶんるい
Lekholm & Zarb's jaw bone morphology classification

⇒ **1196** Lekholm & Zarb の分類

1195 Lekholm & Zarb の骨質の分類

れっくほるむあんどざーぶのこつしつものぶんるい
Lekholm & Zarb's bone quality classification

⇒ **1196** Lekholm & Zarb の分類

1196 Lekholm & Zarb の分類

れっくほるむあんどざーぶのぶんるい
Lekholm & Zarb's classification, classification by Lekholm & Zarb

同義語 Lekholm & Zarb の骨形態の分類,

Lekholm & Zarb の骨質の分類

Lekholm & Zarb (1985) が提唱した顎骨の骨形態および骨質の分類である。

表 : Lekholm & Zarb の骨形態の分類

A	歯槽堤がほぼ存在している
B	歯槽堤に中等度の吸収が認められる
C	歯槽堤のほとんどが吸収している
D	顎骨の吸収が認められる
E	顎骨の著しい吸収が認められる

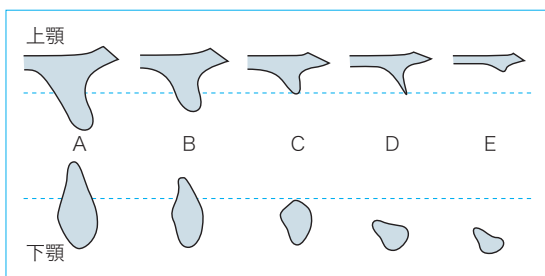


図 : Lekholm & Zarb の骨形態の分類 [Lekholm U. & Zarb. G.A. (1985), Patient selection and preparation. (In :Tissue Integrated Prostheses :Osseointegration in Clinical Dentistry, pp199-209)]

表 : Lekholm & Zarb の骨質の分類

1	高密度で均質な緻密骨からなり海綿骨はほとんど存在しない
2	厚い皮質骨に囲まれた良好な密度を示す海綿骨からなる
3	2と比べやや薄い皮質骨とやや粗な海綿骨を有する
4	きわめて薄い皮質骨ときわめて粗な海綿骨からなる

2と3はインプラント体埋入に適した骨質である。

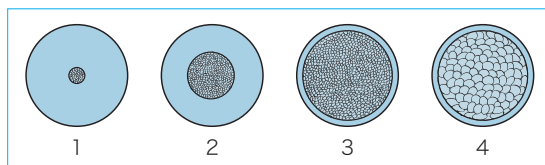


図 : Lekholm & Zarb の骨質の分類 [Lekholm U. & Zarb. G.A. (1985), Patient selection and preparation. (In :Tissue Integrated Prostheses :Osseointegration in Clinical Dentistry, pp199-209)]

ろ

1197 ロケーターアタッチメント

ろけーたーあたっちめんと

locator attachment

関連語 アタッチメントシステム, バーアタッチメント, ボールアタッチメント, 磁性アタッチメント

緩圧型アタッチメントの一種。義歯側のメタルハウジング内に弾性マトリックス (フィメール) を、インプラント側に緩圧型の金属パトリックス (メール) が設置されている。高径が低いため、デンチャースペースが少なくても適応可能であり、弾性マトリックスの選択により維持力の調整ができる。

1198 ロングセントリック ろんぐせんとりっく

intercuspal contact area

⇒ **1196** 下顎位

わ

1199 若木骨折 わかぎこっせつ

green stick fracture

関連語 スプリットクレスト法

小児の骨のように柔軟性に富む場合の骨折では骨

の連続性が保たれたまま不完全骨折を呈し、骨折部は彎曲してみえる。これを若木骨折という。完全骨折と違い血流が保たれるため、スプリットクレスト法などで応用される。

1200 **ワルファリンカリウム** わるふありんかりうむ
warfarin potassium

関連語 抗血栓薬, PT-INR

抗血栓療法のうち、主として静脈血栓症に対する経口抗凝固療法として用いられることが多い抗血栓薬である。心臓弁膜症に対する弁置換手術後などに投与される。血液凝固能はPT-INR値で管理されている。抜歯やインプラント手術の際にワルファリンカリウムを中止すると血栓を形成する危険性があり、手術侵襲の程度とPT-INRの値により、できるだけ継続したまま外科処置を行うことが推奨される。術後の出血には十分注意する。

1201 **ワンスクリューテスト** わんすくりゅーてすと
one screw test
⇒ **979** パッシブフィット

1202 **ワンピースインプラント**
わんぴーすいんぷらんと
one-piece implant

同義語 ワンパートインプラント

インプラント体とそれに連結されるアバットメントが一体構造で設計されたインプラントのこと。インプラント体の埋入はアバットメント部によって歯肉粘膜を貫通する一回法となり、切削形成されたアバットメント支台にセメント固定式上部構造を装着する。下顎前歯欠損のように近遠心幅経に制限がある部位へのナローインプラントで使用されることが多い。以前はワンパートインプラントとよばれることもあった。

付録 インプラントシステム等商品名一覧

(2019年8月現在, 本学会賛助会員の協力により作成. 英文末尾の記号は下記メーカー名の略)

AI : 愛知製鋼(株), AL : (株)アルタデント, B : (株)ブレーンベース, BM : (株)BMS JAPAN, C : (株)カイマンデント
 ル, DI : DIO デジタル(株), DS : デンツプライシロナ(株), DT : (株)デンタルチタニウム技研, GC : (株)ジーシー,
 HH : (株)白鷗, HS : 白水貿易(株), HU : ヒューフレディ・ジャパン(同), IM : (株)インプラテックス, IT : 伊藤超短
 波(株), K : ケンテック(株), KC : 京セラ(株), KK : 京都機械工具(株), MO : (株)モリタ, NE : ネオス・ジャパン(株),
 NO : ノーベル・バイオケア・ジャパン(株), NP : 日本ピストンリング(株), O : (株)OSSTEM JAPAN, P : (株)ブラ
 トンジャパン, S : ストロマン・ジャパン(株), SF : 松風バイオフィックス(株), W : 和田精密歯研(株), YA : 山
 八歯材工業(株), YO : (株)ヨシダ, YS : (株)ヨシオカ, Z : ジンマー・バイオメット・デンタル(株).

※(株)白鷗とジンマー・バイオメット・デンタル(株)は2020年4月付で合併

インプラントシステム		
RBT	Resorbable Blast Texturing	C
IAT インプラントシステム	IAT Implant System	NP
IAT EXA	IAT EXA	NP
IAT EXA PLUS	IAT EXA PLUS	NP
IAT FIT II	IAT FIT II	NP
IS- II active	IS- II active	W
アクティブボーンコントロール	ActiveBone Control™	DS
アストラテックインプラントシステム	Astra Tech Implant System®	DS
アストラテックインプラントシステム EV	Astra Tech Implant System® EV	DS
アストラテックインプラントシステム バイオマネージメントコンプレックス	Astra Tech Implant System BioManagement Complex®	DS
アルファタイトインプラント	Alphatite Implant	K
アンカーサーフェス	Aanchor Surface™	GC
アンキロス インプランティング ティッシュケア	Ankylos® Implanting TissueCare	DS
アンキロス C/X インプラント	Ankylos® C/X Implant	DS
iSy インプラントシステム	iSy Implant System	AL
ED サーフェス	ED Surface (Wire-type Electric Discharge Machining Surface)	NP
インタラクティブ システム	InterActive System	IM
HSA	HSA	DI
エイトローブ インプラントシステム	Eight-Lobe Implant System	P
エイトローブ プロ インプラントシステム	Eight-Lobe Pro Implant System	P
エクストリーム	X-Stream™	S
エクスターナル ヘクス コネクション インプラント	External Hex connection implant	Z
エスアールエー	SRA	S
SAI	Sandblasted Acid Etching Ion Bombard	YS
SS SA フィクスチャ	SS SA (Sand Blasted with alumina and Acid etched) fixture	O
SS-type	SS-type	K
SLActive サーフェイス	SLActive® Surface	S
SLA サーフェイス	Sandblasted, Large grit, Acid-etched (SLA®) Surface	S
SPI システム エlementインプラント	SPI® System Element Implant	MO
SPI システム コンタクトインプラント	SPI® System Contact Implant	MO
SB-type	SB-type	K

エソミックアバットメント	Esthomic Abutment	AL
AnyTime Loading	AnyTime Loading	W
F-type	F-type	K
エミネオ	EMINEO	KC
MFG	Multiple And Fine Groove	YS
エムティーアイ インプラント	MTI Implant	IM
OS-type	OS-type	K
オクタフィックス インプラント システム	Octafix Implant System	YS
オクタフィックスII インプラント システム	Octafix II Implant System	YS
Osstem インプラント	OSSTEM IMPLANT	O
OSSTEM HA フィクスチャーシステム	OSSTEM HA (HydroxyApatite coated surface) fixture system	O
オッセオスピード	OsseoSpeed [®]	DS
オッセオスピード EV	OsseoSpeed [®] EV	DS
オッセオスピード TX	OsseoSpeed [®] TX	DS
オッセオスピード TX プロファイル	OsseoSpeed [®] TX Profile	DS
オッセオスピードプロファイル EV	OsseoSpeed [®] Profile EV	DS
オッセオタイト インプラント	Osseotite Implant System	Z
ガイドッドフロー	Guided Flow	K
カム連結	CAM Connection	AL
カムログインプラントシステム	CAMLOG Implant System	AL
カムログインプラントスクリューライン	CAMLOG Implant Screw-Line	AL
クーゲルHOOKアバットメント	Kugelhook Abutment	YA
クロスフィット	CrossFit [®]	S
クワトロシステム	Quattro System	P
ケアーズ	Straumann [®] CARES [®]	S
コーンログインプラントシステム	CONELOG Implant System	AL
コニカルシールドデザイン	Conical Seal Design [™]	DS
コネクティブカウントウアー	Connective Contour [™]	DS
コンストリクションヘッド	Constriction Head	SF
COMFOUR アバットメントシステム	COMFOUR Abutment System	AL
サーテン インターナル コネクション インプラント	Certain internal connection implant	Z
ザイブ S インプラント	Xive [®] S Implant	DS
ジーシーインプラント Re	GC IMPLANT Re	GC
ジーシーインプラント Aadv	GC IMPLANT Aadv	GC
JIAD (KOM) インプラント	JIAD (KOM) IMPLANT	DT
ジェネシオ Plus	GENESiO Plus [®]	GC
シンオクタ	synOcta [®]	S
シンコーン コンセプト	SynCone [®] concept	DS
ジンジバフォーマー	Gingivaformer	AL
ジンジバフォーマー PS	Gingivaformer PS	AL
スウィッシュアクティブ システム	SwishActive System	IM
スウィッシュプラス システム	SwishPlus System	IM
スクリューエッジ	Screw Edge	K
スクリューリテインドブリッジ&バー	SRBB	S
スタンダードインプラント	Straumann [®] Standard Implant	S
スタンダードプラスインプラント	Straumann [®] Standard Plus Implant	S
ステージ1 インプラント	Stage-1 implant	HS

Spirallock	Spirallock	C
スパッタイト	Sputtite	YA
スプラインインプラントシステム	Spline [®] Implant System	HH
スマートフィックスコンセプト	SmartFix [®] concept	DS
3inOne アバットメント	3inOne Abutments	C
スリーブオンドリル	Sleeve-on-drill [™]	DS
スリットグループ	Slit Groove	SF
スリットスクリュ	Slit Screw	SF
セテリオ Plus	SETiO Plus [®]	GC
ソフトティッシュチャンバー	SoftTissure Chambaer [™]	DS
タイオブラスト	TiOblast [™]	DS
タイユナイト	TiUnite [®]	NO
TiLobe テクノロジー	TiLobe Technology	HS
チタンベースアバットメント	Titanium Base Abutment	AL
Tube-in-Tube 連結	Tube-in-Tube Connection	AL
TS SA 3.0 システム	TS SA (Sand Blasted with alumina and Acid etched) 3.0 system	O
TS SA フィクスチャー	TS SA (Sand Blasted with alumina and Acid etched) Fixture	O
TF-type	TF-type	K
DM 嵌合	Double Morse Connection	K
DIONavi.	DIONavi.	DI
DIONavi. フルアーチ	DIONavi. FullArch	DI
DIO UF II インプラント	DIO UF II Implant	DI
DIO UF II インプラント UV	DIO UF II Implant UV	DI
T3 インプラント	T3 Implant System	Z
テーパーダイフェクトインプラント	Straumann [®] Tapered Effect Implant	S
テーパーショートインプラント	Tapered Short Implant System	C
テーパードスイスプラスインプラントシステム	Tapered SwissPlus [®] Implant System	HH
テーパードスクリュベントインプラントシステム	Tapered Screw-Vent [®] Implant System	HH
テーパードティッシュレベル	Tapered Tissue Level Implant System	C
テーパープラス	Tapered Plus Implant System	C
Dentium インプランティウム	Dentium IMPLANTIUM	BM
Dentium シンプルライン	Dentium SimpleLine	BM
Dentium スーパーライン	Dentium SuperLine	BM
トラベキュラメタルインプラント	Trabecular Metal [™] Dental Implant	HH
ナノラフサーフェス	Nano Rough Surface	SF
ノーベルアクティブ	NobelActive [®]	NO
ノーベルザイゴマ	NobelZygoma [™]	NO
ノーベルスピーディーグルービー	NobelSpeedy [®] Groovy	NO
ノーベルテーパー CC	NobelReplace [®] Tapered CC	NO
ノーベルパラレル・コニカル・コネクション	NobelParallel [™] CC	NO
バイオシール	BioSeal	W
バイオフィックスインプラントシステム	BIOFIX IMPLANT SYSTEM	SF
ハイブリッドベースアバットメント	Hybrid Base Abutments	C
PTB	Pure Titanium Blast	DT
ファインシア	FINESIA	KC
フィクスチャーエンドカット	Fixture End Cut	K

プラトンインプラント SD	PLATON IMPLANT SD	P
プラトンインプラントシステム	PLATON IMPLANT SYSTEM	P
プラトンインプラント Series ϕ 3.1	PLATON IMPLANT Series ϕ 3.1	P
プラトンエクスターナル BiO	PLATON External BiO	P
プラトン TM インプラント	PLATON TM Implant	P
フリアダント プラス サーフェイス	Friadent [®] plus surface	DS
プリマコネックスインプラント	PrimaConnex implant	HS
プリマソロインプラント	PrimaSolo implant	HS
プロアクティブ ストレート インプラント	ProActive Straight	NE
プロアクティブ テーパー インプラント	ProActive Tapered	NE
ブローネマルクシステム	Brånemark System [®]	NO
プログレッシブスレッド	Progressive thread	DS
プロモートサーフェス	Promote Surface	AL
プロモートプラス	Promote Plus	AL
ヘックスロック	Hex Lock	SF
ボーンレベルインプラント	Straumann [®] Bone Level Implant	S
ボーンレベルテーパードインプラント	Straumann [®] Bone Level Tapered Implant	S
マイクロスレッド	MicroThread [®]	DS
マイティス アロー インプラント	MYTIS Arrow Implant	B
マグフィット [®] IP	MAGFIT [®] IP	AI
マグフィット [®] MIP	Magfit [®] MIP	P
マジックスレッド	Magic Thread	W
ミューワン HA インプラント	μ -one HA Implant	YA
ミューワン HA インプラント 2 ピース	μ -one HA Implant 2-Piece	YA
ミューワン HA インプラント 2 ピース アバットメント	μ -one HA Implant 2-Piece Abutment	YA
US SA フィクスチャ	US SA (Sand Blasted with alumina and Acid etched) fixture	O
LIPUS	Low Intensity Pulsed Ultra Sound	IT
リプレイスセレクト テーパード	Replace Select [™] Tapered	NO
レーザーロックインプラント	Laser-Lok [®] Implant System	C
レガシー システム	Legacy System	IM
レストアーインプラント	Restore implant	HS
ロキシム	Loxim [™]	S
ロキソリッド	Roxolid [®]	S
ログフィット アバットメント	Logfit Abutment	AL
ロケーターオーバーデンチャーシステム	LOCATOR [®] OVERDENTURE IMPLANT SYSTEM	HH
ワンポジションオンリー	One-position-only	DS
インプラント関連器具		
アーウィンアドベール Evo	Erwin AdvErL Evo	MO
R-Brush	R-Brush	W
IAT ガイド	IAT Guide (Intelligent Artificial Teeth Guide)	NP
IAT 3D NAVI	IAT 3D NANI (Intelligent Artificial Teeth 3D NAVI)	NP
IS フルキット	IS Full Kit	W
iChiropro 外科用ユニット	iChiropro Surgical Unit	MO
IP ドライバ	IP Driver	AI
i-Brush	i-Brush	W
i-Brush2	i-Brush II	W
アクセサリキット	Accessory Kit	W

アクセス Ti ネオリンク マルチ	Access Ti Neolink	NE
アクセス プロセティックスクリュー (クリスタロック)	Access Prosthetic Screw	NE
アクセス レプリカ	Access Replica	NE
アクセスアバットメント	Access Abutment	NE
光機能除菌機 ASKO Ⅲ	sanitizer ASKO Ⅲ	W
アダプターリング	Adapter Ring	SF
アディショナルドリル	Additional Drill	SF
アルタピン	ALTApin	AL
アローインプラント用インスツルメント	Arrow Implant Instrument	B
アロー FIT パーツ	Arrow Fit-System	B
アングルアバットメント (デジタルアバットメント)	Angle Abutment (Digital Abutment)	DI
Angled torque ドライバー	Angled torque driver	O
アンシラリーツール	Ancillary Tools	C
ESR Full キット	ESR Full Kit (Easy Screw Removal Full kit)	O
EFR Full キット	EFR Full Kit (Easy Fixture Removal Full kit)	O
EZ ステント	EZ stent	W
EZ ストッパーキット	EZ stopper kit	W
インサートエクステンション	Insart Extension	YS
インサートコネクタ	Insart Connector	YS
インプラケアⅡ	Implacare [®] Ⅱ	HU
インプランター	IMPLANTOR	KC
インプラントインサータ	Implant Inserter	NE
インプラントスケーラー	Implant Scaler	YO
インプラントスケーラー J	Implant Scaler J	YO
インプラントスケーラー チタン	Titanium Implant Scalers	HU
インプラントレプリカ	Implant Replica	NE
インプレッションコーピング	Impression Coping	NE
H-Scanbody	H-Scanbody	DI
ARO キーパー	ARO Keeper	YS
ACM	ACM	W
SLA キット	SLA Kit	W
SCA キット	SCA Kit	W
S-Wide キット	S-Wide Kit	W
AnyCheck	AnyCheck	W
MS キット	MS kit	O
M・チャンネルバー	M・Canal Bar	P
M・サージカルダイヤモンドバー	M・Surgical Diamond Bar	P
MJ ガイドシステム	MJ Guide System	K
オートボーンコレクター	AutoBone Collector	O
OB キット	OB kit	O
オクタフィックス ドリル システム	Octafix Drill System	YS
オクタフィックス ドリル ストッパー	Octafix Drill Stopper	YS
オステオキット	Osteo kit	O
オステオトームキット	Osteotome kit	O
オステオプッシャー	Osteo Pusher	P
Osstem アバットメント	Osstem Abutment	O
OSSTEM ゴールドアバットメント	Osstem Gold Abutment	O

Osstem ヒーリング ABT	Osstem Healing Abutment	O
OSSTEM ジルコニアアバットメント	Osstem Zr Abutment	O
Osstem ドライバー	Osstem driver	O
オステル IDx	Osstell IDx	MO
オステルビーコン	Osstell Beacon	MO
オッセオセット 300	OsseoSet™ 300	NO
オムニグリップ	Omnigrip™	NO
On1	On1™	NO
カウンターシンク (ストレート)	Countersink Straight	NE
カウンターシンク (テーパ)	Countersink Tapered	NE
CAS キット	Cas kit (Crestal Approach sinus kit)	O
カムログ ガイドシステム	CAMLOG/CONOLOG Guide System	AL
カラービュープローブ	ColorVue®	HU
キャロットドリル	Carrot Drill	YS
キャロットドリル D1	Carrot Drill D1	YS
クリスタロックスクリュー	Neoss Crystalloc Abutment Screw	NE
クワッドシェイピング ドリル	Quad Shaping Drill	Z
K2 パーティカルサイナスアプローチ	K2 Vertical Sinus Approach	IM
ケンテックガイド	KENTEC Guide	K
ゴールドアダプト	GoldAdapt™	NO
コダイアグノスティックス クライアント	coDiagnostiX™ Client (Straumann® Guided System)	S
コダイアグノスティックス プロデューサー	coDiagnostiX™ Producer (Straumann® Guided System)	S
コニカルシステム	Conical System	P
サージカルカセット	Surgical Cassette	YS
サイナスオールキット	Sinus All Kit	W
CT 撮影用テンプレート	CT template	W
GBR 用ドリル	GBR Drill	O
シムプラント	Simplant®	DS
シムプラント ガイド	Simplant® Guide	DS
シムプラント セーフ ガイド	Simplant® SAFE Guide	DS
シムプラント パイロット ガイド	Simplant® Pilot Guide	DS
シムプラント プロ	Simplant® Pro	DS
シムプラント ユニバーサル ガイド	Simplant® Universal Guide	DS
手術支援用サージカルガイド	surgical guide	W
シラトリキュレット	SHIRATORI Curette	IM
シロプロ 3rd ジェネレーション	Chiropro 3rd Generation	MO
シロプロ PLUS3rd ジェネレーション	ChiroproPLUS 3rd Generation	MO
ジンジヒュー ポスト	GingiHue Post	Z
Gingi-Brush	Gingi-Brush	W
スクリュータップ	Screw Tap	NE
スクリュードライバ コントラ用	Screwdriver Machine	NE
スクリューリムーバークット	Screw Remover Kit	W
スターティングドリル	Starting Drill	YS
ストローマンケアーズ CAD/CAM	Straumann® CARES® CAD/CAM	S
スナッピーアバットメント	Snappy™	NO
スマートガイドキット	Smart Guide kit	O
セーフサージェリーストッパー	Safe Sargery Stupper	YA

セーフティドリル	Safety Drills	C
セットピン	Set Pin	YS
ソニックサージオン 310 L	Sonic Surgion 310L	MO
卓上低速遠心機 LT-015	centrifuge LT-015	W
タッピングインスツルメント	Tapping Instrument	YS
Ti ネオリンク	Ti NeoLink	NE
Ti ベースアバットメント	Ti Base Abutment	NE
ツイストドリル (ストレート)	Twist Drill	NE
ツイストドリル (テーパ)	Twist Drill Tapered	NE
TS ロケータアバットメント	TS Locator Abutment	O
TS マルチアバットメント	TS Multi Abutment	O
TL アンクルアバットメント	TL Angle Abutment	YS
TL ソリッドアバットメント	TL Solid Abutment	YS
TL トランスファー OP	TL Transfar OP	YS
TL トランスファー CL	TL Transfar CL	YS
TL ヒーリングキャップ	TL Healing Cap	YS
TL フィクスチャー	TL Fixture	YS
TL レプリカ	TL Replica	YS
T's ボーンスプレッディング	T's Bone Spreading	IM
DTX Studio インプラント	DTX Studio™ Implant	NO
DTX Studio ラボ	DTX Studio™ Iab	NO
T-Brush	T-Brush	W
TM サイナスリフトキット	TM Sinus Lift Kit	MO
DIO IDx	DIO IDx	DI
DIONavi. サイナスキット	DIONavi. Sinus Kit	DI
DIONavi. ナローキット	DIONavi. Narrow Kit	DI
DIONavi. マスターキット	DIONavi. Master Kit	DI
テーパツイストドリル	Taper Twist Drill	P
デュアルスキャン	Dual Scan	DS
10DR インプラントソフト	10DR implant software	W
Dentium サージカルキット	Dentium Surgical Kit	BM
Dentium DASK	Dentium DASK	BM
トランスファー OP	Transfar OP	YS
トランスファー CL	Transfar CL	YS
トランスファー CL キャップ	Transfar CL Cap	YS
トランスファー樹脂パーツ	Transfar Resin Parts	YS
ドリルエクステンダー	Drill Extender	NE
トレーニングキューブ	Training Cube	SF
ナローズプレッダー	Narrow Spreader	P
ニュートン・ワン	Newton-1	KK
ネオス アンクルゲージ	Neoss Angulation Gauge	NE
ネオス ガイドキット	Neoss Guide Kit	NE
ネオス ガイドスリーブ	Neoss Guide -Sleeve Φ5.0-	NE
ネオナビガイドキット	Neo NaviGuide Kit	W
ネオナビガイドキットナロー	Neo NaviGuide Kit Narrow	W
ネオリンク ゴールド	Gold NeoLink	NE
ノーベル プロセラスキャナー	NobelProcera® Scanner	NO
ノーベルエステティックアバットメント	NobelEsthetics®	NO
ノーベルガイドコンセプト	NobelGuide®	NO

ノーベルプロセラ アバットメント	NobelProcera [®] Abutment	NO
ノーベルプロセラ インプラント バー オーバーデンチャー	NobelProcera [®] Implant Bar Overdenture	NO
ノーベルプロセラ インプラントブリッジ	NobelProcera [®] Implant Bridge	NO
ノーベルプロセラ ASC ジルコニアアバットメント	NobelProcera [®] ASC Zirconia Abutment	NO
ノーベルプロセラ FCZ アバットメントクラウン	NobelProcera [®] FCZ Abutment Crown	NO
ノーベルプロセラ FCZ インプラントブリッジ	NobelProcera [®] FCZ Implant Bridge	NO
パーフォレーションドリル	Perforation Drill	P
パイロットドリル	Pilot Drill	NE
パイロットドリル	Pilot Drill	YS
ハッチリーマーエクスプレス	Hatch Reamer Express	MO
パラレルガイドキット	Parallel Guide kit	O
バリオベース	Variobase [®]	S
BL アングルアバットメント	BL Angle Abutment	YS
BL アングルアバットメント G	BL Angle Abutment G	YS
BL エクストラアバットメント	BL Extra Abutment	YS
BL エクストラアバットメント G	BL Extra Abutment G	YS
BL ストレートアバットメント	BL Straight Abutment	YS
BL テンポラリーアバットメント	BL Temporary Abutment	YS
BL トランスファー OP	BL Transfar OP	YS
BL トランスファー CL	BL Transfar CL	YS
BL フィクスチャー	BL Fixture	YS
BL プラスチックパターン	BL Plastic Pattern	YS
BL ユニバーサルアバットメント G	BL Universal Abutment G	YS
BL レプリカ	BL Replica	YS
ヒーリングスクリュー	Healing Screw	YS
ピエゾサージェリー	PIEZOSURGERY [®]	IM
BioNa [®]	BioNa [®]	W
ピックキャップインプレッションキット	PickCap Impression Kit	W
ファインシア サージカルガイドシステム	FINESIA Surgical Guide System	KC
フィクスチャーホルダー	Fixture Holder	YS
フィクスチャーリムーバーキット	Fixture Remover Kit	W
フォトニッククリーナー	Photonic cleaner	W
プラスチックパターン	Plastic Pattern	YS
フラットキャップ	Flat Cap	P
フランジキャップ	Flange Cap	YS
フランジキャップ	Flange Cap	P
プレパブル Ti アバットメント	Prepable Ti Abutment	NE
プレパフォーマンス ポスト	PreFormance Post	Z
プロアクティブ ストレート インプラント	ProActive Straight	NE
プロアクティブ テーパー インプラント	ProActive Tapered	NE
Prosthetic キット	Prosthetic kit	O
プロセティックキット	Prosthetic Kit	W
プロセティックプランニングキット	Prosthetic Planning Kit	W
プロビジョナル Ti アバットメント	Provisional Ti Abutment	NE
プロファイルドリル	Profile Drill	YS
HEX ドライバー	HEX Driver	YS

HEX ドライバー CA	HEX Driver CA	YS
Bella Tek Encode インプレッション システム	Bella Tek Encode impression system	Z
ボーン プロファイラー	Bone Profiler	Z
ボーンスプレッダー	Bone Spreader	P
BoneNavi [®] System	BoneNavi [®] System	W
BoneNavi [®] ドリル	BoneNavi [®] Drill	W
ボーンプロファイルドリル	BONE PROFILE DRILL	DI
ボーンミル	Bone Mill	NE
ポジショニングガイド	Positioning Guide	YS
ホルダーキャリアー	Holder Carrier	YS
マイティス アタッチメント	MYTIS Attachment	B
マイティスアローインプラント用 インスツルメント	MYTIS Arrow Implant Instrument	B
マスターサージ LUX	MASTERsurg [™]	NO
マニュアルハンドル	Manual Handle	NE
マルチアダプター	Multi Adapter	SF
ミューワンインプラントナビゲーター	μ-one Implant Navigetor	YA
MEGANAVI	MEGANAVI	W
MEDIFUGE	MEDIFUGE	W
UV Activeter2	UV Activeter2	DI
UF サージカルキット	UF Surgical Kit	DI
UF マスターキット	UF Master Kit	DI
UF ワイドサージカルキット	UF Wide Surgical Kit	DI
UCLA アバットメント	UCLA Abutment	Z
ユニグリップ	Unigrip [™]	NO
UNI Drill System	UNI Drill System	K
ユニバーサルツールボックス	Universal Tool Box	SF
ユニバーサルドリルキー	Universal Drill Key	DS
ユニバーサルホルダ	Universal Holder	SF
485 キット	485 kit	O
485 Drill	485 Drill	O
ラウンドドライバー	Round Driver	P
ラウンドバー	Round Bur	NE
ラウンドラチェット	Round Ratchet	P
LAS キット	Las kit (Lateral Approach sinus kit)	O
ラチェット	Ratchet	NE
ラテラル オープン スリーブ	Lateral Open Sleeves	DS
ラボセットピン	Lab Set Pin	YS
ランスドリル	Lance Drill	NE
リッジワイダーキット	Ridge Wider Kit	W
レンチアダプター	Wrench Adapter	NE
ロー プロファイル アバットメント	Low Profile Abutment	Z
ロングストップ ドリル	LongStop Drill	DS
OneGuide キット	OneGuide Kit	O
OneGuide ドリル	OneGuide Drill	O
OneCAS キット	OneCAS kit	O
122 Taper キット	122 taper kit	O
122 Taper フルキット	122 taper full kit	O

インプラント関連材料		
アローボーン-β-デンタル	ArrowBone-β-Dental	B
OssBuilder TS システム	OssBuilder TS System	O
オズボーン	Osbone [®]	HH
コーケンティッシュガイド	KOKEN TISSUE GUIDE	MO
コバルトクロムシリンダー	Cobalt-chromium Cylinder	IM
コロソ	coron	S
ジーシーメンブレン	GC membrane	GC
ジーシー サイトランス [®] グラニュール	GC Cytrans [®] Granules	GC
Zivino ジビーノ 歯科補綴用ジルコニアディスク for インプラント	Zivino Zirconia Discs for Dental Implant Prosthetics	YO
スキャニングレジソ	Scanning Resin	YA
セラソルブ M	CERASORB [®] M	HH
ゼリオン	zerion	S
ソフトレッヂ	SOFTRETCH	GC
タイコン	ticon	S
チタンスクリューピンシステム	Titanium Screw Pin System	MO
チタンマイクロメッシュ	Titanium Micro Mesh	IM
Ti ハニカムメンブレン	Ti Honeycomb Membrane	MO
テルダーミス	TERUDERMIS	MO
テルフィール	TERUFILL	MO
テルプラグ	TERUPLUG	MO
truFIX システム ボーンスクリュー	truFIX System Bone Screw	IM
truFIX システム ボーンタック	truFIX System Bone Tack	IM
ナイス	n!ce [®]	S
ニューフジロック IMP	NEW FUJIROCK IMP	GC
ノーベルプロセラ	NobelProcera [®]	NO
バイオソフトレッヂ	BIOSOFTRETCH	GC
パターンレジソ XF	PATTERN RESIN XF	GC
ビュッセンダブルワイド歯ブラシ	Vussen Double Wide Tooth Brush	O
フィクスピード	FIXPEED	GC
PLATON パールボーン	PLATON Pearl Bone	P
βパウダー	β-Powder	B
ボーンジェクト	BONEJECT	MO
ポリコンエーイー	polycon ae	S
ポリコンキャスト	polycon cast	S
ルシェロ歯ブラシ I-20	RUSCELLO TOOTH BRUSH I-20	GC
ルシェロ歯ブラシ OP-10	RUSCELLO TOOTH BRUSH OP-10	GC
インプラント関連サービス		
インプラテックス インプラントダイレクト社 製品保証プログラム	Implatex Implant Direct Warranty Program	IM
SAG	Sand-blasting Acid Etching Glow Discharge Treatment	P
ノーベルコネクト	NobelConnect [®]	NO
BiO [®]	BiO	P
エックス線装置		
X-era MF 200V 仕様	X-era MF 200V	YO
XeraSmart3D Classic	XeraSmart3D Classic	YO
OP 3D PRO	OP 3D PRO	YO

オステム T1	OSSTEM T1	O
3D アクイトモ F17D	3D Accuitomo F17D	MO
トロフィーパン スープリーム 3D	Trophy Pan SUPREME 3D	YO
トロフィーパン スマート オシリス 3D	Trophy Pan Smart Osiris 3D	YO
VistaVox S	VistaVox S	YO
ファインキューブ	FineCube	YO
ファインキューブ E2	FineCube E2	YO
プロマックス 2D/3D	ProMax 2D/3D	GC
ベラビュー X800	Veraview X800	MO
ベラビューエポックス X700 + 3D	Veraviewepocs X700+3D	MO

和文索引

・ページに代えて用語番号で示した。
 ・見出し用語およびその同義語が解説されている用語番号は色ゴチックで示した。

あ

アーク溶接法	1170
アーチファクト	1
アーリーローディング	2, 760
アイゾット試験	624
ISQ 値	8, 86, 127
iPS 細胞	10
アキシアル像	11
悪性腫瘍	12
アクセスホール	13
足場	14, 675
アスピリン	15
アスピリン喘息	15, 1024
アセチルサリチル酸	15
アタッチメントシステム	16
アタッチメントレベル	17, 1185
アダプテーションテクニック	18
圧縮強さ	19
圧迫萎縮	364
圧迫壊死	20
アテロコラーゲン	21, 59
アテロコラーゲン膜	443
アドヒアランス	22
アドヘレンスジャンクション	476
アドレナリン	23, 305
アドレナリン過敏症	23
アナフィラキシー	24, 25
アナフィラキシーショック	25
アナフィラキシー反応	1160
アバタイト	26
アバタイトインプラント	27
アバタイトコーティングインプラント	28
アバタイトコーテッドインプラント	28
アバットメント	29, 93, 101, 260
アバットメントアナログ	30, 233
アバットメント-インプラント体界面	31, 116
アバットメントコネクション	32
アバットメント材料	33
アバットメントシャフト	34
アバットメント除去器具	35
アバットメントシリンダー	36, 93
アバットメントスクリュー	37, 57, 93, 145
アバットメント破折	38
アバットメントレプリカ	30

アバットメントレベル	30, 39, 77
アバットメントレベル印象	40, 137
アブフラクション	41
アメリカ麻酔科学会	1038
アモルファス構造	706
アルカリ処理	1032
アルゴンガス	692
アルミナ	43, 742, 745
アルミナセラミックス	43
アレルギー	44
アレルギー症状	24
アレルギー性疾患	980
アレルゲン	980
アログラフト	897
アンカーインプラント	273
アンカーインプラント矯正	273
アンカーピン	46
アンキローシス	47
アングルドアバットメント	48, 215
安静空隙	49
アンダーカントゥア	245
アンダープレパレーションテクニック	18
安定化ジルコニア	642
安定化フィブリン	1039
アンテリアガイダンス	50, 1113
アンテリアループ	51
アンレーグラフト	184

い

ES 細胞	52
EG 細胞	241
e-PTFE 膜	55, 990
易感染性	328
易感染性状態	56
維持スクリュー	57
維持装置	58
異種移植	59
異種移植材	64
異種移植体反応	60
異種金属	236
萎縮〔症〕	61
異種骨	62
異常絞扼反射	63, 634
移植〔術, 法〕	64
移植体《片》拒絶〔反応〕	65
移植体《片》対宿主反応	66

異所性骨化	67	インプラントオーバーデンチャー	88, 227, 1127
維持療法	87, 129	インプラント窩	89
I型糖尿病	900	インプラントカード	90
一次固定	68, 637	インプラント界面	91, 131
一次手術	69	インプラント学	92, 331
一次性咬合性外傷	347	インプラントカラー	93
一次創傷治癒	70	インプラント義歯	94, 133
一次治癒	70, 766	インプラント頸部	121
一時的止血法	534	インプラント-骨界面	95, 114
一次閉鎖	71	インプラントコンプリートオーバーデンチャー	88
I度高血圧	341	インプラントサイト	109
1回法インプラント	29, 72	インプラント残存率	96
イットリア安定化ジルコニア	642	インプラント〔支持〕ブリッジ	97, 1110
遺伝子組み換え骨形成誘導タンパク質	1001	インプラント支持補綴装置	98, 110
異物巨細胞	73	インプラント支持療法	99
異物反応	74	インプラントシステム	100
イミディエイトプロビジョナルインプラント	75, 492	インプラント支台	101
イミディエイトローディング	76, 774	インプラント周囲炎	102, 129
医療安全管理	1178	インプラント周囲溝	103
医療器具滅菌	1152	インプラント周囲溝滲出液	104
色見本	516	インプラント周囲組織	105
印象用コーピング	77, 78, 463	インプラント周囲組織検査	106
印象用トランスファーコーピング	77	インプラント周囲粘膜	107
印象用トレー	78	インプラント周囲粘膜炎	102, 108, 129
インターデンタルブラシ	528	インプラント周囲ポケット	103
インターナルアバットメント連結	79	インプラント床	109
インターナルコネクション	32, 79, 438, 981	インプラント上部構造	110
インターナルジョイント	79	インプラント除去器	134
インターナル・テーパージョイント	79	インプラントショルダー	111, 1068
インターナル・バットジョイント	79	インプラントスレッド	112
インターナルヘキサゴン	80	インプラント成功率	113
インターロイキン	81, 470	インプラント-組織界面	114
インテグレーション	82, 176	インプラント体	84, 93, 115, 653
咽頭反射	63	——のスタック	117
インフォームド・コンセント	83	——の破折	118
インプラント	84, 330	インプラント体-アバットメント界面	116
——のオーバーロード	122	インプラント直径	119
——の後期喪失	123	インプラント手帳	90
——の構造	93	インプラント-軟組織界面	114, 120
——の成功基準	124	インプラントネック	121
——の早期喪失	125	インプラントパーシャルオーバーデンチャー	88
——の喪失	126	インプラントパーシャルデンチャー	130
——の動揺〔度〕	127	インプラント表面	131
——の配置	128	インプラント表面形状	132
——のメンテナンス	129	インプラント表面構造	132
インプラントアナログ	85, 233	インプラント表面性状	132
インプラントアンカー	273	インプラント補綴	133
インプラントアンカー矯正	273	インプラントリムーバー	134
インプラント安定指数	86, 127	インプラントレプリカ	85, 135
インプラント安定度指数	86		
インプラント維持療法	87		

インプラントレベル	77, 136
インプラントレベル印象	137
インレーグラフト	64

う

Widman 改良フラップ手術	919
Wolff の法則	138, 966, 1083
ウシ海綿状脳症	293
後向き研究	139
後向きコホート研究	139
うつ状態	765
運動性障害	792
運動麻痺	1132

え

エアアブレーション	140, 286
エア・アブレーション	140
エアポリッシング	140, 286
永久的止血法	534
HA コーティング	964
ASA の physical status	606
エクスターナルコネクション	32, 145, 981
エクスターナルジョイント	145
エクスターナルヘキサゴン	146
壊死性潰瘍性歯肉炎	575
壊死組織除去	882
STL データ	147
エックス線検査	148
エックス線 CT	149
エッチング	488
エナメル基質タンパク [質]	150
エナメルマトリックスタンパク [質]	150
エナメルマトリックステリパチブ	150
NYHA の心機能分類	606
エビテーゼ	153, 208, 247
エビデンス	54
エビデンスベイストメディシン	54, 154
エビペン [®]	25
エマーゼンスプロファイル	160
エラスチン	748
エルビウム	163
Er (Erubium) : YAG レーザー	163, 1190
エレクトロサージェリー	164
エレクトロスプレー法	28
塩基性線維芽細胞増殖因子	390
塩基性リン酸カルシウム化合物	963
炎症	165
炎症性吸収	166
炎症性肉芽組織	930
延伸ポリテトラフルオロエチレン膜	990

塩造形模型	448
延長器	217
延長ブリッジ	244

お

黄色骨髄	395, 592
黄色髄	592
横断 [的] 研究	167
横断像	11
嘔吐反射	63, 168
オーバーカントゥア	245
オーバージェット	169
オーバーバイト	170
オーバーヒート	125
オーバーロード	122, 123
オープン STL	147
オープントレー	78, 171
オープントレー印象	77
オーラルフレイル	335
オーラルリハビリテーション	172
オクルーザルアプライアンス	173
オクルーザルスプリント	173
押込み試験	1013
オステオトーム	174, 175, 1179
オステオトームテクニク	174, 175
オステオン	408, 848, 987, 988
オステル [®]	86
オッセオインテグレーション	176, 177, 385, 536, 1033
オッセオインテグレートッドインプラント	177
オトガイ下動脈	178, 357
オトガイ棘孔	179, 725
オトガイ孔	51, 180
オトガイ枝	181
オトガイ神経	181, 182, 219
オトガイ神経移動術	643
オトガイ神経麻痺	182
オトガイ舌筋	724
オトガイ動脈	222
オフセット配置	183
オブリーク画像	813
オンレーグラフト	64, 184, 201, 213

か

加圧加熱成形法	743
カーボン繊維	185, 828
開口障害	186
外骨症	431
介在層板	987

- | | | | |
|----------------|------------------|-----------------|---------------------|
| 外斜切開 | 595 | 顎堤造成術 | 213 |
| 外傷性三叉神経ニューロパチー | 702 | 顎堤粘膜 | 1051 |
| 外側翼突筋 | 789 | 顎動脈 | 222, 355 |
| ガイドッドサージェリー | 187 | 角度許容アバットメント | 214 |
| 回転切削器具 | 727 | 角度付アバットメント | 215 |
| 回転トルク値 | 914 | 角針 | 1103 |
| 回転防止機構 | 79, 80, 146, 188 | 顎補綴 | 208 |
| 回転モーメント | 189, 911 | 顎裂 | 323 |
| 外部注水 | 921 | 仮骨 | 216 |
| 外部連結 | 145 | 仮骨延長術 | 213, 217, 405 |
| 外部六角 | 146, 190 | 過酸化水素ガスプラズマ滅菌 | 218 |
| 海綿骨 | 191, 1018 | 下歯槽静脈 | 222 |
| 海綿骨細片 | 392 | 下歯槽神経 | 219 |
| 改良歯肉炎指数 | 106, 192 | 下歯槽神経側方移動術 | 220, 643 |
| 改良ブラーク指数 | 106, 193 | 下歯槽神経麻痺 | 221, 702 |
| カウンターシンク | 194 | 下歯槽動・静脈 | 222 |
| カウンターシンクドリル | 194 | 下歯槽動脈 | 222 |
| カウンターボア | 194 | 荷重ストレス | 138 |
| 下顎安静位 | 195, 196 | 下唇枝 | 181 |
| 下顎位 | 49, 196 | 下唇麻痺 | 223 |
| 下顎運動 | 197 | カスタムアバットメント | 29, 224, 265 |
| 下顎管 | 198 | カストロビージョ型 | 550 |
| 下顎区域切除術 | 281 | カストロビエホ型 | 550 |
| 化学研磨 | 318 | ガス滅菌法 | 1153 |
| 下顎孔 | 199 | 型彫り放電加工法 | 1108 |
| 下顎孔伝達麻酔 | 887 | 仮着用セメント | 225 |
| 下顎骨貫通式インプラント | 200 | 顎骨壊死 | 45, 1145 |
| 下顎骨区域切除術 | 281 | ガッセル神経節ブロック | 647 |
| 下顎骨連続離断術 | 281 | 滑走運動 | 197 |
| 下顎最後退位 | 196 | 合併症 | 226 |
| 下顎枝 | 201 | 可撤性インプラント支持補綴装置 | 227 |
| 下顎小舌 | 199 | 可撤性インプラント補綴装置 | 227 |
| 下顎神経 | 789 | 可撤性義歯 | 88, 130 |
| 下顎神経ブロック | 202, 647 | 可撤性上部構造 | 110, 227 |
| 下顎無歯顎 | 1127 | 可撤性ブリッジ | 227 |
| 下顎隆起 | 431 | 顎頭安定位 | 196 |
| 過換気症候群 | 203 | 顎頭位 | 196 |
| 架橋性モノマー | 943 | 可動粘膜 | 228, 340 |
| 角化上皮 | 204 | 化膿性炎 | 165 |
| 顎下腺窩 | 205 | カバースクリュー | 229 |
| 角化粘膜 | 206, 207 | カバースクリューミル | 230 |
| 角化付着粘膜 | 207 | Kaplan-Meier 分析 | 96, 231, 1186, 1187 |
| 顎顔面補綴 | 208 | ガミースマイル | 232, 1181 |
| 核磁気共鳴 | 161 | 噛みしめ | 1063 |
| 顎舌骨筋 | 209, 724 | 紙袋再呼吸法 | 203 |
| 顎舌骨筋神経 | 209, 219 | ガム模型 | 233 |
| 顎舌骨筋線 | 209 | カラー部分 | 121 |
| 顎舌骨筋縫線 | 209 | ガラス含浸系 | 745 |
| 拡張ぬれ | 940 | ガラスセラミック系 | 745 |
| 顎堤 | 210, 211 | ガラスセラミック材料 | 263 |
| 顎堤形成術 | 211 | ガラスセラミックス | 234 |
| 顎堤整形 | 212 | 顆粒骨移植 | 235, 475 |

カルシトニン	974
ガルバニー電流	236
カルバマゼピン	497
緩圧型アタッチメント	16, 237, 1197
緩圧機構	238
眼窩下孔	239
眼窩下神経ブロック	647
眼窩部エピテーゼ	208, 240
顔弓	1042
幹細胞	241
患者主導型治療	242
患者立脚型アウトカム	243
癌腫	12
間接法	674
関節リウマチ	535
感染性心内膜炎	328
感染予防処置	685
カンチレバー	244
カンチレバーブリッジ	244
カントウア	245
カンベル平面	246, 259, 1042
ガンマ線滅菌法	1153
顔面インプラント	247
顔面エピテーゼ	208
顔面神経	248
顔面神経麻痺	248, 702
顔面動脈の分枝	178
顔面補綴	208
間葉系幹細胞	241, 249, 551, 591
間葉系細胞	250

き

キー	251
キーアンドキーウェイ	251
キーウェイ	251
機械加工インプラント表面	253
機械研磨	252, 318
機械研磨インプラント表面	253
機械的ストレス	1148
機械的強さ	19, 254
気管切開	255
気管挿管	255
危険因子	1177
技工用アナログ	256
技工用インプラントアナログ	85
技工用デスクトップスキャナー	257
気孔率	258
器質性障害	792
基準平面	259
既製アバットメント	29, 214, 215, 224, 260
キチン	709

規定トルク	261
気道閉塞	991
機能的下顎運動	197
機能の咬合診断	1080
機能負荷	899
基本的下顎運動	197
逆回転力	262
逆三角針	1103
逆トルク	134, 262
キャストابلセラミックス	234, 263
ギャップジャンクション	476
CAD/CAM アバットメント	265
キャビテーション	854
吸取〔小〕窩	266, 969
吸取性生体材料	267
吸取性セラミックス	268
吸取性縫合糸	269, 1103
吸取性膜	990
吸取置換型材料	270, 651
白歯離開咬合	870
急性拒絶反応	65
急性疼痛性障害	657
急性副腎不全	688
吸入鎮静法	703
供給側	271, 905
凝固系機能検査	1004
頬骨インプラント	272, 462
胸鎖肋関節症	628
矯正用インプラント	273
共鳴振動周波数分析	86, 274
局所抗菌療法	329
局所的禁忌症	275
局所的リスクファクター	275
局所麻酔中毒	276
虚弱	1075
禁忌症	277, 755
緊急気管穿刺	255
筋筋膜痛症候群	702
菌血症	328
金属アーチファクト	278
金属アレルギー	279, 1151
金属疲労	280, 1034

<

区域切除	281
偶発症	282, 319
くさび嵌合	1074
グラインディング	283, 989, 1063
グラインディングタイプ	794
クラウン-インプラント比	284, 525
クラス B	321, 1153

クラス N	321, 1153
クラス S	321, 1153
グラム陰性嫌気性	545
クリアランス	285
グリシンパウダー	140, 286
クリップアタッチメント	287, 955
クリティカルパス	288
クリニカルパス	288, 289
グループファンクション	290, 351
クレストルアプローチ	619
クレストモジュール	291
クレンチング	292, 989, 1063
クロイツフェルト・ヤコブ病	293
クローズドトレー	78, 294
クローズドトレー印象	77
クロスカット画像	813
クロスセクショナル画像	813

け

Cawood と Howell の分類	295
Cawood の分類	295
経口抗凝固療法	1200
経口抗菌療法	329
脛骨移植	296
形質転換成長《増殖》因子	863
傾斜埋入	297
形状記憶合金	936
形状記憶合金インプラント	298
形状読取装置	264
軽微な事故	968
外科主導型治療	299
外科用ガイドプレート	300, 455
血圧値	341
血液凝固因子	301
血液検査	302
血液疾患	303
血液製剤	1040
血液由来成長因子を利用した再生療法	304
血管収縮薬	23, 305
血管新生	306
血管新生阻害薬	1145
血管内皮成長因子	808
血管柄付き骨移植	307
血管迷走神経反射	308
血管迷走神経反射性失神	308
血管迷走神経反射性失神前症候群	308
血管迷走神経反射性心停止	308
結合組織移植	64
結合組織移植術	309, 946
結合組織性付着	310, 632, 784
血腫	311

結晶化ガラス	234
血小板血栓	343
血小板減少症	312
血小板濃厚血漿	313, 808
血小板無力症	601
血小板輸血	312
血小板由来成長因子	314, 470, 808
——を利用した再生療法	304
血漿分画製剤	1040
血栓形成	342, 343
血糖値	1098
Kennedy 分類	849
ケモカイン	470
ケロイド	993
研削	315, 727
絹糸	1103
犬歯窩	239
犬歯誘導咬合	316, 351
減張切開	317
健忘効果	634
研磨	318

こ

誤飲	319
高圧酸素療法	320
高圧蒸気滅菌	321
高圧蒸気滅菌装置	321
高圧蒸気滅菌法	1153
高位付着	630
抗炎症作用	1045
構音障害	322
口蓋隆起	431
口蓋裂	323
硬化型材料	651
光学印象	257, 324, 463, 676
光学印象装置	339
口角枝	181
光学的プローブ	499
硬化性骨髓炎	325
咬頬	353
抗凝固薬	326, 343, 1004
咬筋	789
咬筋粗面	201
抗菌薬	327
抗菌薬予防〔的〕投与	328
抗菌療法	329
口腔インプラント	330
口腔インプラント学	331
口腔インプラント材料	332
口腔衛生指導	333
口腔乾燥症	334

口腔機能低下症	335, 1075	コーティング	964
口腔上顎洞瘻	616	コースス型	884
口腔常在菌	336, 626	コーピングテレスコープ	884
口腔清掃	337	呼吸不全	991
口腔清掃指導	333	国際標準化機構	7
口腔前庭拡張術	338, 540	ゴシックアーチ	363
口腔前庭形成手術	338	ゴシックアーチ描記法	363
口腔前庭切開法	723	骨萎縮	364
口腔底出血	357	骨移植	64, 365
口腔内スキャナー	324, 339, 463	骨移植材《体, 片》	366
口腔粘膜	340	骨移植術	405, 1019
高血圧症	341	骨-インプラント接触率	367
抗血小板薬	342, 343	骨壊死	368
抗血栓薬	343	骨塩	369
抗血栓療法	326, 343, 1200	骨縁上付着装置	370
膠原病	535	骨縁上付着組織	370, 719
咬合圧	352	骨塩量	371
咬合位	196	骨外逸脱	372
咬合干渉	344	骨改造	373, 430
咬合拳上	345	骨界面	374
咬合記録	1183	骨芽細胞	375, 393
咬合検査	1080	骨火傷	376, 412
咬合高径	345, 346	骨窩洞	89
咬合再構成	172	骨化様式	928
咬合性外傷	347	骨貫通型インプラント	200
咬合調整	348	骨基質	377
咬合負荷	349	骨楛	1048
咬合平面	259, 350	骨吸収	378, 559, 1084
咬合様式	351, 779	骨吸収窩	969
咬合力	352	骨吸収抑制薬	45, 1145
咬傷	353	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死	45, 379
後上歯槽枝	354	骨切り術	380
後上歯槽動脈	355	骨形成	381
亢進性拒絶反応	65	骨形成因子	382, 390
口唇裂	323	骨形成細胞	478
高水準消毒	356	骨形成タンパク〔質〕	383, 1001
咬舌	353	骨形成不全症	384
咬舌癖	989	骨結合	176, 385, 400
高値血圧	341	骨結合喪失	869
口底出血	357	骨原性細胞	386
咬頭嵌合位	196, 358	骨硬化症	387
咬頭干渉	344	骨構造	388
咬頭傾斜	359	骨採取	389
広範囲顎骨支持型装置	281, 360	骨再生	390, 782
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	360	骨再生誘導法	64, 391, 405, 695, 990
広範囲顎骨支持補綴	360	骨碎片	392
高密度焼結系	745	骨細片	392
高密度ポリテトラフルオロエチレン膜	990	骨細胞	375, 393
咬耗	361, 1133	骨削片	392
咬耗面	1037	骨質	394
抗RANKL抗体デノスマブ	45, 1145	骨小柱	433
誤嚥	362	骨シンチグラフィ	325

骨髄 395
 骨髄炎 396
 骨髄幹細胞 397
 骨髄腔 398
 骨髄系幹細胞 397
 骨性強直 47, 399
 骨性結合 176, 400
 骨性の隔壁 401
 骨性癒着 982
 骨切除術 402
 骨セメント 403
 骨穿孔 1019
 骨増生 404
 骨造成 405
 骨粗鬆症 406
 骨代謝回転 407
 骨代替材料 213
 骨単位 408, 430, 987, 988
 骨頂部形態 291
 骨伝導 381, 409
 骨内インプラント 410, 536, 641, 690
 骨内固定〔源〕 411
 骨熱傷 412
 骨ノミ 413
 骨幅 414
 骨粉砕器 415
 骨片収集器 389, 416
 骨補填材 417, 1095
 骨膜 418, 948
 骨膜下インプラント 419
 骨膜性骨化 420, 1128
 骨膜剝離子 421, 972
 骨膜反応 422
 骨窓 423
 骨密度 371, 424
 —の分類 1137
 骨モデリング 378, 425
 骨誘導 381, 426
 骨誘導因子 427
 骨癒合 428
 骨癒着 47
 骨由来成長因子 429
 骨リモデリング 378, 407, 430
 骨隆起 431
 骨梁 433
 骨量 432
 骨梁構造 434
 骨レベル 435
 骨ろう 436, 533
 固定性インプラント支持補綴装置 437
 固定性インプラント補綴装置 437
 固定性上部構造 437, 1110

コニカルコネクション 438
 コニカルシールデザイン 438
 コバルトクロム合金 439
 コホート研究 440
 固有歯槽骨 441, 557
 コラーゲン線維 442, 538
 コラーゲン膜 443
 コル 526
 コルチカル 960
 コルチコトミー 444
 コルチゾール 688
 根拠に基づいた医療 54, 445, 552
 コンタクトオステオジェネシス 446
 コンタクトポイント 447
 コンピュータ骨造形 448
 コンピュータ支援手術 449, 451, 1172
 コンピュータ支援設計／製造 264, 450
 コンピュータ支援ナビゲーション 451
 コンピュータ・シミュレーション 452
 コンピュータ断層撮影〔装置〕 453, 510
 コンプライアンス 22, 454

さ

サージカルガイドプレート
 46, 257, 455, 689, 1071
 サージカルステント 455, 456
 サージカルテンプレート 455, 457
 サージカルバック 458, 544
 サージカルリスク 459
 サーフェスレンダリング 1116
 細菌検査 460
 細菌性バイオフィルム 461, 959
 ザイゴマインプラント 462
 最終印象 463
 再植〔術, 法〕 464
 再生医学 465, 466
 再生医療 466, 675
 再石灰化 467
 再装着 1183
 最大開口量 186, 468
 最大咬合力 469
 最大せん断応力 757
 サイトカイン 470
 サイドスクリュー 471
 催吐反射 63
 サイナスフロアエレベーション 472, 619
 サイナスリフト 473, 619
 再付着 474
 細片骨移植 475
 細片自家骨 213
 細胞接着 476

細胞増殖因子 470
細胞増殖《成長》因子 477
細胞分化 478
作業用模型 233
殺菌 1152
擦式手指消毒 479
サドルグラフト 480
サファイアインプラント 481
サブジンジバルカントゥア 482
サブトラクション 483
サブトラクションエックス線撮影法 483
サブマージドインプラント 484, 929
サベイドクラウン 130
サベイング 485
サポーティブセラピー 486
サポーティブ治療 486
サポーティブペリオドンタルセラピー 486
サポーティブペリオドンタルトリートメント 486
Summers 法 175
皿状吸引 487
酸エッチング 488, 502
酸化アルミニウム 43
三角針 1103
酸化ジルコニウム 489, 642, 1057
酸化チタン 490
酸化被膜 491, 1169
暫間インプラント 492
暫間義歯 493
暫間上部構造 493, 774, 891
暫間被覆冠 493, 494
暫間ブリッジ 493
暫間補綴装置 492, 493, 495
三叉神経 496
三叉神経痛 497, 646
三叉神経ブロック 647
三次元 CT 画像 498
三次元〔的〕測定 499
三次元スキャナー 264
残存率 231, 1186
三点曲げ試験 500, 1129
サンドイッチグラフト 64
Ⅲ度高血圧 341
サンドプラスト 501, 502
サンドプラストエッチング 502

J

CO₂ レーザー 822
CT スキャン 510
CT 値 510, 512, 1137
GTR〔法〕 784, 990

GTR 膜 695, 990
GTR メンブレン 990
GBR〔法〕 213, 391, 475, 513, 990, 1019
GBR 膜 695
J グラフト 480, 515
Sjögren 症候群 334
シェードガイド 516
シェフィールドテスト 517, 979
哆開 20, 518, 1193
自家《自己》移植 519
耳介エピテーゼ 208
自家移植 982
自家移植材 520
自家移植組織 64
紫外線照射滅菌法 1153
歯科インプラント 521
自家骨 1018
自家骨移植 64, 522
自家骨ブロック 1018
歯科治療恐怖症 63
歯科用コーンビーム CT 149, 510, 523
歯科用ミリングマシン 1141
磁化率アーチファクト 278
歯冠インプラント比 525
歯間鼓形空隙 524
歯冠歯根比 525
歯間清掃ブラシ 528
歯冠長延長術 919
歯間乳頭 526
歯間乳頭保存術 527
歯間ブラシ 528
歯間離開 630
磁気共鳴画像 161, 529
磁気共鳴撮像法 161
軸位断像 11
死腔 530
シクロオキシゲナーゼ 1024
止血鉗子 531
止血機能 532
止血機能検査 532, 601
止血剤 533
止血法 534
自己注射製剤 25
自己フィブリン糊 304
自己複製能 241
自己免疫疾患 535
歯根型インプラント 536
歯根吸引 537
歯根膜 538
支持歯槽骨 539, 557
歯周形成手術 540
歯周外科手術 540, 583

歯周サポート治療	486	歯内骨内インプラント	46, 574
歯周支持療法	486, 541	歯肉移植術	1163
歯周靱帯	538, 542	歯肉炎	575
歯周組織再生	768	歯肉縁下歯石	555
歯周組織再生誘導〔法〕	784	歯肉炎指数	192, 576
歯周組織の分類	1146	歯肉縁上歯石	555
歯周バイオタイプ	543	歯肉縁切開	577, 579
歯周バック	544	歯肉結合組織移植術	309
歯周病原細菌	545	歯肉溝滲出液	578
歯周プローブ	546, 1081	歯肉溝内切開	579
歯周包帯	544, 547	歯肉歯槽粘膜移行部《境》	580
歯周包填剤	544, 547	歯肉歯槽粘膜形成術	540, 581
歯周ポケット	548	歯肉整形	582
矢状顆路	549	歯肉切除術	583
矢状顆路傾斜角	549	歯肉退縮	584
矢状前方顆路	549	歯肉剝離子	585, 972
矢状側方顆路	549	歯肉剝離搔爬術	1070
支持療法	99, 129	歯肉バンチ	875
持針器	550	歯肉付着〔部〕	586
歯髄幹細胞	551	歯肉弁	587, 948, 952
システマティックレビュー	552	歯肉弁根尖側移動術	540, 588, 1163
JIS60種	847	歯肉弁歯冠側移動術	540, 589, 1163
磁性アタッチメント	16, 554	歯肉弁側方移動術	540, 590, 1163
歯性上顎洞炎	613	脂肪幹細胞	591
歯石	555	脂肪髄	592
自然孔	556, 612, 992	シミュレーションソフトウェア	593
歯槽縁	560	Simonsen 現象	66
歯槽骨	557, 778	シャーピー線維	538, 778, 784
歯槽骨延長術	217, 558	射出成形	594
歯槽〔骨〕吸収	559	斜切開法	595
歯槽骨喪失	559	遮断膜	596, 990
歯槽骨頂	560	遮蔽膜	990
歯槽頂	560, 561	シャルピー試験	624
歯槽頂アプローチ	175, 562, 563, 619	集学的治療	597
歯槽頂切開	563	習慣性閉閉口運動	197
歯槽頂切開法	723	周術期管理	598
歯槽堤	210, 564	収縮期高血圧	341
歯槽堤拡大術	405, 565	重症筋無力症	535
歯槽堤形成術	211, 566	重大事故	968
歯槽堤整形	212, 567	縦断〔的〕研究	167, 599
歯槽堤増生	568	手指消毒法	479
歯槽堤造成	569	樹脂造形模型	448
歯槽堤増生《造成》	405	手術危険度	600
歯槽堤造成術	211	手術用ステント	689
歯槽堤増大術	309, 405	主訴	791
歯槽堤幅〔径〕	570	出血傾向	602
歯槽突起	571	出血時間	601
歯槽部	572	出血性素因	602
歯槽稜	560	術後管理	603
耳朶	601	術後ケア	603
湿潤療法	767	術後性上顎嚢胞	604
自動体外式除細動器	141, 573	術前アセスメント	606

術前管理 605
 術前評価 606
 シュナイダー膜[△] 607, 621
 手用切削器具 727
 受容側 608, 1192
 純チタン 609
 常温重合レジン 610
 障害陰影 278
 上顎結節 611
 上顎神経 354
 上顎洞 612, 1047
 上顎洞炎 613
 上顎洞炎根治術 615
 上顎洞隔壁 614
 上顎洞根治術 615, 797
 上顎洞根本手術 615
 上顎洞穿孔 616
 上顎洞貯留嚢胞 617, 620
 上顎洞底 618
 上顎洞底挙上術 64, 175, 405, 423, 619, 797
 上顎洞粘液貯留嚢胞 620
 上顎洞粘膜 621
 上顎洞迷入 622
 上顎洞裂孔 623, 992
 上顎骨口蓋突起 759
 上顎骨骨切り術 1189
 上気道狭窄 255
 上気道閉塞 255
 衝撃破壊試験 624
 焼結アパタイト 625
 症候性神経痛 646
 常在細菌 626
 蒸散 163
 焼成骨 627
 掌蹠膿疱症 628
 小帯切除〔術〕 629
 小帯付着異常 630
 消毒薬 356
 上皮 631
 上皮下結合組織移植術 309
 上皮小体ホルモン 1044
 上皮成長因子 470
 上皮性付着 632
 傷病名 792
 床副子 173
 上部構造〔物〕 93, 257, 633
 静脈内鎮静法 634, 703
 商用純チタン 635, 839
 ショートインプラント 636
 初期固定 637
 初期固定不足 125
 除去トルク値 638

植立 639, 1122
 シランカップリング 640
 シリコーンガム模型 233
 シリンダー型 884
 シリンダー型インプラント 641
 シリンダーテレスコープ 884
 ジルコニア 642, 742, 745, 1057
 ジルコニアクラウン 743
 真気孔率 258
 シングルステージインプラント 72
 神経移動術 643
 神経筋機構 644
 神経原性ショック 308
 神経障害 938
 神経損傷 645
 神経痛 646
 神経ブロック 647
 神経縫合 648
 神経麻痺 649
 人工器官 650
 人工骨 64, 651
 人工サファイア 652
 人工歯根 115, 653
 人工歯肉 654
 人工多能性幹細胞 10, 655
 診察室血圧 341
 心室細動 141
 浸漬ぬれ 940
 侵襲性歯周炎 545
 新生骨 656
 真性ポケット 548
 身体表現性障害 657
 診断用ガイドプレート 659
 診断用ステント 659, 689
 診断用セットアップ 658
 診断用テンプレート 659, 689
 診断用模型 660, 683
 診断用ワックスアップ 658, 661
 浸透ぬれ 940
 深度ゲージ 662, 881
 ジンバルハイト 947
 審美修復 663, 664
 審美性 664
 審美領域 665
 新付着 784
 新付着術 919

す

垂直歯槽骨延長術 666
 垂直性骨吸収《欠損》 559, 667
 垂直の骨延長法 217

垂直被蓋 170, 668
 垂直マットレス縫合 669, 1103
 水平歯槽骨延長術 670
 水平性骨吸収《欠損》 559, 671
 水平断像 11
 水平的骨延長法 217
 水平被蓋 169, 672
 水平マットレス縫合 673, 1103
 スカルプティング 674
 スキャナー 324
 スキャフォールド 409, 675, 1095
 スキャフォールド材料 21
 スキャン 257
 スキャンボディ 324, 676
 スクリーニング検査 532
 スクリュー型インプラント 677
 スクリュー形態 112
 スクリュー固定 896
 スクリュー固定式上部構造 110, 678
 スクリュー固定式メタルフレーム 979
 スクリュータップ 679
 スクリューホール 680
 スクリューレジスタンステスト 878
 スクレイパー 681
 スケーリング 682
 スタディモデル 683
 スタビライザー 684
 スタビライズドブレードインプラント 684
 スタビライゼーションアブライアンス 173, 920
 スタンダードブリコーション 685
 Student の t 検定 686
 ステージドアプローチ 687
 ステープルボーンインプラント 200
 ステロイドカバー 688
 ステンント 689
 スパイラルインプラント 690
 スパイラルスキャン 149
 スパイラルドリル 691, 909
 スパッタリング 28
 スパッタリング法 692
 スプリットクレスト 174, 1179
 スプリットクレスト法 380, 693, 1199
 スプリットシックネスフラップ 952
 スプリンティング 694
 スペースメーカー 391, 695
 スポーツマウスガード 1125
 スポット溶接 1170
 スマイルライン 696
 スライド型連結装置 251
 3D プリンタ 448, 698
 スリーピング 699

スリーブ 955
 刷り込み式手指消毒 479
 スレッド 677, 818
 スレッドインプラント 677, 700

せ

静荷重 715
 脆弱骨 701
 正常血圧 341
 正常高値血圧 341
 星状神経節ブロック 647, 702
 精神鎮静法 703
 生存率【植皮・移植片の】 704
 生体活性 705
 生体活性ガラス 706
 生体活性セラミックス 234
 生体監視 707, 1157
 生体監視モニタ 1157
 生体許容性 708
 生体高分子材料 709
 生体材料 710
 生体情報モニタ 711, 1157
 生体親和性 712
 生体親和性膜 990
 生体組織工学 873
 生体適合性 712
 生体不活性 713
 生体防御機構 714
 静的荷重 715, 899
 生物学的安全性試験 716
 生物学的安定性 717
 生物学的封鎖 718
 生物学的封鎖層 718
 生物学的幅径 719
 生物工学 957
 精密印象 463
 生命徴候 962
 セカンドオピニオン 720
 赤色血栓 326, 343
 赤色骨髄 395
 セグメントタイプ 721, 954
 Seddon の分類 645
 舌咽神経痛 646
 石灰化 722
 切開法 579, 723
 舌下動脈 357, 724
 舌孔 725
 接合上皮 726
 接合様式 1079
 切削 727
 切削トルク 728

切歯管	729	全層弁	587, 756, 948
切歯孔	729	喘息	15
切歯枝	219, 222	せん断応力	757
切歯乳頭	729	せん断強さ	757
接触角	940	前投薬	758
接触点	447, 730	前鼻棘	759
切除療法	583	専門的機械の歯面清掃	1000
切歯路	731		
舌神経	732		
絶対的禁忌症	275, 755	そ	
絶対的歯槽堤形成術	566	早期加重	760
切端咬合	733	早期荷重	760
接着	734	早期失敗	761
接着強さ	734	早期接触	344, 762
接着斑	1097	臓器特異の疾患	535
舌痛症	702	早期負荷	760, 763
設定トルク	261	早期埋入	764
セットアップモデル	735	双極Ⅰ型障害	765
舌動脈	724	双極性障害	765
説明と同意	83, 736	双極Ⅱ型障害	765
セファログラム	737, 901	象牙芽細胞	551
セメント	225	創移開	518
セメントエナメル境	738	創傷郭清	882
セメント芽細胞	739	躁状態	765
セメント合着	896	創傷治療	306, 766, 767
セメント固定式上部構造	110, 740	創傷被覆材	767
セメント細胞	739	増殖因子	768
ゼラチン	709	増生骨	404, 405
セラミックアバットメント	741	増生術	769
セラミックインプラント	742	造成術	770
セラミッククラウン	743	相対的禁忌症	275, 755
セラミックコーティング	744	相対的歯槽堤形成術	566
セラミックス	745	層板骨	771, 778, 848
セルフスレディングスクリューインプラン ト	746, 747	ソーサライゼーション	487, 772
セルフタッピングインプラント	747	即時インプラント	773
線維芽細胞	551, 748	即時加重	774
線維芽細胞増殖《成長》因子	470, 749	即時荷重	774
線維骨	750	即時型アレルギー	24
線維性オッセオインテグレーション	751	即時義歯	775
線維性仮骨	216	即時重合レジジン	610
線維性骨	752	即時負荷	774, 776
線維性歯肉増殖症	583	即時埋入	773, 777
線維性肉芽組織	930	束状骨	778
線維性被包	753	即時離開咬合	870
線維束骨	754, 778	側頭筋	789
閃光照射滅菌法	1153	側方アプローチ	619
前骨芽細胞	478	側方運動	779
全身状態分類	1038	側方応力	780
全身性自己免疫疾患	535	側方開窓術	619, 781
全身の禁忌症	755	ソケットブリザベーション	782
全層歯肉弁	948	ソケットリフト	175, 619, 783
		組織学的アタッチメントレベル	1185

組織工学	873
組織再生工学	873
組織再生誘導〔法〕	695, 784, 990
組織適合性	785
咀嚼	786, 788
咀嚼運動	787
咀嚼運動経路	794
咀嚼機能	788, 793
咀嚼筋	789
咀嚼効率	790, 793
咀嚼困難	791
咀嚼障害	792
咀嚼粘膜	340
咀嚼能率	788, 793
咀嚼能力	791
咀嚼パターン	794
ソフトティッシュマネジメント	795
ソフトナイロン糸	1103
ソフトレーザー	796

た

第 Xa 因子阻害薬	326
対孔	797
大口蓋孔	798
大口蓋神経	798
大口蓋動脈	798
第 V 脳神経	496
ダイコム	799
ダイコムデータ	448
待時加重	800
待時荷重	800
待時負荷	800, 801
待時埋入	802
带状疱疹後神経痛	646
耐食性	490, 803
耐蝕性	803
体性幹細胞	249
タイトジャンクション	476
代用骨	651, 804
唾液分泌障害	805
他家移植〔体, 片〕	806
多核巨細胞	975
他家骨移植	807
多血小板血漿	304, 808
多血小板フィブリン	304
多孔質材料	809
多孔質ハイドロキシアパタイト	810
多職種連携	811
打診	812
多断面再構成画像	813
多断面変換画像	813, 814

脱灰骨	815
脱灰凍結乾燥骨	807, 815, 816
脱灰凍結乾燥同種骨移植〔体, 片〕	815, 817
タッピング	818, 989, 1063
タッピング運動	197
多分化能	241
段階的アプローチ	687, 819
単結晶アパタイト	820
単結晶サファイア	820
単結晶体	820
炭酸アパタイト	270, 821
炭酸ガスレーザー	822, 1190
炭酸カルシウム	140
炭酸含有水酸アパタイト	821
短縮菌列	823
単純結節縫合	673, 824
単純性歯肉炎	575
単純縫合	1103
弾性係数	825, 970
弾性変形	826
弾性マトリックス	1197
弾性率	825, 827
炭素繊維	828
担体	829
単独インプラント	830
単独植立	830

ち

チームアプローチ	831
チーム医療	832
遅延荷重	833
遅延型アレルギー反応	1160
遅延負荷	834
遅延埋入	802, 835
遅延離開咬合	870
知覚異常	221, 836
知覚過敏	836
知覚障害	837
知覚消失	836
知覚神経	836
知覚鈍麻	836
知覚麻痺	1132
置換骨	928
置換性吸収	838
蓄膿症	165
チタニア	490
チタニウム	839
チタン	839, 1065
——の腐食	843
チタンインプラント	840
チタン合金	841

チタン-ジルコニウム合金	842
チタン性スケーラー	682
チタンプラズマコーティング	844, 866
チタンプラズマ溶射	845
チタンプラズマ溶射インプラント	845
チタンメッシュ	213, 846
チタン6-アルミニウム4-バナジウム合金	841, 847
緻密骨	191, 848
緻密質	848
中間欠損	849
中間構造体	1149
中空円柱状インプラント	850
中心位	196, 851
中心管	987
中心咬合位	196, 794, 852
中水準消毒	356, 853
鑄接アバットメント	224
超音波スケーラー	854
蝶下顎靱帯	199
聴覚異常	248
超急性拒絶反応	65
腸骨移植	855
超弾性合金	936
蝶番運動	197
直接経口抗凝固薬	326
直接トロンビン阻害剤	326
直接法	674
チョッピングタイプ	794
治療用義歯	856
チロシンキナーゼ阻害薬	1145
陳旧肉芽	930
鎮静法	703, 857

つ

ツイストドリル	858, 909
通常荷重	800
ツープイスインプラント	859

て

t 検定	686, 862
DNA プローブ	460
TPS インプラント	845, 865
TPS コーティング	866
d-PTFE 膜	990
低位付着	630
低温プラズマ法	28
定荷重	715
定期検診	129
低血糖性昏睡	867

低水準消毒	356, 868
デイスインテグレーション	869
ディスクルージョン	870
デイスタントオステオジェネシス	871
デイストラクション	217, 872
デイストラクター	217
ティッシュエンジニアリング	873
ティッシュコンディショナー	874
ティッシュパンチ	875
ティッシュマネジメント	952
テーパージョイント	32, 876
テーパードインプラント	877
テーパードタイプ	35
適合性試験	878
適正トルク	261
デコルチケーション	879, 1019
デジタル印象	324
デジタルワークフロー	880
デスモゾーム	1097
デスモゾーム結合	476
テタニー症状	203
デブスゲージ	881
デブスプローベ	881
デブライドメント	882
デブリードマン	882, 883
テフロン	1005
Duke 法	601
テレスコープ	884
テレスコープクラウン	884
電解研磨	318
電気メス	164, 885
電子線照射滅菌法	1153
テンションフリー縫合	886
伝達麻酔	887
デンタルインプラント	521
デンタルエックス線写真	888
デンチャースペース	889
テンドンカラーゲン	443
テンプレート	689, 890
テンポラリーアバットメント	891
テンポラリーシリンダー	891

と

凍結乾燥異種骨移植	815, 892
凍結乾燥骨	807, 815, 893
凍結乾燥同種骨移植〔体、片〕	815, 894
陶材	745, 895
陶材焼付金属冠	896
同種移植	897
同種移植材	64
同種骨移植	807

疼痛外来 898, 1094
 疼痛性疾患 702
 疼痛性障害 657
 疼痛性シヨック 308
 動的荷重 899
 糖尿病 867, 900, 1098
 頭部エックス線規格撮影法 901
 動脈血中酸素飽和度 991
 動揺度検査 902
 特異性 165
 毒性 903
 毒性学 903
 特発性三叉神経痛 202
 特発性神経痛 646
 独立性収縮期高血圧 341
 トップダウンリポートメント 904
 ドナー 64
 ドナーサイト 905, 1192
 ドラッグデリバリーシステム 906
 トランスファーキャップ 77, 907
 トランスファーコーピング 77, 907
 トランスフォーミング成長《増殖》因子 808, 863
 トランスポートーションセグメント 217
 トリガーゾーン 497
 トリガーポイント 497
 トリガーポイントブロック 647
 ドリリング 908
 ドリル 909
 ドリルガイド 187, 455, 910
 トルク〔値〕 189, 911
 トルクコントローラー 912
 トルクドライバー 912, 913
 トルクメーター 914
 トルクラチェット 914
 トルクレンチ 912, 914
 ドルダバーアタッチメント 915, 955
 ドレーピング 916
 トレパンパー 917
 トレフィンパー 389, 917
 トロント会議 124, 956, 1187
 トロンピン 1040
 トロンピン末 918

な

内斜切開 595, 919
 内側性の接続 79
 内側翼突筋 789
 ナイトガード 173, 920
 内部注水 921
 内部連結 79, 922

内部六角 80, 923
 ナイロン糸 1103
 流し込みレジン 610
 ナビゲーションシステム 451, 924
 ナビゲーション手術 451, 925
 ナラティブベイスドメディシン 926
 ナローインプラント 927, 1202
 軟骨性骨化 928
 軟骨内骨化 928, 1128
 軟質リライン材 874

に

2 回法インプラント 29, 72, 137, 929
 II 型糖尿病 900
 肉芽腫性炎 165
 肉芽組織 930
 肉腫 12
 二酸化ジルコニウム 642
 二次安定 931
 二次移植 932
 二次固定 176, 931
 二次再建 932
 二次手術 69, 933
 二次性高血圧 341
 二次性咬合性外傷 347
 二次創傷治癒 934
 二次治癒 766, 934
 二次的骨移植 932
 二重金属冠 884
 二重盲検試験 935
 ニッケルチタン合金 298, 936
 二点識別検査 937
 二点弁別閾 937
 II 度高血圧 341
 乳頭部歯肉 526
 乳頭保存フラップ手術 527
 ニューロパチー 938
 尿検査 939
 妊娠性歯肉炎 575

ぬ

ぬれ 940
 ぬれ角 940

ね

ネオジウム 941
 Nd : YAG レーザー 941, 1190, 1191
 ねじ切り 818, 942
 熱可塑性樹脂 594, 943

熱伝導	944
熱伝導率	944
粘液貯留嚢胞	620
粘性	945
粘膜移植	946
粘膜貫通部	947
粘膜骨膜弁	587, 948, 1070
粘膜固有層	340
粘膜上皮	340
粘膜内インプラント	949
粘膜剝離子	950, 972
粘膜パンチ	875, 951
粘膜弁	587, 952, 1070

の

濃縮成長因子	304
脳貧血様発作	308
膿瘍	165
ノンサブマージドインプラント	72, 953
ノンセグメントタイプ	954

は

バーアタッチメント	16, 955
パーシャルオーバーデンチャー	130
パーシャルシックネスフラップ	952
ハーバード会議	956
ハーフデスマゾーム	1097
バイオエンジニアリング	957
バイオガラス	706, 958
バイオセラミックス	234
バイオタイプ	543
バイオフィルム	959
バイコルチカル	960
胚性幹細胞	52, 241, 961
バイタルサイン	962, 1157
バイトアプライアンス	173
ハイドロキシアパタイト	26, 820, 963, 1065
ハイドロキシアパタイトコーティング	964, 1032
ハイブリッド材料	965
ハイモア洞	612
廃用〔性〕萎縮	364, 966
ハイリップライン	696, 1181
パイロットドリル	909, 967
ハインリッヒの法則	968
ハウシツプ窩	969
破壊靱性	970
歯ぎしり	971, 1063
白色血栓	342, 343
剝離子	972

破骨鉗子	973
破骨細胞	969, 974
破菌細胞	975
波状縁	969
バス法	977, 1060
発音障害	322, 978
発語障害	322
パッシブフィット	878, 979
パッチテスト	279, 980
発痛帯	497
発痛点	497
バットジョイント	32, 981
パトリックス	16, 251, 1197
歯の移植〔術〕	982
歯の再植〔術〕	983
歯の保存液	984
パノラマエックス線撮影〔法〕	985
パノラマエックス線写真	985, 986
ハバース管	408, 848, 987, 1043
ハバース系	987
ハバース層板	848, 988
パピラプリアゼーションフラップ手術	527
パラソルモン	974
パラファンクション	989, 1063
パラメトリック検定法	686
パラレル型	884
バリアメンブレン	391, 695, 782, 990
パルスオキシメータ	991
Valleix の3圧痛点	497
半月裂孔	992, 1047
瘢痕	993
瘢痕形成	934
瘢痕治癒	930
ハンスフィールド値	512, 994
半接着斑	1097
半導体レーザー	995, 1190

ひ

被圧変位性	996
被圧変位量	238
ヒーリングアパットメント	229, 947, 1008
ヒーリングキャップ	229, 933, 1009
ヒーリングスクリュー	229, 1010
ピエゾエレクトリック《エレクトリカル》 サージェリー	1011
ピエゾエレクトリックデバイス	164
光造形法	1012
光造形模型	448
引き抜き試験	1013
非吸収性生体材料	1014
非吸収性縫合糸	1015

- | | | | |
|------------------|------------------|----------------|----------------------|
| 非吸収性膜 | 990 | 封鎖スクリュー | 229 |
| 鼻腔内ドレナージ | 797, 1016 | フェイスボウ | 1042 |
| 鼻口蓋動脈 | 729 | フェリプレシン | 305 |
| 皮質骨 | 848, 1017, 1018 | フォーカルアドヒージョン | 476 |
| 皮質骨海綿骨ブロック | 1018 | フォーカルコンタクト | 476 |
| 皮質骨穿孔 | 1019 | フォルクマン管 | 1043 |
| 微小間隙 | 1118 | 副甲状腺ホルモン | 1044 |
| 微小骨折 | 1020, 1119 | 副腎萎縮 | 688 |
| 微小循環 | 1021 | 副腎クラーゼ | 688, 1045 |
| 微小動揺 | 1022, 1121 | 副腎皮質機能低下 | 688 |
| 非上皮性組織 | 250 | 副腎皮質ステロイドホルモン | 688, 1045 |
| 微小漏洩 | 1023, 1118 | 複製義歯 | 1046 |
| 非ステロイド性消炎鎮痛薬 | 1024 | 副鼻腔 | 1047 |
| ビスフォスフォネート | 974, 1025 | 副鼻腔炎 | 613 |
| ビスフォスフォネート関連顎骨壊死 | 1026, 1091 | 腐骨 | 1048 |
| ビスフォスフォネート系薬剤 | 45, 1091, 1145 | 浮腫 | 1049 |
| ビタミン K 依存性凝固因子 | 326 | 負担荷重 | 349 |
| 非置換型材料 | 651 | 付着肉肉上皮 | 204 |
| ピックアップ印象 | 1027 | 付着上皮 | 726, 1050 |
| ピックアップ印象用コーピング | 77 | 付着ぬれ | 940 |
| 引張強さ | 1028 | 付着粘膜 | 1051 |
| 非定型口腔顔面痛 | 702 | 付着の獲得 | 1185, 1052 |
| ヒト遺伝子組み換え BMP-2 | 1176 | 付着の喪失 | 1185, 1053 |
| 非特異性炎 | 165 | 物理的気相蒸着法 | 964 |
| ヒト脱灰凍結乾燥骨 | 897 | 不適合反応 | 66 |
| ヒドロキシアパタイト | 963, 1029 | 浮動歯肉 | 1054, 1072 |
| 被包 | 1030 | 不動態化 | 1055, 1055 |
| ビボットアブライアンス | 173 | 不動態膜 | 490, 491 |
| ヒヤリ・ハット事例 | 968 | 不動粘膜 | 340, 1051, 1056 |
| 標準トルク | 261 | 部分安定化ジルコニア | 642, 1057 |
| 病的肉芽 | 930 | 部分層歯肉弁 | 952 |
| 表面粗さ | 1031 | 部分層弁 | 587, 952, 1058 |
| 表面処理 | 1032 | 不溶性コラーゲン | 443 |
| 表面性状 | 1033 | ブラーク | 959, 1059 |
| 表面のぬれ性 | 132 | ブラークコントロール | 1060 |
| 疲労試験 | 1034 | ブラークコントロールレコード | 1061 |
| 疲労破壊 | 1035 | ブラーク指数 | 193 |
| 疲労劣化 | 41 | ブラーク性歯肉炎 | 575 |
| | | ブラキサー | 1062, 1063 |
| | | ブラキシズム | 920, 989, 1037, 1063 |
| | | ブラジキニン | 1024 |
| | | プラスチックスケーラー | 1064 |
| | | プラズマ | 1065 |
| | | プラズマ化 | 218 |
| | | プラズマコーティング | 1065 |
| | | プラズマスプレー法 | 964 |
| | | プラズマ滅菌法 | 1153 |
| | | プラズマ溶射インプラント | 1065 |
| | | プラズマ溶射法 | 28, 1065 |
| | | ブラックトライアングル | 524, 1066 |
| | | プラットフォーム | 93, 136, 1067, 1068 |
| ファインセラミックス | 1036 | | |
| ファセット | 1037 | | |
| フィブリノゲン | 1040 | | |
| フィブリン | 1039, 1040, 1041 | | |
| フィブリン血栓 | 343 | | |
| フィブリン糊 | 918, 1040 | | |
| フィブリン・モノマー | 1039 | | |
| フィブロイン | 709 | | |
| フィブロネクチン | 1041 | | |
| フィメール | 1197 | | |

ふ

プラットフォームシフティング
 121, 1068, 1068
 プラットフォームスイッチング 1068
 フラップ 587, 1069
 フラップオペレーション《手術》 919, 1070
 フラップレスサージェリー《手術》 1071
 フラビーガム 1072
 フランクフルト平面 259, 1042, 1073
 フリーウェイスペース 49
 フリーラジカル 218
 プリオンタンパク 293
 フリクショナルフィット 1074
 フリクションフィット 1074
 フルシクネスフラップ 948
 フレイル 1075
 ブレードインプラント 1076
 ブレードベントインプラント 1076
 フレーム溶射法 28
 フレームワーク 1077
 プレジジョンアタッチメント 16, 1078
 プレスフィット 1079
 プレスフィットインプラント 641
 プレス法 743
 フレミタス 1080
 ブロービング 1081
 ブロービングアタッチメントレベル 1185
 ブロービングデプス 1082
 プログレッシブローディング 1083
 プロスタグランジン 1024, 1084
 プロスタノイド 1084
 ブロック骨 184, 213, 1018
 ブロック骨移植 1085
 ブロック骨採取 201
 プロテーゼ 208, 1086
 プロテオグリカン 748
 プロトロンビン時間-国際標準比 1004
 プロビジショナルインプラント 492, 1087
 プロビジショナルクラウン 493, 1088
 プロビジショナルデンチャー 493, 1089
 プロビジショナルレストレーション 493
 プロフェッショナルメカニカルトウス
 クリーニング 1000, 1090
 分子標的治療薬 1145
 分子プレカサー法 28



米国食品医薬品局 158, 1092
 併発症 1093
 Beilby 層 318
 ペインクリニック 1094
 ペースメーカー 995

β -TCP パウダー 140
 β -リン酸三カルシウム 268
 ヘガール型 550
 ベニアグラフト 64, 184, 201, 1096
 ヘパリン 709
 ヘマトーム 311
 ヘマトーム 311
 ヘミデスモゾーム 1097
 ヘミデスモゾーム結合 476
 ヘモグロビン Alc 1098
 ペリインプラントサルカス 103
 ペリオテスト 127
 ペリオトーム 1099
 ペリオドンタルドレッシング 544
 ヘリカルスキャン 149
 ヘルシンキ宣言 1100
 ヘルトウィッチヒ上皮靴 150
 Bell 麻痺 1101
 辺縁性歯肉炎 575
 偏心咬合位 196, 344
 ベンゾジアゼピン系薬剤 758

ほ

ポイントインセントリック 196
 蜂窩織炎 165, 1102
 縫合 1103
 縫合糸 1103, 1104
 縫合針 1103, 1105
 放射線骨髄炎 1106
 放射線照射骨 1107
 放射線〔性〕骨壊死 1106, 1107
 放射線治療 1106, 1107
 蜂巣炎 1102
 放電加工 1108
 ボールアタッチメント 16, 1109
 ボーンアンカードブリッジ 1077, 1110
 ボーンコレクター 416
 ボーンサウンディング 1111
 ボーンスクレイパー 389, 416
 ボーンマッピング 1111
 ボーンミル 415, 1112
 ボーンレベル 435
 ボーンロス 1117
 ボーンワックス 533
 ポケット探針 546
 保護膜 990
 ポステリアガイダンス 1113
 保存液 984
 ボタンインプラント 949
 補綴主導型治療 904
 ボトムアップトリートメント 299

ポビドンヨード 1114
 ホリゾンタルオフセット 1068
 ポリテトラフルオロエチレン 1005, 1115
 ポリ乳酸膜 990
 ポリメチルメタクリレート 943
 ポリメラーゼチェーンリアクション 460
 ポリユームレンダリング 1116
 本態性高血圧 341

ま

マージナルボーンロス 1117
 マイクロギャップ 116, 438, 1023, 1118
 マイクロフラクチャー 1119
 マイクロプレート 1120
 マイクロムーブメント 1121
 マイクロリーケージ 1023
 埋入 1122
 埋入窩 89, 1123
 埋入トルク 1124
 マウスガード 1125
 前向き研究 1126
 前向きコホート研究 1126
 McGill コンセンサスステートメント 1127
 膜性骨 1128
 膜性骨化 381, 1128
 膜内骨化 1128
 マグネットアタッチメント 554
 マグネトロンスパッタリング法 964
 マクロファージ 73
 曲げ強さ 500, 1129
 摩擦トルク 1130
 摩擦力 1074
 マチュウ型 550
 末梢神経 887
 マットレス縫合 1131
 マトリックス 16, 251, 1197
 麻痺 1132
 麻痺性疾患 702
 摩擦 361, 1133
 マルチスライス CT 149
 マルチフィラメント 1103
 丸針 1103
 慢性拒絶反応 65
 慢性歯周炎 545
 慢性疼痛性障害 657
 慢性閉塞性肺疾患 1134
 Mann-Whitney 検定 1135

み

味覚障害 248

みかけ気孔率 258
 Misch の骨密度の分類 1136, 1137
 Misch の分類 1137
 ミドルリップライン 696, 1181
 ミニインプラント 927, 1138
 ミニプレート 1120, 1139
 ミューチュアリープロテクティッドアーティ
 キュレーション 351, 1140
 ミリングテクニク 1141
 ミリングマシーン 1142

む

無機性牛ミネラル 1143
 ムコツェーレ 620
 無作為化比較試験 4, 1144
 無切開手術 1071

め

Maynard の分類 1146
 メインテナンス 87, 486, 1147
 メール 1197
 メカニカルストレス 1148
 メゾストラクチャー 1149
 メタアナリシス《分析》 1150
 メタルフリー修復 1151
 メタルボンドクラウン 896
 滅菌 1152
 滅菌法 1153
 免疫グロブリン 1154
 免疫抑制作用 1045
 免荷期間 1155
 メンブレン 990

も

モーステーパー 876, 1156
 モディファイドアダプテーションテクニク
 18
 モニタリング 1157
 モノフィラメント 1103
 モノフィラメントスーチャー 1158

や

薬剤関連顎骨壊死 1145, 1159
 薬物アレルギー 1160
 薬物送達システム 906
 薬物伝達システム 906
 ヤング率 825, 1161

ゆ

有害事象	1177, 1178
有茎弁	587, 1162
有茎弁歯肉移植術	1163
有限要素法《解析》	1164
UCLA アバットメント	36, 1165
誘導膜	990
有毒	903
遊離角化粘膜移植術	1166
遊離結合組織移植術	540, 1167
遊離歯肉移植術	540, 946
遊離歯肉弁	587
遊離端ブリッジ	244, 1168
遊離粘膜移植	64

よ

要因対照研究	440
陽極酸化	1169
陽極酸化処理	1032
溶接	1170
翼突筋静脈叢	1171
翼突筋粗面	201
予測模型	735
予防投与	328
四点曲げ試験法	1129

ら

ライ症候群	1024
ラジオグラフィックマーカー	1172
らせん型インプラント	690, 1173
ラチェットレンチ	914, 1174
ラテラルウィンドウテクニック	619, 1175
ランダム化比較試験	4, 552

り

リコンビナント BMP-2	1176
リスク因子	1177
リスクファクター	1045, 1177
リスクマネジメント	1178
裏装粘膜	340
リッジエクспанション法	174, 1179
リップサポート	1180
リップライン	1181

リテーナー	1182
リポジショニングアプライアンス	173
リマウントレコード	1183
リラクセーションアプライアンス	173
燐灰石	26
リン酸三カルシウム	1095, 1184
臨床的アタッチメントレベル	738, 1185
リンバ系幹細胞	397

る

累積残存率	1186
累積成功率	1187
累積生存率	231
累積的防御療法	99, 1188
Le Fort I 型骨切り術	1189

れ

レーザー	164, 1190
レーザーアブレーション法	28
レーザー溶接	1191
レシピエント	64
レシピエントサイト	1192
裂開	20, 1193
Lekholm & Zarb の骨形態の分類	1194, 1196
Lekholm & Zarb の骨質の分類	1195, 1196
Lekholm & Zarb の分類	1196
連続縫合	1103

ろ

瘦孔閉鎖術	616
老人性萎縮	364
老人様顔貌	1180
ローリップライン	696, 1181
ロケーターアタッチメント	16, 1197
ロングセントリック	196, 1198

わ

ワイヤー放電加工法	1108
若木骨折	1179, 1199
ワルファリンカリウム	326, 1004, 1200
ワンスクリュエーテスト	878, 979, 1201
ワンパートインプラント	1202
ワンピースインプラント	1202

欧文索引

- | | | | |
|---|----------------|--|--|
| 3D CT image | 498 | | |
| 3D printer | 698 | | |
| 3DCT | 498, 697 | | |
| ⁹⁹ mTc-MDP | 325 | | |
| α-TCP | 42 | | |
| α-tricalcium phosphate | 42 | | |
| β-TCP | 268, 270, 1095 | | |
| β-tricalcium phosphate | 1095 | | |
| A | | | |
| abberation into the maxillary sinus | 622 | | |
| abfraction | 41 | | |
| ablation | 163 | | |
| ABM | 59, 144 | | |
| abnormal sensation | 836 | | |
| abrasion | 1133 | | |
| abutment | 29 | | |
| abutment analog | 30 | | |
| abutment analogue | 30 | | |
| abutment connection | 32 | | |
| abutment cylinder | 36 | | |
| abutment fracture | 38 | | |
| abutment level | 39 | | |
| abutment level impression | 40 | | |
| abutment material | 33 | | |
| abutment retrieval instrument | 35 | | |
| abutment screw | 37 | | |
| abutment shaft | 34 | | |
| abutment-implant interface | 31, 116 | | |
| access hole | 13 | | |
| accidental symptom | 282 | | |
| acid etching | 488 | | |
| adaptation technique | 18 | | |
| adherence | 22 | | |
| adhesion | 734 | | |
| adipose-derived stem cells | 591 | | |
| adrenaline hypersensitivity | 23 | | |
| adrenocortical hormon | 1045 | | |
| AED | 141 | | |
| AFG | 143, 304 | | |
| <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> | 545 | | |
| air abrasion | 140 | | |
| allergy | 44 | | |
| allodynia | 836 | | |
| allograft(s) | 807, 897 | | |
| alternate finger pressure test | 878 | | |
| alumina | 43 | | |
| alveolar crest approach | 562 | | |
| alveolar crestal incision | 563 | | |
| alveolar distraction osteogenesis | 558 | | |
| alveolar part | 572 | | |
| alveolar process | 571 | | |
| alveolar ridge | 564 | | |
| alveolar ridge augmentation | 213, 568, 569 | | |
| alveolar ridge crest | 561 | | |
| alveolar ridge enhancement | 565 | | |
| alveolar ridge plastics | 211, 566 | | |
| alveolar ridge width | 570 | | |
| alveolar (bone) crest | 557, 560 | | |
| alveolar (bone) resorption | 559 | | |
| anaphylactic shock | 25 | | |
| anaphylaxis | 24 | | |
| anchor pin | 46 | | |
| anesthesia | 836 | | |
| angiogenesis | 306 | | |
| angulated abutment | 48, 215 | | |
| angulation tolerated abutment | 214 | | |
| ankylosis | 47 | | |
| anodic oxidation | 1169 | | |
| anorganic bovine mineral | 144, 1143 | | |
| ANS | 142, 759 | | |
| anterior guidance | 50 | | |
| anterior loop | 51 | | |
| anterior nasal spine | 142, 759 | | |
| antibacterial agent | 327 | | |
| antibiotic prophylaxis | 328 | | |
| antibiotic therapy | 329 | | |
| antibiotics | 327 | | |
| anticoagulant | 326 | | |
| antiplatelet agent | 342 | | |
| antiresorptive agents-related osteonecrosis
of the jaw | 45, 379 | | |
| antirotation | 188 | | |
| antiseptic hand rub | 479 | | |
| antithrombotic | 343 | | |
| apatite | 26 | | |
| apatite carbonate | 821 | | |
| apatite coated implant | 28 | | |
| apatite implant | 27 | | |
| aperture of maxillary sinus | 623 | | |
| apically positioned flap operation | 588 | | |
| ARONJ | 45 | | |
| articulation disorder | 322 | | |
| artifact | 1 | | |
| artificial bone | 651 | | |

- | | | | |
|----------------------------------|------------|--|--------------------------|
| artificial gum | 654 | biological seal | 718 |
| artificial tooth root | 653 | biological stability | 717 |
| ASA | 1038 | biological width | 719 |
| ASA-PS | 1038 | biomaterial | 710 |
| aspiration | 362 | Bio-Oss [®] | 59 |
| aspirin-induced asthma | 15 | biophylactic mechanism | 714 |
| atelocollagen | 21 | biopolymer | 709 |
| atrophy | 61 | biotolerance | 708 |
| attached epithelium | 1050 | bipolar disorder | 765 |
| attached mucous membrane | 1051, 1056 | bisphosphonate | 1025 |
| attachment gain | 1052 | bisphosphonate-related osteonecrosis of the
jaw | 1026, 1091 |
| attachment level | 17 | bite raising | 345 |
| attachment loss | 1053 | bite wound | 353 |
| attachment system | 16 | biting force | 352 |
| augmentation | 769, 770 | black triangle | 1066 |
| autoclave sterilization | 321 | blade implant | 1076 |
| autogenous bone graft(s) | 522 | bleeding on probing | 1002 |
| autogenous bone transplantation | 522 | bleeding time | 601 |
| autograft(s) | 520 | block anesthesia | 887 |
| autoimmune disease | 535 | blood coagulation factor | 301 |
| autologous fibrin glue | 143, 304 | blood disease | 303 |
| autologous grafting | 519 | blood test | 302 |
| automated external defibrillator | 141, 573 | BMD | 424 |
| axial image | 11 | BMP | 382, 390, 427, 429, 1001 |
| axonotmesis | 645 | bonding | 734 |
| B | | | |
| bacteria test | 460 | bone ankylosis | 399 |
| bacterial biofilm | 461 | bone atrophy | 364 |
| ball attachment | 1109 | bone augmentation | 404, 405 |
| bar attachment | 955 | bone block graft | 1085 |
| barrier membrane | 596, 990 | bone burning | 376 |
| basal plane | 259 | bone cell | 393 |
| Bass method | 977 | bone cement | 403 |
| BDGF | 429, 1006 | bone chip | 392 |
| Bell's palsy | 1101 | bone chips graft(s) | 475 |
| bending strength | 1129 | bone chisel | 413 |
| bevel incision | 595 | bone collector | 416 |
| bFGF | 390, 429 | bone conduction | 409 |
| BIC ratio | 367 | bone cutting forceps | 973 |
| bicortical | 960 | bone debris | 392 |
| bigsterilizer | 321 | bone density | 424 |
| bioactive | 705 | bone formation | 381 |
| bioactive glass | 706 | bone graft(s) | 366 |
| biocompatibility | 712 | bone grafting | 365 |
| bioengineering | 957 | bone harvest | 389 |
| biofilm | 959 | bone inducing factor | 427 |
| bioglass | 958 | bone induction | 426 |
| bioinert | 713 | bone interface | 374 |
| biologic width | 719 | bone level | 435 |
| biological safety test | 716 | bone mapping | 1111 |
| | | bone marrow | 395 |
| | | bone matrix | 377 |

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------|---------------------------------------|---------------|
| bone mill | 415, 1112 | carbon dioxide laser | 822 |
| bone mineral | 369 | carbon fiber | 185, 828 |
| bone mineral density | 371, 424 | carbonate apatite | 821 |
| bone modeling | 425 | carrier | 829 |
| bone morphogenetic factor | 382 | CAS | 449, 451, 505 |
| bone morphogenetic protein | 383, 1001 | castable ceramics | 263 |
| bone overheating | 412 | Cawood classification | 295 |
| bone particulate | 392 | CBCT | 149, 510, 523 |
| bone quality | 394 | CEJ | 504, 738 |
| bone quantity | 432 | cell adhesion | 476 |
| bone regeneration | 390 | cell differentiation | 478 |
| bone remodeling | 373, 430 | cell growth factor | 477 |
| bone resorption | 378 | cellulitis | 1102 |
| bone structure | 388 | cementoblast | 739 |
| bone substitute | 417, 804 | cemento-enamel junction | 504, 738 |
| bone to implant contact rate | 367 | centric occlusion | 852 |
| bone to implant contact ratio | 367 | centric relation | 851 |
| bone trabecula | 433 | cephalogram | 737 |
| bone trabecular structure | 434 | cephalometric radiography | 901 |
| bone turnover | 407 | ceramic abutment | 741 |
| bone union | 428 | ceramic coating | 744 |
| bone wax | 436 | ceramic crown | 743 |
| bone width | 414 | ceramic implant | 742 |
| bone-anchored bridge | 1110 | ceramics | 745 |
| bone-derived growth factor | 429, 1006 | ceramometal crown | 896 |
| bony ridge | 431 | CGF | 304, 507 |
| bony septum | 401 | chewing | 786 |
| bony window | 423 | chewing pattern | 794 |
| BOP | 192, 1002 | chronic obstructive pulmonary disease | 506, 1134 |
| bottom up treatment | 299 | CIST | 99, 553, 1188 |
| bounded missing | 849 | CJD | 293, 509 |
| Brånemark | 176 | classification by Lekholm & Zarb | 1196 |
| brittle bone | 701 | clearance | 285 |
| BRONJ | 1091 | cleft palate | 323 |
| bruxer | 1062 | clenching | 292 |
| bruxism | 971, 1063 | clinical attachment level | 1185 |
| BSE | 293 | clinical path | 289 |
| bundle bone | 754, 778 | clip attachment | 287 |
| butt joint | 981 | closed tray | 294 |
| C | | | |
| CAD/CAM | 147, 264, 450, 743 | cobalt-chromium alloy | 439 |
| CAD/CAM abutment | 265 | cohort study | 440 |
| calcification | 722 | cold-curing resin | 610 |
| calculus | 555 | collagen fiber | 442 |
| callus | 216 | collagen membrane | 443 |
| Camper's plane | 246 | commercially pure titanium | 514, 635 |
| cancellous bone | 191 | compact bone | 848 |
| canine protected articulation | 316 | compliance | 454 |
| cantilever | 244 | complication | 226, 1093 |
| cantilever bridge | 1168 | compression necrosis | 20 |
| | | compressive strength | 19 |
| | | computed tomography value | 512 |

computer simulation 452
 computer tomography 510
 computer-aided design/computer-aided
 manufacturing 264, 450
 computer-aided navigation 451
 computer-aided surgery 449, 451, 505
 computer-generated bone modeling 448
 computerized tomography 453
 concentrated growth factors 304, 507
 concurrent disease 1093
 conical connection 438
 connective tissue attachment 310
 connective tissue graft 309, 1167
 contact osteogenesis 446
 contact point 447, 730
 contour 245
 contraindication 277
 conventional loading 800
 coordinate measuring 499
 COPD 506, 1134
 copy denture 1046
 coronally repositioned flap surgery 589
 corrosion of titanium 843
 corrosion resistance 803
 cortical bone 1017
 cortical bone perforation 1019
 corticocancellous bone block 1018
 corticotomy 444
 countersinking 194
 cover screw 229
 cover screw mill 230
 COX2 1024
 CPTi 839, 514, 635
 crest module 291
 Creutzfeldt-Jakob disease 293, 509
 criteria for success of implant 124
 critical path 288
 cross-sectional study 167
 crown-implant ratio 284, 525
 crown-root ratio 525
 CT 510
 cumulative interceptive supportive therapy
 553, 1188
 cumulative success rate 1187
 cumulative survival rate 1186
 cusp inclination 359
 custom abutment 224
 cutting 727
 cutting torque 728
 cylinder implant 641
 cytokine 470

D

DDS 864, 906
 dead space 530
 debridement 882, 883
 decalcified bone 815
 declaration of Helsinki 1100
 decortication 879, 1019
 dehiscence 1193
 delayed implant 835
 delayed implant placement 802
 delayed load 833
 delayed loading 834
 demineralized freeze-dried bone 816, 860
 demineralized freeze-dried bone allograft (s)
 861
 dental cone-beam CT 523
 dental implant 521, 653
 dental implant material 332
 dental plaque 1059
 dental pulp stem cells 551
 dental radiography 888
 denture space 889
 depth gauge 662, 881
 desktop scanner 257
 destruction 872
 DFDB 807, 815, 816, 860
 DFDBA 815, 817, 861, 897
 diabetes mellitus 900
 diagnostic cast 660
 diagnostic setup 658
 diagnostic set-up 658
 diagnostic template 659
 diagnostic wax-up 661
 DICOM 799
 difficulty of mastication 791
 Digital Imaging and Communication in
 Medicine 799
 digital workflow 880
 dimineralized freeze-dried bone allogous
 817
 dimineralized freeze-dried bone grafting
 817
 dimineralized freeze-dried bone transplant
 817
 disclusion 870
 disintegration 869
 distant osteogenesis 871
 distraction osteogenesis 217
 disturbance of mouth opening 186
 disuse atrophy 966

- | | |
|--|---------------|
| DM | 900 |
| DOAC | 326 |
| Dolder bar attachment | 915 |
| donor site | 271, 905 |
| double blind test | 935 |
| draping | 916 |
| drill | 909 |
| drill guide | 910 |
| drilling | 908 |
| drug allergy | 1160 |
| drug delivery system | 864, 906 |
| dry mouth | 334 |
| duplicating denture | 1046 |
| dynamic load | 899 |
| dysarthria | 322 |
| dysesthesia | 836 |
| dysmimesis | 792 |
| dysmastication | 791 |
| E | |
| early failure | 761 |
| early implant failure | 125 |
| early implant loss | 125 |
| early implant placement | 764 |
| early load | 760 |
| early loading | 2, 763 |
| EBD | 54 |
| EBM | 54, 445, 552 |
| edema | 1049 |
| edge-to-edge bite | 733 |
| EDM | 53, 1108 |
| EGF | 470 |
| elastic deformation | 826 |
| elastic modulus | 825, 827 |
| electric discharge machining | 53, 1108 |
| electric scalpel | 885 |
| electrosurgery | 164 |
| embrasure | 524 |
| embryonic stem cell | 52, 961 |
| EMD | 150 |
| emergence profile | 160 |
| enamel matrix protein | 150 |
| encapsulation | 1030 |
| enchondral ossification | 928 |
| endodontic endosseous implant | 574 |
| endosseous implant | 410 |
| epithelial attachment | 632 |
| epithelium | 631 |
| epithesis | 153 |
| Er : YAG Laser | 163 |
| ES cell | 52 |
| esthetic restoration | 663 |
| esthetic zone | 665 |
| esthetic(s) | 664 |
| evaluation of fit | 878 |
| evidence-based dentistry | 54 |
| evidence-based medicine | 54, 154, 445 |
| expanded polytetrafluoroethylene
membrane | 55 |
| external connection | 145 |
| external hex | 146, 190 |
| extraction socket preservation | 782 |
| extra-osseous deviation | 372 |
| F | |
| face-bow | 1042 |
| facet | 1037 |
| facial implant | 247 |
| facial palsy | 248 |
| facial prosthesis | 153 |
| fatigue fracture | 1035 |
| fatigue test | 1034 |
| fatty marrow | 592 |
| FDA | 158 |
| FDB | 807, 815, 893 |
| FDBA | 159, 815, 894 |
| FDBX | 815, 892 |
| FEA | 155, 1164 |
| FGF | 156, 470, 749 |
| FGG | 157, 1166 |
| fibrin | 1039 |
| fibrin glue | 1040 |
| fibroblast | 748 |
| fibroblast growth factor | 156, 749 |
| fibronectin | 1041 |
| fibro-osseointegration | 751 |
| fibrous bone | 750 |
| fibrous encapsulation | 753 |
| final impression | 463 |
| fine ceramics | 1036 |
| finite element analysis | 155, 1164 |
| first stage surgery | 69 |
| fit checking | 878 |
| fixed cement implant superstructure | 740 |
| fixed implant-supported prosthesis | 437 |
| fixed screw type implant superstructure | 678 |
| fixture | 653 |
| flabby gum | 1054, 1072 |
| flap | 1069 |
| flap surgery | 1070 |
| flapless surgery | 1071 |

Food and Drug Administration 158, 1092
 foreign body giant cell 73
 foreign body reaction 74
 fracture toughness 970
 frailty 1075
 framework 1077
 Frankfort plane 1073
 free gingival graft 157
 free keratinized mucosal graft 1166
 freeze-dried bone 893
 freeze-dried bone allograft(s) 159, 894
 freeze-dried bone xenograft(s) 892
 fremitus 1080
 frenectomy 629
 frenulectomy 629
 friction torque 1130
 frictional fit 1074
 full thickness flap 756

G

gagging reflex 63, 168
 galvanic current 236
 GBR 64, 391, 695
 GCF 508, 578
 general contraindication 755
 GI 192, 503, 576
 gingival attachment 586
 gingival crevicular fluid 508, 578
 gingival elevator 972
 gingival flap 587
 gingival index 503, 576
 gingival raspatory 585
 gingival recession 584
 gingivectomy 583
 gingivitis 575
 gingivoplasty 582
 glass ceramics 234
 glycine powder 286
 gothic arch tracing method 363
 graft 64
 graft versus host reaction 66
 grafting 64
 grafts rejection 65
 granulation tissue 930
 greater palatine foramen 798
 green stick fracture 1199
 grinding 283, 315
 group function 290
 growth factor 768
 GTR 511
 guided bone regeneration 391, 513

guided surgery 187
 guided tissue regeneration [method] 511, 784
 gum silicone mold 233
 gummy smile 232

H

HA 963, 1029
 Harvard Conference 956
 Haversian canal 987
 Haversian lamella 988
 HbA1c 1098
 HBOT 320
 healing abutment 1008
 healing cap 1009
 healing screw 1010
 Heinrich's law 968
 hematoma 311
 hemidesmosome 1097
 hemorrhage in the mouth floor 357
 hemorrhagic diathesis 602
 hemostasis 534
 hemostat 531
 hemostatic agent 533
 hemostatic function test 532
 heterogeneous bone 62
 heterogenous graft response 60
 heterograft(s) 806
 heterotopic ossification 67
 high-level disinfection 356
 histocompatibility 785
 hollow cylinder implant 850
 horizontal alveolar distraction 670
 horizontal alveolar distraction osteogenesis 670
 horizontal alveolar elongation 670
 horizontal alveolar lengthening 670
 horizontal bone resorption 671
 horizontal mattress suture 673
 horizontal overlap 672
 Hounsfield Unit 512, 994
 Howship's lacuna 969
 HVS 203
 hybrid material 965
 hydrogen peroxide gas plasma sterilization 218
 hydroxyapatite 963, 1029
 hydroxyapatite coating 964
 hydroxyapatite porous body 810
 hyperalgesia 836
 hyperbaric oxygen therapy 320

- | | | | |
|-----------------------------------|----------|--|-----------|
| hyperbaric oxygen treatment | 320 | implant socket | 89 |
| hypertension | 341 | implant stability quotient | 8, 86 |
| hyperventilation syndrome | 203 | implant success criteria | 124 |
| hypoesthesia | 836 | implant success rate | 113 |
| hypoglycemic coma | 867 | implant superstructure | 110 |
| hypoptyalism | 805 | implant supported OD | 88 |
| | | implant supported RPD | 130 |
| | | implant supportive therapy | 99 |
| | | implant surface | 131 |
| | | implant surface structure | 132 |
| | | implant survival rate | 96 |
| | | implant system | 100 |
| | | implant thread | 112 |
| | | implantation | 639 |
| | | implant-bone interface | 95 |
| | | implantology | 92 |
| | | implant-supported bridge | 97 |
| | | implant-supported prosthesis | 98 |
| | | implant-tissue interface | 114 |
| | | impression coping | 77 |
| | | impression transfer coping | 77 |
| | | impression tray | 78 |
| | | incisal path | 731 |
| | | incision | 723 |
| | | incisive canal | 729 |
| | | inclined implant placement | 297 |
| | | indigenous bacterium | 626 |
| | | induced pluripotent stem cell | 10, 655 |
| | | inferior alveolar artery/vein | 222 |
| | | inferior alveolar nerve | 219 |
| | | inferior alveolar nerve lateralization | 220 |
| | | inferior alveolar nerve paralysis | 221 |
| | | inflammation | 165 |
| | | inflammatory resorption | 166 |
| | | informed consent | 83, 736 |
| | | infraorbital foramen | 239 |
| | | injection molding | 594 |
| | | insertion socket | 1123 |
| | | insertion torque | 1124 |
| | | installation | 1122 |
| | | integration | 82 |
| | | intercuspal contact area | 196, 1198 |
| | | interdental papilla | 526 |
| | | interleukin | 81 |
| | | intermediate missing | 849 |
| | | intermediate-level disinfection | 853 |
| | | internal bevel incision | 919 |
| | | internal connection | 79, 922 |
| | | internal hex | 923 |
| | | internal hexagon | 80 |
| | | internal irrigation | 921 |
| | | | |
| IARPD | 130 | | |
| IC | 83, 736 | | |
| iliac bone graft(s) | 855 | | |
| immediate denture | 775 | | |
| immediate implant | 773 | | |
| immediate load | 774 | | |
| immediate loading | 76, 776 | | |
| immediate provisional implant | 75 | | |
| immediately implant | 777 | | |
| immunocompromised condition | 56 | | |
| immunoglobulin | 1154 | | |
| impact fracture test | 624 | | |
| implant | 84 | | |
| implant abutment | 101 | | |
| implant analog | 85 | | |
| implant analogue | 85 | | |
| implant assisted RPD | 130 | | |
| implant basket | 850 | | |
| implant bed | 109 | | |
| implant body | 115, 653 | | |
| implant card | 90 | | |
| implant collar | 93 | | |
| implant configuration | 128 | | |
| implant denture | 94 | | |
| implant diameter | 119 | | |
| implant failure | 126 | | |
| implant fracture | 118 | | |
| implant interface | 91 | | |
| implant level | 136 | | |
| implant level impression | 137 | | |
| implant loss | 126 | | |
| implant maintenance | 129 | | |
| implant maintenance therapy | 87 | | |
| implant mobility | 127 | | |
| implant neck | 121 | | |
| implant overdenture | 9, 88 | | |
| implant prosthesis | 133 | | |
| implant removable partial denture | 6, 130 | | |
| implant remover | 134 | | |
| implant replica | 135 | | |
| implant retained OD | 88 | | |
| implant retained RPD | 130 | | |
| implant shoulder | 111 | | |

International Organization for Standardization	7	Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation	1190
interocclusal clearance	49	lingual foramen	725
interprofessional work	811	lingual nerve	732
intracrevicular incision	577, 579	lip line	1181
intramembranous ossification	1128	lip support	1180
intranasal drainage	797	locator attachment	1197
intraoral scanner	339	longitudinal study	599
intraosseous anchorage	411	lower lip paralysis	223
intravenous sedation	634	low-level disinfection	868
inverted basket implant	850		
IOD	9, 88	M	
iPS cell	655		
IROD	88	machined implant surface	253
IRPD	6, 130	magnetic attachment	554
IRRPD	130	magnetic resonance imaging	161, 529
ISO	7	maintenance	1147
ISOD	88	maintenance therapy	129
ISRPD	130	malformation of frenum	630
		malignant tumor	12
J		mandibular canal	198
J graft	515	mandibular foramen	199
junctional epithelium	726	mandibular movement	197
		mandibular nerve block	202
K		mandibular position	196
Kaplan-Meier analysis	231	mandibular ramus	201
keratinized attached gingiva	207	mandibular rest position	195
keratinized epithelium	204	Mann-Whitney test	1135
keratinized mucosa	206	marginal bone loss	1117
key and keyway	251	masticatory dysfunction	792
		masticatory efficiency	790, 793
L		masticatory function	788
laboratory analog	256	masticatory movement	787
laboratory analogue	256	masticatory muscles	789
lamellar bone	771	mattress suture	1131
laser	1190	maxillary sinus	612
laser welding	1191	maxillary sinus floor	618
late implant failure	123	maxillary sinus floor elevation	619
late implant loss	123	maxillary sinus mucocele	617, 620
lateral movement	779	maxillary sinus mucous membrane	621
lateral stress	780	maxillary sinus septum	614
lateral window technique	781, 1175	maxillary sinusitis	613
laterally repositioned flap surgery	590	maxillary tuberosity	611
Le Fort I osteotomy	1189	maxillofacial prosthesis	208
Lekholm & Zarb's classification	1196	maximal intercuspal position	358
Lekholm & Zarb's bone quality classification	1195	maximum bite force	469
		maximum mouth opening	468
Lekholm & Zarb's jaw bone morphology classification	1194	Maynard classification	1146
		McGill consensus statement	1127
		MDCT	510
		mechanical polishing	252
		mechanical strength	254

- | | | | |
|---|------------|---------------------------------------|-----------|
| mechanical stress | 1148 | mucosal elevator | 950 |
| medical monitor | 711 | mucosal flap | 952 |
| medication-related osteonecrosis of the jaw | 1145, 1159 | mucosal grafting | 946 |
| medullary cavity | 398 | mucosal implant | 949 |
| mental foramen | 180 | mucosal punch | 951 |
| mental nerve | 181 | multidisciplinary treatment | 597 |
| mental nerve paralysis | 182 | multiplanar reconstructed image | 814 |
| mental spines foramen | 179 | multiplanar reconstruction | 162, 813 |
| mesenchymal cell | 250 | multiplanar reformation | 813 |
| mesenchymal stem cell | 249 | mutually protected articulation | 1140 |
| mesostructure | 1149 | myeloid stem cell | 397 |
| meta-analysis | 1150 | mylohyoid muscle | 209 |
| metal allergy | 279 | | |
| metal artifact | 278 | N | |
| metal fatigue | 280 | | |
| metal-free restoration | 1151 | N · cm | 261, 911 |
| mGI | 106, 192 | naked solid products | 321 |
| MGJ | 580 | narrative based medicine | 152, 926 |
| microcirculation | 1021 | narrow implant | 927 |
| microfracture | 1020, 1119 | nasal cavity drainage | 1016 |
| microgap | 1118 | nasoantral window | 797 |
| microleakage | 1023 | navigation surgery | 925 |
| micromovement | 1022, 1121 | navigation system | 924 |
| microplate | 1120 | NBM | 152, 926 |
| milling machine | 1142 | needle holder | 550 |
| milling technique | 1141 | Neodyum YAG laser | 941 |
| mineralization | 722 | nerve block | 647 |
| mini implant | 1138 | nerve injury | 645 |
| mini plate | 1139 | nerve repositioning | 643 |
| Misch's bone density classification | 1136 | nerve suture | 648 |
| Misch's classification | 1137 | neuralgia | 646 |
| mis-deglutition | 319 | neurapraxia | 645 |
| mobility examination | 902 | neuromuscular mechanism | 644 |
| modified gingival index | 106, 192 | neuroparalysis | 649 |
| modified plaque index | 106, 193 | neuropathy | 938 |
| monitoring | 1157 | neurotmesis | 645 |
| monocrystalline | 820 | newly formed bone | 656 |
| monofilament suture | 1158 | nickel-titanium alloy | 936 |
| morse taper | 1156 | night guard | 920 |
| morselized bone graft | 235 | NMR | 161 |
| mouth guard | 1125 | non-absorbable thread | 1015 |
| movable mucosa | 228 | non-resorbable biomaterial | 1014 |
| movable mucous membrane | 228 | non-segment type | 954 |
| mPI | 106, 193 | non-steroidal anti-inflammatory drugs | 151, 1024 |
| MPR | 162, 813 | non-submerged implant | 72, 953 |
| MRI | 161, 529 | NSAIDs | 151, 1024 |
| MRONJ | 1145 | nuclear magnetic resonance | 161 |
| mucogingival junction | 580 | | |
| mucogingival surgery | 581 | O | |
| mucoperiosteal flap | 948 | | |
| mucoperiosteum flap | 948 | occlusal adjustment | 348 |

occlusal appliance	173	osteotomy	380
occlusal contact pattern	351	osterpenia	701
occlusal force	352	overbite	170
occlusal interference	344	overjet	169
occlusal loading	349	overloading	122
occlusal plane	350	oxide layer	491
occlusal trauma	347		
occlusal vertical dimension	346	P	
occlusal wear	361		
odontoclast	975	pain clinic	898, 1094
offset implant placement	183	palmoplantar pustulosis	628
one phase implant	72	panoramic radiograph	986
one screw test	1201	panoramic radiography	985
one-piece implant	1202	papillae preservation flap surgery	527
one-stage implant	72	parafunction	989
onlay graft(s)	184	paralysis	1132
open tray	171	paranasal cavity	1047
optical impression	324	parathyroid hormone	1044
oral cleaning	337	partial thickness flap	1058
oral hygiene instruction	333	partially stabilized zirconia	1057
oral hypofunction	335	particulate bone graft(s)	475
oral implant	330	passivation	1055
oral implantology	331	passive fit	979
oral microbial flora	336	patch test	980
oral mucosa	340	patient monitoring	707
oral rehabilitation	172	patient-based outcomes	243
oral vestibule extension surgery	338	patient-led implant treatment	242
orbital prosthesis	240	patient monitor	711
orthodontic implant	273	PCBM	392
orthopaedics of alveolar ridge	567	PCR	460, 1003, 1061
orthopedic surgery of alveolar ridge	212	PDGF	314, 429, 470, 1007
osseointegrated implant	177	pedicle flap	1162
osseointegration	176, 385, 400	pedicle gingival graft	1163
osseous interface	374	percussion	812
Osstell [®]	86	perforation of maxillary sinus	616
Osstell mentor [™]	902	peri-implant mucosa	107
ostectomy	402	peri-implant mucositis	108
osteoblast	375	peri-implant sulcus	103
osteoclast	974	peri-implant sulcus fluid	104
osteoconduction	409	peri-implant tissue	105
osteocyte	393	peri-implant tissue examination	106
osteogenesis imperfecta	384	peri-implantitis	102
osteogenic cell	386	periodontal biotype	543
osteoiduction	426	periodontal dressing	547
osteomyelitis	396	periodontal ligament	538, 542
osteon	408	periodontal pack	544
osteonecrosis	368	periodontal plastic surgery	540
osteoporosis	406	periodontal pocket	548
osteoradionecrosis	1106	periodontal probe	546
osteosclerosis	387	periodontopathic bacteria	545
osteotome	174	perioperative management	598
osteotome technique	175	periosteal ossification	420

remineralization	467	second-stage surgery	933
remount record	1183	sedation	857
removable implant-supported prosthesis	227	segment type	721
removal torque value	5, 638	segmental resection	281
replacement resorption	838	self tapping implant	747
replantation	464	self threading screw implant	746
residual ridge	210	self-curing repair resin	610
resonance frequency analysis	3, 86, 274	self-curing resin	610
resorbable and replacement material	270	semiconductor diode laser	995
resorbable biomaterial	267	semilunar hiatus	556, 992
resorbable ceramics	268	sensory disturbance	837
resorbable thread	269	sequestrum	1048
resorption lacuna	266, 969	set up model	735
retainer	58, 1182	shade guide	516
retaining appliance	58, 1182	shape memory alloy implant	298
retaining screw	57	shear strength	757
retrospective study	139	sheffield test	517
reverse torque	262	short implant	636
RFA	3, 86, 274	shortened dental arch	823
rh BMP-2	1176	side screw	471
ridge expansion	1179	silane coupling	640
risk factor	1177	silicone gum	233
risk management	1178	silicone gum rubber	233
root form implant	536	simple interrupted suture	824
root resorption	537	simulation software	593
RTV	5, 638	single standing	830
ruffled border	969	single-stage implant	72
S			
saddle graft	480	sintered apatite	625
sagittal condylar path	549	sintered bone	627
sandblast	501	sinus floor elevation	472
sandblast etching	502	sinus lift	473
sapphire implant	481	sleeping	699
saucer absorption	487	smile line	696
saucerization	772	socket lifting	783
scaffold	14, 675	soft laser	796
scaling	682	soft tissue management	795
scan body	676	soft tissue-implant interface	120
scar tissue	993	soft-tissue replica	233
Schneiderian membrane	607	somatoform disorders	657
sclerosing osteomyelitis	325	space making	695
scraper	681	specific products as specified by the manufacturer	321
screw hole	680	specified torque	261
screw tap	679	speech disorder	978
screw type implant	677	spiral drill	691
sculpting	674	spiral implant	690, 1173
second opinion	720	splinting	694
secondary healing	934	split crest technique	693
secondary reconstruction	932	SpO ₂	991
secondary stability	931	SPT	99, 486
		sputtering method	692
		stabilized blade implant	684

- | | |
|--|----------|
| titled implant placement | 297 |
| tooth preservation solution | 984 |
| tooth replantation | 983 |
| tooth transplantation | 982 |
| top-down treatment | 904 |
| torque | 189, 911 |
| torque controller | 912 |
| torque driver | 913 |
| torque wrench | 914 |
| toxic reaction for local anesthetics | 276 |
| toxicity | 903 |
| TPS | 845 |
| TPS coating | 866 |
| TPS implant | 845 |
| trabecular bone | 433 |
| tracheotomy | 255 |
| transducer | 86 |
| transfer coping | 907 |
| transforming growth factor | 863 |
| transmandibular implant | 200 |
| transplantation | 64 |
| treatment denture | 856 |
| trephine bur | 917 |
| <i>Treponema denticola</i> | 545 |
| tricalcium phosphate | 1184 |
| trigeminal nerve | 496 |
| trigeminal neuralgia | 497 |
| t-test | 862 |
| twist drill | 858 |
| two-part implant | 859 |
| two-point discrimination test | 937 |
| two-stage implant | 929 |
| U | |
| UCLA abutment | 1165 |
| ultrasonic scaler | 854 |
| urine analysis | 939 |
| V | |
| VAS | 976 |
| vascularized bone graft | 307 |
| vasoconstrictor | 305 |
| vasovagal reflex | 308 |
| veneer graft | 1096 |
| vertical alveolar distraction | 666 |
| vertical alveolar distraction osteogenesis | 666 |
| vertical alveolar elongation | 666 |
| vertical alveolar lengthening | 666 |
| vertical bone resorption | 667 |
| vertical mattress suture | 669 |
| vertical overlap | 668 |
| vestibuloplasty | 338 |
| viscosity | 945 |
| visual analogue scale | 976 |
| vital signs | 962 |
| Volkman canal | 1043 |
| volume rendering | 1116 |
| W | |
| waiting load | 801 |
| warfarin potassium | 1200 |
| wear | 1133 |
| welding | 1170 |
| wetting | 940 |
| Wolff's law | 138 |
| wound dehiscence | 518 |
| wound dressing material | 767 |
| wound healing | 766 |
| woven bone | 752 |
| X | |
| xenograft | 59 |
| xerostomia | 334 |
| X-ray check | 148 |
| X-ray computed tomography | 149 |
| X-ray examination | 148 |
| Y | |
| YAG | 941 |
| Yttrium Aluminium Garnet | 941 |
| Young's modulus | 1161 |
| Z | |
| zirconia | 642 |
| zirconium dioxide | 489 |
| zygomatic implant | 272, 462 |



口腔インプラント学 学術用語集 第4版 ISBN978-4-263-45849-5

2003年3月30日 第1版第1刷発行
2011年3月20日 第2版第1刷発行
2014年6月10日 第3版第1刷発行
2018年3月29日 第3版補訂版（学会ホームページに公開）
2020年5月20日 第4版第1刷発行

編集 公益社団法人
日本口腔インプラント学会

発行者 白石泰夫

発行所 医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10

TEL (03) 5395-7638 (編集)・7630 (販売)

FAX (03) 5395-7639 (編集)・7633 (販売)

<https://www.ishiyaku.co.jp/>

郵便振替番号 00190-5-13816

乱丁、落丁の際はお取り替えいたします

印刷・木元省美堂／製本・明光社

© Japanese Society of Oral Implantology, 2020. Printed in Japan

本書を無断で複製する行為（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」などの著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。また私的使用に該当する場合であっても、請負業者等の第三者に依頼し上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本書をコピーやスキャン等により複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。